

ちば

平成 26 年度

第 48 回

県政に関する世論調査

報 告 書

平成 26 年 12 月

千 葉 県

は し が き

この調査は、県民の皆さまの生活意識や、県政に対してどのような関心や、期待などを持っておられるかを把握し、県政推進の基礎資料とするため、昭和50年度から実施しています。

平成18年度から年2回実施しており、今回は平成26年度第1回目の調査で、県内在住の満20歳以上の男女3,000名を対象に、今年8月、郵送法で実施しました。

具体的内容としては、環境と生活、健康、福祉、観光、千葉県の農林水産物、防災に関する取り組み、地方分権、広報・広聴活動について意識調査を行い、さらに、「県政への要望」について調査を実施しました。

この報告書が、県の施策立案や諸事業の推進などに活用されるだけでなく、広く県民の生活意識や県政に関心を寄せる方々にご活用いただければ幸いです。

終わりに、この調査にご協力いただきました県民の皆さまを始め、関係の方々に厚くお礼申し上げます。

平成26年12月

千葉県総合企画部長 鶴巻 郁夫

目 次

調査の概要	1
調査の結果 調査結果の解説	15
1 環境と生活について	17
(1) 今後の居住意向	17
(1-1) 住み続けたい理由	20
(1-2) 移りたい理由	22
(2) 生活環境について	24
(3) 生活環境全般の満足度	28
(4) 自然・周辺環境について	30
(5) 自然・周辺環境全般の満足度	34
(6) 基盤整備について	36
(7) 現在の生活の満足度	41
(8) 住生活全般の満足度	53
(9) 市民活動団体の活動の認知度	55
(10) 市民活動団体の活動への参加経験	57
(11) ボランティア活動経験	59
2 健康について	61
(1) 健康づくりに取り組むことができる環境	61
(2) 健康づくりのための運動	63
(3) 安心して受診できる医療体制	65
(4) かかりつけ医の有無	67
3 福祉について	71
(1) 安心して子育てできる環境	71
(2) お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策について	73
(3) 安心して暮らせる地域社会づくりについて	75
(4) 障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりについて	77
4 観光について	79
(1) 千葉県の魅力	79
(2) 県内で旅行に行きたいエリア	82
(3) 県内を観光する際に事前に知りたい情報	84
(4) 県内を観光するときの不満	86
(5) 県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの	88

5	千葉県の農林水産物について-----	90
	(1) 千葉県産農林水産物の購入意向 -----	90
	(2) 「ちばエコ農産物」の認知度 -----	92
	(3) 「千葉ブランド水産物」の認知度 -----	94
6	防災に関する取り組みについて-----	96
	(1) 大地震や風水害への不安 -----	96
	(2) 「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度 -----	98
	(3) 飲料水や食料の備蓄状況 -----	100
	(4) 災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度 -----	102
	(5) 地震の被害を防ぐための対策-----	104
7	地方分権について-----	106
	(1) 地方分権を今後さらに進めていくべきか否か -----	106
	(2) 「地方分権」による基準変更の認知度 -----	108
8	広報・広聴活動について-----	110
	(1) 県の施策や政策などについての関心度 -----	110
	(2) 県政に関する情報を得る手段 -----	112
	(3) 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況 -----	114
	(3-1) 「ちば県民だより」の内容について -----	116
	(4) 千葉県ホームページの利用頻度 -----	119
	(4-1) 千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ -----	121
	(5) 県の広報番組の視聴状況 -----	123
	(6) 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況 -----	125
	(7) 県の知りたい情報 -----	127
	(8) 知事への手紙などで意見を述べた経験 -----	129
	(9) 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと -----	130
	(10) 県政への意見の反映 -----	132
9	県政への要望-----	134
	(1) 県政への要望 -----	134
	(1-1) 各政策への具体的な要望 -----	139
10	自由回答-----	158
	(付) 調査票および単純集計結果 -----	169

調査の概要

調 査 の 概 要

1. 調査の目的

この調査は、県民の生活と県政の主要分野にわたる県民の関心、要望、意向などをとらえ、県政推進の基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査の項目

(1) 県民意識調査

- ①環境と生活について
- ②健康について
- ③福祉について
- ④観光について
- ⑤千葉県の農林水産物について
- ⑥防災に関する取り組みについて
- ⑦地方分権について
- ⑧広報・広聴活動について

(2) 県政への要望

3. 調査の設計

- (1) 調査地域 千葉県全域
- (2) 調査対象 満 20 歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,000 人
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出法

※層化二段無作為抽出法とは、行政単位と地域によって県内をブロックごとに分類し（層化）、各層に調査地点を人口に応じて比例配分し、国勢調査における調査区域及び住民基本台帳を利用して（二段）、各地点ごとに一定数のサンプル抽出を行うものである。

- (5) 調査方法 郵送法（郵送配付－郵送回収）
- (6) 調査時期 平成 26 年 8 月 6 日～8 月 25 日

4. 調査機関

株式会社 マーケティング・リサーチ・サービス

5. 回収結果

標本数 (A)	3,000件
総回収数 (B)	1,609件
有効回収数 (C)	1,605件
無効回収数	4件
回収率 (B / A)	53.63%
有効回収率 (C / A)	53.50%

標本抽出方法

調査対象 : 千葉県内の市町村に居住する満 20 歳以上の男女個人
 標 本 数 : 3,000 人
 地 点 数 : 市 部 193 地点
 郡 部 7 地点
 計 200 地点
 抽 出 法 : 層化二段無作為抽出法

〔層 化〕

1. 県内を、次の 11 地域に分類した。

地 域 名	該 当 市 郡 名
①千葉地域	千葉市、市原市
②葛南地域	市川市、船橋市、習志野市、八千代市、浦安市
③東葛飾地域	松戸市、野田市、柏市、流山市、我孫子市、鎌ヶ谷市
④印旛地域	成田市、佐倉市、四街道市、八街市、印西市、白井市、富里市、印旛郡
⑤香取地域	香取市、香取郡
⑥海匝地域	銚子市、旭市、匝瑳市
⑦山武地域	東金市、山武市、大網白里市、山武郡
⑧長生地域	茂原市、長生郡
⑨夷隅地域	勝浦市、いすみ市、夷隅郡
⑩安房地域	館山市、鴨川市、南房総市、安房郡
⑪君津地域	木更津市、君津市、富津市、袖ヶ浦市

2. 各地域内においては、
 さらに市部、郡部に分け、層とした。

(注) ここでいう市とは、
 平成26年4月1日現在市制施行の
 地域をさす。



[標本数の配分]

各地域・市郡規模別の層における満 20 歳以上の人口（平成 25 年 4 月 1 日現在の推定数）に対して、3,000 の標本数を比例配分した。

[抽 出]

1. 平成 22 年国勢調査時に設定された調査区を、第 1 次抽出単位となる調査単位として使用した。

2. 調査地点の抽出は、調査地点が 2 地点以上に割り当てられた層については、

$$\left[\frac{\text{層における調査区数の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} = \text{抽出間隔} \right] \text{を算出し、等間隔抽出法によって抽出した。}$$

3. 抽出に際しての各層内における市町村の配列順序は、平成 22 年国勢調査時の「標準地域コード一覧」に従った。

4. 調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）を、住民基本台帳から等間隔抽出法によって抽出した。

以上の結果、各地域・市郡別（層別）の標本数・調査地点数は、次のとおりである。

地域 \ 市郡	市部	郡部	計
①千葉地域	1,016,645 593 40	0 0 0	1,016,645 593 40
②葛南地域	1,310,949 765 50	0 0 0	1,310,949 765 50
③東葛飾地域	1,198,781 699 47	0 0 0	1,198,781 699 47
④印旛地域	554,320 323 22	37,032 22 1	591,352 345 23
⑤香取地域	70,073 41 3	31,902 19 1	101,975 60 4
⑥海匝地域	148,993 87 6	0 0 0	148,993 87 6
⑦山武地域	139,738 82 5	43,509 25 2	183,247 107 7
⑧長生地域	77,422 45 3	54,442 32 2	131,864 77 5
⑨夷隅地域	52,825 31 2	15,984 9 1	68,809 40 3
⑩安房地域	108,541 63 4	7,775 5 0	116,316 68 4
⑪君津地域	272,771 159 11	0 0 0	272,771 159 11
計	4,951,058 2,888 193	190,644 112 7	5,141,702 3,000 200

（注）上段は満 20 歳以上の人口（平成 25 年 4 月 1 日現在）、中段は標本数、下段は調査地点数である。

調査地点一覧

地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
①千葉地域	千葉市中央区祐光2丁目	15	②葛南地域	市原市有秋台東2丁目	15
	千葉市中央区椿森4丁目	15		市原市岩崎／岩崎1丁目／岩崎2丁目	15
	千葉市中央区大森町(260～263番地)	15		市原市中高根	15
	千葉市中央区白旗1丁目	15		市川市南八幡1丁目	15
	千葉市中央区浜野町	15		市川市鬼高2丁目	15
	千葉市中央区大森町(354～360番地)	15		市川市新田3丁目	15
	千葉市中央区寒川町2丁目	15		市川市宮久保5丁目	15
	千葉市花見川区検見川町5丁目	15		市川市田尻5丁目	15
	千葉市花見川区幕張町6丁目	15		市川市市川南3丁目	15
	千葉市花見川区朝日ヶ丘1丁目	15		市川市市川2丁目	15
	千葉市花見川区幕張本郷2丁目	15		市川市南大野1丁目	15
	千葉市花見川区さつきが丘1丁目	15		市川市国府台1丁目	15
	千葉市花見川区犢橋町	15		市川市大町	15
	千葉市稲毛区天台5丁目	15		市川市国府台4丁目	15
	千葉市稲毛区緑町1丁目	15		市川市末広2丁目	15
	千葉市稲毛区園生町	15		市川市南行徳1丁目	15
	千葉市稲毛区稲毛町5丁目	15		市川市欠真間2丁目	15
	千葉市稲毛区柏台	15		市川市相之川2丁目	15
	千葉市若葉区桜木北2丁目	15		市川市平田2丁目	15
	千葉市若葉区西都賀2丁目	15		船橋市本町6丁目	15
	千葉市若葉区貝塚町	15		船橋市宮本7丁目	15
	千葉市若葉区小倉台3丁目	15		船橋市海神町南1丁目	15
	千葉市若葉区大宮台2丁目	15		船橋市本中山4丁目	15
	千葉市緑区おゆみ野中央8丁目	15		船橋市海神4丁目	15
	千葉市緑区大膳野町	15		船橋市夏見6丁目	15
	千葉市緑区あすみが丘3丁目	15		船橋市前貝塚町	15
	千葉市美浜区真砂5丁目	15		船橋市行田3丁目	15
	千葉市美浜区真砂3丁目	15		船橋市丸山4丁目	15
	千葉市美浜区稲毛海岸4丁目	15		船橋市咲が丘4丁目	15
	千葉市美浜区高洲3丁目	15		船橋市大穴南1丁目／大穴南2丁目	15
	市原市国分寺台中央3丁目	15		船橋市芝山3丁目	15
	市原市村上／西広／権現堂	15		船橋市三山1丁目	15
	市原市辰巳台西2丁目	15		船橋市前原西2丁目	15
	市原市海保	15		船橋市楠が山町	15
	市原市千種2丁目	15		船橋市習志野台6丁目	15
	市原市君塚3丁目	15		船橋市飯山満町3丁目	15
	市原市古市場	15		船橋市薬円台5丁目	15

地域	調 査 地 点 名	標 本 数	地域	調 査 地 点 名	標 本 数
② 葛南地域	習志野市袖ヶ浦1丁目	15	③ 東葛飾地域	野田市目吹／金杉	15
	習志野市秋津1丁目	15		柏市東2丁目	15
	習志野市谷津1丁目	15		柏市豊四季台4丁目	15
	習志野市屋敷2丁目	15		柏市柏	15
	習志野市東習志野4丁目	15		柏市永楽台3丁目	15
	八千代市大和田新田(513番地)	15		柏市篠籠田	15
	八千代市大和田新田(452番地, 453番地)	15		柏市松葉町7丁目	15
	八千代市米本団地米本団地4街区	15		柏市増尾2丁目	15
	八千代市下市場1丁目	15		柏市南増尾4丁目	15
	八千代市八千代台北15丁目	15		柏市東中新宿4丁目	15
	八千代市八千代台北5丁目	15		柏市西原1丁目	15
	浦安市北栄1丁目	15		柏市布施	15
	浦安市富士見4丁目	15		柏市高柳	15
	浦安市富士見3丁目	15		流山市松ヶ丘2丁目	15
	浦安市堀江3丁目	15		流山市大字西平井	15
	浦安市今川2丁目	15		流山市加5丁目	15
③ 東葛飾地域	松戸市上本郷(2677番地)	15		流山市大字中野久木	15
	松戸市松戸	15		流山市江戸川台東4丁目／こうのす台	15
	松戸市上本郷(364番地)	15		我孫子市寿2丁目	15
	松戸市稔台	15		我孫子市つくし野7丁目	15
	松戸市中矢切／下矢切	15		我孫子市下ヶ戸	15
	松戸市栄町5丁目	15		我孫子市布佐	15
	松戸市常盤平2丁目	15		鎌ヶ谷市中央2丁目	15
	松戸市牧の原2丁目	15		鎌ヶ谷市北中沢3丁目	15
	松戸市西馬橋蔵元町	15		鎌ヶ谷市東道野辺6丁目	15
	松戸市新松戸南1丁目	15		鎌ヶ谷市鎌ヶ谷6丁目／鎌ヶ谷7丁目	15
	松戸市馬橋	15	④ 印旛地域	成田市不動ヶ岡	15
	松戸市五香2丁目／五香3丁目	15		成田市幸町	15
	松戸市秋山	15		成田市美郷台3丁目	15
	松戸市小金	15		成田市御所の内	15
	松戸市六実5丁目	15		成田市三里塚御料	15
	松戸市新松戸2丁目	15		佐倉市宮前3丁目	15
	松戸市小金原7丁目	15		佐倉市江原台2丁目	15
	野田市みずき1丁目	15		佐倉市臼井田／臼井	15
	野田市野田	15		佐倉市井野	15
	野田市七光台	15		佐倉市西志津3丁目／西志津5丁目	15
	野田市古布内	15		四街道市和良比	15

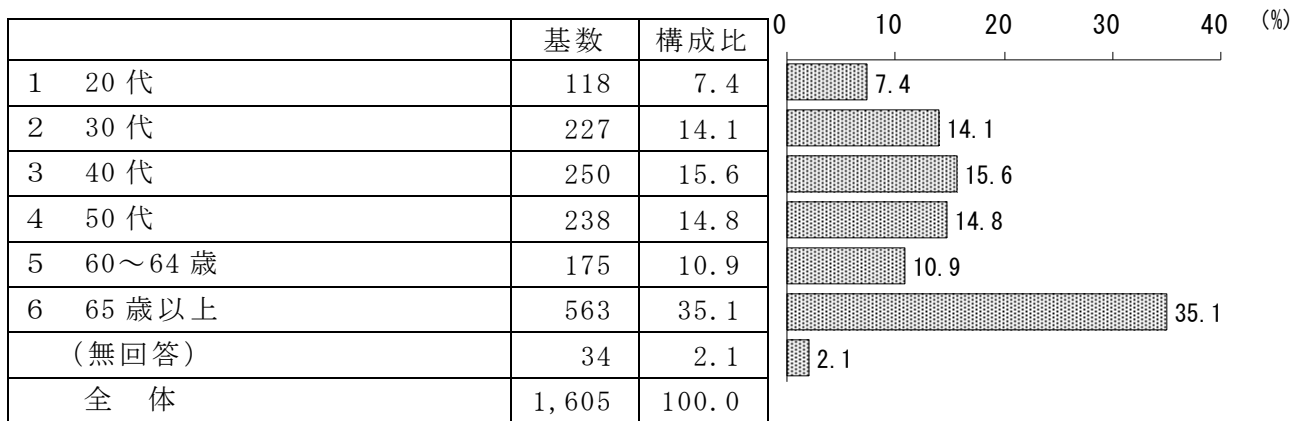
地域	調査地点名	標本数	地域	調査地点名	標本数
④ 印旛地域	四街道市四街道	15	⑨ 夷隅地域	勝浦市勝浦／浜勝浦	15
	四街道市栗山	15		いすみ市大原	15
	八街市八街い	15		夷隅郡御宿町岩和田	15
	八街市朝日	15	⑩ 安房地域	館山市古茂口	15
	印西市大森	15		館山市沼	15
	印西市原山2丁目	15		鴨川市横渚	15
	印西市高花1丁目	15		南房総市沓見	15
	白井市笹塚3丁目	15	⑪ 君津地域	木更津市新田2丁目	15
	白井市池の上1丁目	15		木更津市大久保2丁目	15
	富里市根木名	15		木更津市畑沢南4丁目	15
	富里市日吉台4丁目	15		木更津市中島	15
	印旛郡栄町安食仲町	15		君津市人見2丁目	15
⑤ 香取地域	香取市佐原イ	15		君津市郡	15
	香取市佐原イ／新部	15		君津市鹿野山	15
	香取市下飯田	15		富津市二間塚	15
	香取郡神崎町植房	15		富津市大堀1丁目	15
⑥ 海匝地域	銚子市黒生町	15		袖ヶ浦市今井3丁目	15
	銚子市前宿町	15		袖ヶ浦市久保田	15
	銚子市長塚町4丁目／長塚町5丁目	15			
	旭市西足洗	15			
	旭市平松／行内	15			
	匝瑳市八日市場ホ	15			
⑦ 山武地域	東金市田間	15			
	東金市極楽寺	15			
	山武市戸田	15			
	山武市成東	15			
	大網白里市木崎	15			
	山武郡九十九里町小関	15			
	山武郡横芝光町屋形	15			
⑧ 長生地域	茂原市早野	15			
	茂原市道表	15			
	茂原市南吉田	15			
	長生郡一宮町東浪見	15			
	長生郡長南町千手堂の全域	15			

回答者の属性

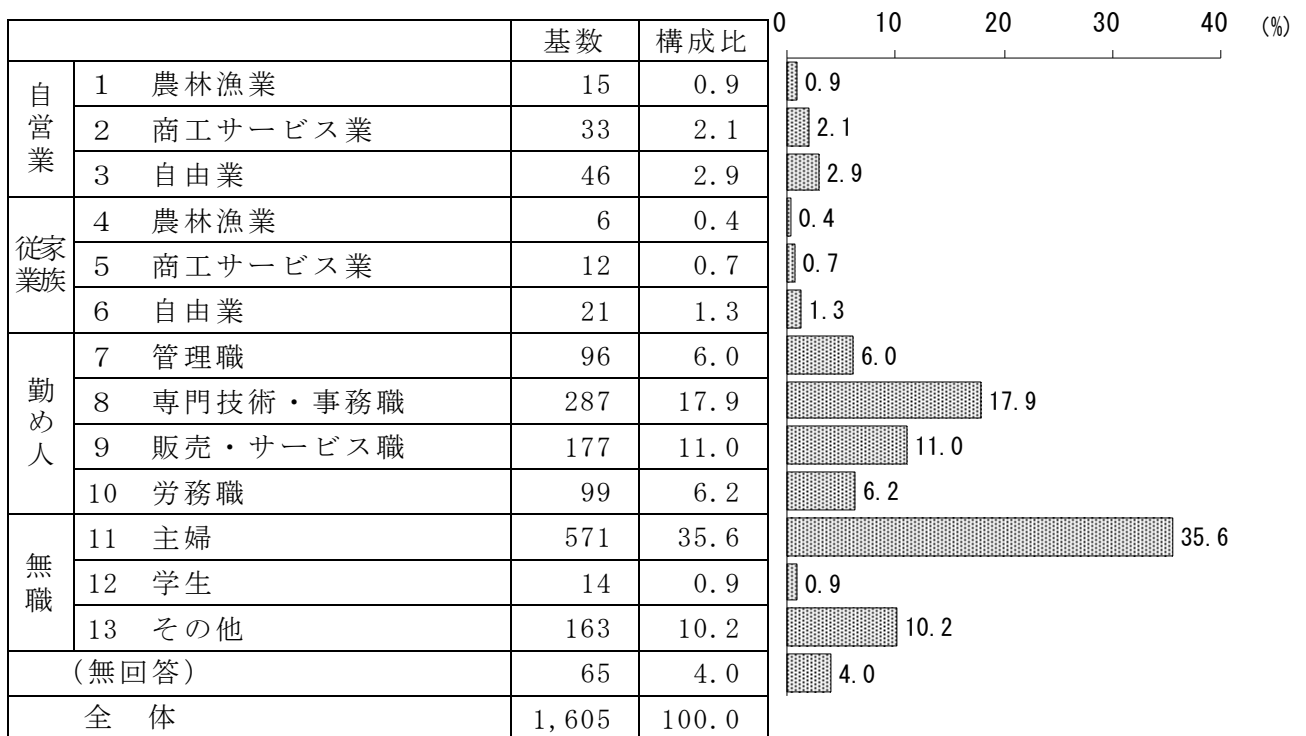
1. 性



2. 年 代



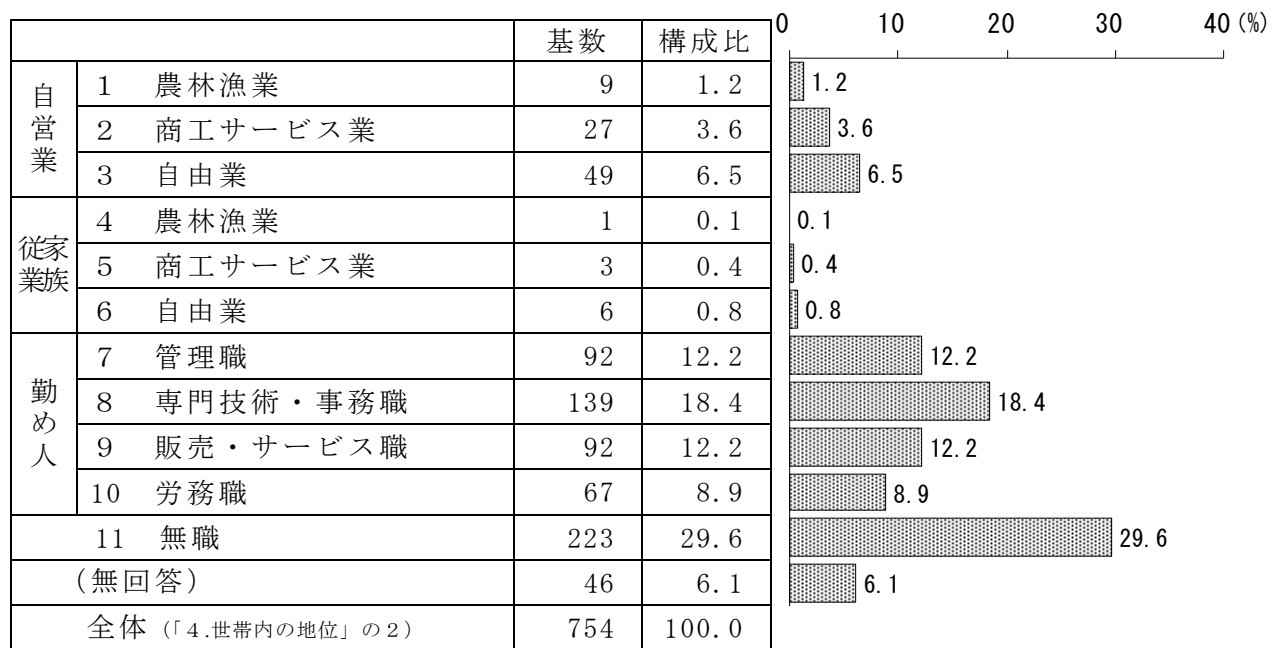
3. 本人職業



4. 世帯内の地位



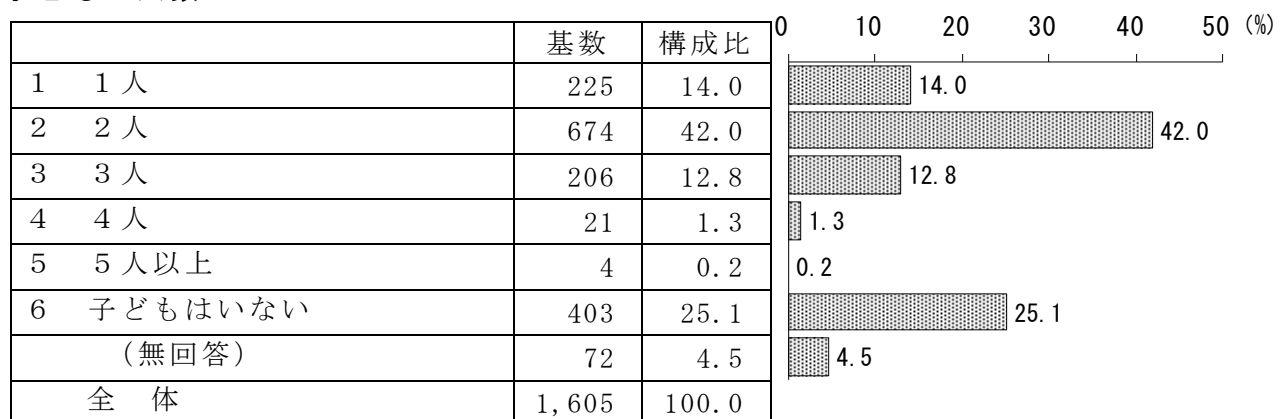
5. 世帯主職業



6. 未既婚

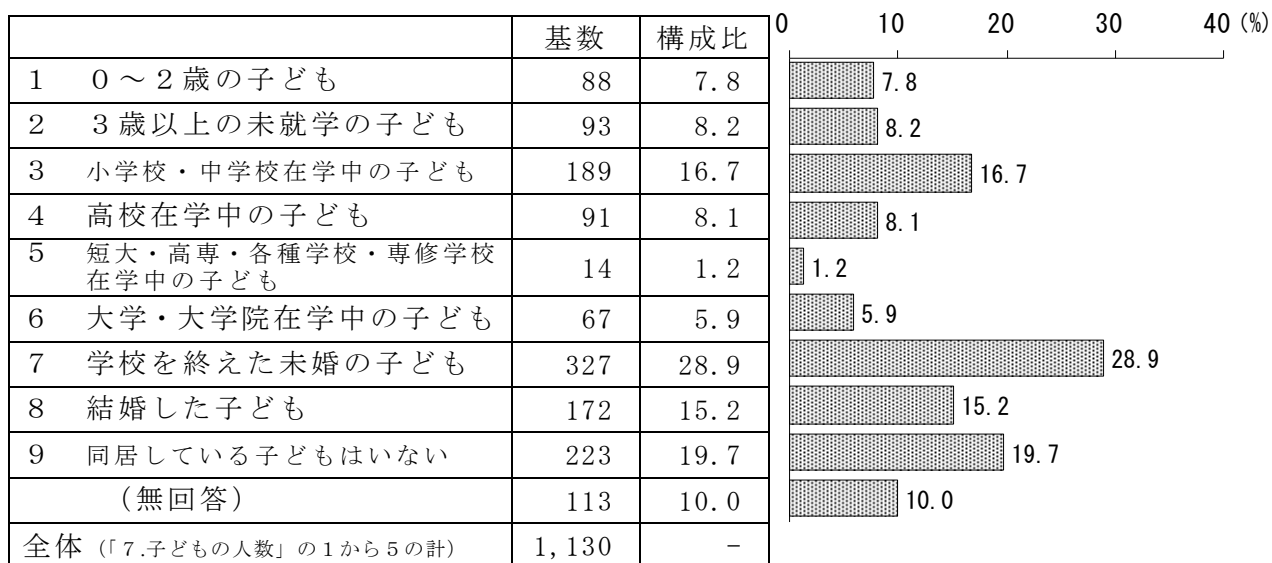


7. 子どもの人数

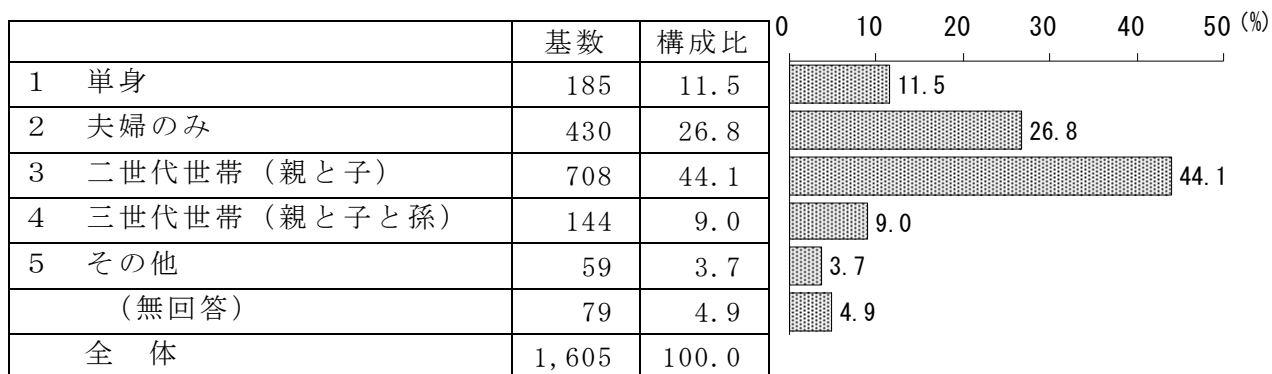


8. 子どもの成長段階

※1人の回答者が複数回答で行う設問であるため、基数・構成比ともに選択項目の合計が全体数を上回る。



9. 家族構成



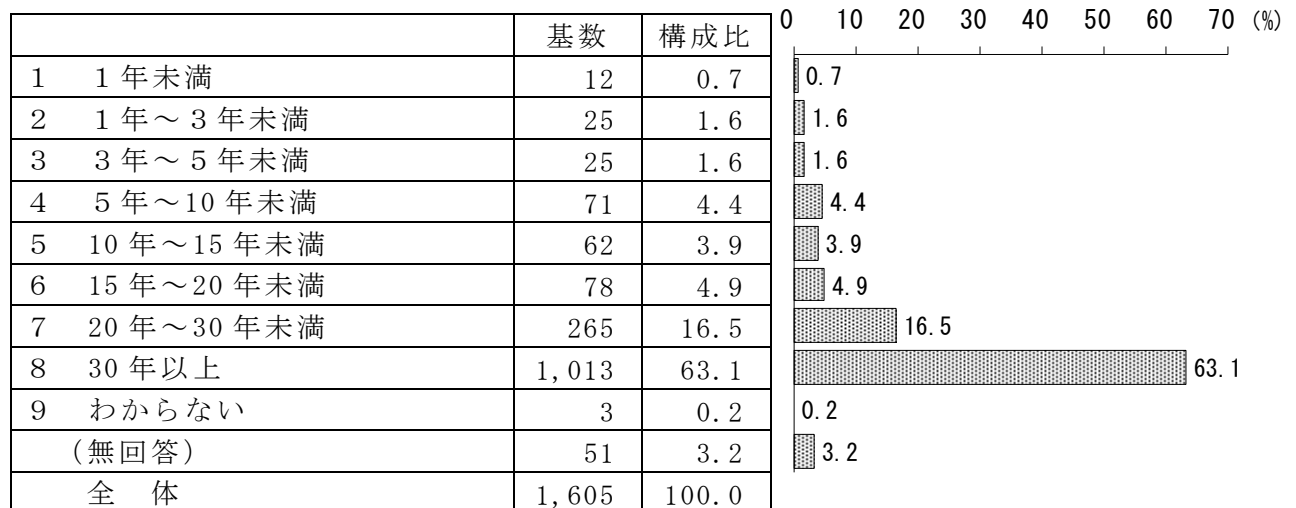
10. 高齢者の同居の有無



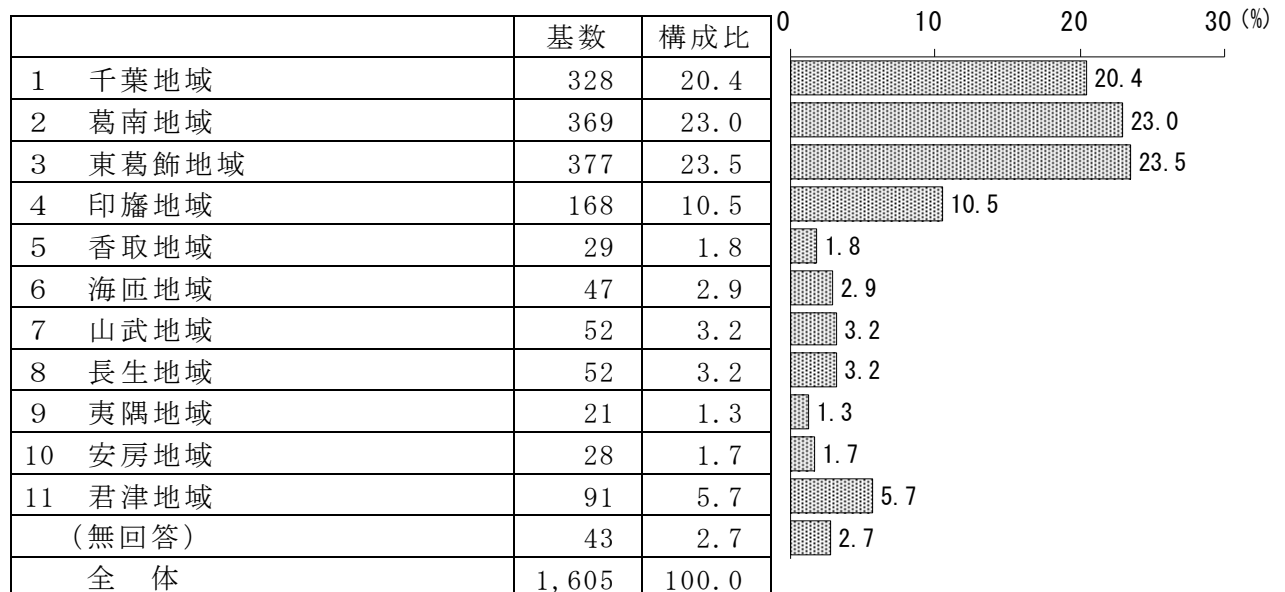
11. 住 宅



12. 県内居住年数



13. 地 域



(報告書の見方)

本報告書を読む際に、次の点に留意してください。

- (1) 比率はすべて百分比で表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。このために、百分比の合計が100%にならないことがある。
- (2) 基数となるべき実数はnとして掲載した。その比率は件数を100%として算出した。
- (3) 1人の回答者が複数回答で行う設問では、その比率の合計が100%を上回ることがある。
- (4) 前回調査の設問から、分かりやすく実態に合わせたものにするため、表現等を変更したものがある。
- (5) この調査の標本誤差は次の式によって得られる。但し、信頼度を95%とする。

$$b = 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(1-P)}{n}}$$

b = 標本誤差
 N = 母集団数
 n = 比率算出の基数 (サンプル数)
 P = 回答比率

次に、本調査の標本誤差の早見表をあげる。

回答比率 (P)		10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
基数 (n)						
総 数	1,605 人	± 2.12%	± 2.82%	± 3.23%	± 3.46%	± 3.53%
千葉地域	328	± 4.68%	± 6.25%	± 7.16%	± 7.65%	± 7.81%
葛南地域	369	± 4.42%	± 5.89%	± 6.75%	± 7.21%	± 7.36%
東葛飾地域	377	± 4.37%	± 5.83%	± 6.67%	± 7.14%	± 7.28%
印旛地域	168	± 6.55%	± 8.73%	± 10.00%	± 10.69%	± 10.91%
香取地域	29	± 15.75%	± 21.01%	± 24.07%	± 25.73%	± 26.26%
海匝地域	47	± 12.38%	± 16.50%	± 18.90%	± 20.21%	± 20.63%
山武地域	52	± 11.77%	± 15.69%	± 17.97%	± 19.21%	± 19.61%
長生地域	52	± 11.76%	± 15.69%	± 17.97%	± 19.21%	± 19.61%
夷隅地域	21	± 18.51%	± 24.68%	± 28.28%	± 30.23%	± 30.86%
安房地域	28	± 16.03%	± 21.38%	± 24.49%	± 26.18%	± 26.72%
君津地域	91	± 8.89%	± 11.86%	± 13.59%	± 14.52%	± 14.82%
男 性	672	± 3.27%	± 4.36%	± 5.00%	± 5.34%	± 5.45%
女 性	902	± 2.82%	± 3.77%	± 4.31%	± 4.61%	± 4.71%

調 査 の 結 果

調査結果の解説

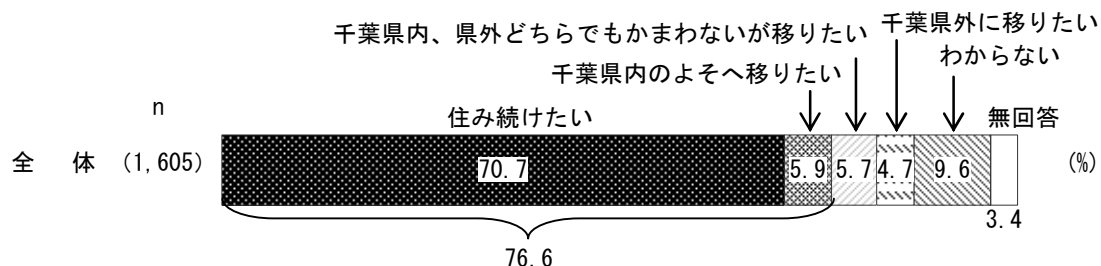
1 環境と生活について

(1) 今後の居留意向

◇「住み続けたい」が7割

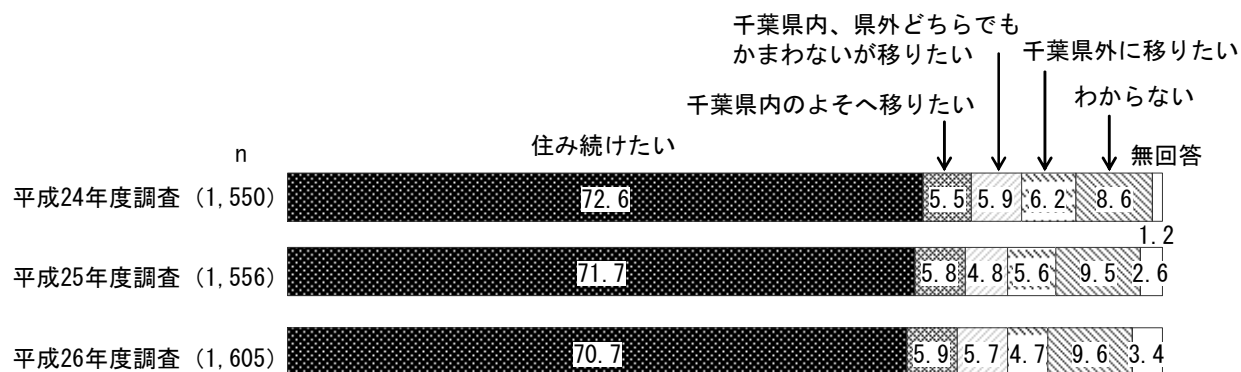
問1 あなたは、現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

<図表1-1>今後の居留意向



現在お住まいの地域の今後の居留意向を聞いたところ、「住み続けたい」(70.7%)は7割、「千葉県内のよそへ移りたい」(5.9%)を合わせた『千葉県内に住み続けたい』(76.6%)は7割台半ばである。一方、「千葉県外に移りたい」は4.7%となっている。(図表1-1)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



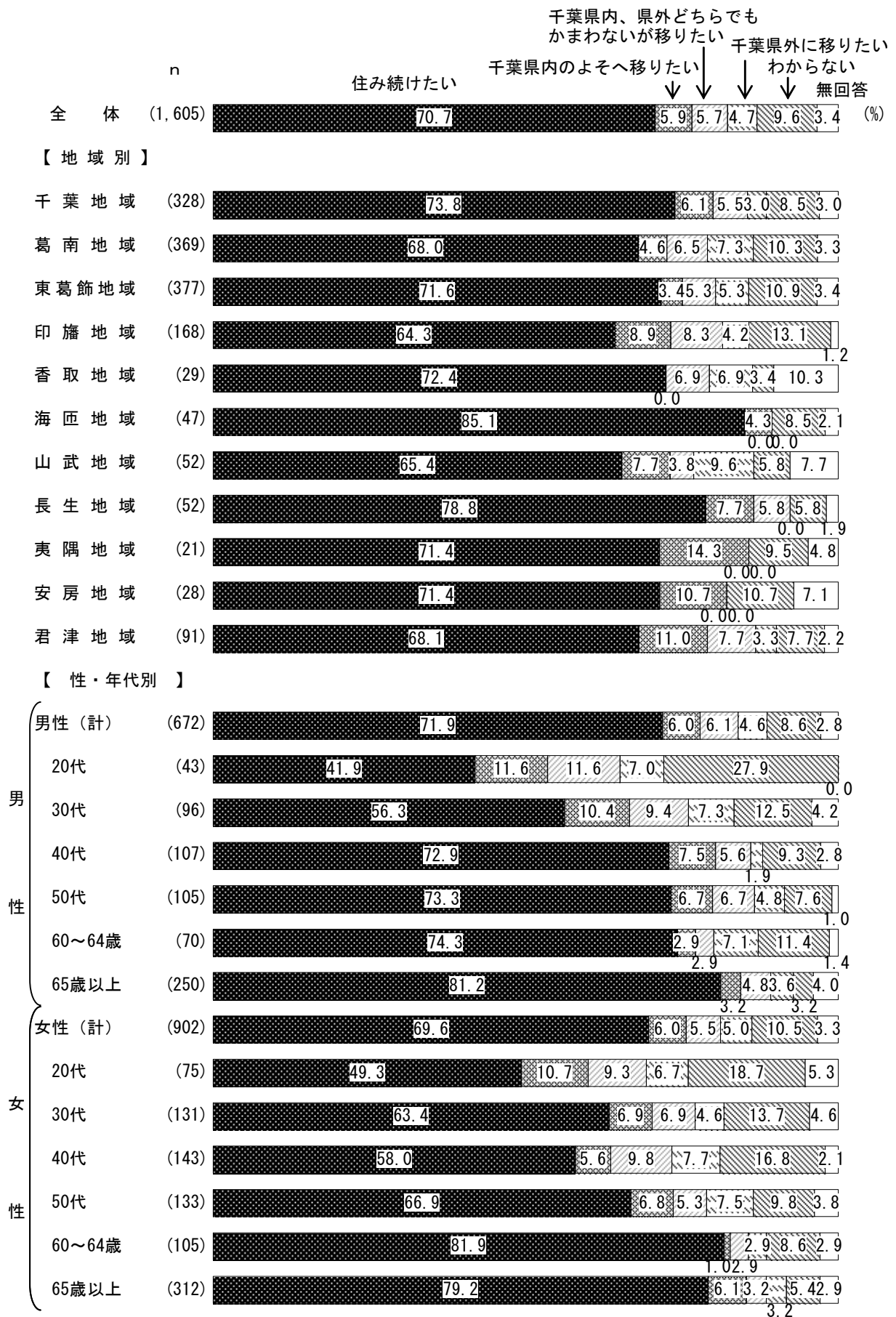
【地域別】

地域別にみると、「住み続けたい」は“海匝地域”(85.1%)が8割台半ばで最も高く、“長生地域”(78.8%)が約8割、“千葉地域”(73.8%)が7割台半ばで続いている。(図表1-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「住み続けたい」は男性の65歳以上(81.2%)と女性の60~64歳(81.9%)が8割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表1-2)

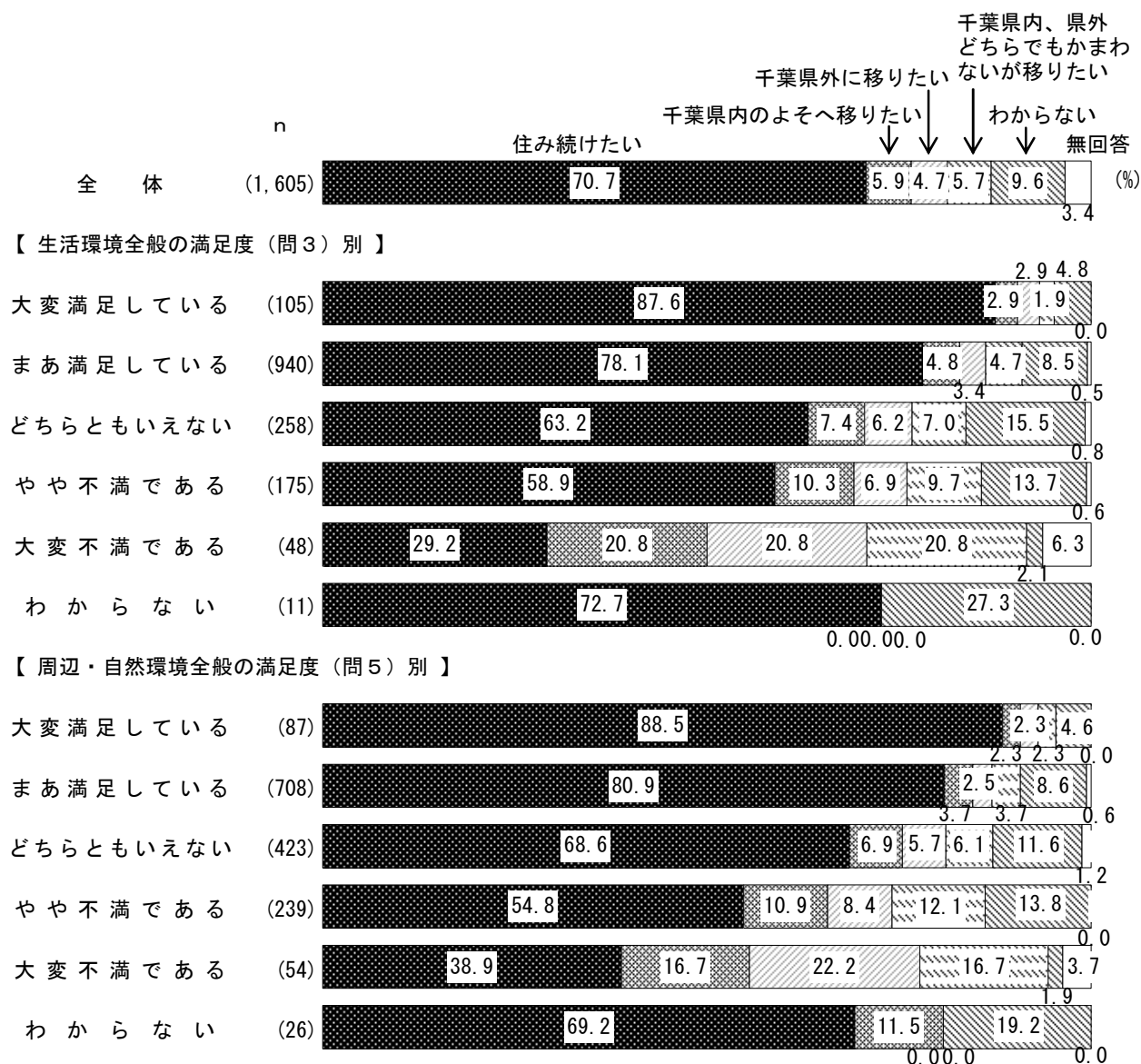
＜図表１－２＞今後の居住意向／地域別、性・年代別



<今後の居住意向と各環境の満足度>

居住意向について、今回の調査における、問3「生活環境全般の満足度」と問5「周辺・自然環境全般の満足度」の設問間のクロス集計を行ったところ、生活環境全般の満足度、周辺・自然環境全般の満足度が高いほど、「住み続けたい」という回答の割合が高くなる傾向にある。(図表1-3)

<図表1-3>今後の居住意向と各環境の満足度



(1-1) 住み続けたい理由

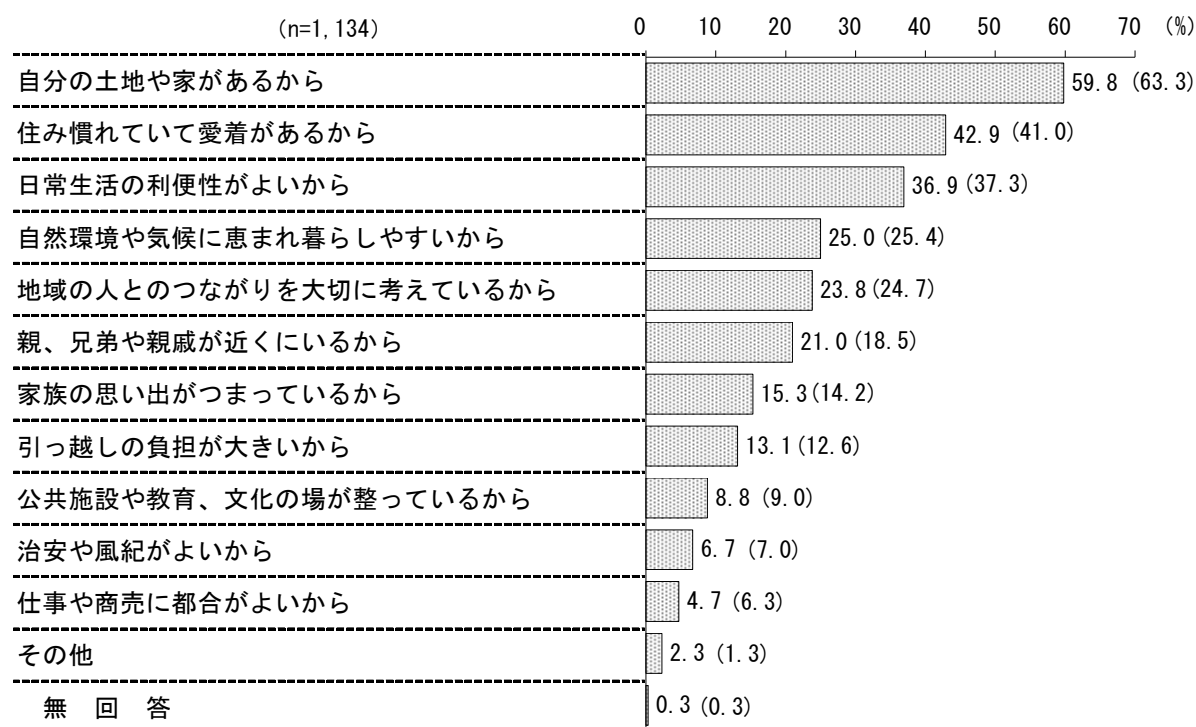
◇「自分の土地や家があるから」が約6割

(問1で「住み続けたい」とお答えの方に)

問1-1 あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

(〇は3つまで)

<図表1-4> 住み続けたい理由 (複数回答)



注) () の数字は平成25年度の同様の項目による調査結果 n = 1,116

「住み続けたい」と回答した1,134人を対象に、住み続けたい理由を3つまで選んでもらったところ、「自分の土地や家があるから」(59.8%)が約6割で最も多く、以下、「住み慣れていて愛着があるから」(42.9%)、「日常生活の利便性がよいから」(36.9%)が続く。(図表1-4)

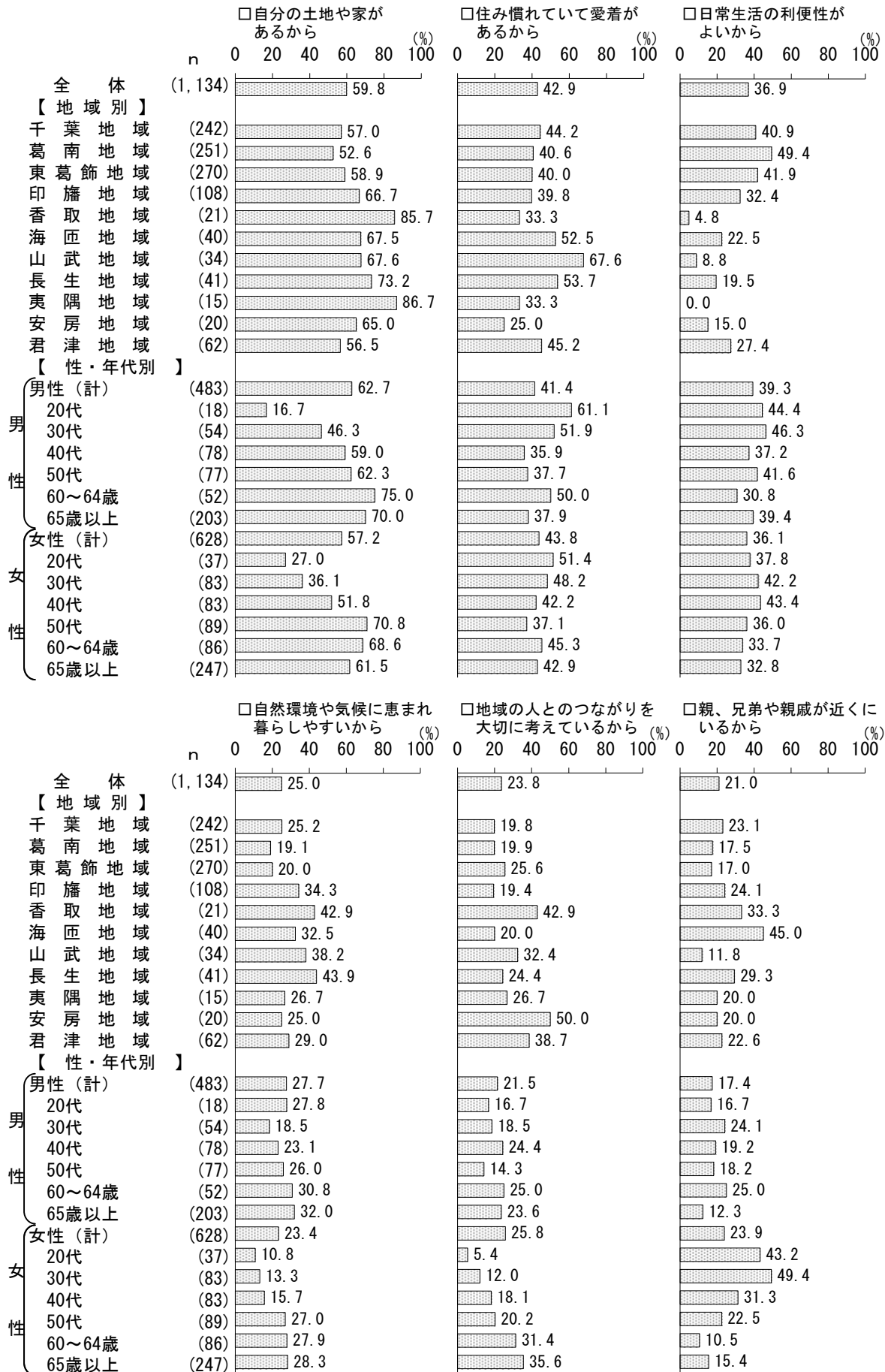
【地域別】

地域別にみると、「自分の土地や家があるから」は“夷隅地域”(86.7%)、“香取地域”(85.7%)が8割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。「住み慣れていて愛着があるから」は“山武地域”(67.6%)が約7割、「日常生活の利便性がよいから」は“葛南地域”(49.4%)が約5割で他の地域に比べて高くなっている。(図表1-5)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「自分の土地や家があるから」は男性の60～64歳(75.0%)が7割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。「住み慣れていて愛着があるから」は男性の20代(61.1%)が6割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表1-5)

<図表 1-5> 住みたい理由／地域別、性・年代別（上位 6 項目）



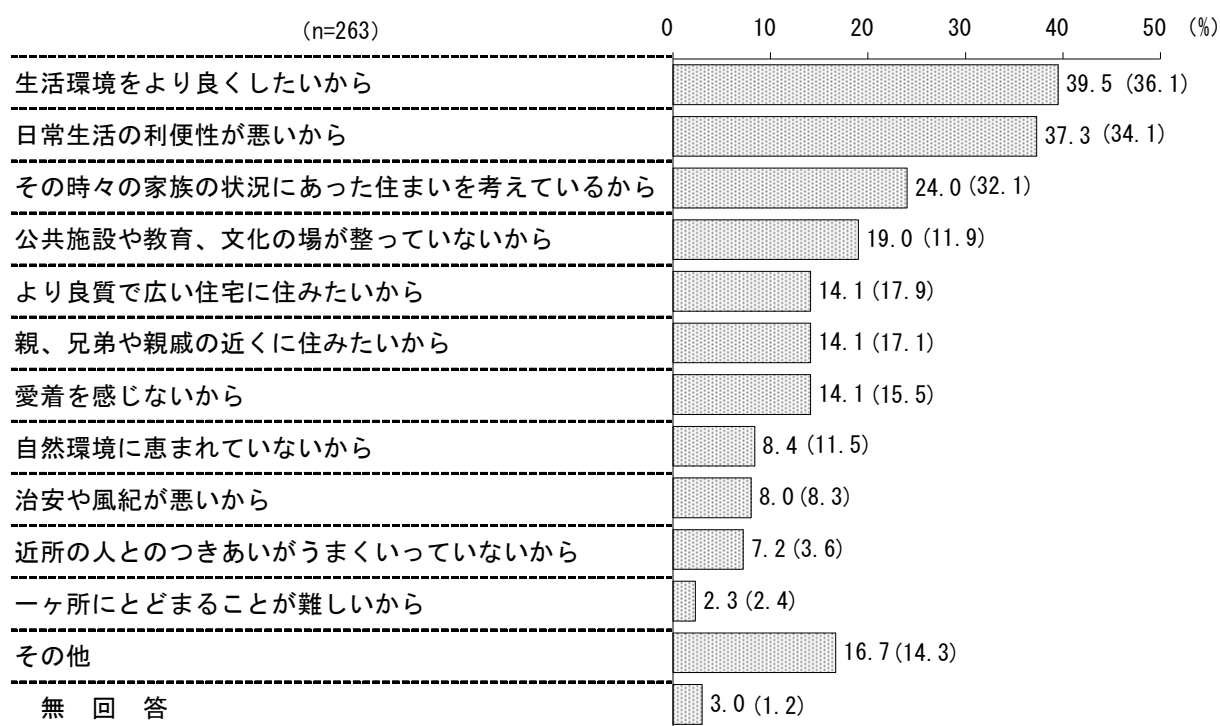
(1-2) 移りたい理由

◇「生活環境をより良くしたいから」が約4割

(問1で「千葉県内のよそへ移りたい」「千葉県外に移りたい」「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」のいずれかをお答えの方に)

問1-2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。(〇は3つまで)

<図表1-6>移りたい理由(複数回答)



注) () の数字は平成25年度の同様の項目による調査結果 n=252

「千葉県内のよそへ移りたい」、「千葉県外に移りたい」、「千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい」と回答した263人を対象に、移りたい理由を3つまで選んでもらったところ、「生活環境をより良くしたいから」(39.5%)が約4割と最も高く、以下、「日常生活の利便性が悪いから」(37.3%)、「その時々家族の状況にあった住まいを考えているから」(24.0%)が続く。(図表1-6)

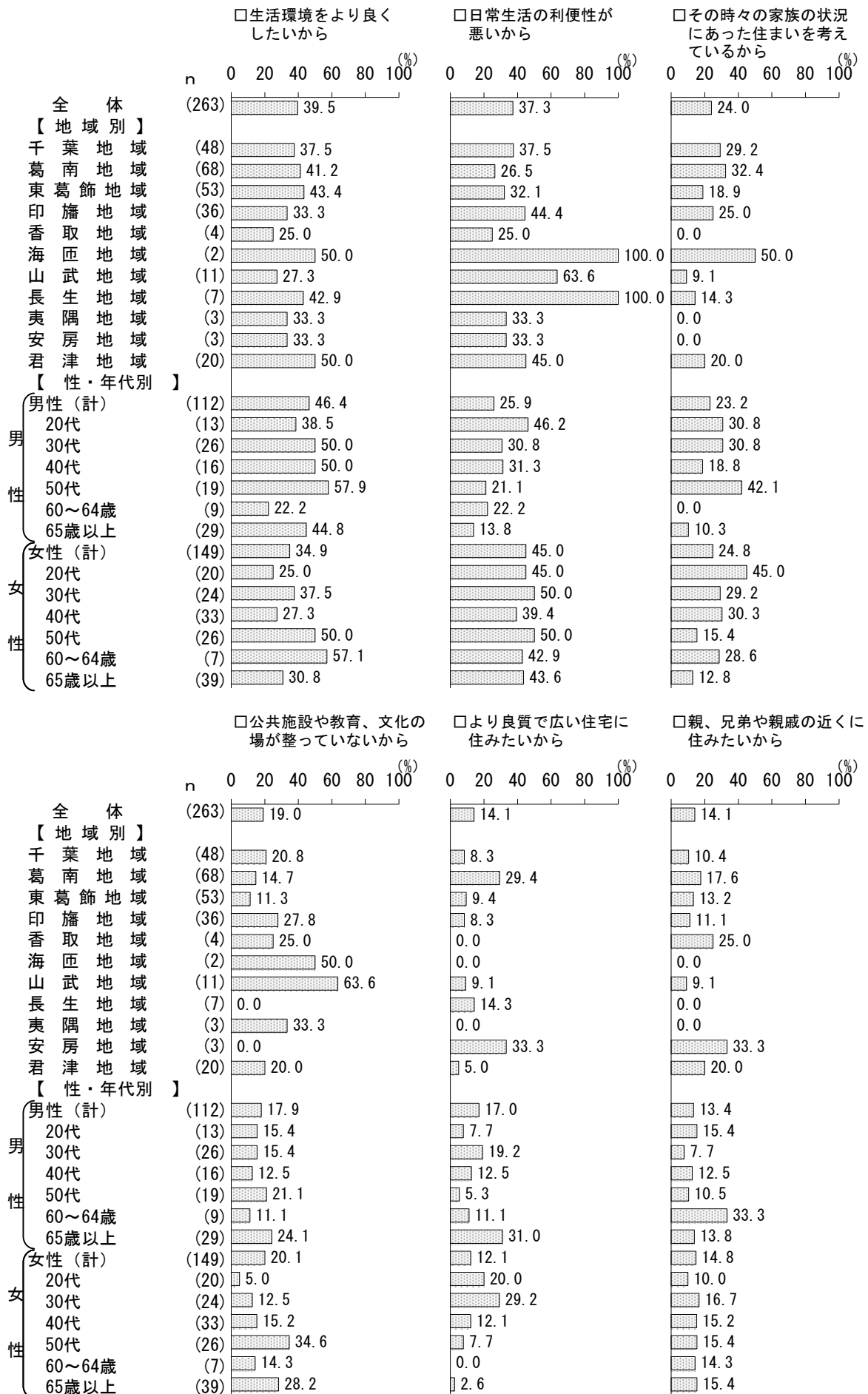
【地域別】

地域別にみると、「生活環境をより良くしたいから」は“君津地域”(50.0%)が5割、“東葛飾地域”(43.4%)が4割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表1-7)

【性・年代別】

性別にみると、「生活環境をより良くしたいから」は男性の方が高くなっている。(図表1-7)

<図表 1-7>移りたい理由／地域別、性・年代別（上位6項目）



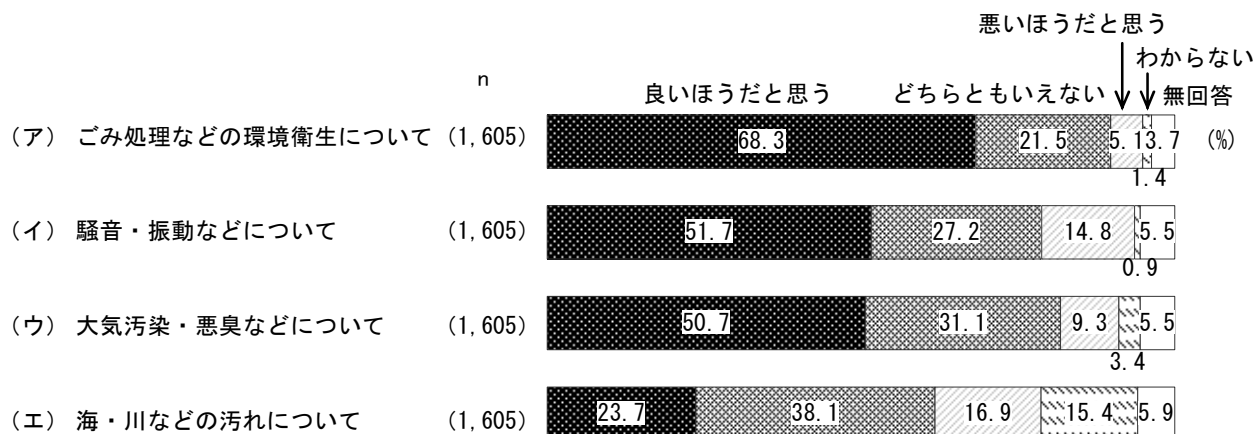
(2) 生活環境について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈ごみ処理などの環境衛生について〉で約7割

問2 あなたは、現在お住まいの地域の生活環境についてどう思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

＜図表1－8＞生活環境について



生活環境に関する4つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈ごみ処理などの環境衛生について〉(68.3%)で約7割、以下〈騒音・振動などについて〉(51.7%)、〈大気汚染・悪臭などについて〉(50.7%)が5割となっている。一方、〈海・川などの汚れについて〉は、「良いほうだと思う」(23.7%)と「悪いほうだと思う」(16.9%)の差がわずかとなっている。(図表1－8)

【地域別】

地域別にみると、〈ごみ処理などの環境衛生について〉において、「良いほうだと思う」は、“君津地域”(76.9%)、“葛南地域”(74.0%)が7割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。〈騒音・振動などについて〉においては、“長生地域”(61.5%)、“安房地域”(60.7%)が6割を超えて高くなっている。〈大気汚染・悪臭などについて〉においては、“安房地域”(75.0%)が7割台半ば、〈海・川などの汚れについて〉においても、“安房地域”(50.0%)が5割と他の地域に比べて高くなっている。(図表1－9)

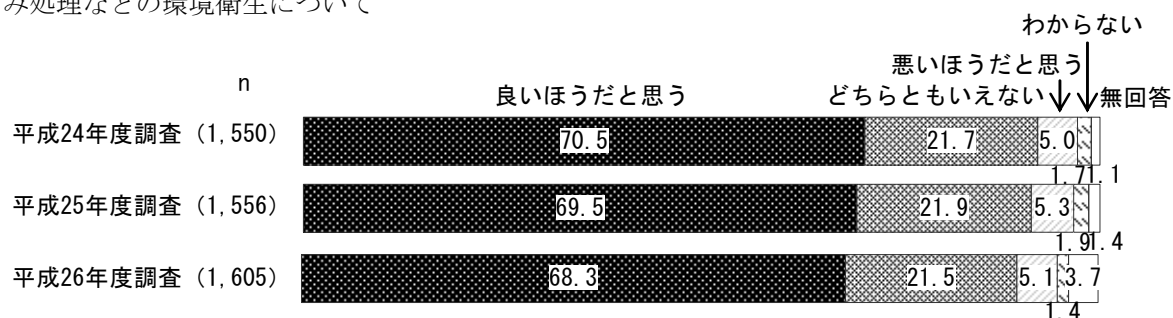
【性・年代別】

性・年代別にみると、〈ごみ処理などの環境衛生について〉において、「良いほうだと思う」は男性の60～64歳(75.7%)、男性の65歳以上(74.8%)、女性の60～64歳(75.2%)、女性の65歳以上(74.7%)が7割台半ばで、他の年代に比べて高くなっている。〈騒音・振動などについて〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上(59.2%)と女性の50代(58.6%)が約6割となっている。

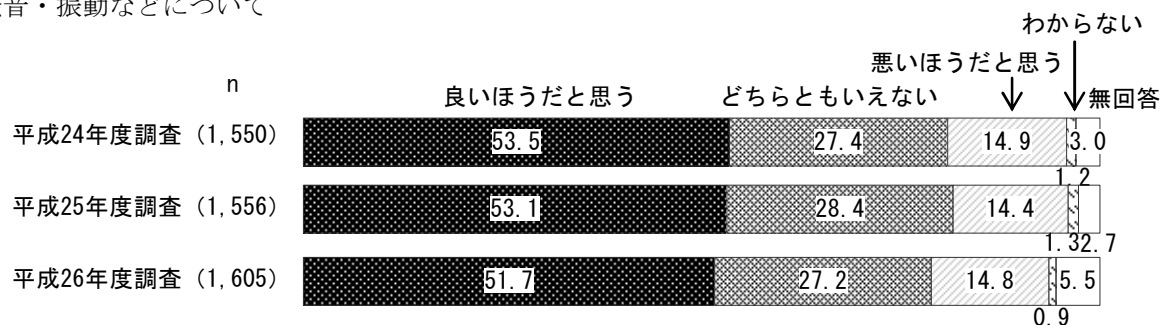
〈海・川などの汚れについて〉において、「悪いほうだと思う」は男性の20代(30.2%)が3割、女性の20代(33.3%)が3割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表1－9)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較 （単位：％）

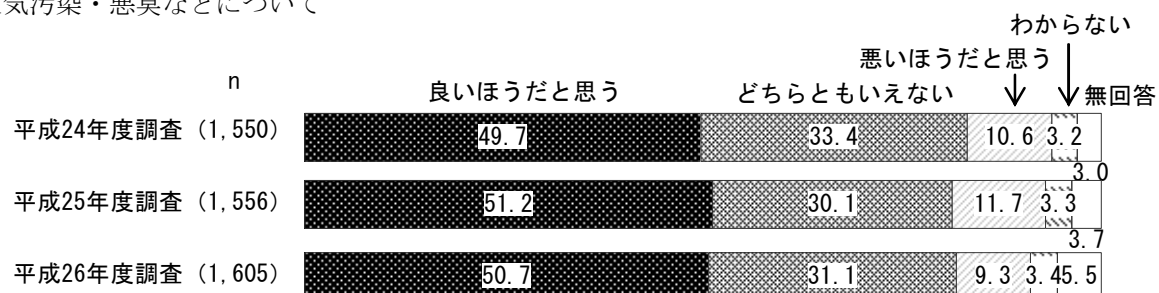
（ア）ごみ処理などの環境衛生について



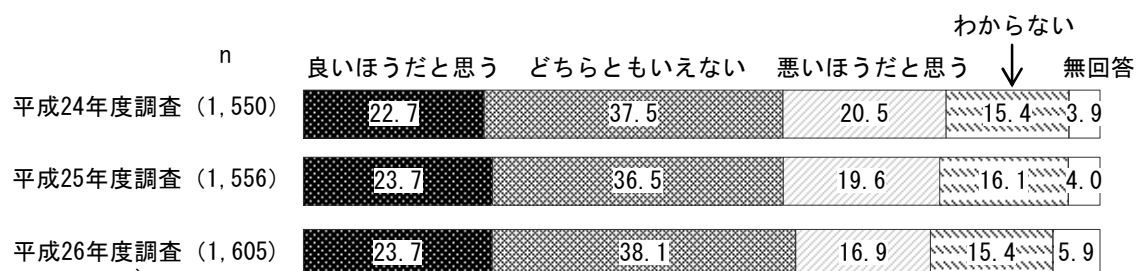
（イ）騒音・振動などについて



（ウ）大気汚染・悪臭などについて

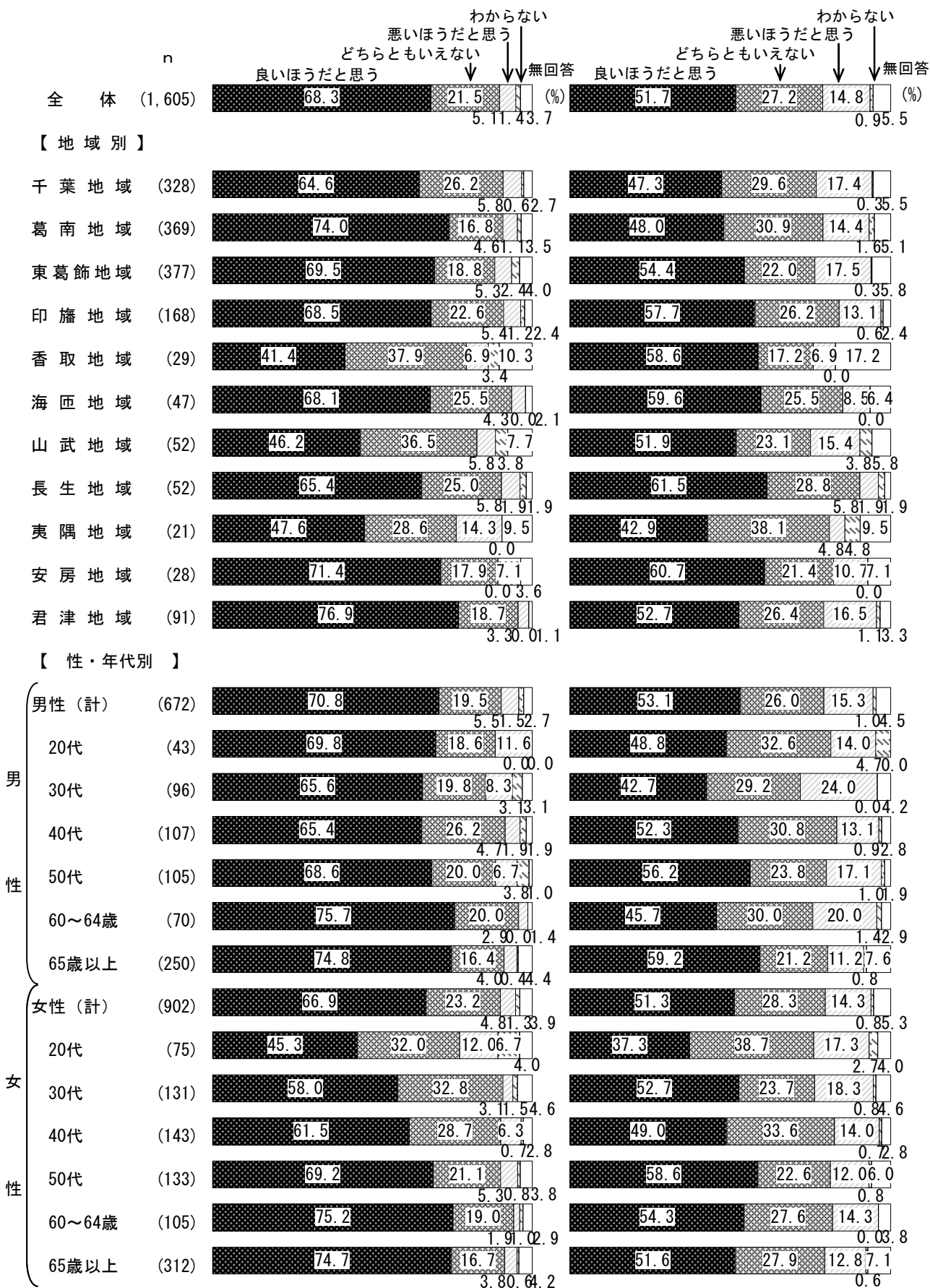


（エ）海・川などの汚れについて



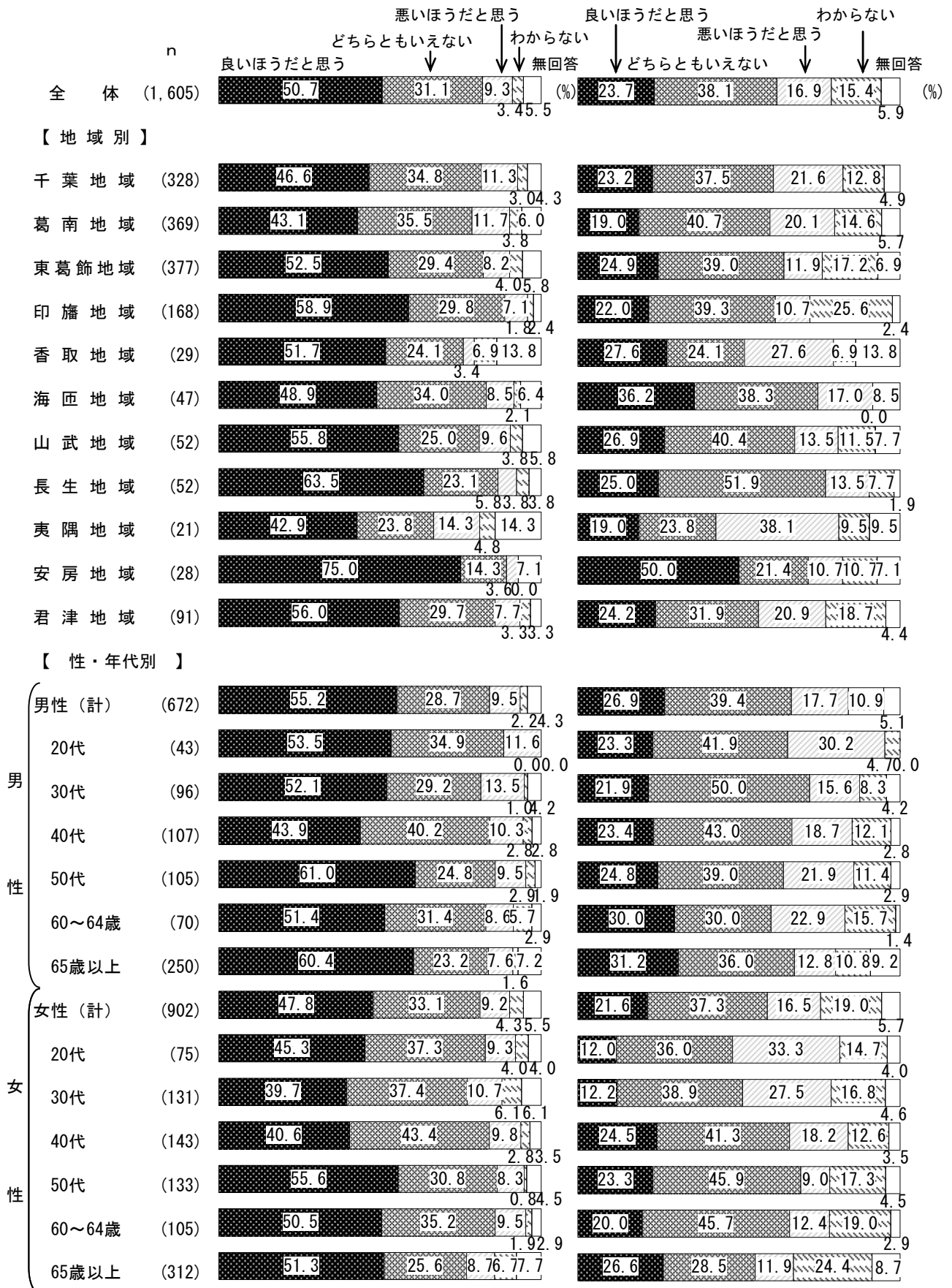
<図表 1-9> 生活環境について／地域別、性・年代別

(ア) ごみ処理などの環境衛生について (イ) 騒音・振動などについて



(ウ) 大気汚染・悪臭などについて

(エ) 海・川などの汚れについて

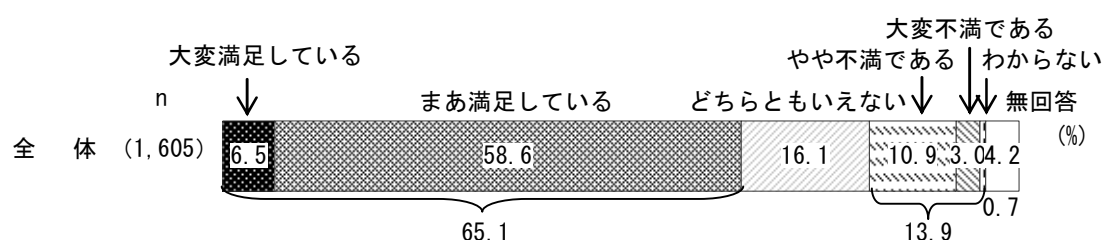


(3) 生活環境全般の満足度

◇『満足している』は6割台半ば

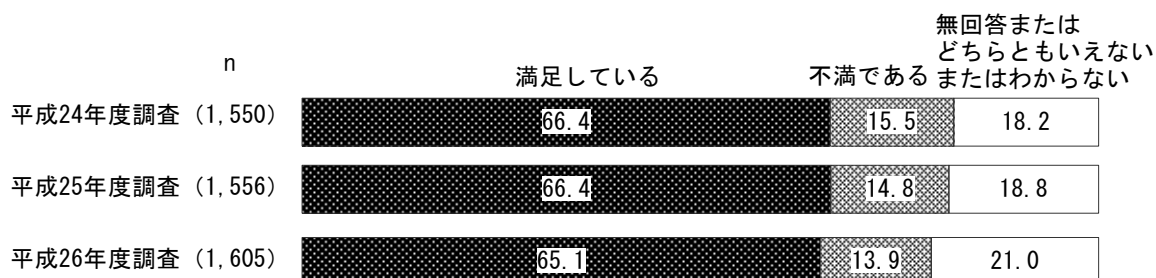
問3 あなたは、問2の(ア)～(エ)のような生活環境全般について満足していますか。
(○は1つ)

<図表1-10>生活環境全般の満足度



生活環境全般に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(6.5%)と「まあ満足している」(58.6%)を合わせた『満足している』(65.1%)は6割台半ばとなっている。一方、「やや不満である」(10.9%)と「大変不満である」(3.0%)を合わせた『不満である』(13.9%)は1割台半ばとなっている。(図表1-10)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



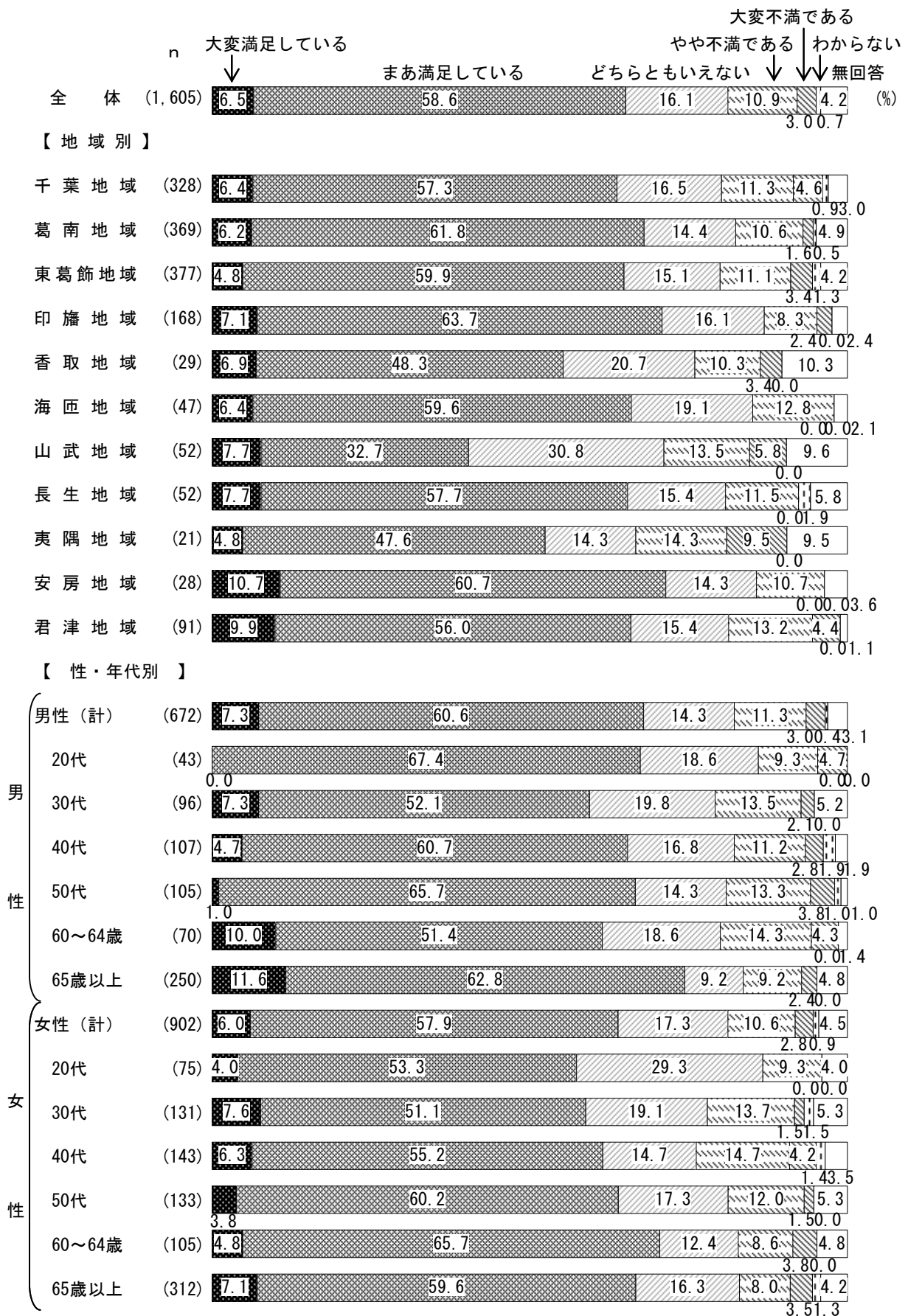
【地域別】

地域別にみると、『満足している』は、“安房地域”(71.4%)が7割を超え、“印旛地域”(70.8%)が7割と他の地域に比べて高くなっている。一方、“山武地域”(40.4%)で4割に留まっている。(図表1-11)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は男性の65歳以上(74.4%)が7割台半ば、女性の60～64歳(70.5%)が7割と他の年代に比べて高くなっている。(図表1-11)

<図表 1-11>生活環境全般の満足度／地域別、性・年代別



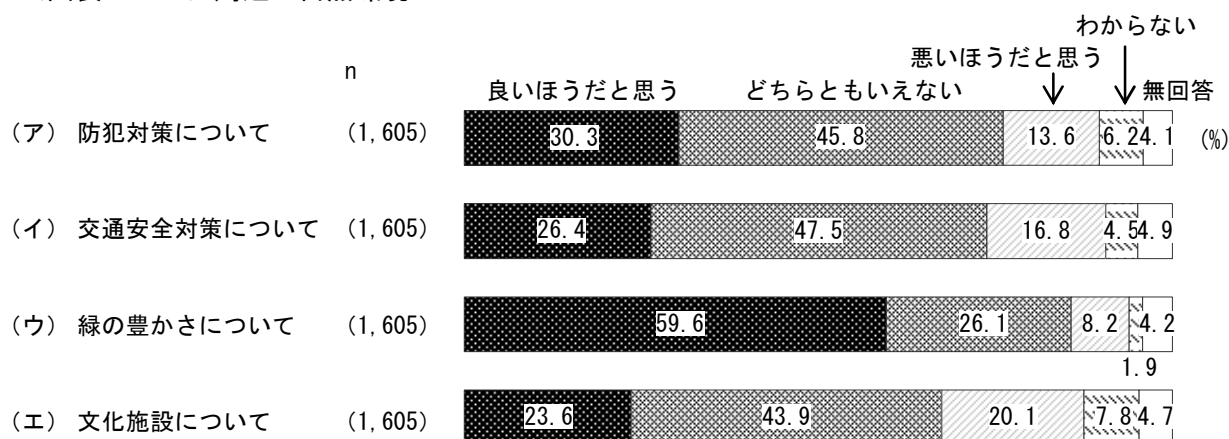
(4) 周辺・自然環境について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈緑の豊かさについて〉で約6割

問4 あなたは、現在お住まいの地域の周辺・自然環境についてどう思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

<図表1-12> 周辺・自然環境について



周辺・自然環境に関する4つの項目についてそれぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは〈緑の豊かさについて〉(59.6%)が約6割となっており、以下、〈防犯対策について〉(30.3%)、〈交通安全対策について〉(26.4%)が続いている。(図表1-12)

【地域別】

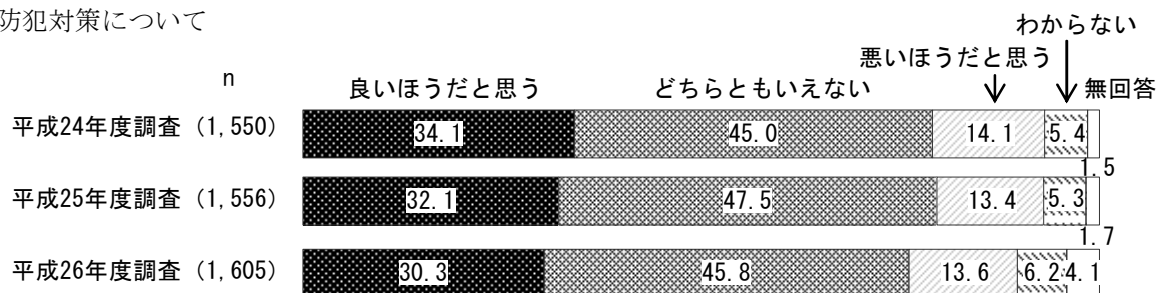
地域別にみると、〈防犯対策について〉において、「良いほうだと思う」は“安房地域”(46.4%)が4割台半ば、“海匝地域”(42.6%)が4割を超えて他の地域に比べて高くなっている。〈交通安全対策について〉において、「良いほうだと思う」は“安房地域”(42.9%)が4割を超えて高くなっている。〈緑の豊かさについて〉において、「良いほうだと思う」は“安房地域”(82.1%)が8割を超えて高くなっている。〈文化施設について〉において、「良いほうだと思う」は“印旛地域”(29.2%)が約3割と他の地域に比べて高くなっている。(図表1-13)

【性・年代別】

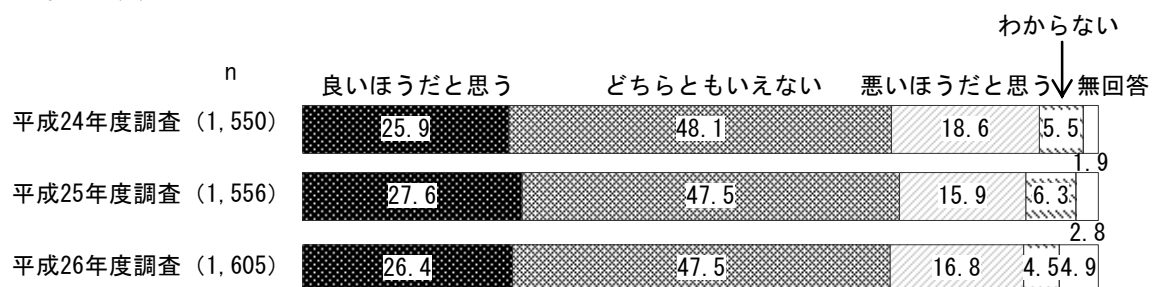
性・年代別でみると、〈防犯対策について〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上(42.4%)が4割を超えて高くなっている。〈交通安全対策について〉において、「良いほうだと思う」は、男性の65歳以上(35.2%)、女性の65歳以上(34.3%)が3割台半ばで高くなっている。〈緑の豊かさについて〉において、「良いほうだと思う」は男性の60～64歳(70.0%)が7割と高く、〈文化施設について〉において、「良いほうだと思う」は女性の50代(27.1%)が約3割と他の年代に比べて幾分高くなっている。(図表1-13)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

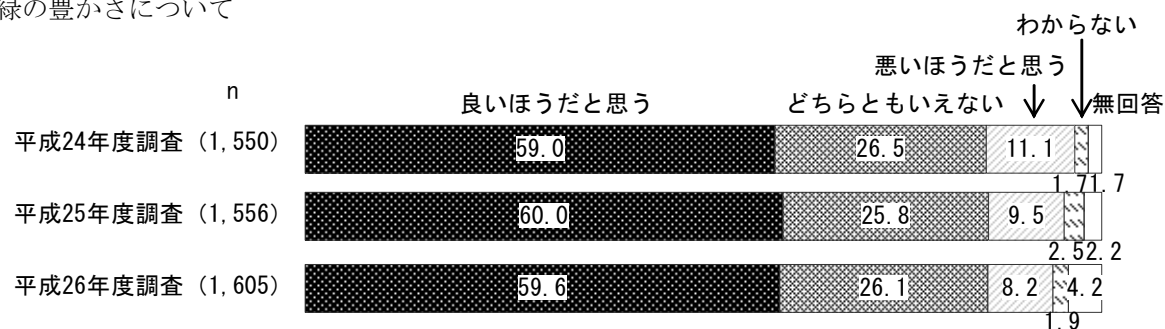
（ア）防犯対策について



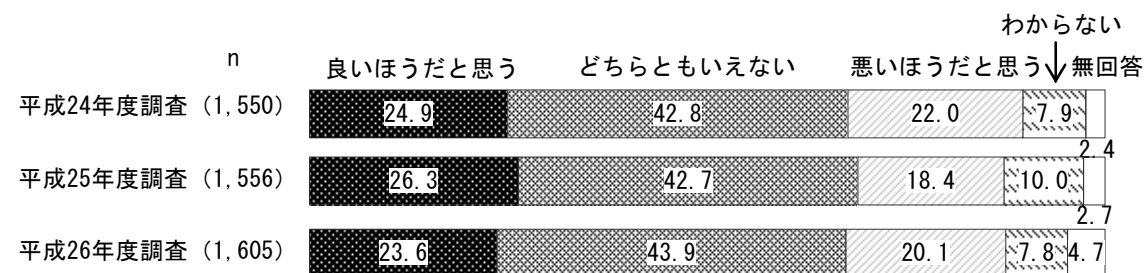
（イ）交通安全対策について



（ウ）緑の豊かさについて



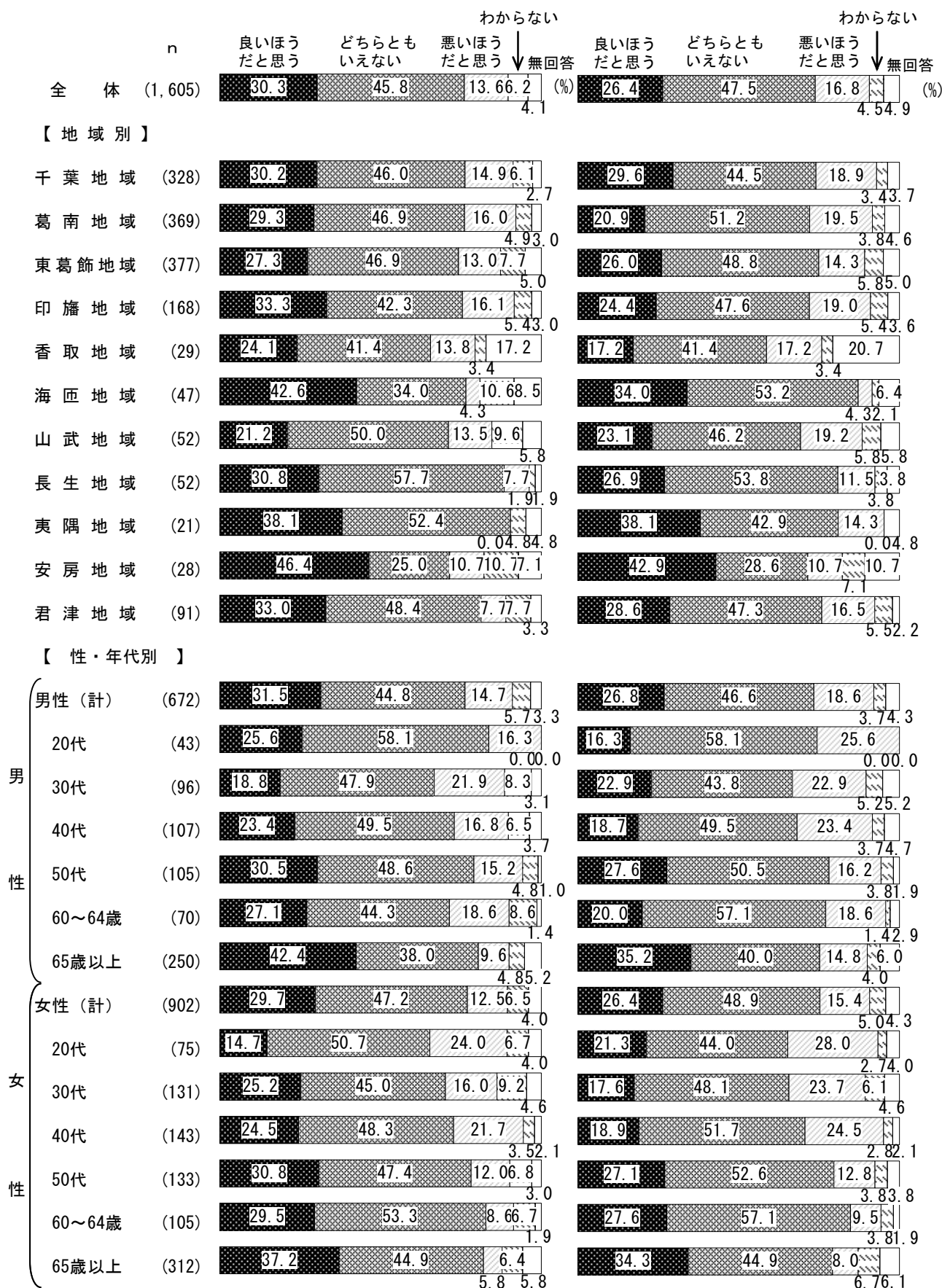
（エ）文化施設について



<図表 1-13> 周辺・自然環境について／地域別、性・年代別

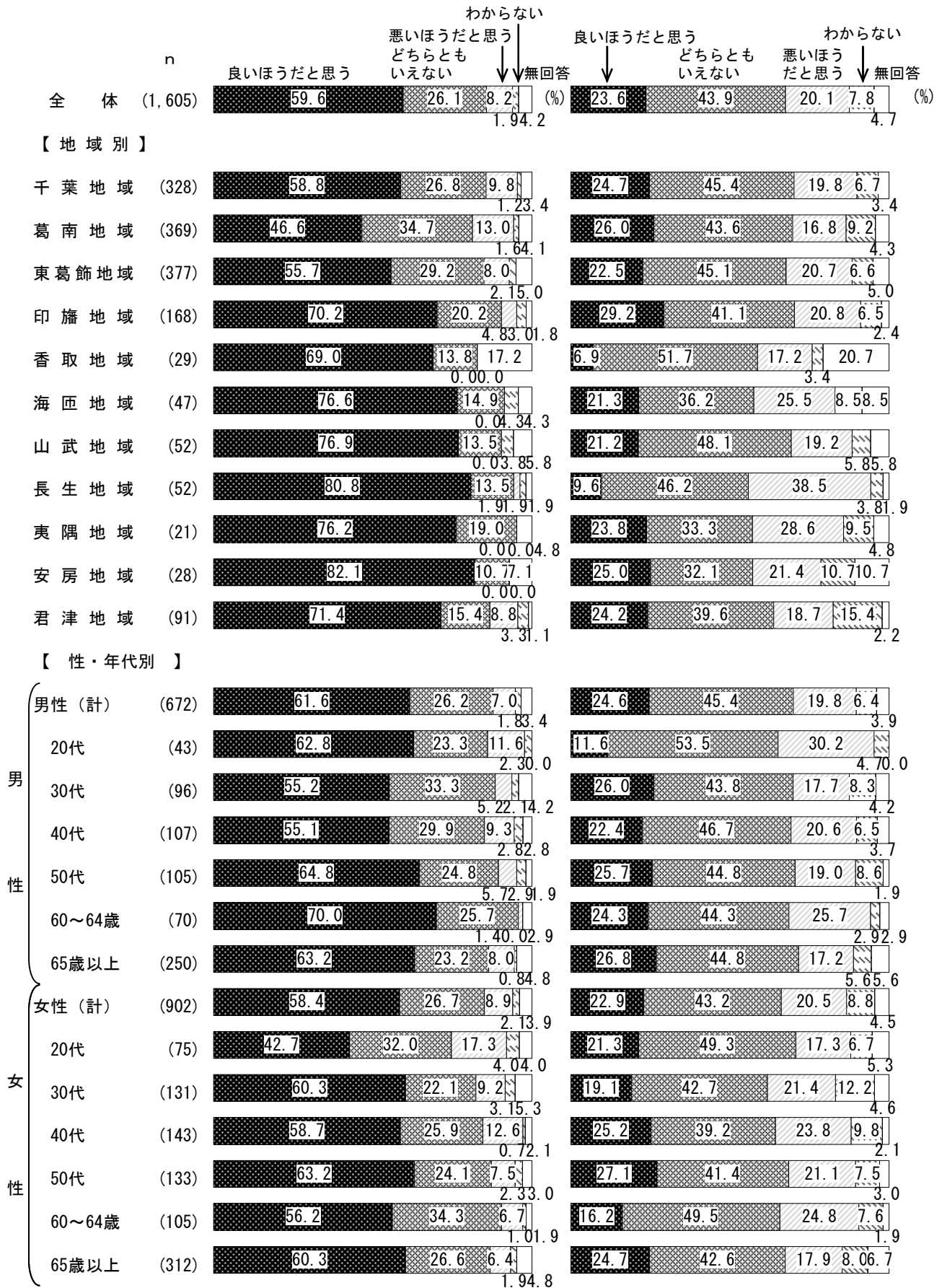
(ア) 防犯対策について

(イ) 交通安全対策について



(ウ) 緑の豊かさについて

(エ) 文化施設について

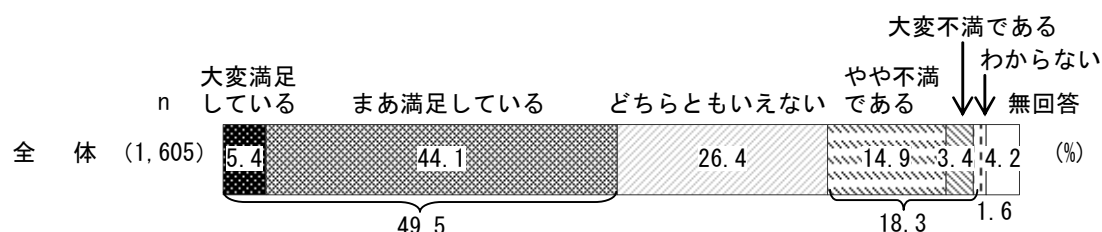


(5) 周辺・自然環境全般の満足度

◇『満足している』は約5割

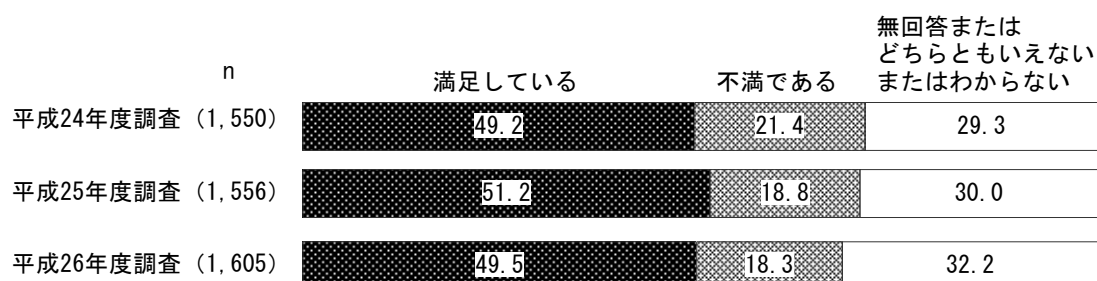
問5 あなたは、問4の（ア）～（エ）のような周辺・自然環境全般について満足していますか。（○は1つ）

＜図表1－14＞周辺・自然環境全般の満足度



周辺・自然環境に関する4つの項目の全体について、その満足度を聞いたところ、「大変満足している」(5.4%)と「まあ満足している」(44.1%)を合わせた『満足している』(49.5%)は約5割である。一方、「やや不満である」(14.9%)と「大変不満である」(3.4%)を合わせた『不満である』(18.3%)は約2割となっている。(図表1－14)

〔参考〕平成24年度・平成25年度調査の同様の項目による調査結果との比較



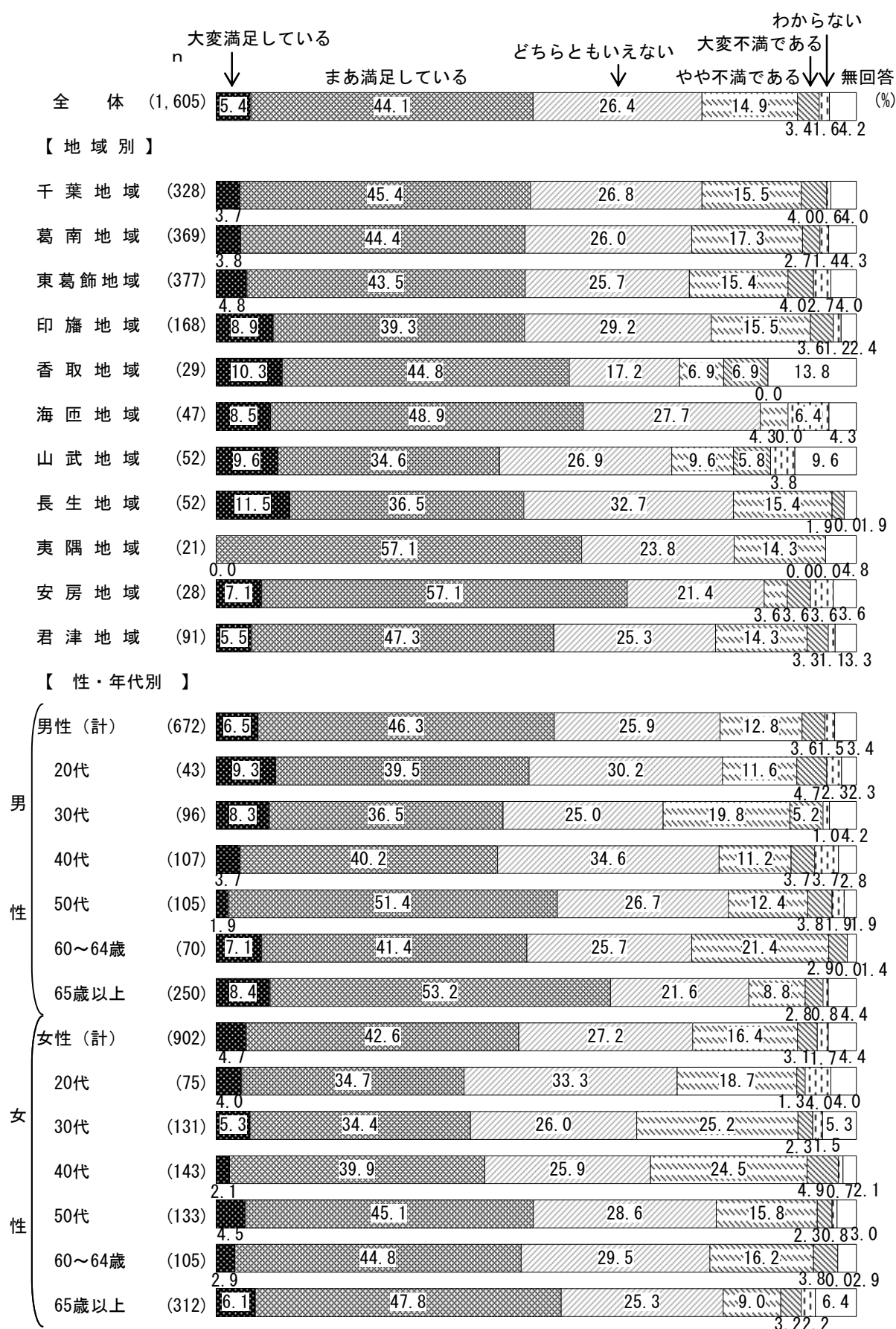
【地域別】

地域別にみると、『満足している』は“安房地域”(64.3%)が6割台半ば、“海匝地域”(57.4%)、“夷隅地域”(57.1%)が約6割で他の地域に比べて高くなっている。(図表1－15)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は男性の65歳以上(61.6%)が6割を超え、男性の50代(53.3%)、女性の65歳以上(53.8%)が5割台半ばで他の年代に比べて高くなっている。(図表1－15)

<図表 1-15> 周辺・自然環境全般の満足度／地域別、性・年代別



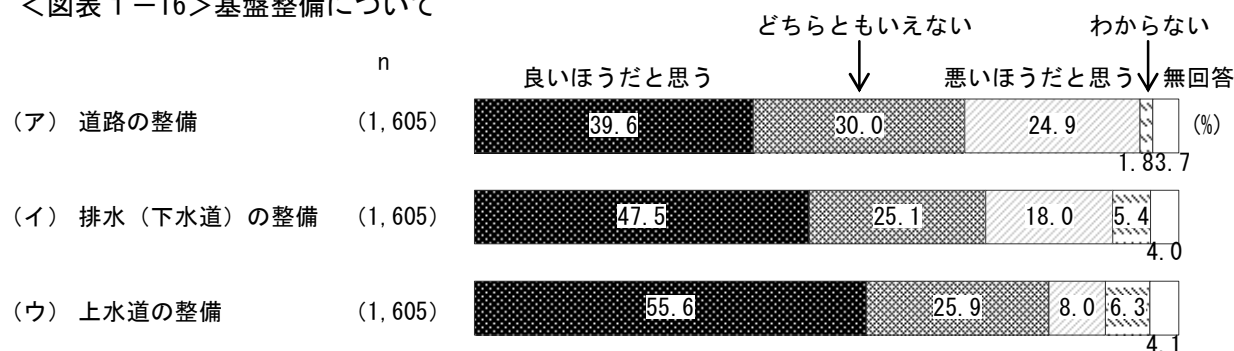
(6) 基盤整備について

◇「良いほうだと思う」が最も高いのは〈上水道の整備〉で5割台半ば

問6 あなたは、現在お住まいの地域の基盤整備についてどう思いますか。

(○はそれぞれ1つずつ)

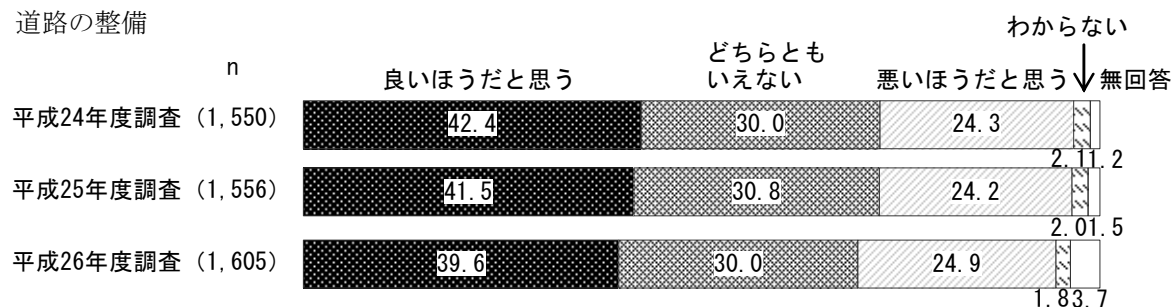
＜図表1－16＞基盤整備について



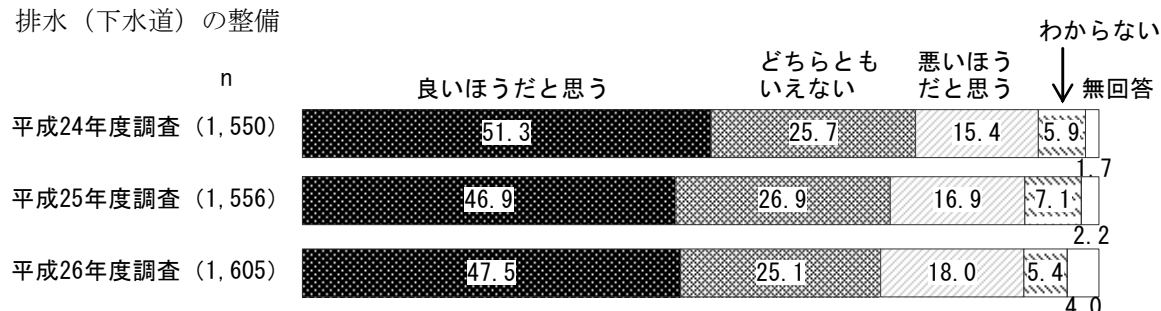
基盤整備に関する3つの項目について、それぞれの良し悪しを聞いたところ、「良いほうだと思う」が最も高いのは、〈上水道の整備〉(55.6%)で5割台半ばとなっている。次いで、〈排水(下水道)の整備〉(47.5%)が約5割、〈道路の整備〉(39.6%)が約4割となっている。(図表1－16)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

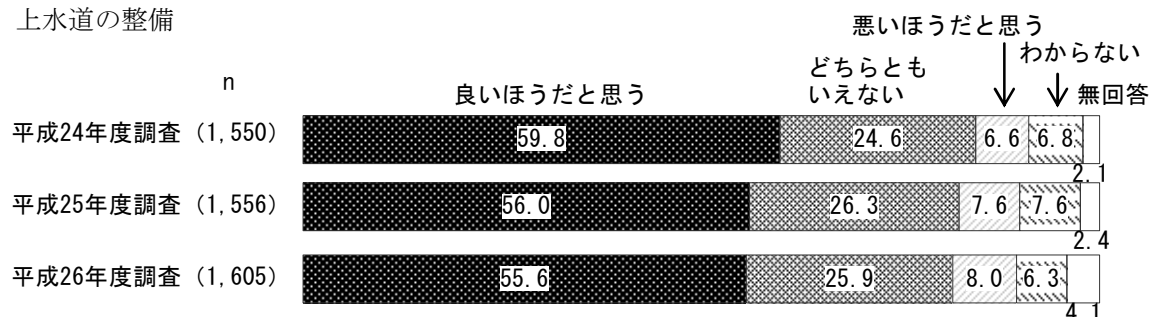
（ア）道路の整備



（イ）排水（下水道）の整備



（ウ）上水道の整備



【地域別】

地域別にみると、〈道路の整備〉において、「良いほうだと思う」は“千葉地域”（48.2％）が約5割、「悪いほうだと思う」は“山武地域”（36.5％）が3割台半ばで最も高い。〈排水（下水道）の整備〉において、「良いほうだと思う」は“千葉地域”（56.7％）が5割台半ば、「悪いほうだと思う」は“山武地域”（48.1％）が約5割で最も高い。〈上水道の整備〉において、「良いほうだと思う」は“千葉地域”（60.1％）が6割で、「悪いほうだと思う」は“山武地域”（26.9％）が2割台半ばで最も高くなっている。（図表1－17）

【性・年代別】

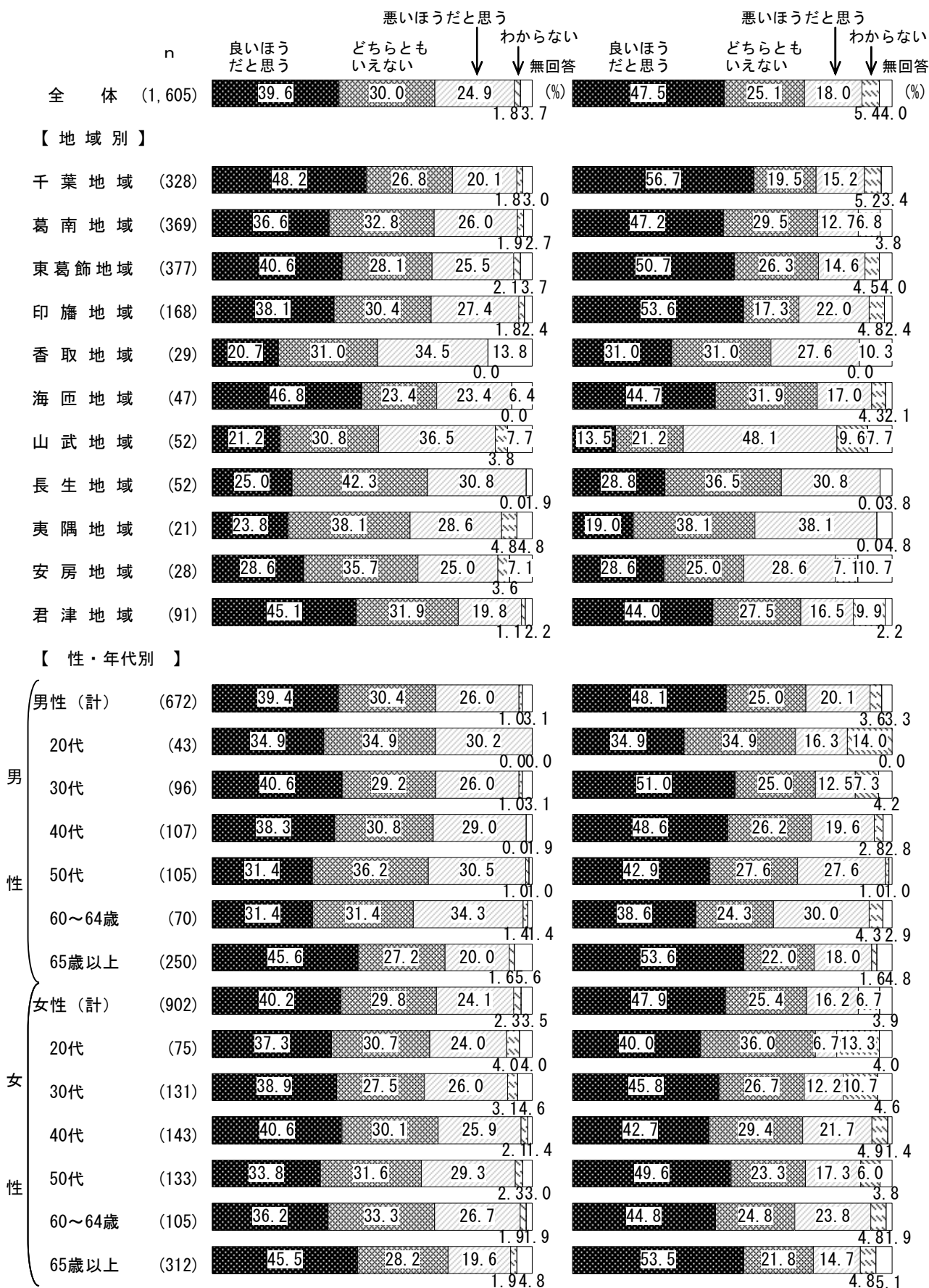
性・年代別にみると、〈道路の整備〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上（45.6％）、女性の65歳以上（45.5％）が4割台半ばと高くなっている。一方、「悪いほうだと思う」は男性の60

～64歳（34.3%）が3割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。〈排水（下水道）の整備〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上（53.6%）、女性の65歳以上（53.5%）が5割台半ばと高くなっている。〈上水道の整備〉において、「良いほうだと思う」は男性の65歳以上（64.0%）が6割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。（図表1－17）

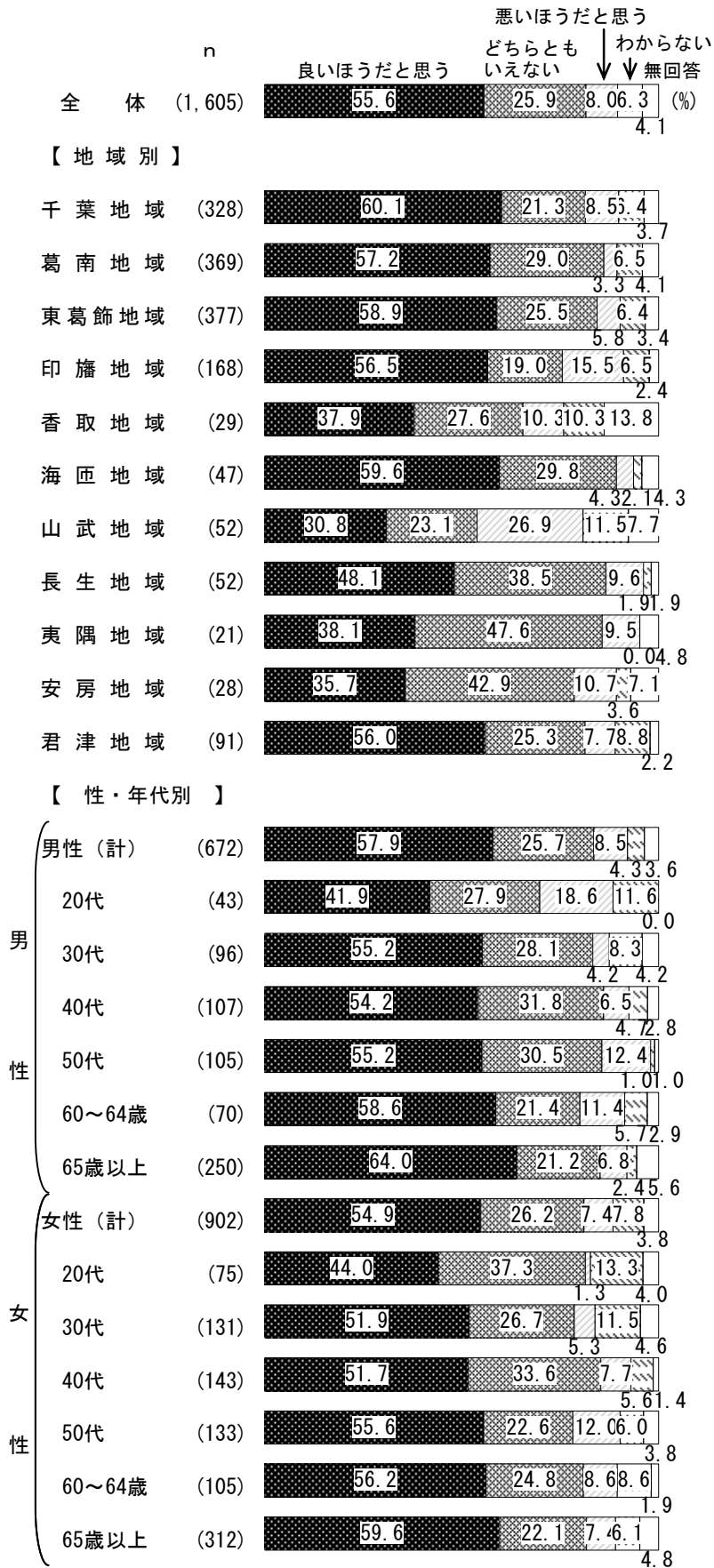
＜図表 1-17＞基盤整備について／地域別、性・年代別

(ア) 道路の整備

(イ) 排水（下水道）の整備



(ウ) 上水道の整備

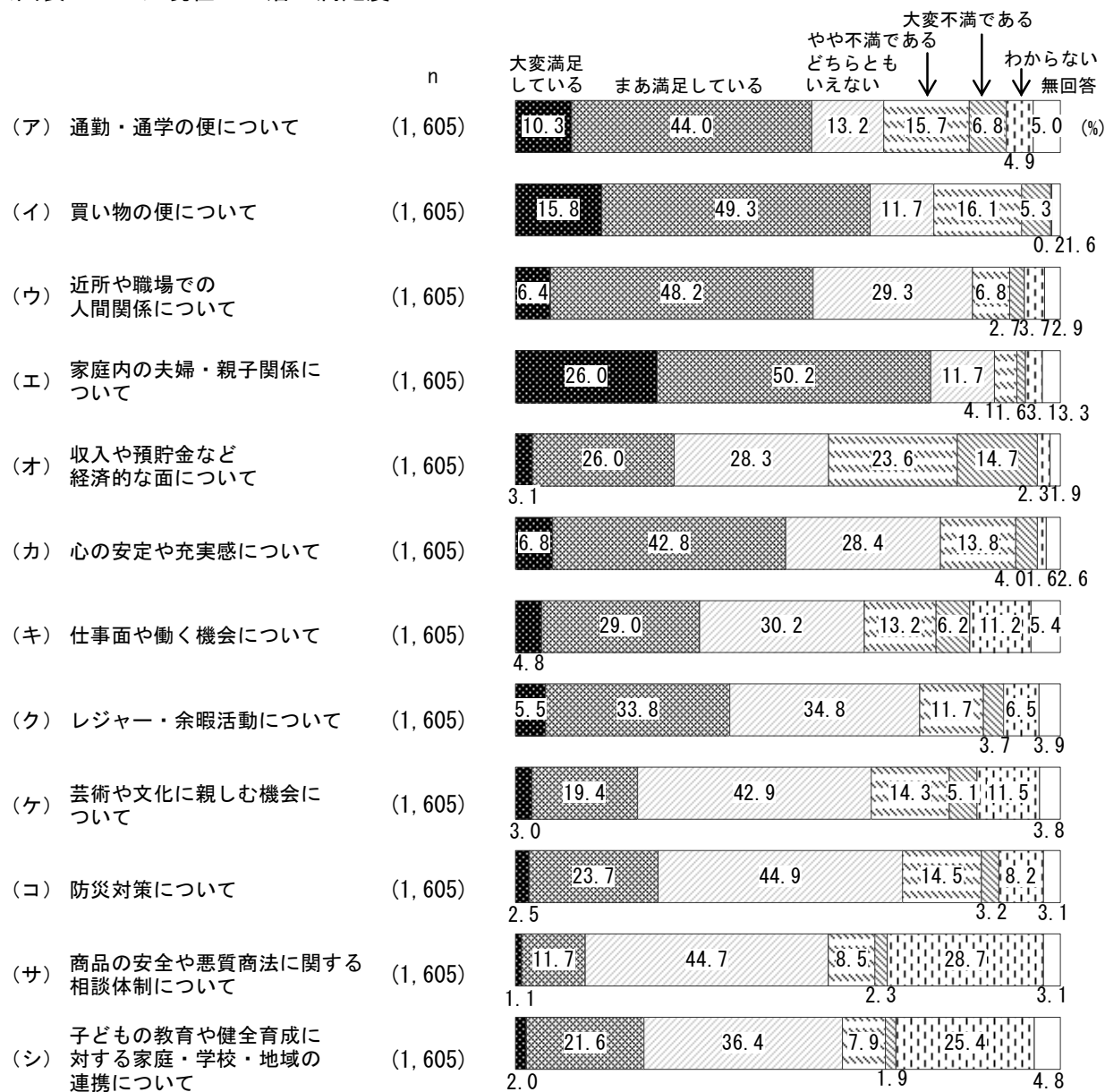


(7) 現在の生活の満足度

◇『満足している』が最も高いのは〈家庭内の夫婦・親子関係について〉で7割台半ば

問7 あなたは、現在の生活について、どの程度満足していますか。(〇はそれぞれ1つずつ)

＜図表1-18＞現在の生活の満足度

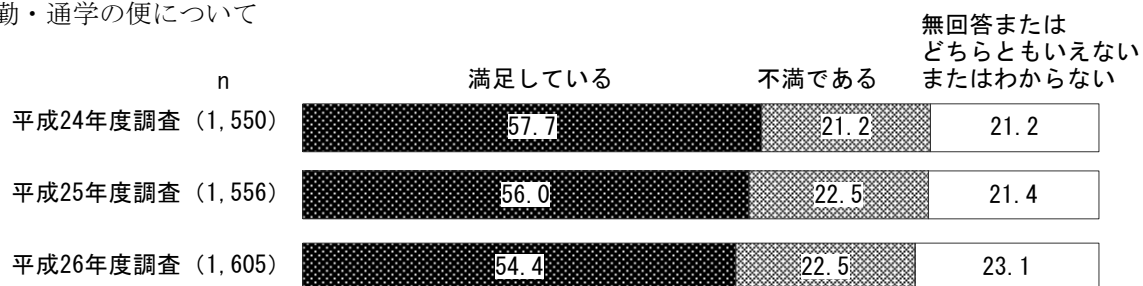


現在の生活に関する12個の項目について、それぞれの満足度を聞いたところ、「大変満足している」と「まあ満足している」を合わせた『満足している』が最も高いのは、〈家庭内の夫婦・親子関係について〉(76.2%)で7割台半ばとなっている。以下、〈買い物の便について〉(65.0%)、〈近所や職場での人間関係について〉(54.6%)、〈通勤・通学の便について〉(54.4%)と続く。

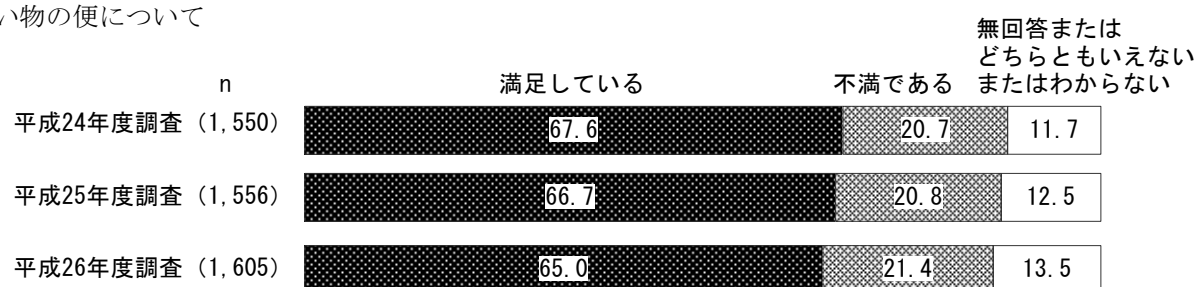
一方、「やや不満である」と「大変不満である」を合わせた『不満である』の割合は、〈収入や預貯金など経済的な面について〉(38.3%)が約4割となっており、12個の項目でこの〈収入や預貯金など経済的な面について〉のみ、『不満である』が『満足している』を上回っている。(図表1-18)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

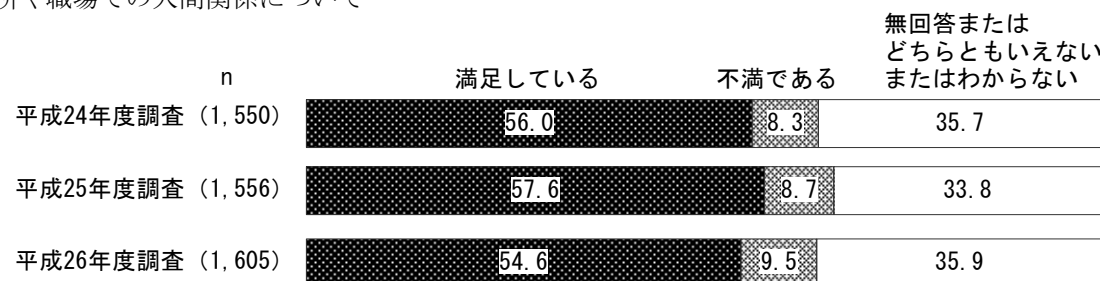
（ア）通勤・通学の便について



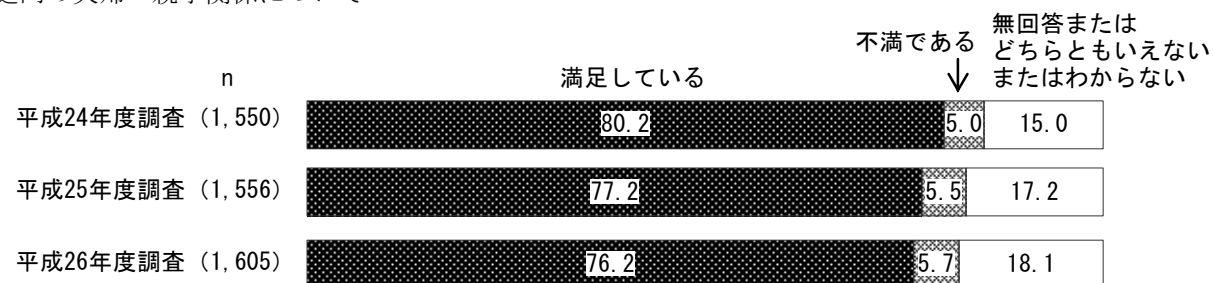
（イ）買い物の便について



（ウ）近所や職場での人間関係について

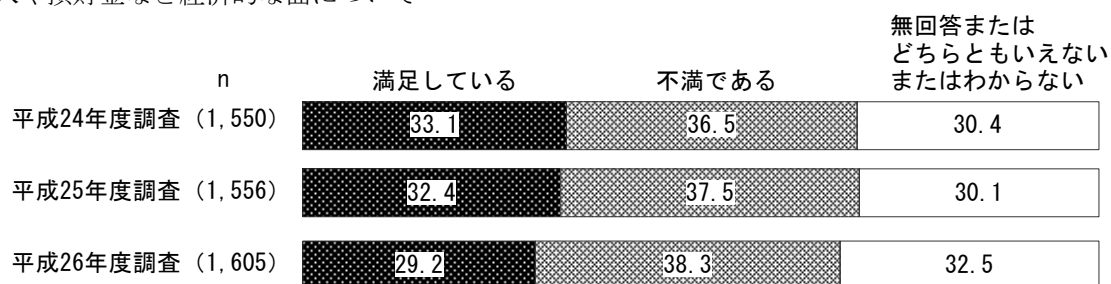


（エ）家庭内の夫婦・親子関係について

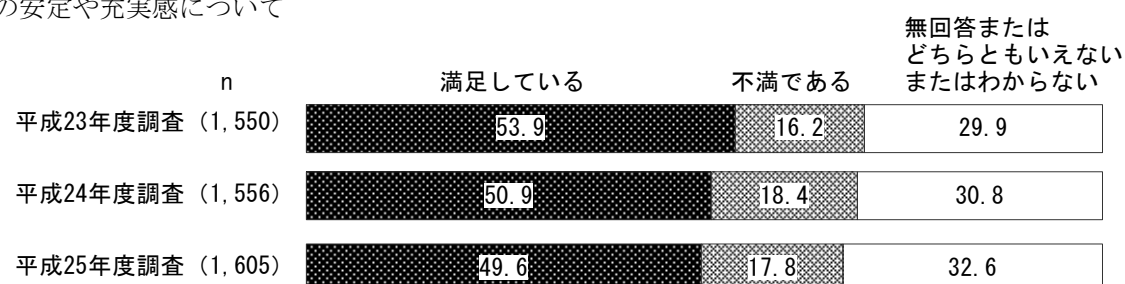


〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

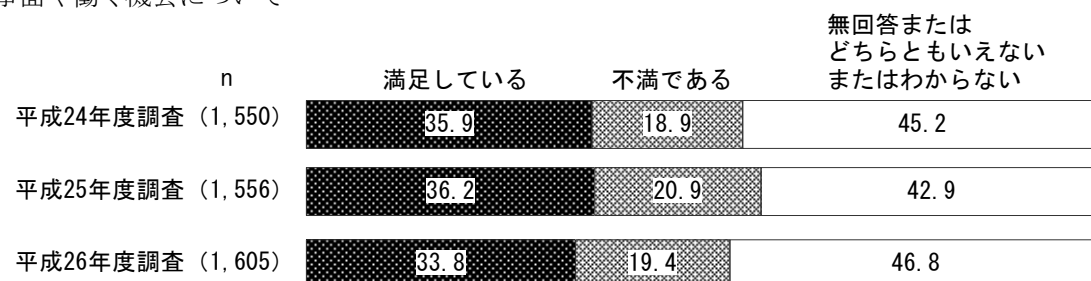
（オ）収入や預貯金など経済的な面について



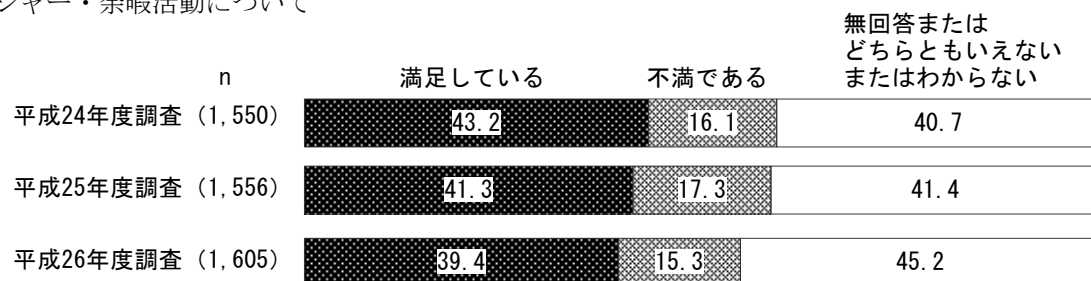
（カ）心の安定や充実感について



（キ）仕事面や働く機会について



（ク）レジャー・余暇活動について



〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

（ケ）芸術や文化に親しむ機会について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成24年度調査（1,550）	25.4	22.2	52.4
平成25年度調査（1,556）	24.1	21.1	54.8
平成26年度調査（1,605）	22.4	19.4	58.2

（サ）商品の安全や悪質商法に関する相談体制について

n	満足している	不満である ↓	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成24年度調査（1,550）	12.9	11.0	76.1
平成25年度調査（1,556）	13.9	11.8	74.2
平成26年度調査（1,605）	12.7	10.8	76.5

（シ）子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成24年度調査（1,550）	26.5	12.9	60.7
平成25年度調査（1,556）	26.2	10.3	63.6
平成26年度調査（1,605）	23.6	9.8	66.6

＊（コ）「防災対策について」は今年度調査から聴取しているため、同様の項目による比較はなし。

【地域別】

地域別にみると、〈通勤・通学の便について〉において、『満足している』は“葛南地域”（66.7%）が6割台半ばとなっている。一方、『不満である』は“山武地域”（53.8%）が5割台半ば、“夷隅地域”（47.6%）が約5割で高くなっている。

〈買い物の便について〉において、『満足している』は“葛南地域”（77.2%）が約8割となっている。一方、『不満である』は“夷隅地域”（61.9%）が6割を超えて高くなっている。

〈近所や職場での人間関係について〉において、『満足している』は“海匝地域”（61.7%）が6割を超えて、“安房地域”（60.7%）が6割と高くなっている。

〈家庭内の夫婦・親子関係について〉において、『満足している』は“長生地域”（86.5%）が8割台半ば、“海匝地域”（78.7%）、“印旛地域”（78.0%）、“葛南地域”（77.2%）で約8割と高くなっている。

〈収入や預貯金など経済的な面について〉において、『満足している』は“夷隅地域”（38.1%）が約4割と高くなっている。一方、『不満である』は“安房地域”（50.0%）が5割、“山武地域”（46.2%）が4割台半ばと高くなっている。

〈心の安定や充実感について〉において、『満足している』は“長生地域”（61.5%）が6割を超えて高くなっている。

〈仕事面や働く機会について〉において、『満足している』は“安房地域”（46.4%）が4割台半ばとなっている。一方、『不満である』は“夷隅地域”（47.6%）で約5割と高くなっている。

〈レジャー・余暇活動について〉において、『満足している』は“葛南地域”（46.1%）が4割台半ばと高くなっている。

〈芸術や文化に親しむ機会について〉において、『不満である』は“山武地域”（34.6%）が3割台半ば、“海匝地域”（31.9%）、“香取地域”（31.0%）が3割を超えて高くなっている。

〈防災対策について〉において、『満足している』は“夷隅地域”（42.9%）が4割を超えて高くなっている。多くの地域で「どちらともいえない」の割合が4割以上となっている。

〈商品の安全や悪質商法に関する相談体制について〉において、『満足している』は“夷隅地域”（28.6%）が約3割と高くなっているが、全ての地域で「どちらともいえない」の割合が最も高い。

〈子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について〉において、『満足している』は“海匝地域”（34.0%）が3割台半ば、“長生地域”（32.7%）が3割を超えて高くなっている。（図表1－19）

【性・年代別】

性・年代別にみると、〈通勤・通学の便について〉において、『満足している』は男性の40代（64.5%）、女性の40代（64.3%）が6割台半ばで高くなっている。

〈買い物の便について〉において、『満足している』は男性の65歳以上（70.8%）、女性の60～64歳（70.5%）が7割と高くなっている。一方で、『不満である』は男性の20代（32.6%）が3割を超えて高くなっている。

〈近所や職場での人間関係について〉において、『満足している』は女性の60～64歳（63.8%）が6割台半ば、女性の30代（61.1%）が6割を超えて高くなっている。

〈家庭内の夫婦・親子関係について〉において、『満足している』は女性の50代（82.0%）が8割を超えて最も高く、男性の20代（51.2%）以外の全ての性・年代で7割以上となっている。

〈収入や預貯金など経済的な面について〉において、『満足している』は女性の60～64歳（37.1%）が約4割で高くなっている。一方、『不満である』は女性の20代（50.7%）が5割と高くなっている。

〈心の安定や充実感について〉において、『満足している』は男性の50代（56.2%）、女性の20代（54.7%）、女性の60～64歳（54.3%）が5割台半ばと高くなっている。

〈仕事面や働く機会について〉において、『満足している』は男性の50代（54.3%）が5割台半ばと高くなっている。一方、『不満である』は女性の30代（34.4%）、男性の30代（33.3%）で3割台半ばと高くなっている。

〈レジャー・余暇活動について〉において、『満足している』は女性の20代（53.3%）が5割台半ば、女性の30代（51.1%）が5割を超えて高くなっている。

〈芸術や文化に親しむ機会について〉において、『満足している』は女性の20代（37.3%）が約4割で高くなっている。それ以外の性・年代では、「どちらともいえない」の割合が最も高い。

〈防災対策について〉では、『満足している』は男性の65歳以上（31.6%）、女性の65歳以上（31.1%）が3割を超えて高くなっている。多くの性・年代で「どちらともいえない」の割合が4割以上となっている。

〈商品の安全や悪質商法に関する相談体制について〉において、『満足している』は女性の60～64歳（20.0%）が2割と高くなっているが、全ての性・年代で「どちらともいえない」の割合が最も高い。

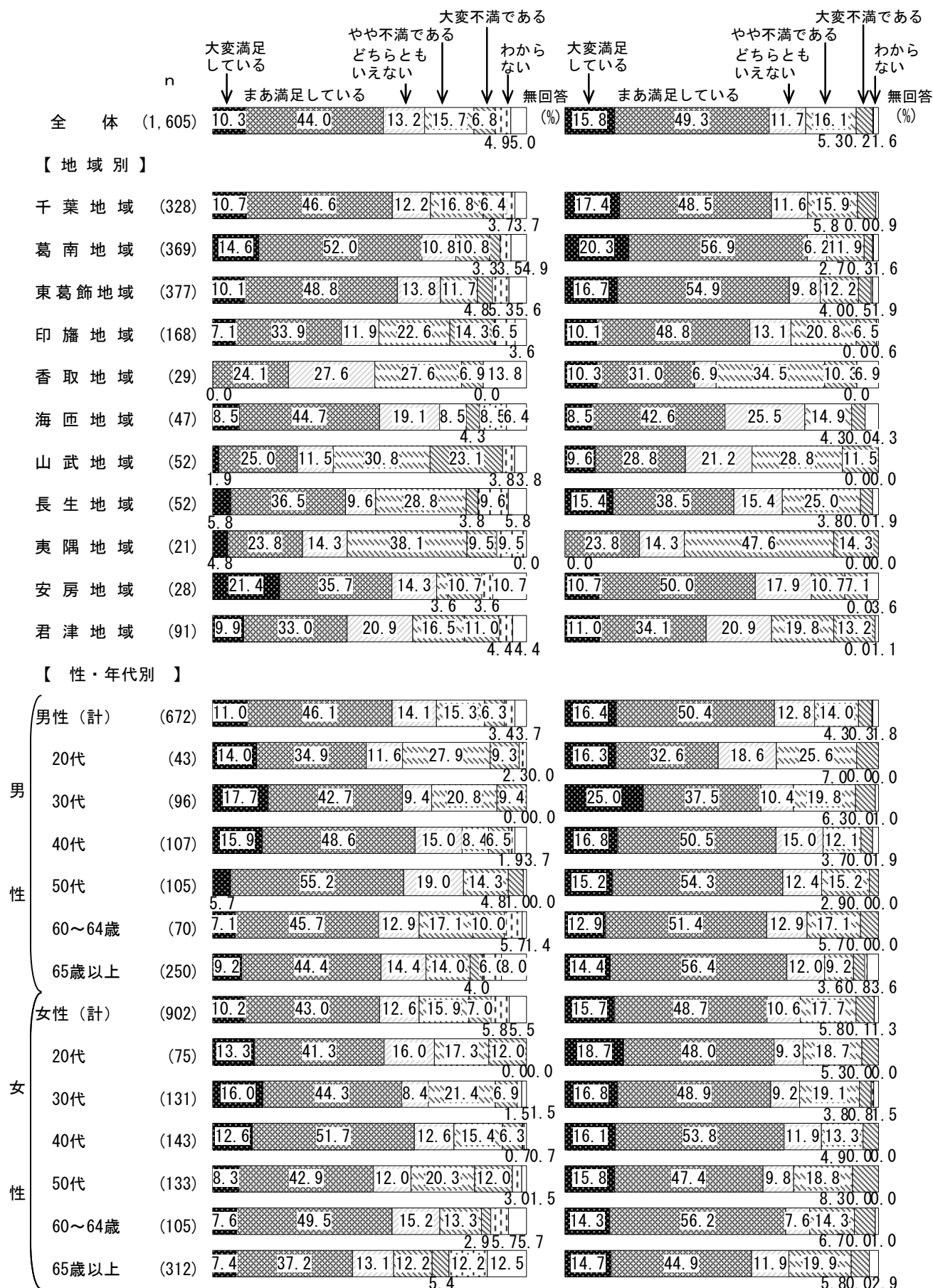
〈子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について〉において、『満足している』は男性の65歳以上（28.4%）、男性の40代（28.0%）、男性の60～64歳（27.1%）が約3割と高くなっている。

（図表1－19）

<図表 1-19> 現在の生活の満足度／地域別、性・年代別

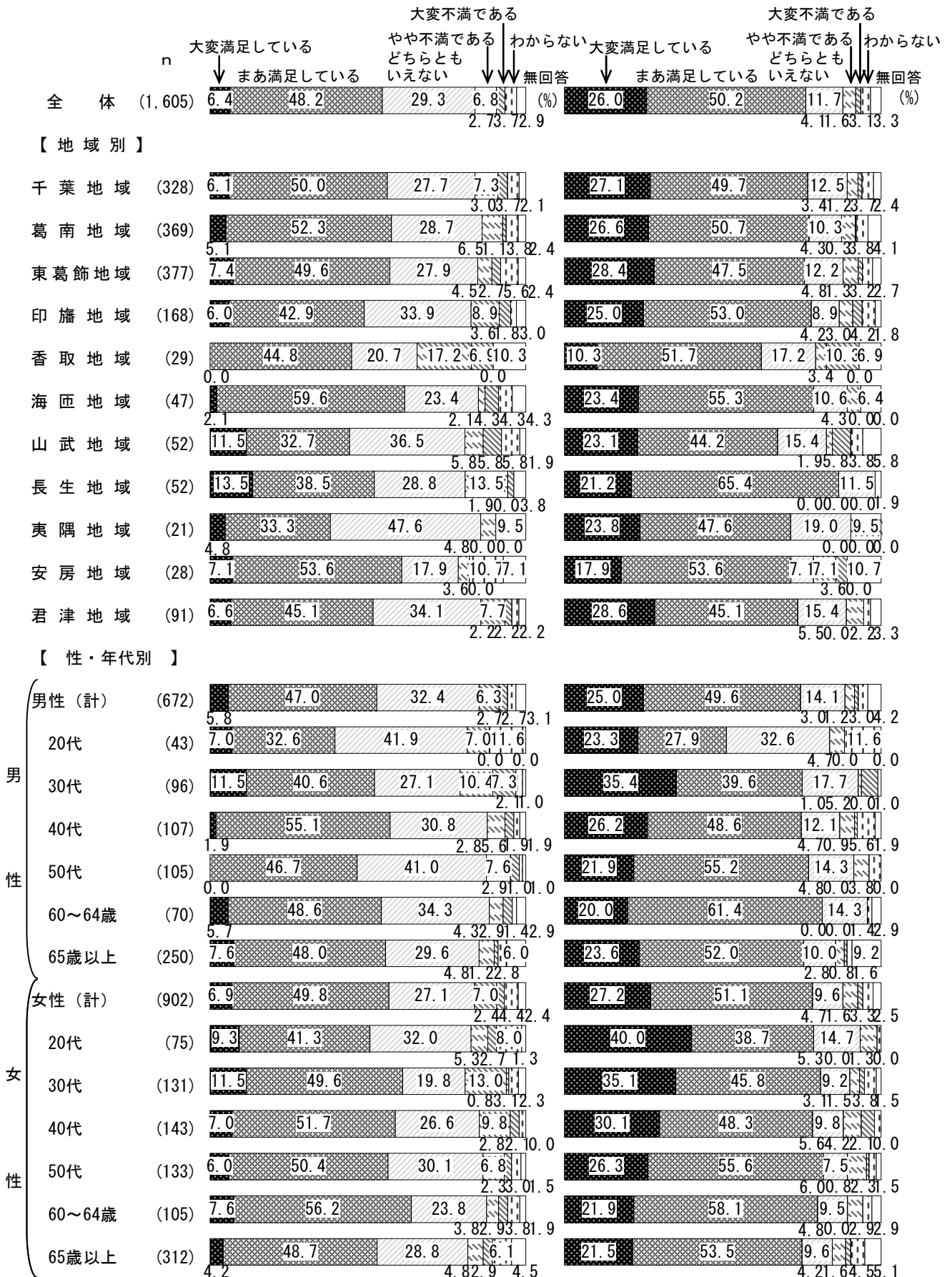
(ア) 通勤・通学の便について

(イ) 買い物の便について



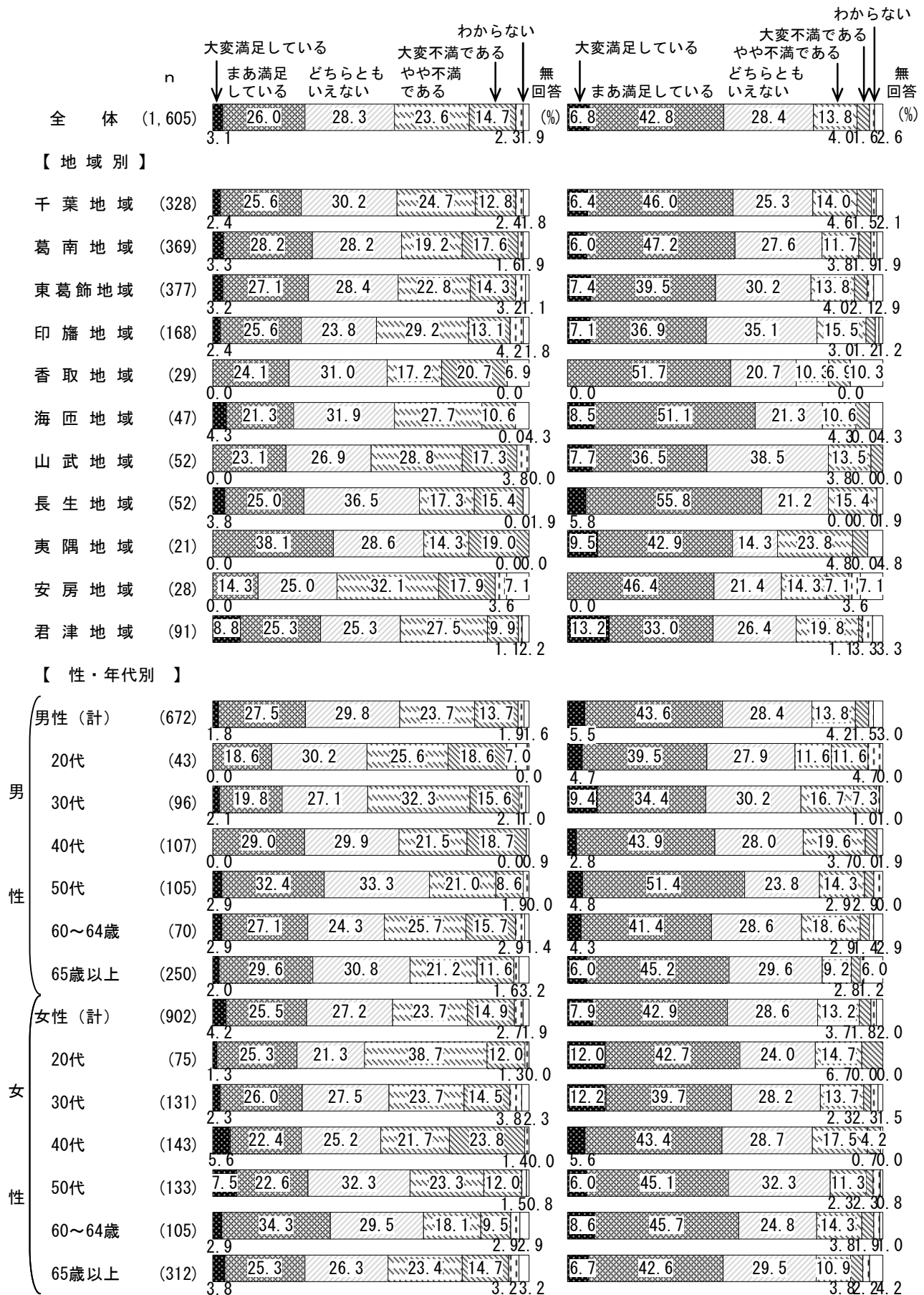
(ウ) 近所や職場での人間関係について

(エ) 家庭内の夫婦・親子関係について



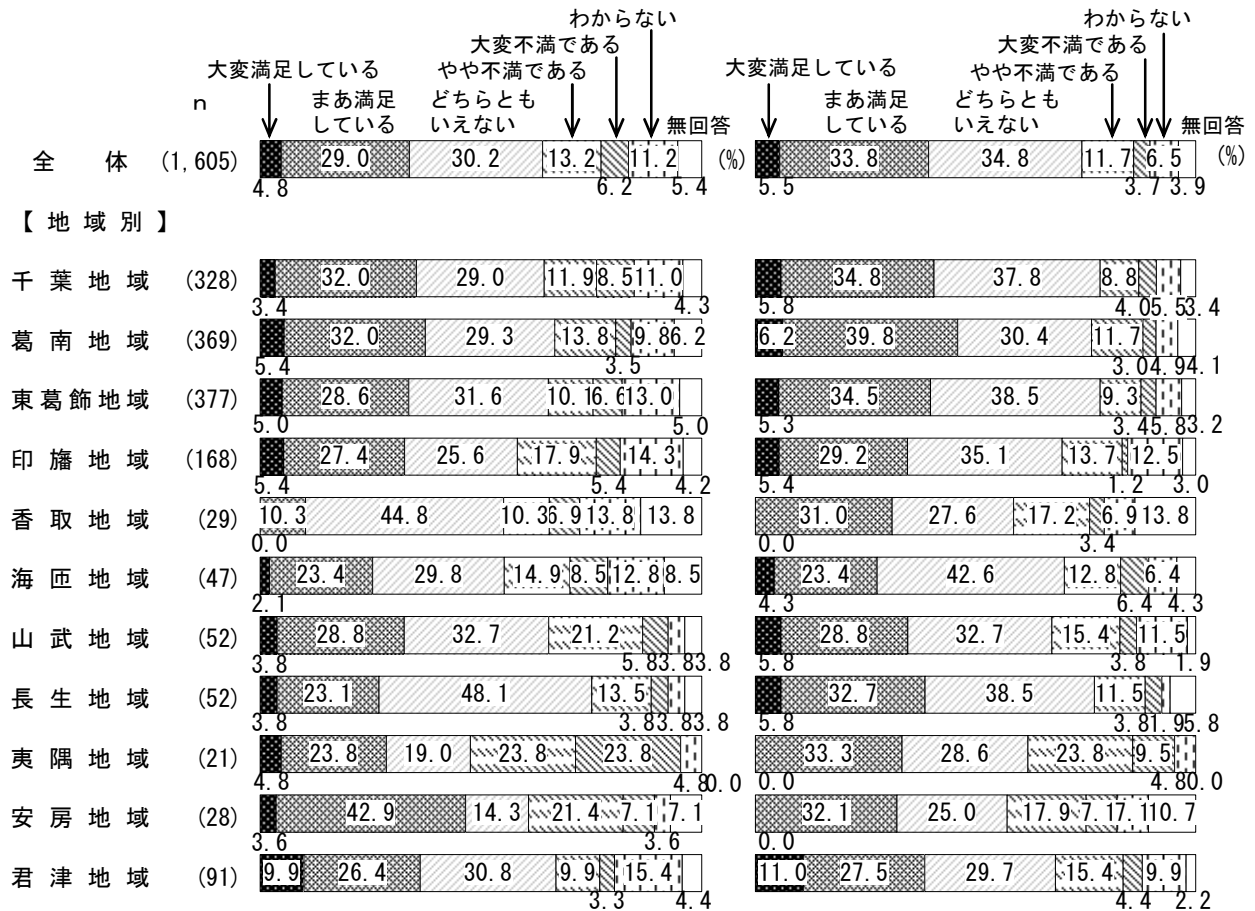
(オ) 収入や預貯金など経済的な面について

(カ) 心の安定や充実感について

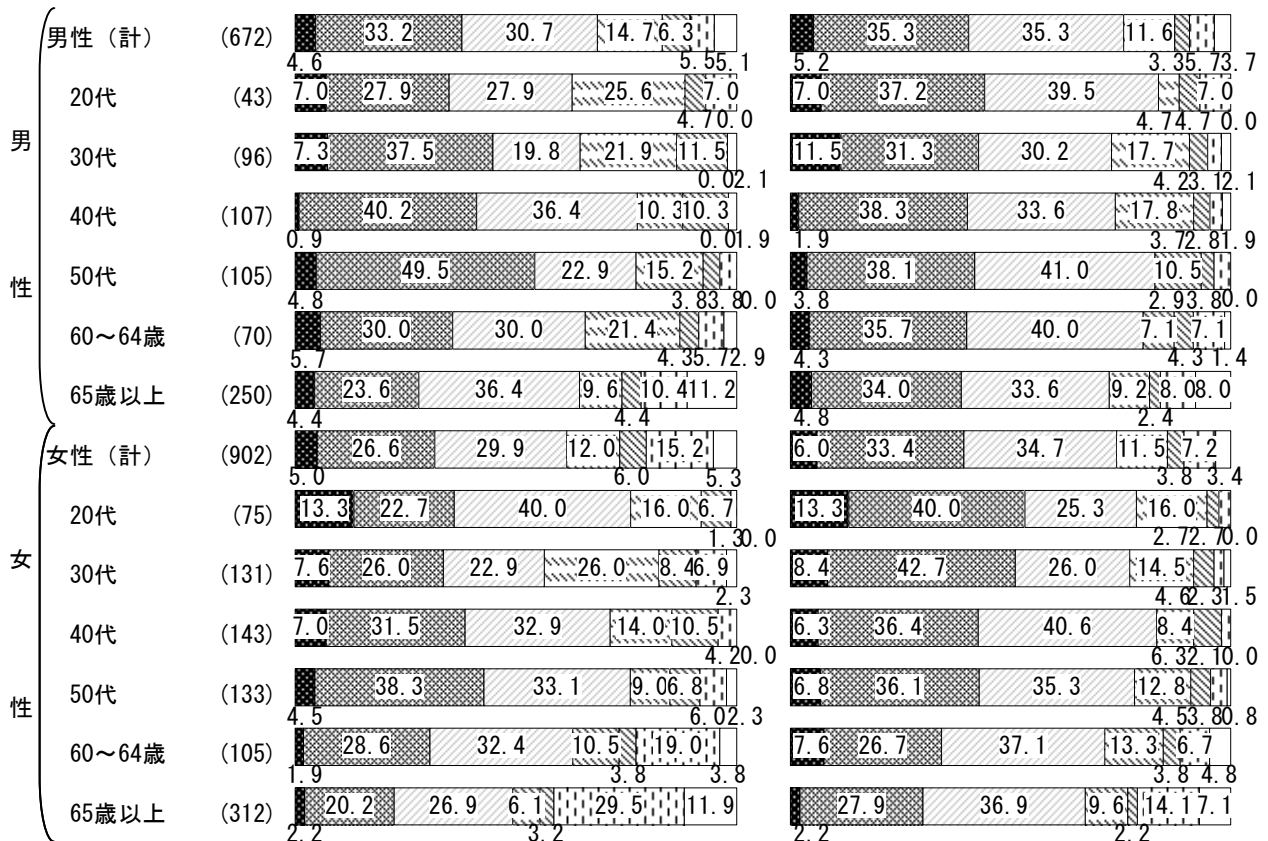


(キ) 仕事面や働く機会について

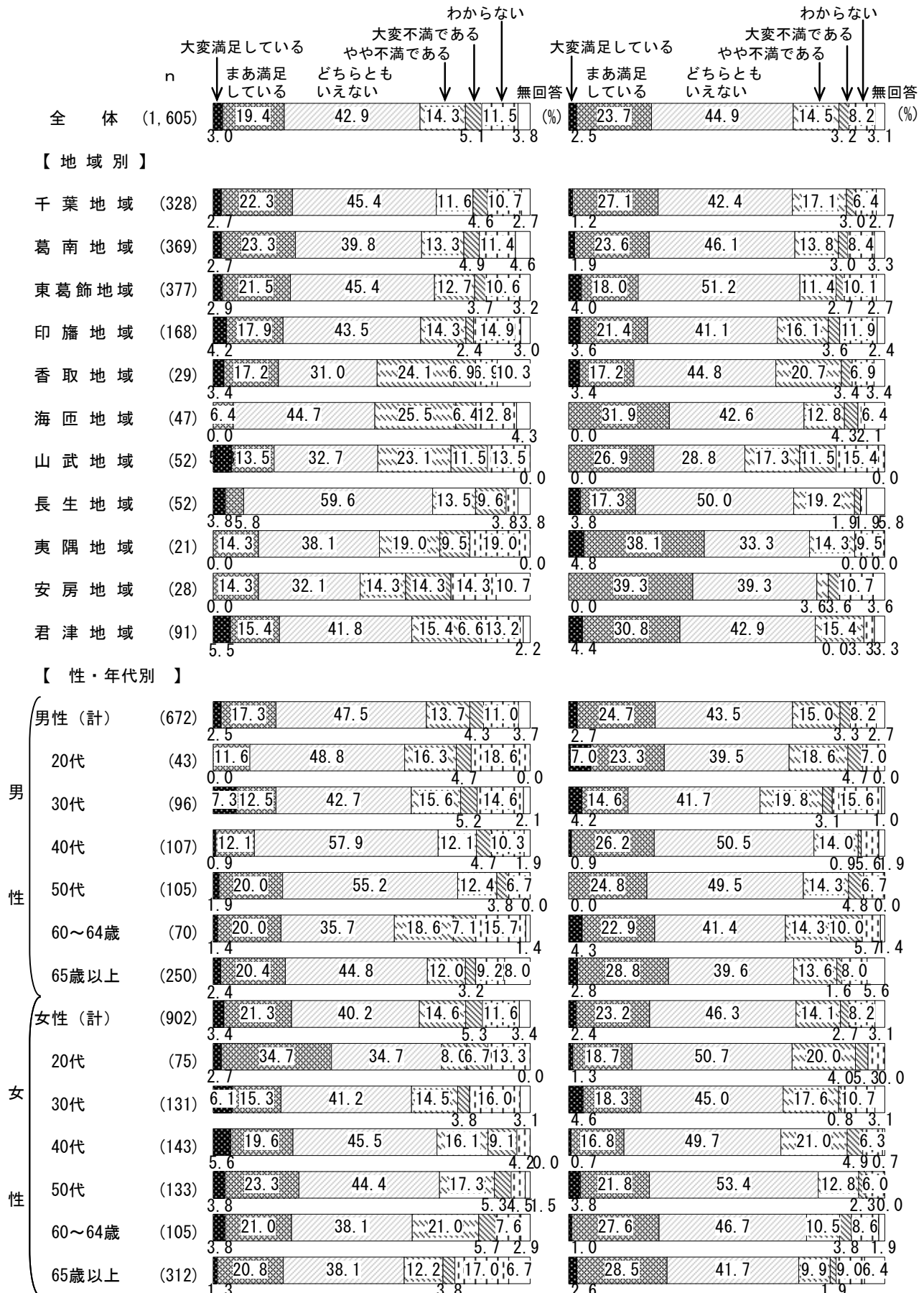
(ク) レジャー・余暇活動について



【性・年代別】

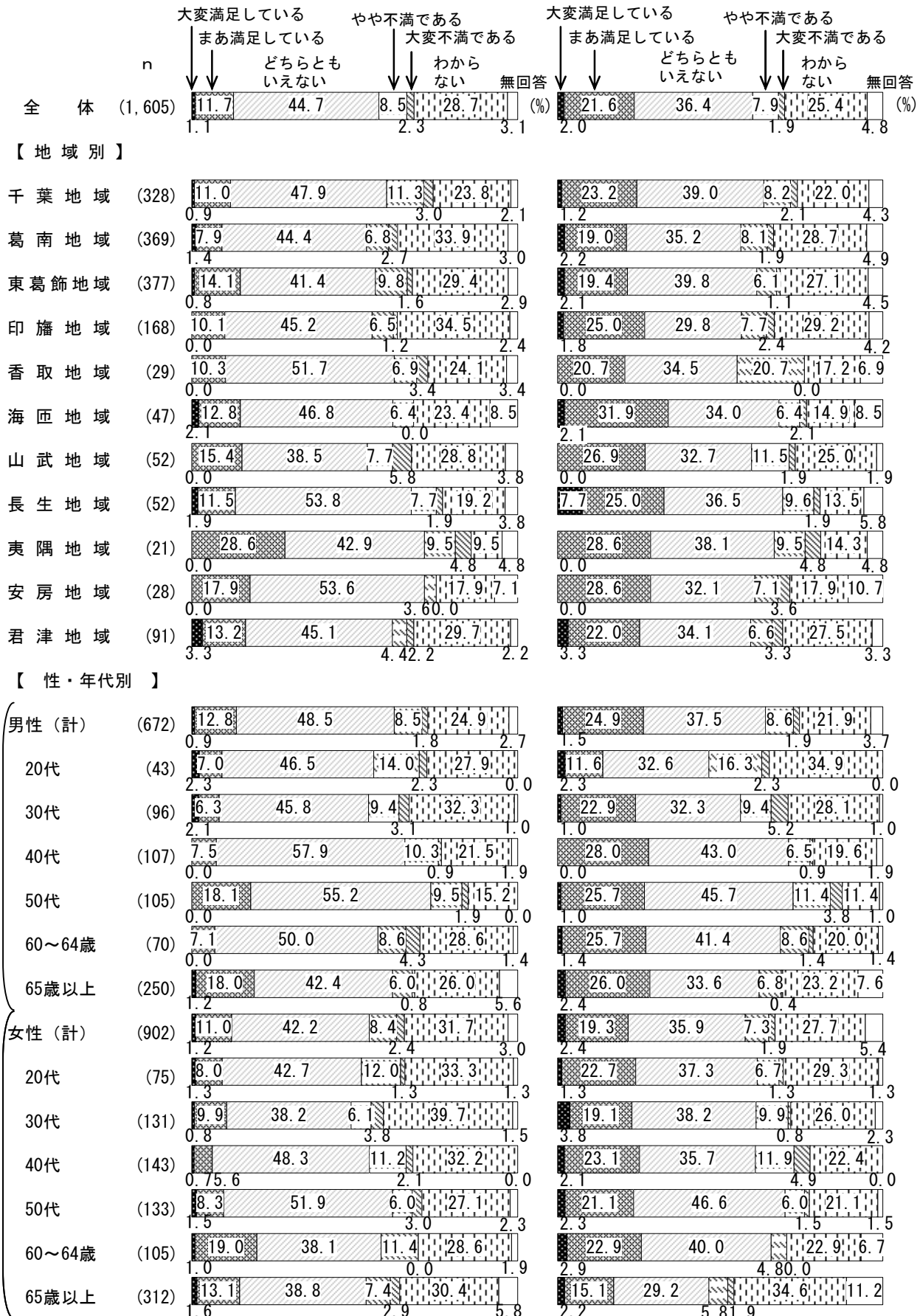


(ケ) 芸術や文化に親しむ機会について (コ) 防災対策について



(サ) 商品の安全や悪質商法に関する
相談体制について

(シ) 子どもの教育や健全育成に対する
家庭・学校・地域の連携について



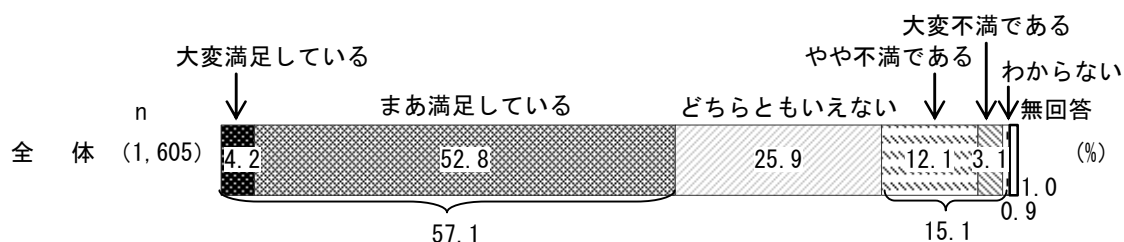
(8) 住生活全般の満足度

◇『満足している』が約6割

問8 あなたは、現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）について満足していますか。

（○は1つ）

<図表1-20>住生活全般の満足度



現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）に関する満足度を聞いたところ、「大変満足している」（4.2%）と「まあ満足している」（52.8%）を合わせた『満足している』（57.1%）は約6割となっている。一方、「やや不満である」（12.1%）と「大変不満である」（3.1%）を合わせた『不満である』（15.1%）は1割台半ばとなっている。（図表1-20）

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果（単位：%）

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成24年度調査 (1,550)	60.0	14.0	26.1
平成25年度調査 (1,556)	61.0	13.6	25.4
平成26年度調査 (1,605)	57.1	15.1	27.8

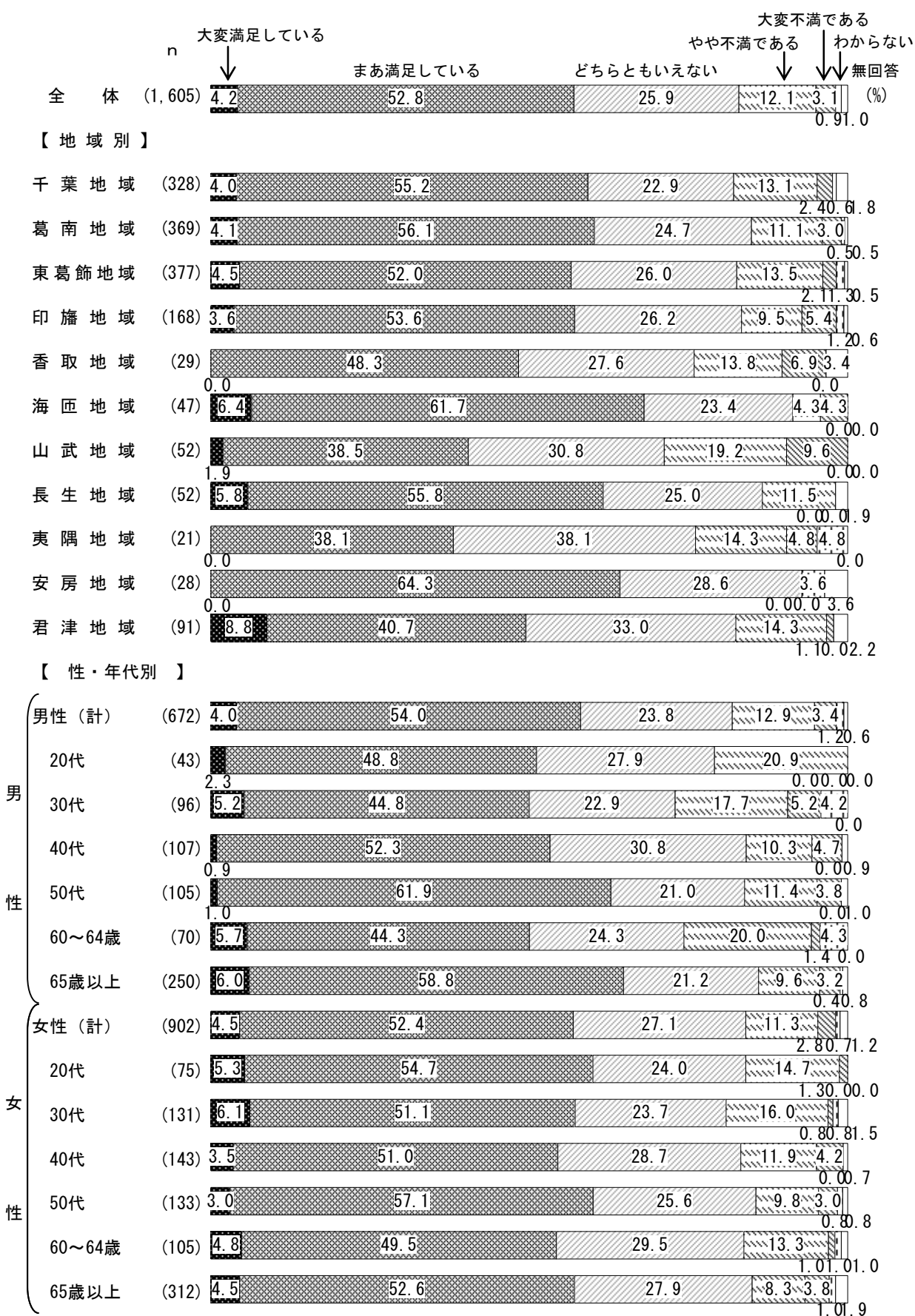
【地域別】

地域別にみると、『満足している』は“海匝地域”（68.1%）が約7割、“安房地域”（64.3%）が6割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。（図表1-21）

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は男性の65歳以上（64.8%）が6割台半ば、男性の50代（62.9%）が6割を超えて他の年代に比べて高くなっている。一方、『不満である』は男性の30代（22.9%）が2割を超えて高くなっている。（図表1-21）

＜図表 1－21＞住生活全般の満足度／地域別、性・年代別

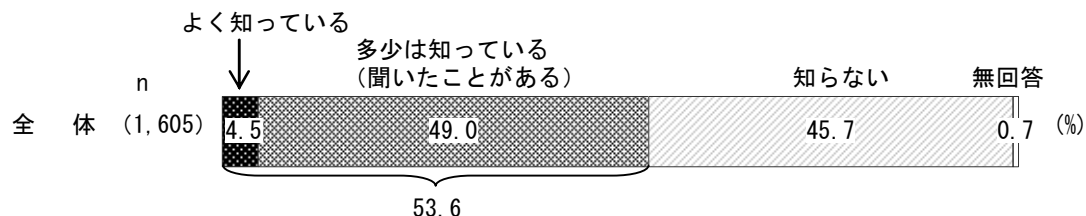


(9) 市民活動団体の活動の認知度

◇『知っている』は5割台半ば

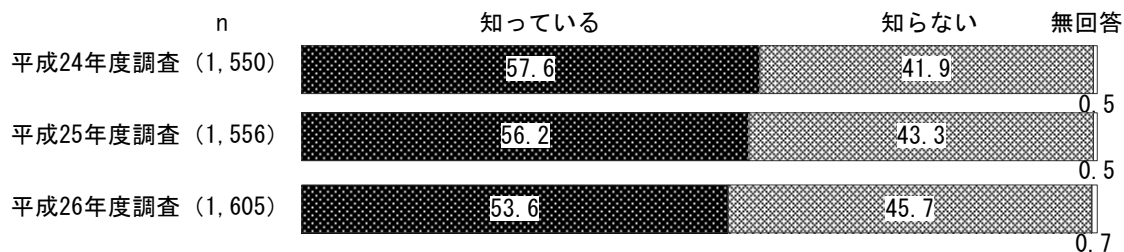
問9 あなたは、市民活動団体の活動を知っていますか。(○は1つ)

＜図表1－22＞市民活動団体の活動の認知度



市民活動団体の活動の認知度を聞いたところ、「多少は知っている (聞いたことがある)」(49.0%) が約5割となっており、これと「よく知っている」(4.5%) の2つを合わせた『知っている』(53.6%) は5割台半ばとなっている。一方、「知らない」(45.7%) は4割台半ばとなっている。(図表1－22)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)



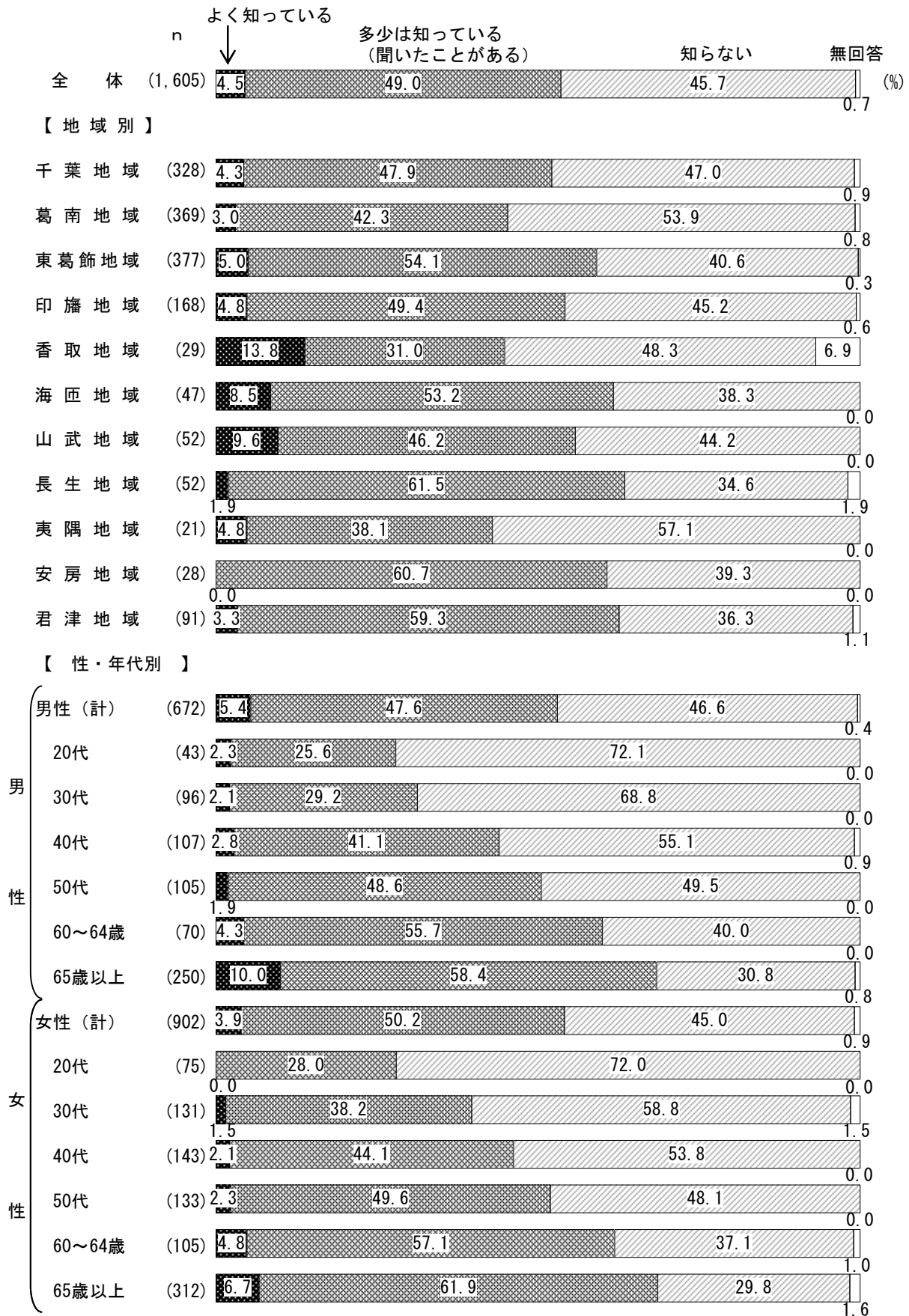
【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“長生地域”(63.5%) が6割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。(図表1－23)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』はおおむね年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、特に女性の65歳以上(68.6%) 男性の65歳以上(68.4%) が約7割と他の年代に比べて高くなっている。(図表1－23)

<図表 1-23> 市民活動団体の活動の認知度／地域別、性・年代別



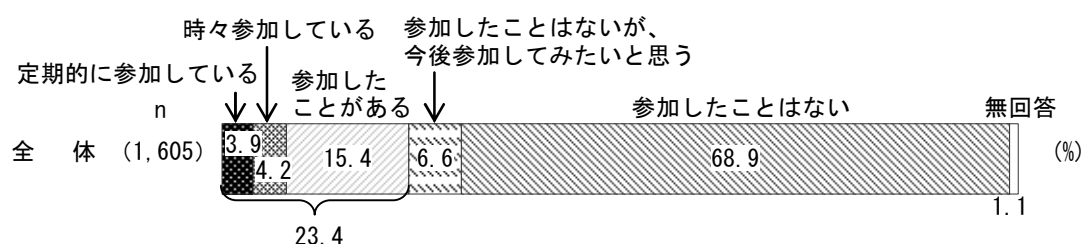
(10) 市民活動団体の活動への参加経験

◇「参加したことはない」は約7割

問10 あなたは、市民活動団体の活動に参加したことがありますか。(○は1つ)

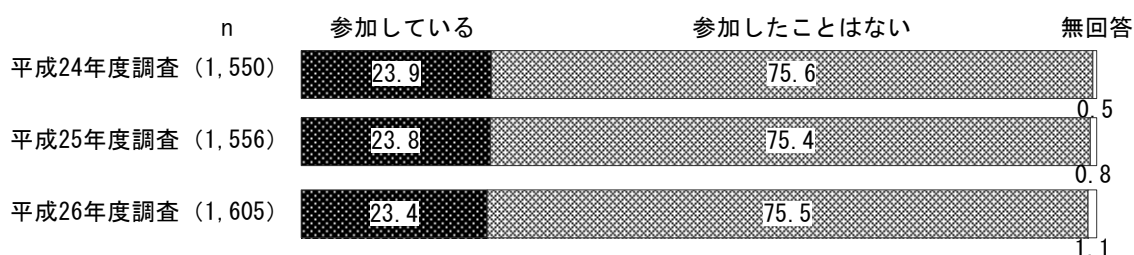
(注) ここでいう「参加」とは、団体の会員やスタッフとしての参加、団体への資金・物品・場所の提供・寄付、ボランティアによる労力・技術等の提供、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを含みます。

<図表 1-24> 市民活動団体の活動への参加経験



市民活動団体の活動への参加経験を聞いたところ、「定期的に参加している」(3.9%)と「時々参加している」(4.2%)、「参加したことがある」(15.4%)の3つを合わせた『参加している』(23.4%)は2割台半ばとなっている。一方、「参加したことはないが、今後参加してみたいと思う」(6.6%)は1割以下、「参加したことはない」(68.9%)は約7割となっている。(図表1-24)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



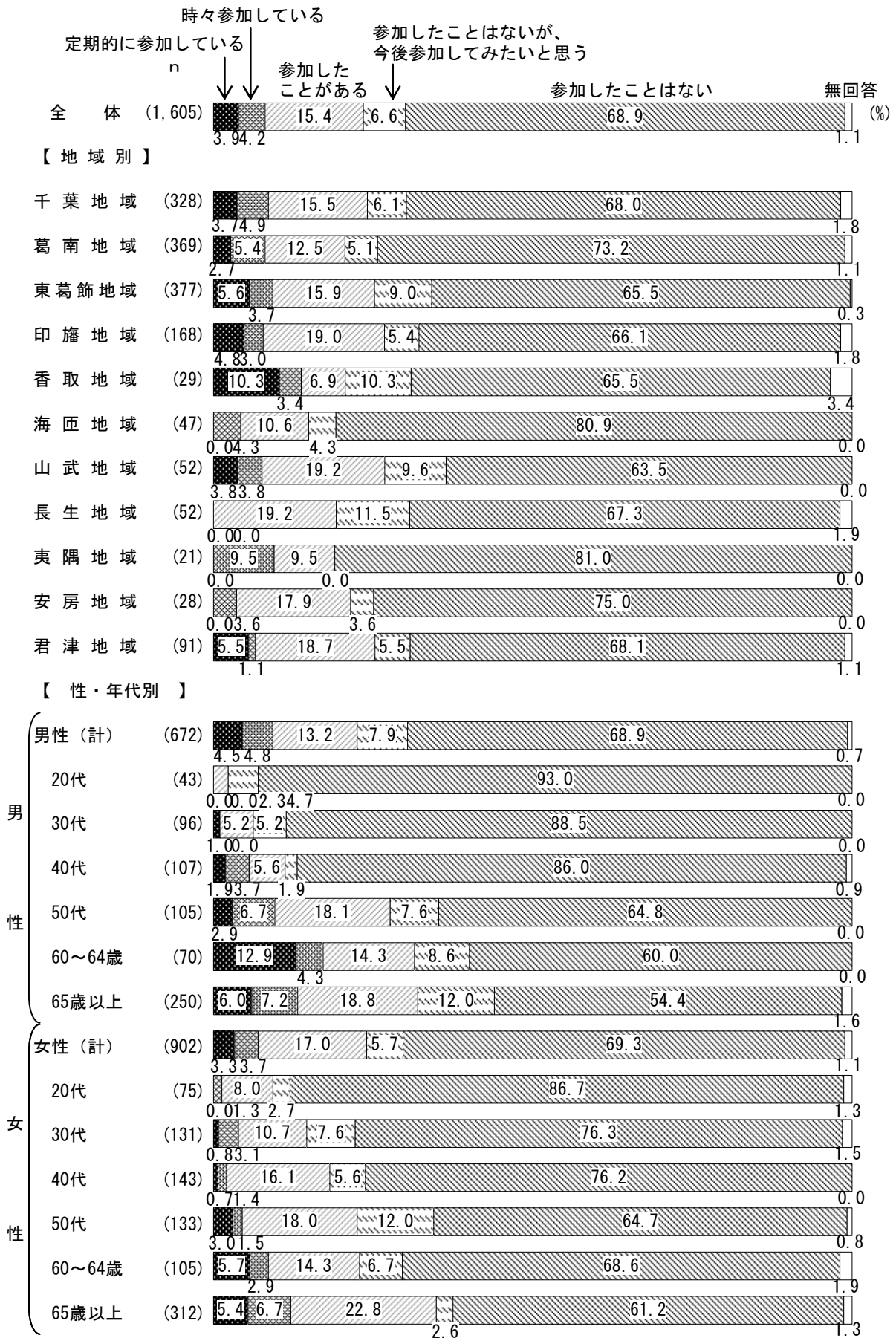
【地域別】

地域別にみると、『参加している』は“山武地域”(26.9%)、“印旛地域”(26.8%)が2割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表1-25)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『参加している』はおおむね年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、特に女性の65歳以上(34.9%)が3割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表1-25)

<図表 1-25> 市民活動団体の活動への参加経験／地域別、性・年代別

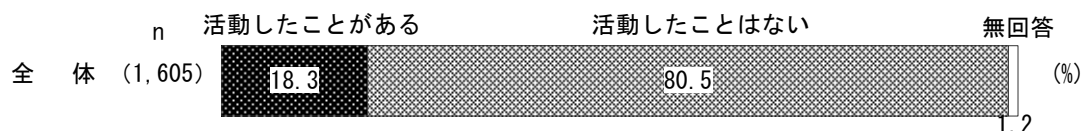


(11) ボランティア活動経験

◇「活動したことがある」は約2割

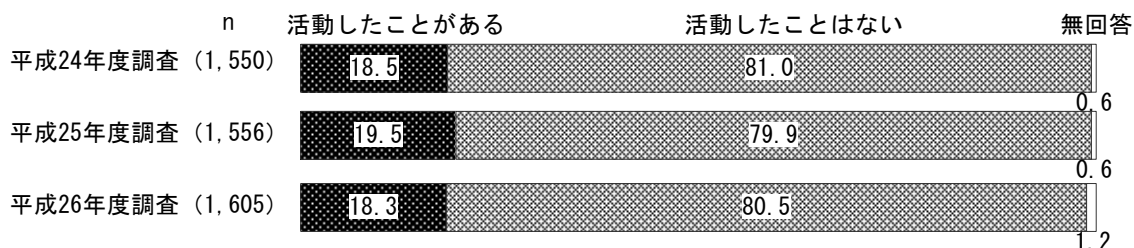
問11 市民活動団体の活動のうち、あなた自身、これまでボランティアとして活動したことがありますか。(○は1つ)

＜図表 1－26＞ボランティア活動経験



ボランティアとして活動したことがあるかを聞いたところ、「活動したことがある」(18.3%)は約2割となっている。一方、「活動したことはない」(80.5%)は8割となっている。(図表 1－26)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



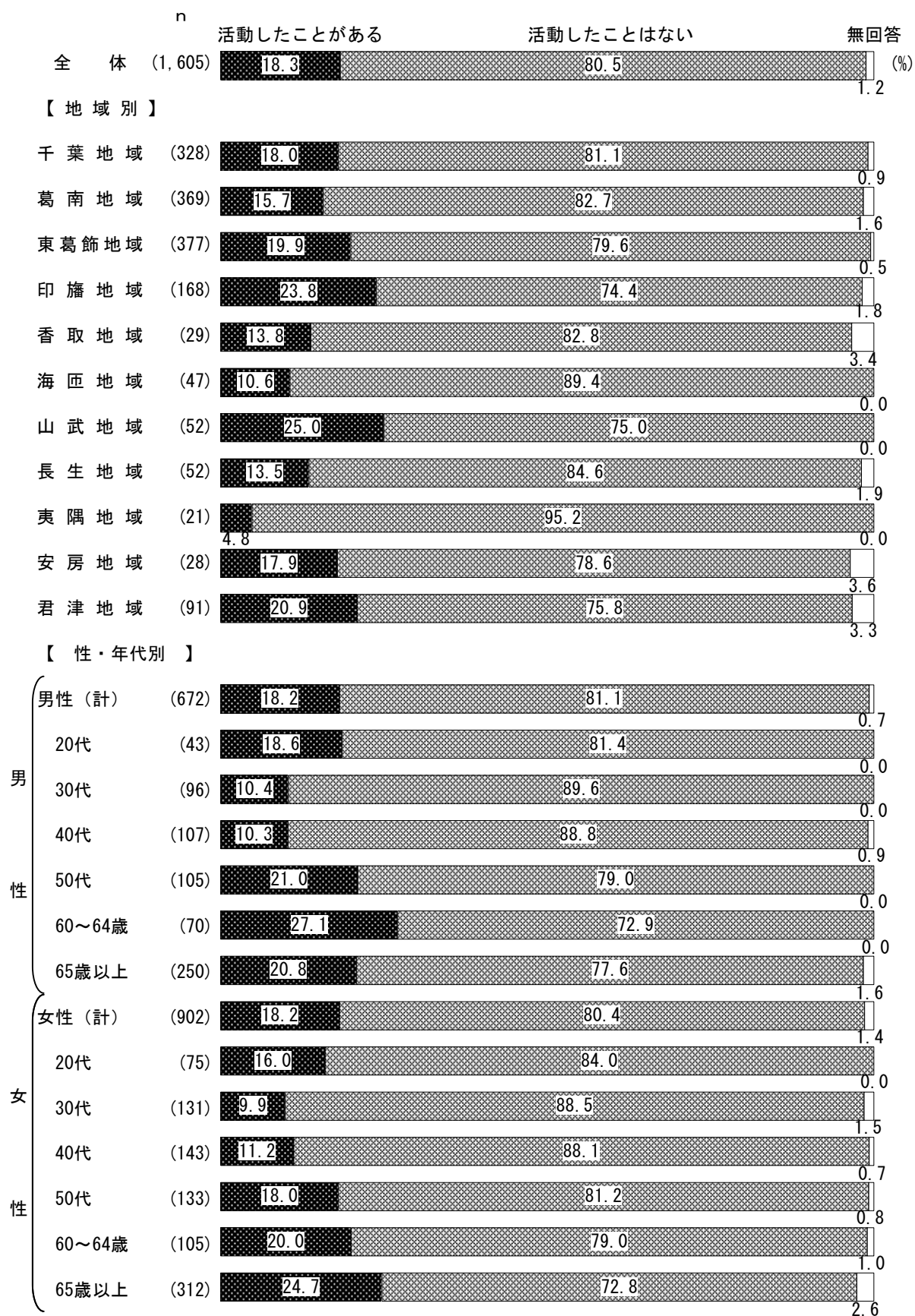
【地域別】

地域別にみると、「活動したことがある」は“山武地域”(25.0%)、“印旛地域”(23.8%)が2割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表 1－27)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「活動したことがある」は男性の60～64歳以上(27.1%)が約3割と他の年代に比べて高くなっている。(図表 1－27)

＜図表１－27＞ボランティア活動経験／地域別、性・年代別



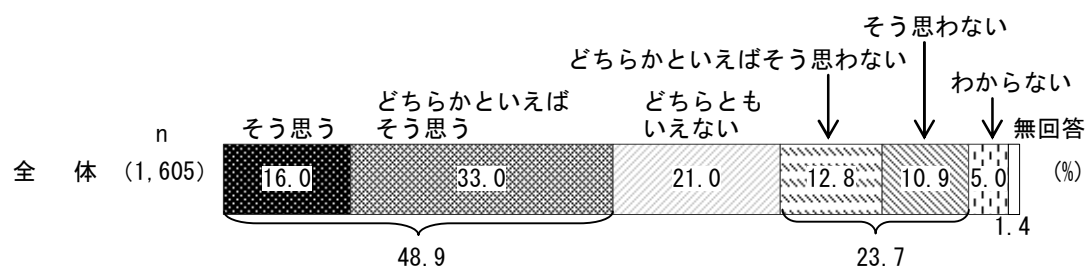
2 健康について

(1) 健康づくりに取り組むことができる環境

◇『そう思う』が約5割

問12 あなたは、自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思いますか。
(○は1つ)

<図表2-1>健康づくりに取り組むことができる環境



自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(16.0%)と「どちらかといえばそう思う」(33.0%)を合わせた『そう思う』(48.9%)は約5割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(12.8%)と「そう思わない」(10.9%)を合わせた『そう思わない』(23.7%)は2割台半ばとなっている。(図表2-1)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)

n	そう思う	そう思わない	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成24年度調査 (1,550)	52.6	19.3	28.1
平成25年度調査 (1,556)	50.7	21.7	27.6
平成26年度調査 (1,605)	48.9	23.7	27.4

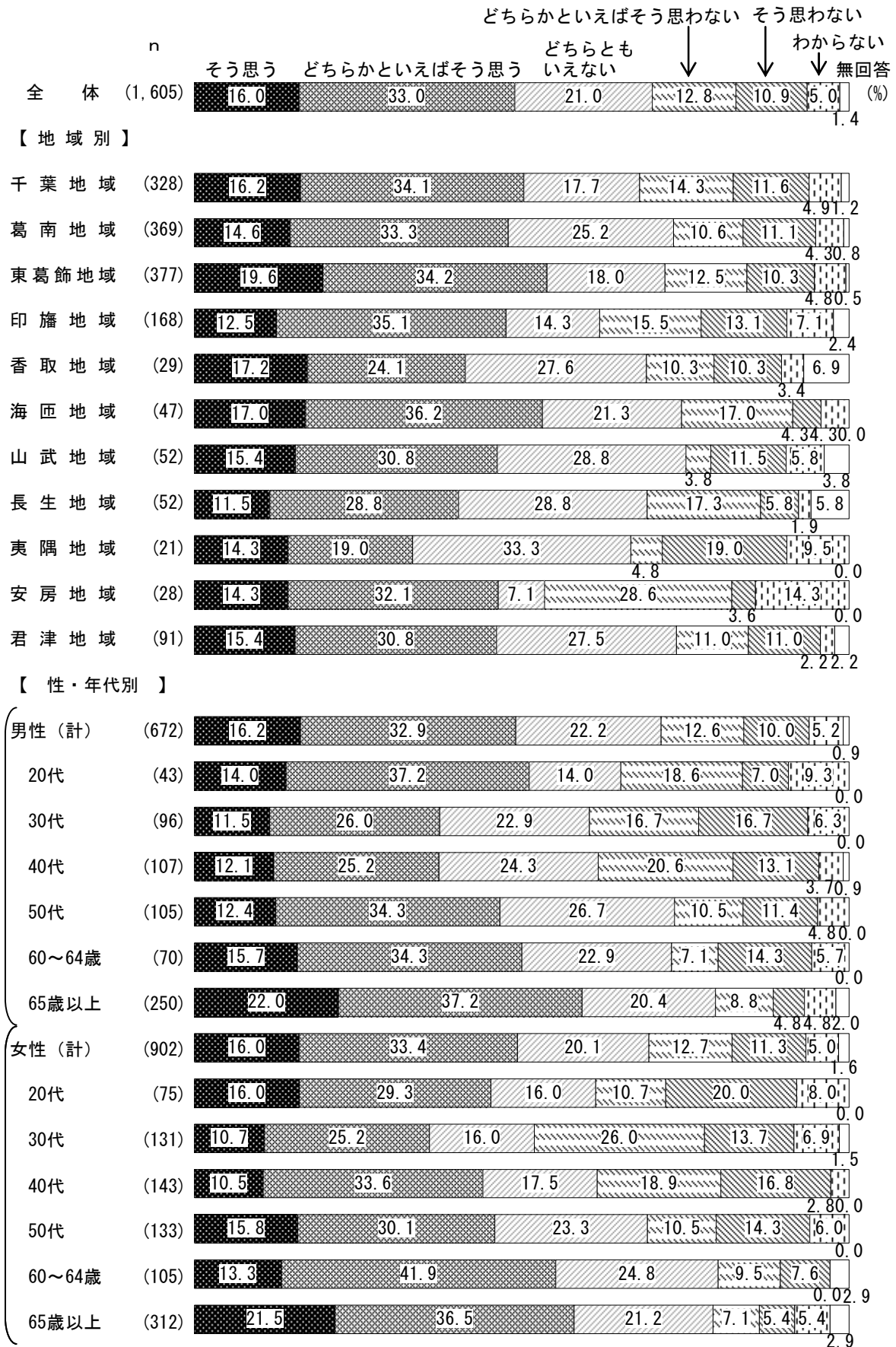
【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“東葛飾地域”(53.8%)と“海匝地域”(53.2%)が5割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表2-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の65歳以上(59.2%)、女性の65歳以上(58.0%)が約6割と他の年代に比べて高くなっている。(図表2-2)

＜図表２－２＞健康づくりに取り組むことができる環境／地域別、性・年代別

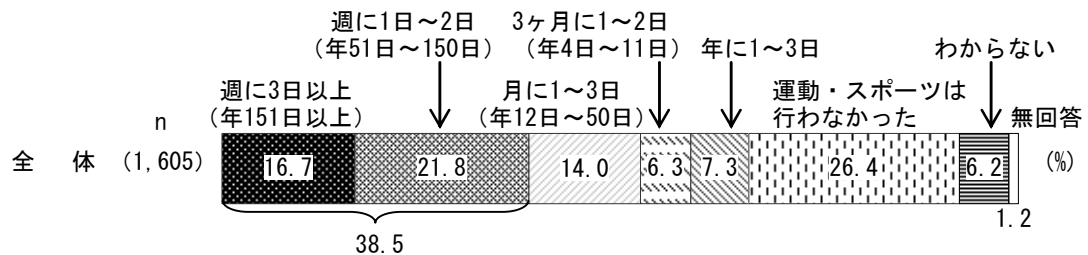


(2) 健康づくりのための運動

◇『健康づくりのために週1日以上運動した』は約4割

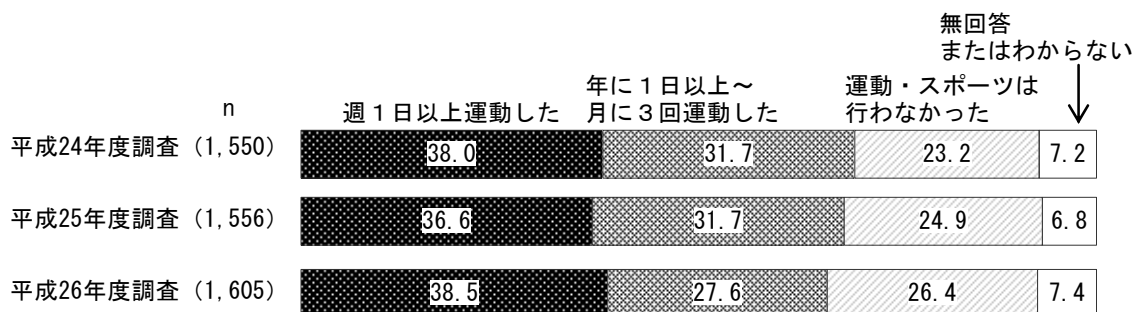
問13 あなたは、健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行いましたか。
(○は1つ)

＜図表2-3＞健康づくりのための運動



健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行ったかを聞いたところ、「週に3日以上 (年151日以上)」(16.7%)、「週に1日～2日 (年51日～150日)」(21.8%)を合わせた『健康づくりのために週1日以上運動した』(38.5%)は約4割となっている。一方、「運動・スポーツは行わなかった」(26.4%)は2割台半ばとなっている。(図表2-3)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位: %)



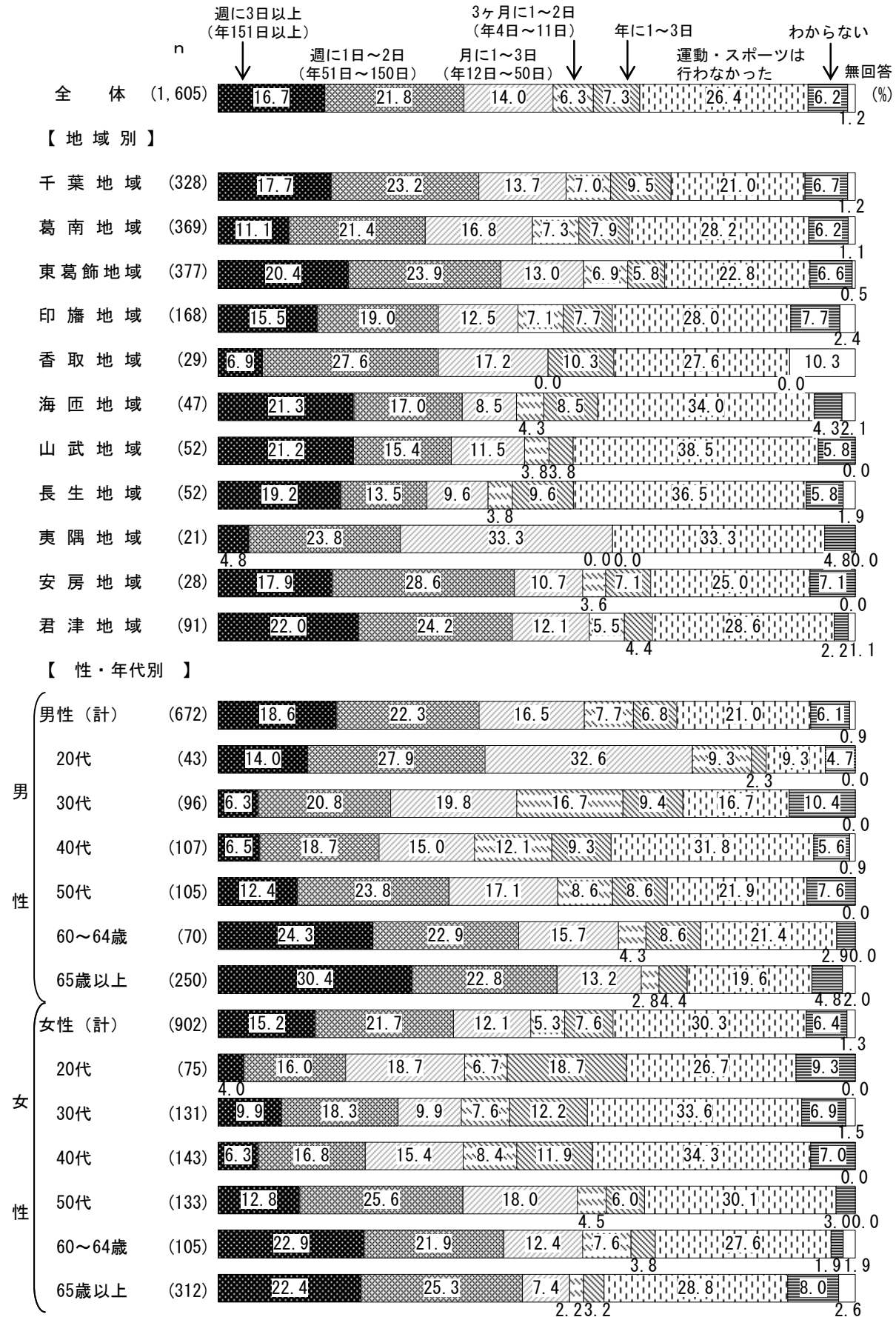
【地域別】

地域別にみると、『週1日以上運動した』は“安房地域”(46.4%)、“君津地域”(46.2%)、“東葛飾地域”(44.3%)が4割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表2-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『週1日以上運動した』は男性の65歳以上(53.2%)が5割台半ばで他の年代と比べて高くなっている。(図表2-4)

<図表2-4>健康づくりのための運動／地域別、性・年代別

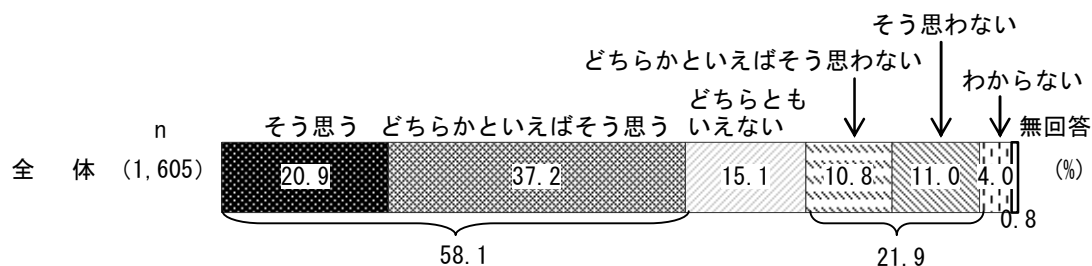


(3) 安心して受診できる医療体制

◇『そう思う』は約6割

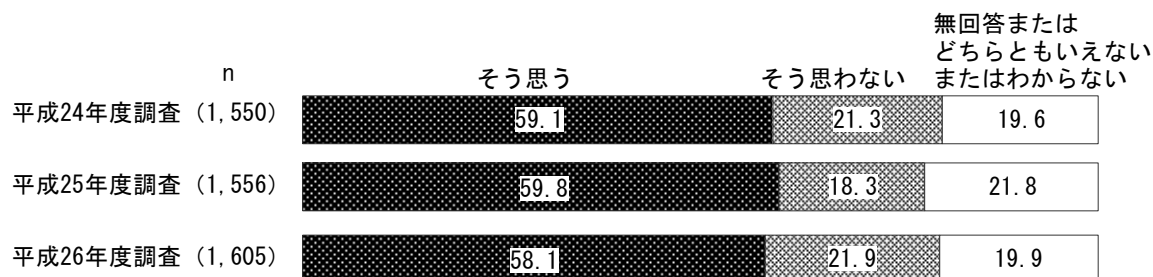
問14 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。
(○は1つ)

＜図表2－5＞安心して受診できる医療体制



住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制が整っていると思うか聞いたところ、「そう思う」(20.9%)と「どちらかといえばそう思う」(37.2%)を合わせた『そう思う』(58.1%)は約6割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(10.8%)と「そう思わない」(11.0%)を合わせた『そう思わない』(21.9%)は2割を超えている。(図表2－5)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



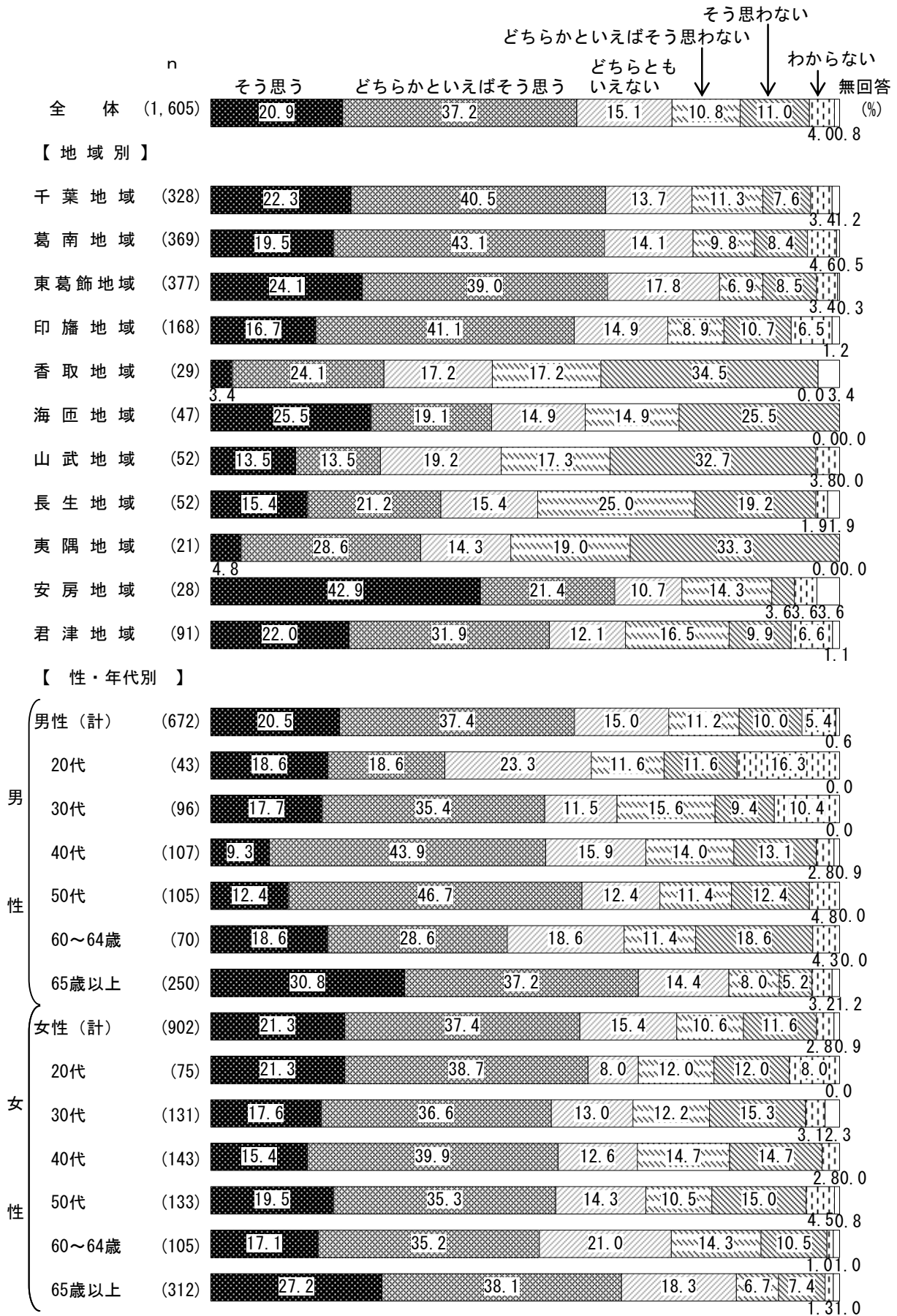
【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“安房地域”(64.3%)、“東葛飾地域”(63.1%)が6割台半ば、“千葉地域”(62.8%)、“葛南地域”(62.6%)が6割を超えて他の地域に比べて高くなっている。(図表2－6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の65歳以上(68.0%)が約7割、女性の65歳以上(65.4%)が6割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表2－6)

<図表2-6>安心して受診できる医療体制／地域別、性・年代別



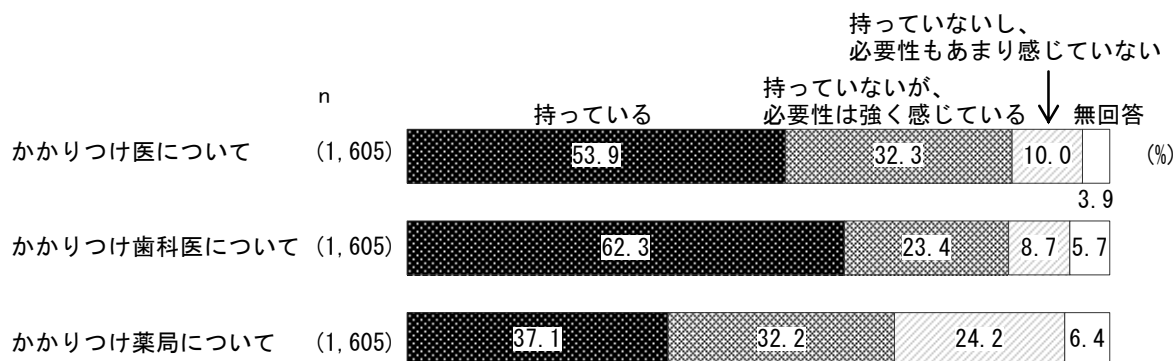
(4) かかりつけ医の有無

◇かかりつけ歯科医を持っているが6割を超え、かかりつけ医を持っているが5割台半ば

問15 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要なときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師（歯科医・薬局）を、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」をお持ちですか。（○はそれぞれ1つずつ）

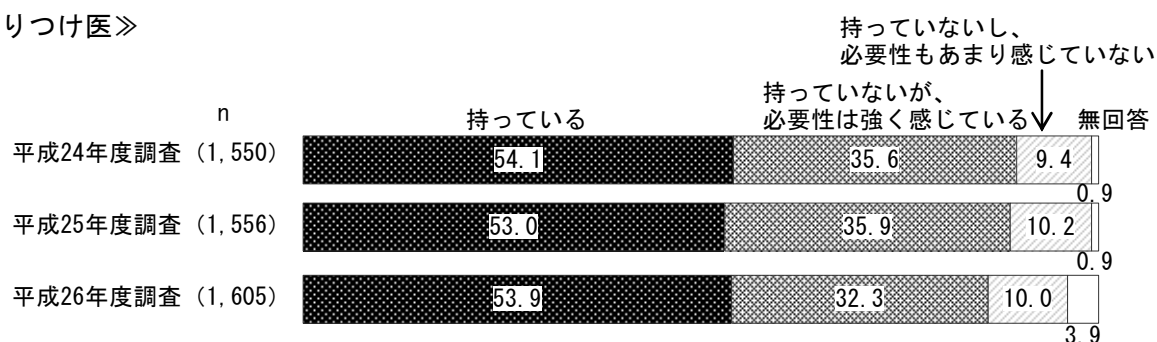
＜図表2－7＞かかりつけ医の有無



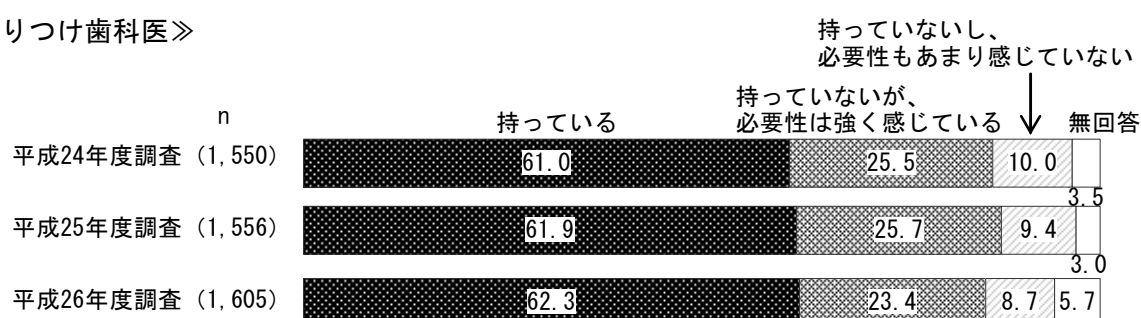
かかりつけの医師、歯科医師、薬局を持っているかどうかを聞いたところ、「持っている」は歯科医師（62.3%）が6割を超え、医師（53.9%）は5割台半ば、薬局（37.1%）は約4割となっている。「持っていないが、必要性は強く感じている」は医師（32.3%）と薬局（32.2%）が3割を超えている。一方、「持っていないし、必要性もあまり感じていない」は薬局（24.2%）が2割台半ばとなっている。（図表2－7）

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）

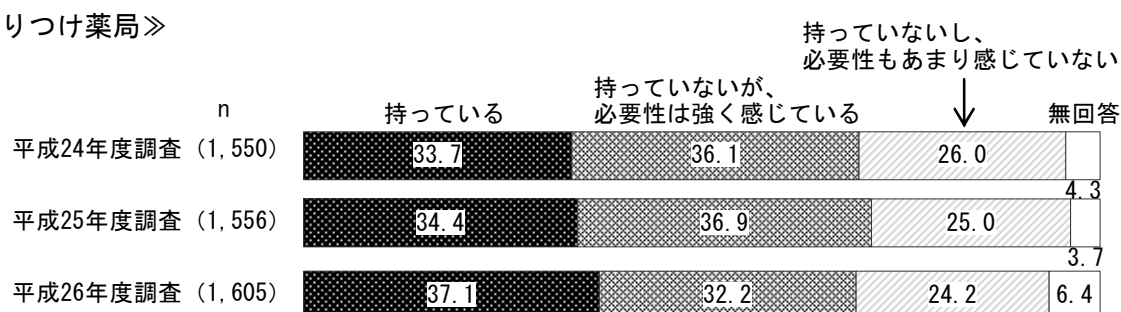
《かかりつけ医》



《かかりつけ歯科医》



《かかりつけ薬局》



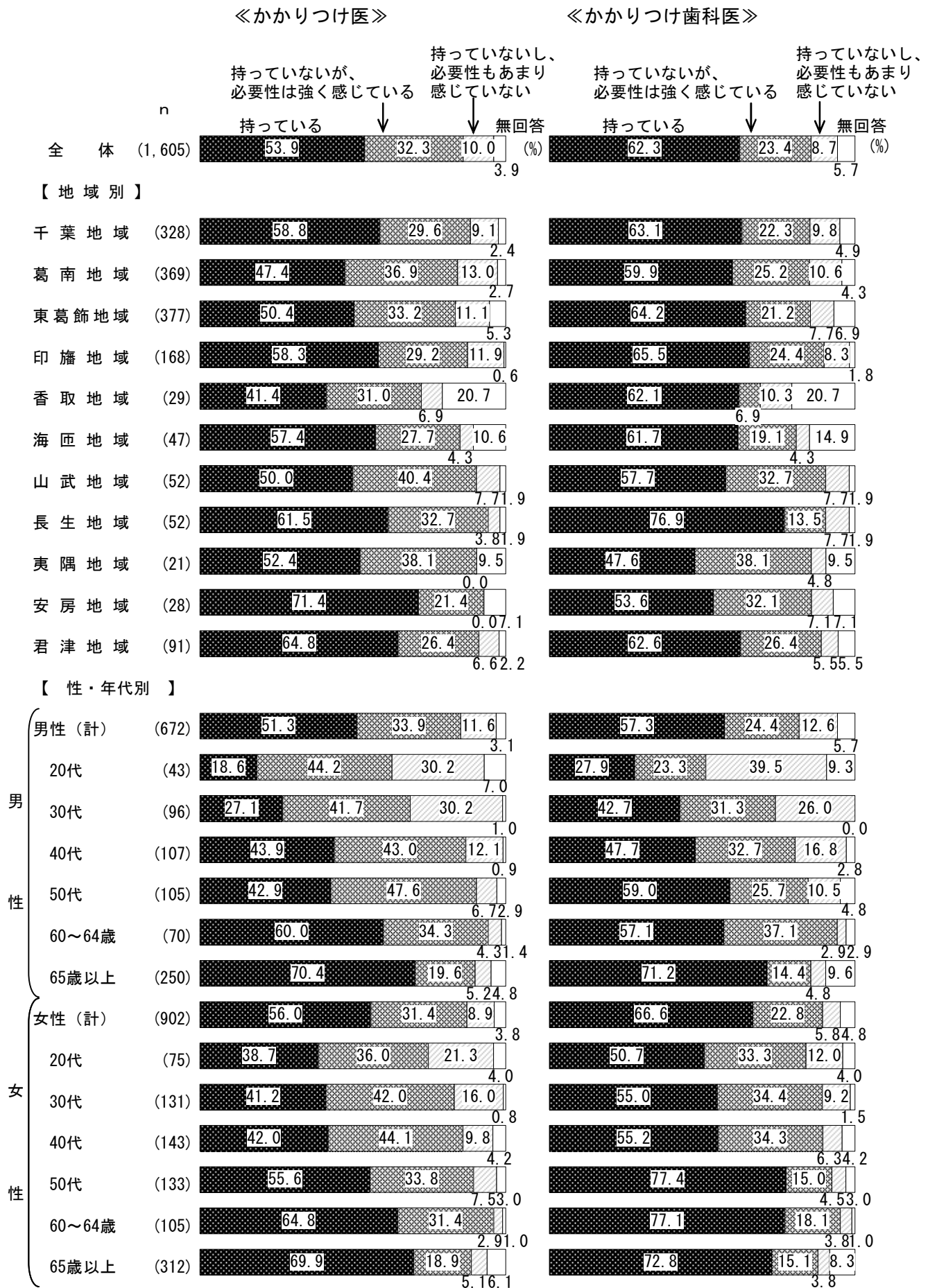
【地域別】

地域別にみると、かかりつけ医を「持っている」は“安房地域”（71.4％）が7割を超えて他の地域に比べて高くなっている。かかりつけ歯科医を「持っている」は“長生地域”（76.9％）が7割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。かかりつけ薬局を「持っている」は“安房地域”（53.6％）が5割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。（図表2－8）

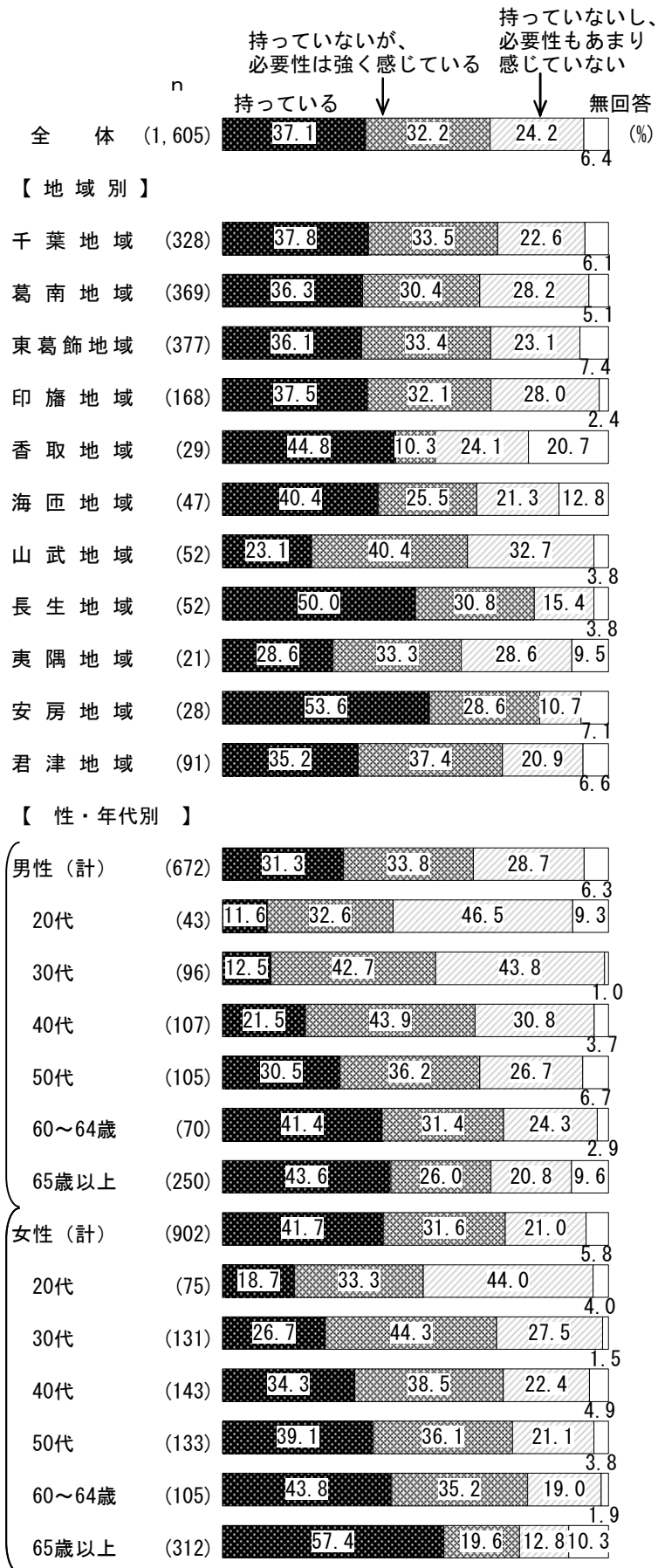
【性・年代別】

性・年代別に見ると、かかりつけ医を「持っている」は男性の65歳以上（70.4％）が7割、女性の65歳以上（69.9％）が約7割と他の年代に比べて高くなっている。かかりつけ歯科医を「持っている」は女性の50代（77.4％）、女性の60～64歳（77.1％）が約8割と高くなっている。かかりつけ薬局を「持っている」は女性の65歳以上（57.4％）が約6割と高くなっている。（図表2－8）

＜図表２－８＞かかりつけ医の有無／地域別、性・年代別



《かかりつけ薬局》



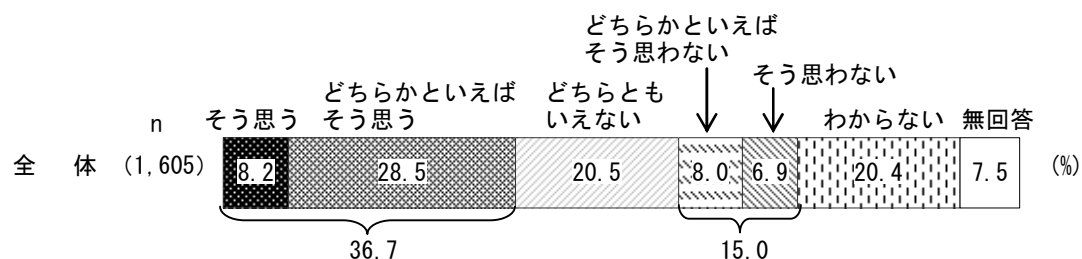
3 福祉について

(1) 安心して子育てできる環境

◇『そう思う』が3割台半ば

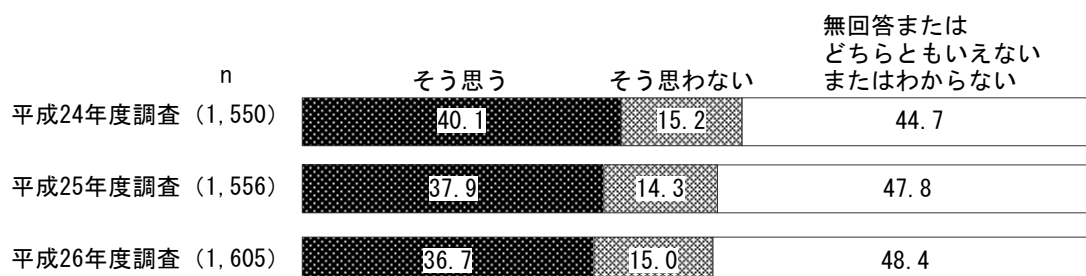
問16 あなたは、自分が安心して子育てできる環境にあると思いますか。(○は1つ)

<図表3-1>安心して子育てできる環境



自分が安心して子育てできる環境にあると思うか聞いたところ、「そう思う」(8.2%)と「どちらかといえばそう思う」(28.5%)を合わせた『そう思う』(36.7%)は3割台半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(8.0%)と「そう思わない」(6.9%)を合わせた『そう思わない』(15.0%)は1割台半ばとなっている。(図表3-1)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



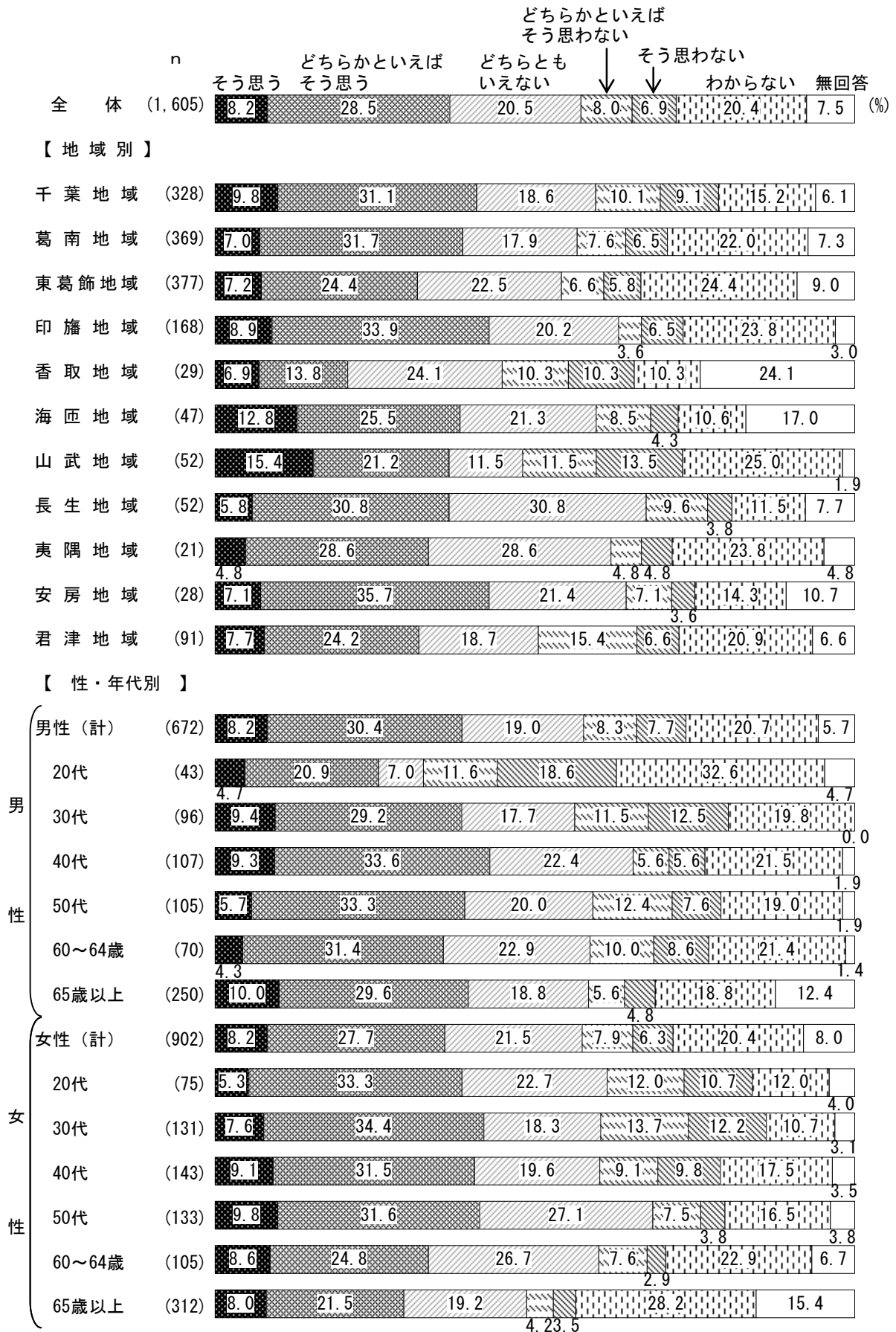
【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“印旛地域”(42.9%)、“安房地域”(42.9%)が4割を超えて他の地域と比べて高くなっている。一方、『そう思わない』は“山武地域”(25.0%)が約2割台半ばで高くなっている。(図表3-2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の40代(43.0%)が4割台半ば、女性の30代(42.0%)、女性の50代(41.4%)、女性の40代(40.6%)が4割を超えて他の年代に比べて高くなっている。一方、『そう思わない』は男性の20代(30.2%)が3割と他の年代に比べて高くなっている。(図表3-2)

＜図表３－２＞安心して子育てできる環境／地域別、性・年代別



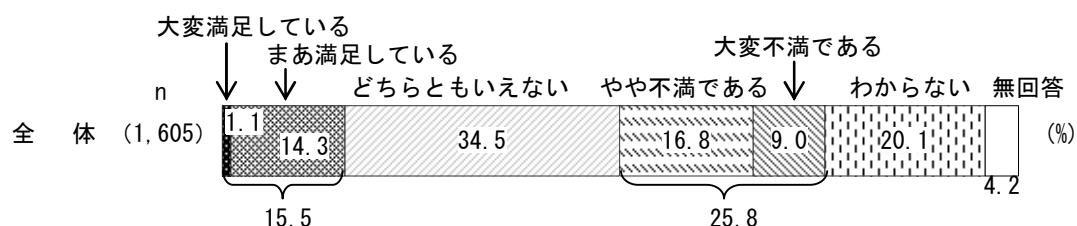
(2) お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策について

◇『満足している』が1割台半ば、『不満である』が2割台半ば

問17 あなたは、お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についてどう感じですか。

(○は1つ)

＜図表3－3＞お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策について



お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についてどう感じているか聞いたところ、「大変満足している」(1.1%)と「まあ満足している」(14.3%)を合わせた『満足している』(15.5%)が1割台半ばとなっている。一方、「やや不満である」(16.8%)と「大変不満である」(9.0%)を合わせた『不満である』(25.8%)は2割台半ばとなっている。(図表3－3)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位：%)

n	満足している	不満である	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成24年度調査(1,550)	17.4	27.0	55.7
平成25年度調査(1,556)	15.7	29.3	55.0
平成26年度調査(1,605)	15.5	25.8	58.8

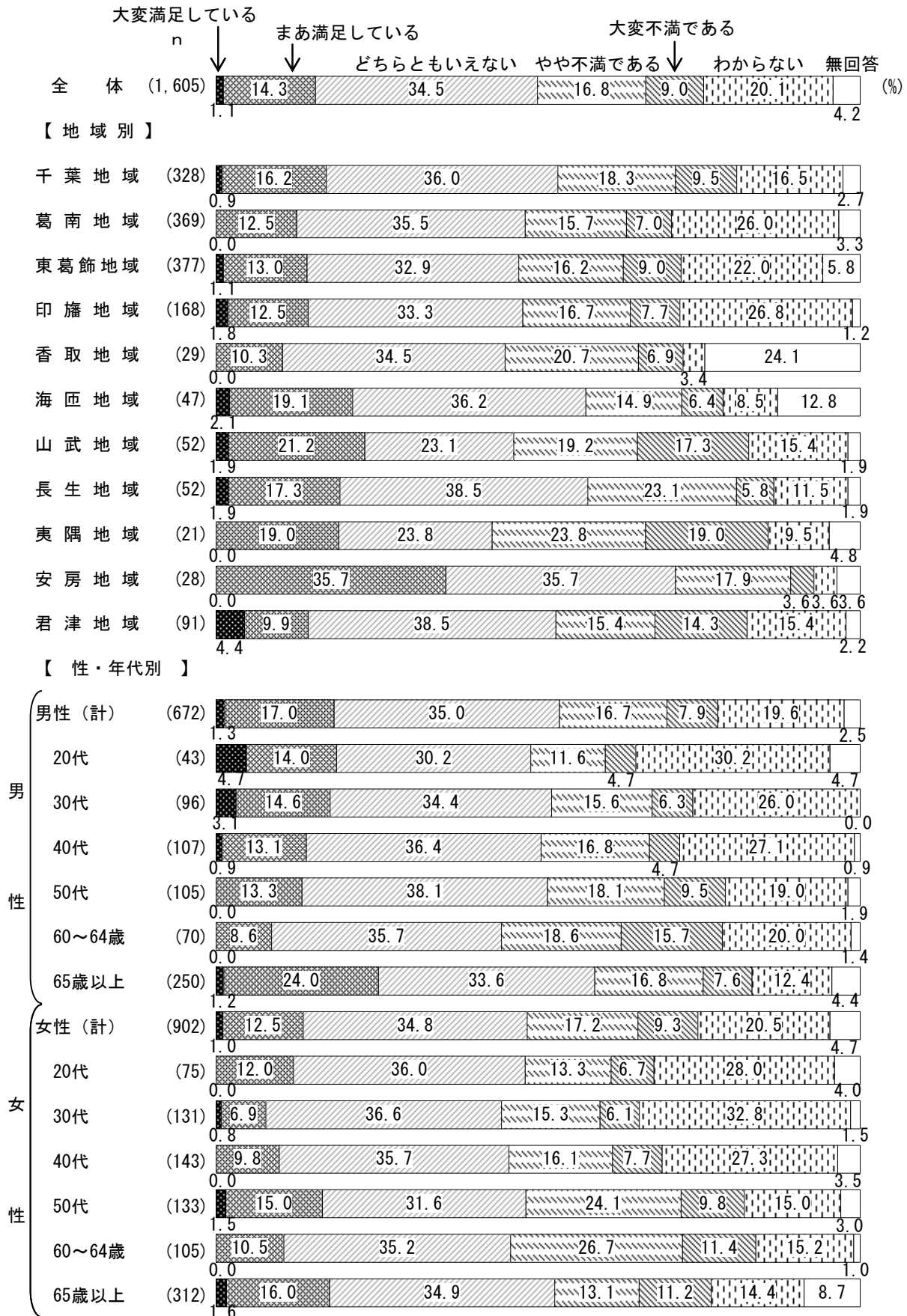
【地域別】

地域別にみると、『満足している』は“安房地域”(35.7%)が3割台半ばで他の地域に比べて高くなっている。一方、『不満である』は“夷隅地域”(42.9%)が4割を超えて高くなっている。(図表3－4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『満足している』は男性65歳以上(25.2%)が2割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。一方、『不満である』は女性の60～64歳(38.1%)が約4割と高くなっている。(図表3－4)

＜図表３－４＞お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策について／地域別、性・年代別

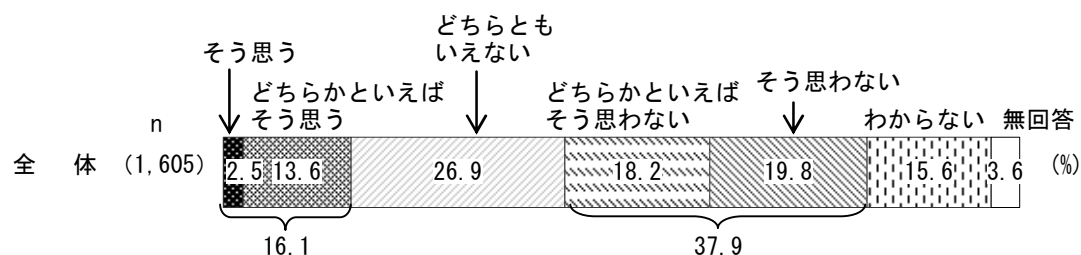


(3) 安心して暮らせる地域社会づくりについて

◇『そう思う』が1割台半ば

問18 あなたは、地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると思いますか。(○は1つ)

<図表3-5>安心して暮らせる地域社会づくりについて



地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると思うか聞いたところ、「そう思う」(2.5%)と「どちらかといえばそう思う」(13.6%)を合わせた『そう思う』(16.1%)は1割台半ばとなっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(18.2%)と「そう思わない」(19.8%)を合わせた『そう思わない』(37.9%)が約4割となっている。(図表3-5)

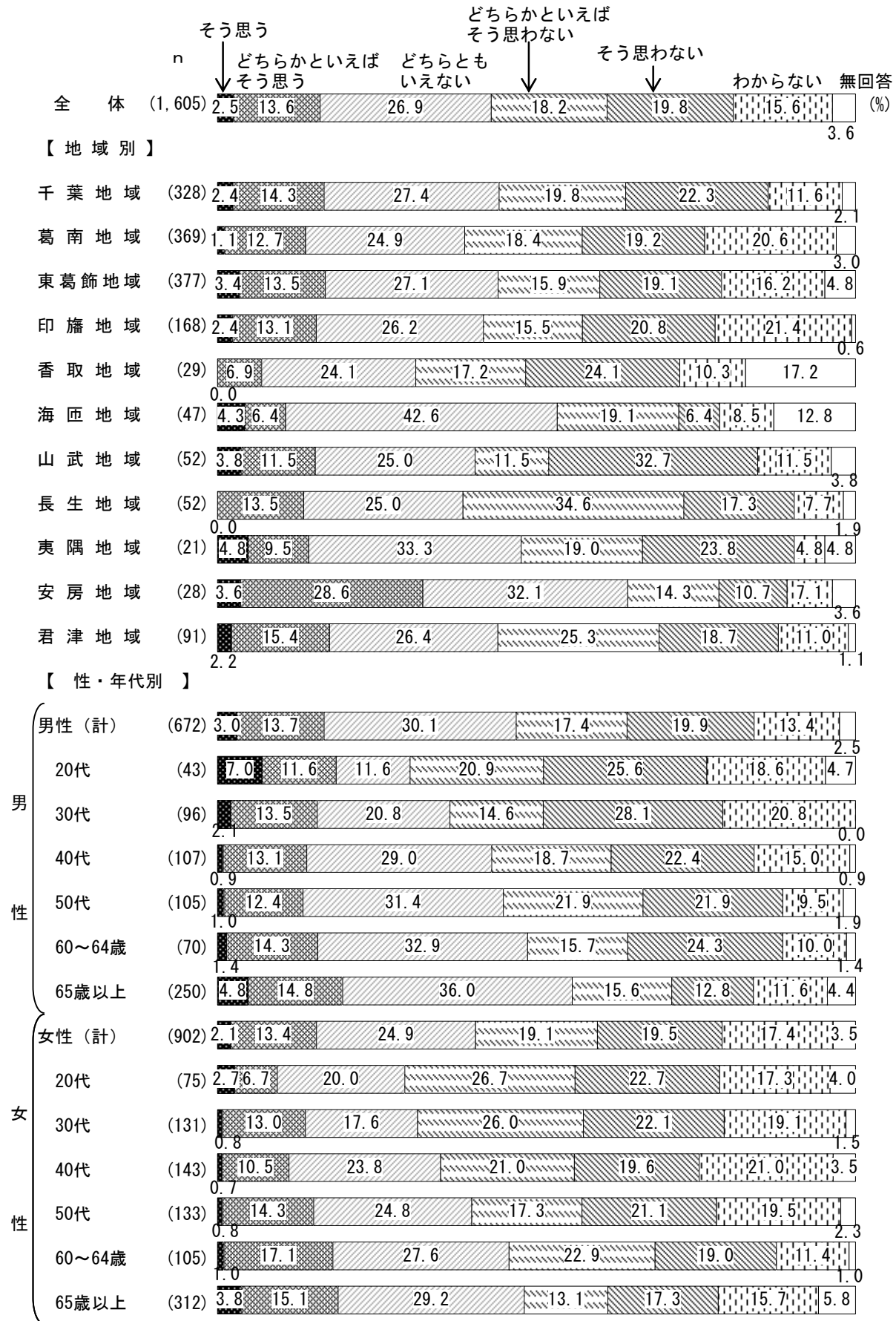
【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“安房地域”(32.1%)が3割を超えて他の地域に比べて高くなっている。一方、『そう思わない』は“長生地域”(51.9%)が5割を超えて高くなっている。(図表3-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性65歳以上(19.6%)が約2割と他の年代に比べて高くなっている。一方、『そう思わない』は女性の20代(49.3%)、女性の30代(48.1%)が約5割と高くなっている。(図表3-6)

<図表3-6>安心して暮らせる地域社会づくりについて／地域別、性・年代別

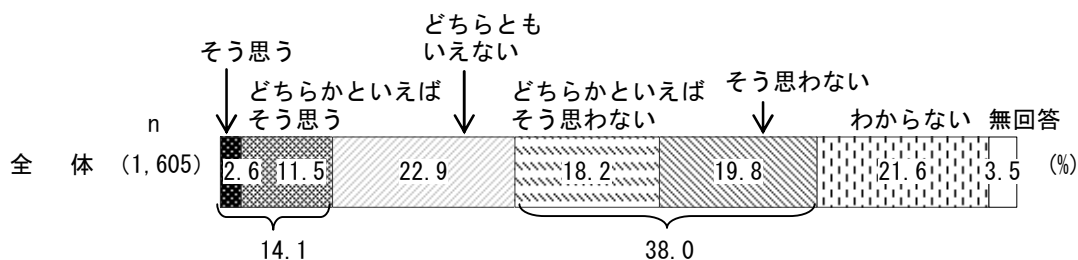


(4) 障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりについて

◇『そう思う』が1割台半ば

問19 あなたは、障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりが進められていると思いますか。(○は1つ)

＜図表3－7＞障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりについて



障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりが進められていると思うか聞いたところ、「そう思う」(2.6%)と「どちらかといえばそう思う」(11.5%)を合わせた『そう思う』(14.1%)は1割台半ばとなっており、「どちらかといえばそう思わない」(18.2%)と「そう思わない」(19.8%)を合わせた『そう思わない』(38.0%)は約4割となっている。(図表3－7)

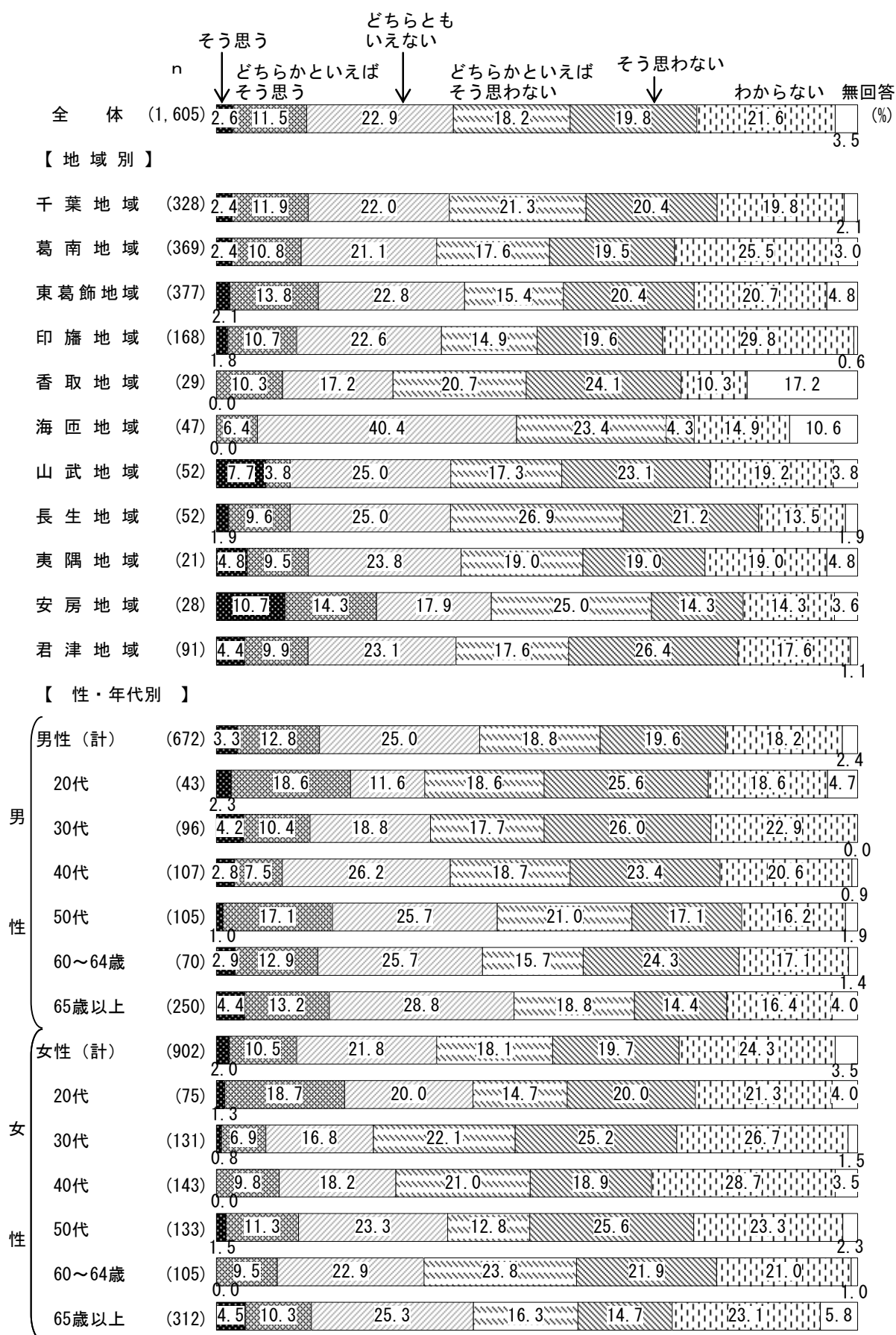
【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“安房地域”(25.0%)が2割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。一方、『そう思わない』は“長生地域”(48.1%)が約5割と高くなっている。(図表3－8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の20代(20.9%)、女性の20代(20.0%)が2割と他の年代に比べて高くなっている。一方、『そう思わない』は女性の30代(47.3%)が約5割と高くなっている。(図表3－8)

＜図表 3－8＞障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりについて／地域別、性・年代別



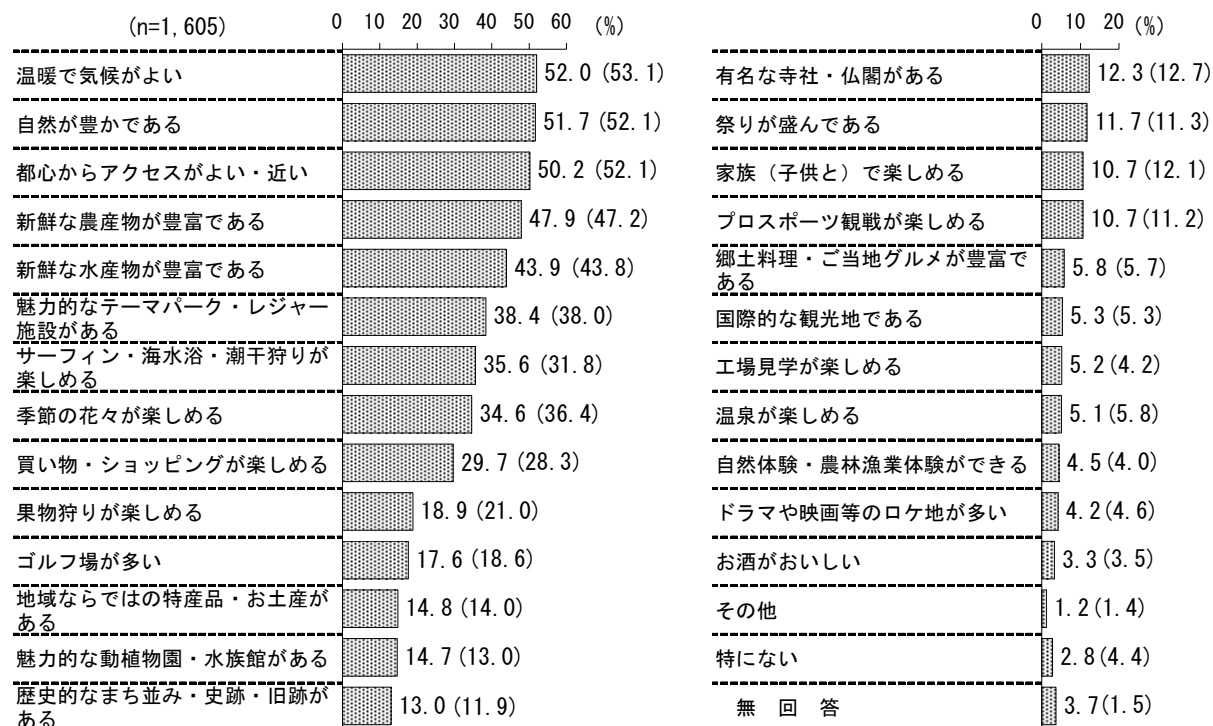
4 観光について

(1) 千葉県の魅力

◇「温暖で気候がよい」、「自然が豊かである」、「都心からアクセスがよい・近い」が5割を超える

問20 千葉県の魅力は、次のどれだと思いますか。(〇はいくつでも)

＜図表4－1＞千葉県の魅力（複数回答）



注）（ ）の数字は平成25年度の同様の項目による調査結果 n=1,556

千葉県の魅力は何だと思うか聞いたところ、「温暖で気候がよい」（52.0％）が5割を超えて最も高くなっている。以下、「自然が豊かである」（51.7％）、「都心からアクセスがよい・近い」（50.2％）、「新鮮な農産物が豊富である」（47.9％）、「新鮮な水産物が豊富である」（43.9％）が続く。（図表4－1）

【地域別】

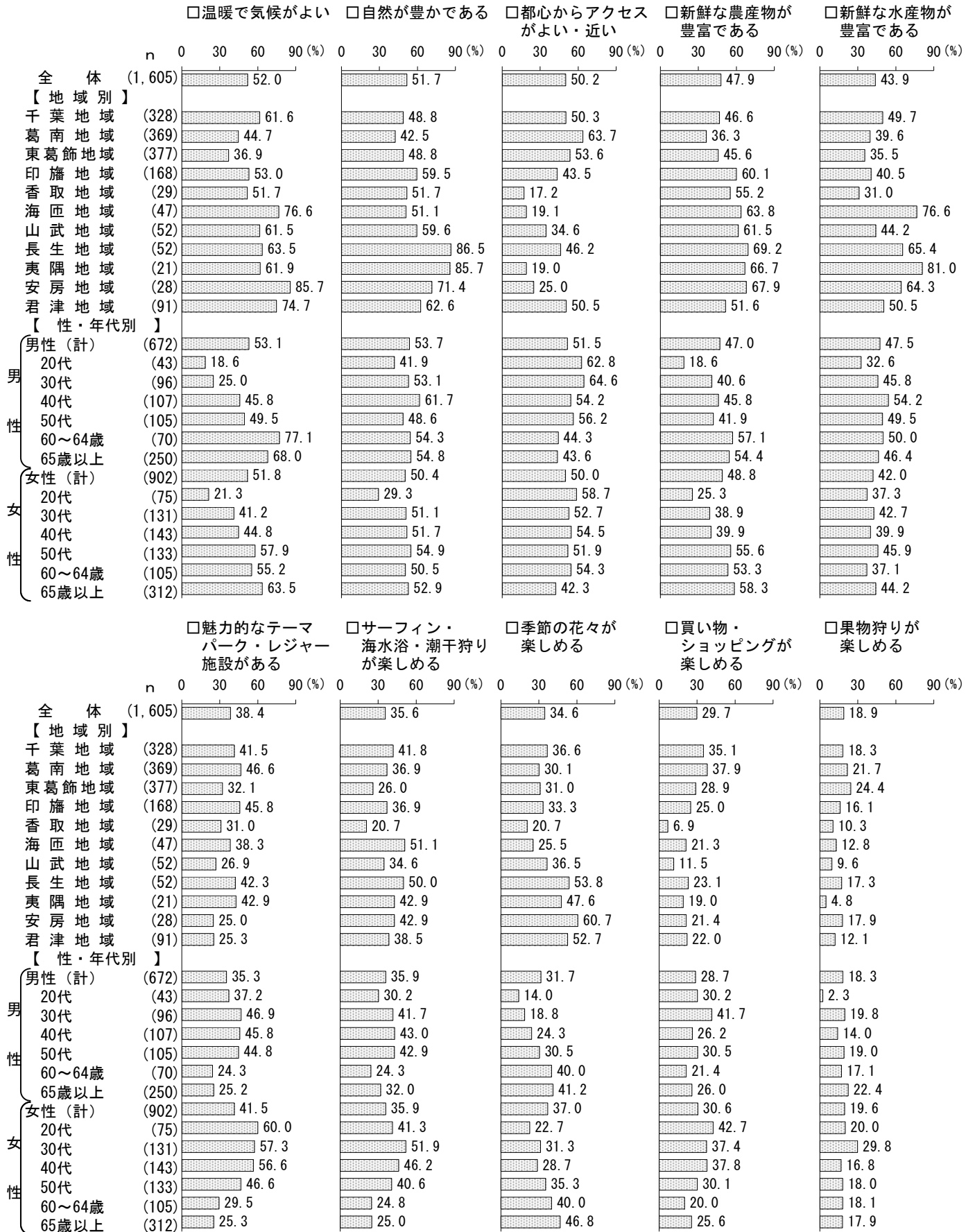
地域別にみると、「温暖で気候がよい」は“安房地域”（85.7％）が8割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。「自然が豊かである」は“長生地域”（86.5％），“夷隅地域”（85.7％）が8割台半ばと高くなっている。「都心からアクセスがよい・近い」は“葛南地域”（63.7％）が6割台半ばと高くなっている。「新鮮な農産物が豊富である」は“長生地域”（69.2％）が約7割、「新鮮な水産物が豊富である」は“夷隅地域”（81.0％）が8割を超えて他の地域に比べて高くなっている。（図表4－2）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「温暖で気候がよい」と「新鮮な農産物が豊富である」はおおむね年代が高くなるにつれて割合が高くなる傾向にあり、逆に「魅力的なテーマパーク・レジャー施設がある」と「サー

フィン・海水浴・潮干狩りが楽しめる」はおおむね年代が低くなるにつれて割合が高くなる傾向にある。「温暖で気候がよい」は男性の60～64歳（77.1%）が約8割と他の年代に比べて高くなっている。「自然が豊かである」は男性の40代（61.7%）が6割を超えて高くなっている。「都心からアクセスがよい・近い」は男性の30代（64.6%）が6割台半ばと高くなっている。（図表4－2）

＜図表４－２＞千葉県の魅力／地域別、性・年代別（上位 10 項目）

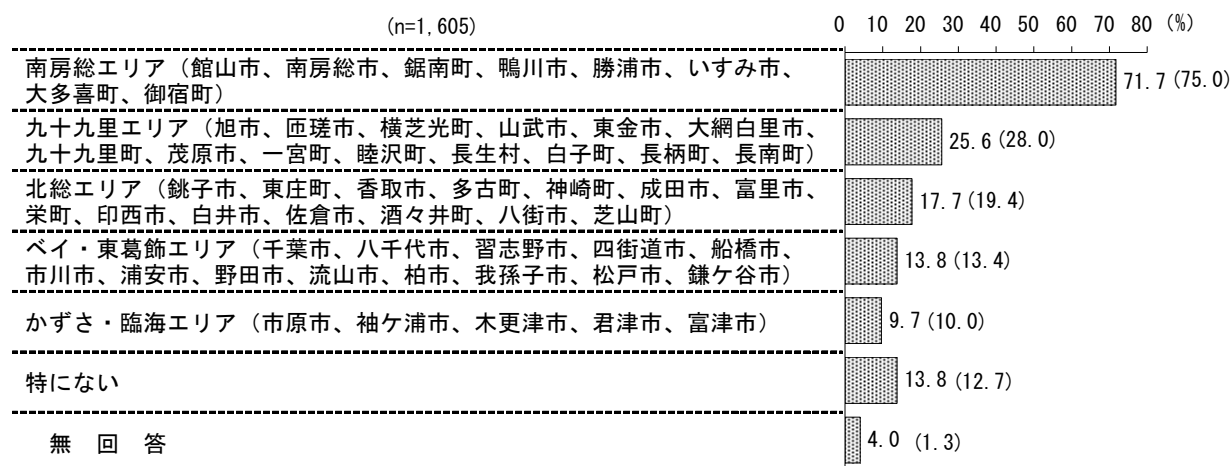


(2) 県内で旅行に行きたいエリア

◇「南房総エリア」が7割を超える

問21 あなたは、これから千葉県内を旅行するとしたら、どのエリアに行きたいですか。
(○はいくつでも)

<図表4-3>県内で旅行に行きたいエリア（複数回答）



注）（ ）の数字は平成25年度の同様の項目による調査結果 n = 1,556

県内で旅行に行きたいエリアはどこか聞いたところ、「南房総エリア」（71.7%）が7割を超えて最も高くなっている。以下、「九十九里エリア」（25.6%）、「北総エリア」（17.7%）、「ペイ・東葛飾エリア」（13.8%）、「かずさ・臨海エリア」（9.7%）が続く。（図表4-3）

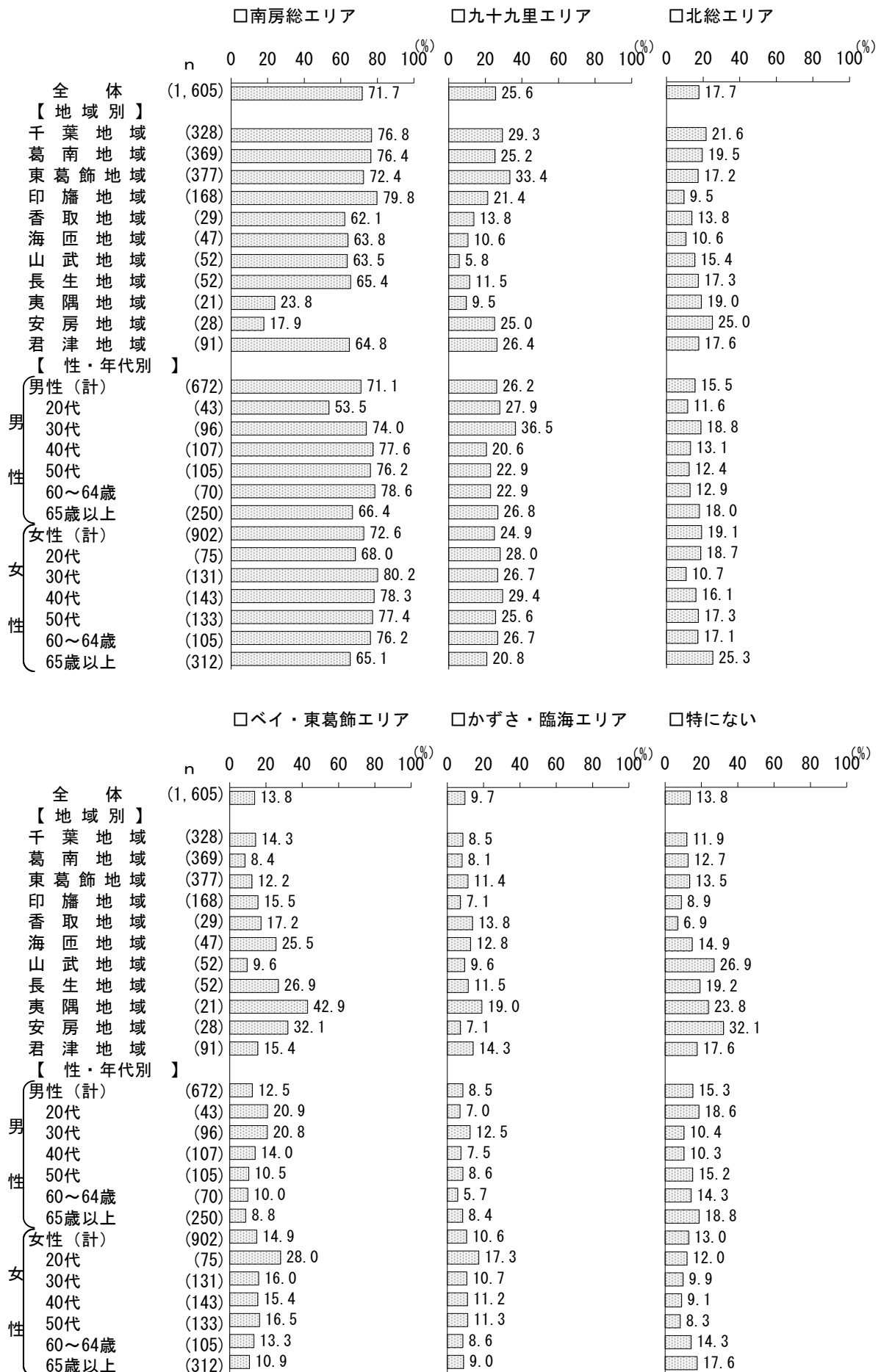
【地域別】

地域別にみると、「南房総エリア」は、「安房地域」（17.9%）、「夷隅地域」（23.8%）を除く全ての地域で6割以上と高くなっている。「九十九里エリア」は「東葛飾地域」（33.4%）で3割台半ば、「北総エリア」は「安房地域」（25.0%）で2割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。（図表4-4）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「南房総エリア」は男性の20代（53.5%）を除く全ての性・年代で6割以上と高く、女性の30代（80.2%）が8割と特に高くなっている。「九十九里エリア」は男性の30代（36.5%）が3割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。「北総エリア」は女性の65歳以上（25.3%）が2割台半ばと高くなっている。（図表4-4）

<図表４－４>県内で旅行に行きたいエリア／地域別、性・年代別

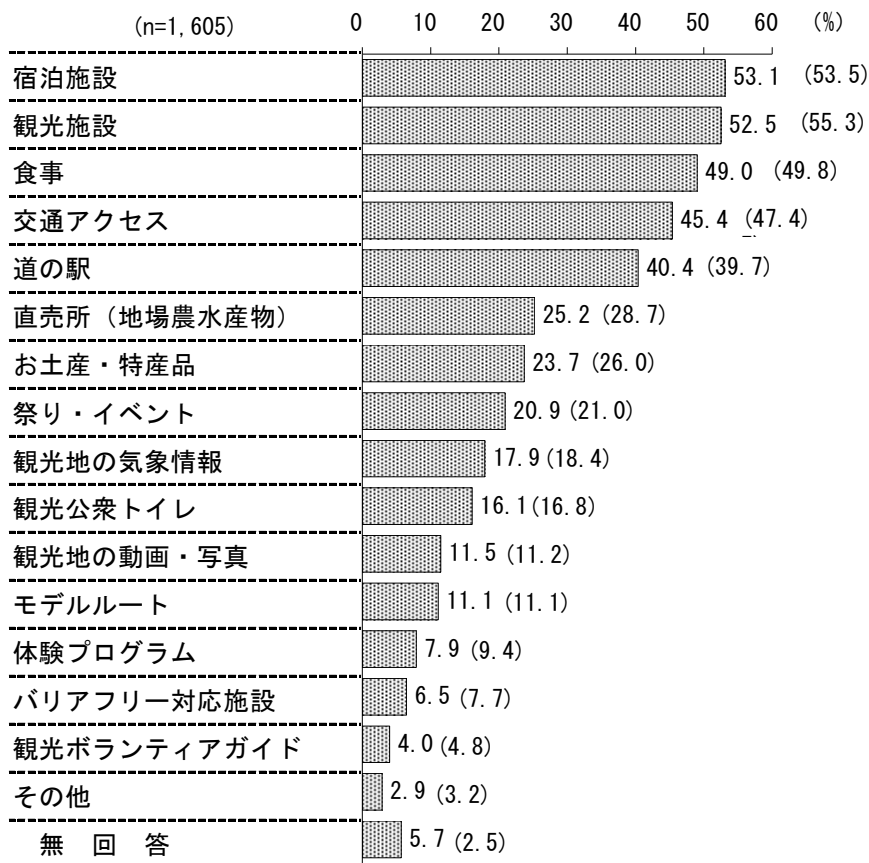


(3) 県内を観光する際に事前に知りたい情報

◇「宿泊施設」、「観光施設」が5割を超える

問22 千葉県内を観光する際に、事前にどのような情報がほしいですか。（○はいくつでも）

<図表4-5> 県内を観光する際に事前に知りたい情報（複数回答）



注）（ ）の数字は平成25年度の同様の項目による調査結果 n = 1,556

県内を観光する際に事前に知りたい情報は何か聞いたところ、「宿泊施設」（53.1%）が5割台半ばで最も高くなっている。以下、「観光施設」（52.5%）、「食事」（49.0%）、「交通アクセス」（45.4%）、「道の駅」（40.4%）が続く。（図表4-5）

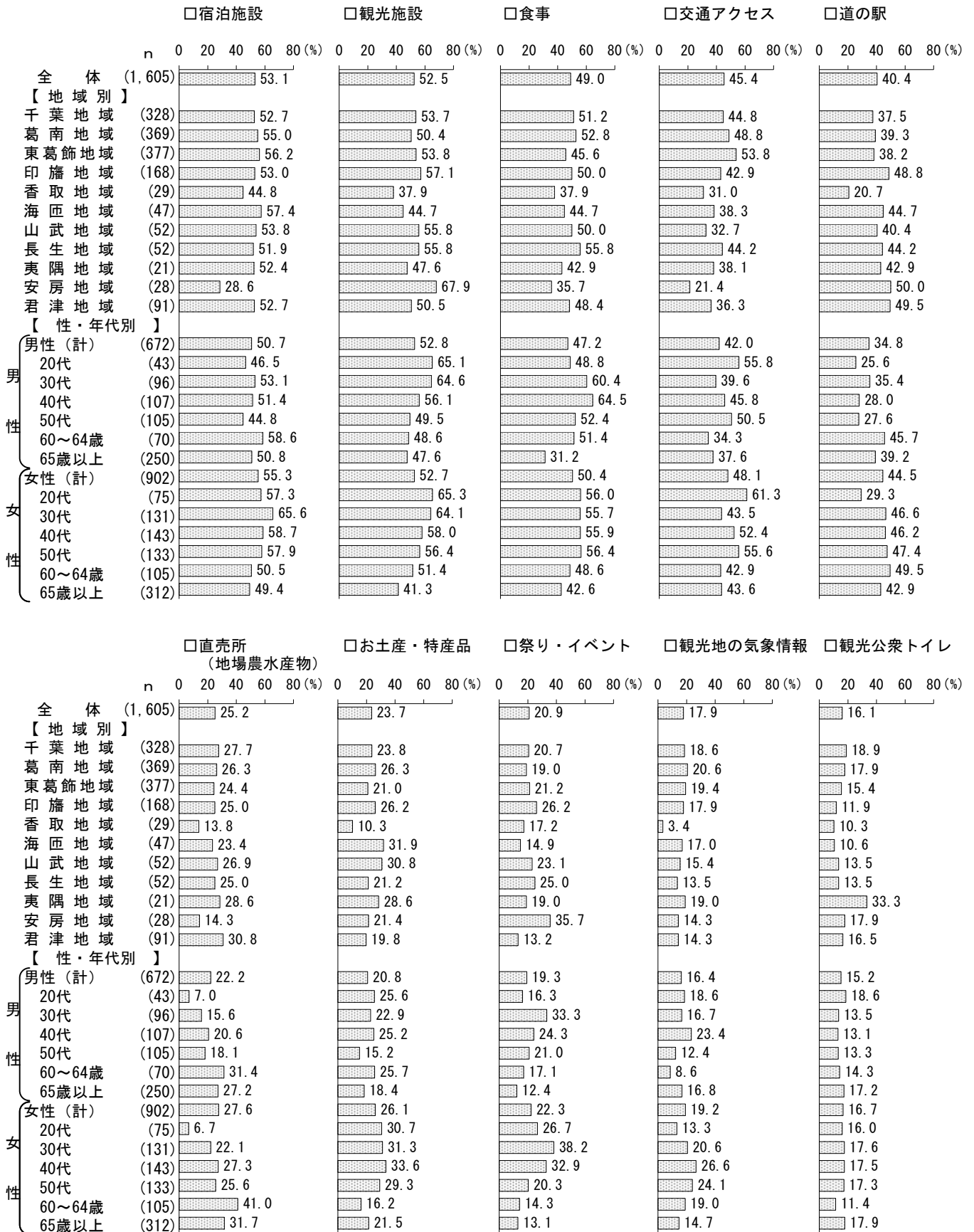
【地域別】

地域別にみると、「宿泊施設」は“海匝地域”（57.4%）が約6割、「観光施設」は“安房地域”（67.9%）が約7割、「食事」は“長生地域”（55.8%）が5割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。（図表4-6）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「宿泊施設」は女性の30代（65.6%）が6割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。「観光施設」は女性の20代（65.3%）・30代（64.1%）、男性の20代（65.1%）・30代（64.6%）が6割台半ばと高くなっている。「食事」は男性の40代（64.5%）が6割台半ばと高くなっている。（図表4-6）

＜図表４－６＞県内を観光する際に事前に知りたい情報／地域別、性・年代別（上位 10 項目）

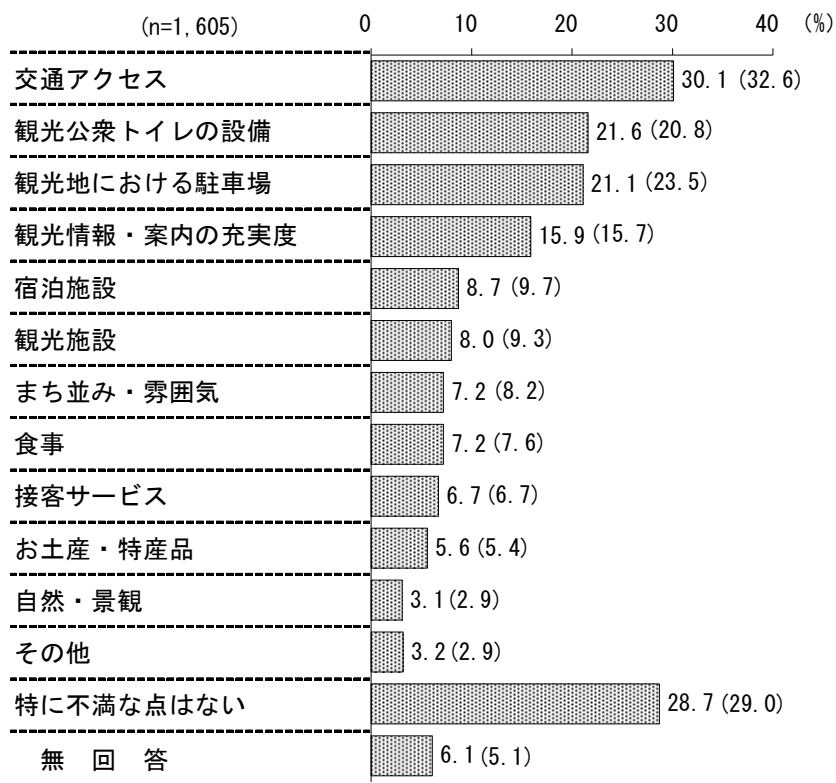


(4) 県内を観光するときの不満

◇「交通アクセス」が3割

問23 千葉県内を観光する際に、不満な点を教えてください。(〇はいくつでも)

<図表4-7>県内を観光するときの不満(複数回答)



注) () の数字は平成25年度の同様の項目による調査結果 n = 1,556

県内を観光する際に不満に感じることを聞いたところ、「交通アクセス」(30.1%)が3割で最も高くなっている。以下、「観光公衆トイレの設備」(21.6%)、「観光地における駐車場」(21.1%)、「観光情報・案内の充実度」(15.9%)が続く。(図表4-7)

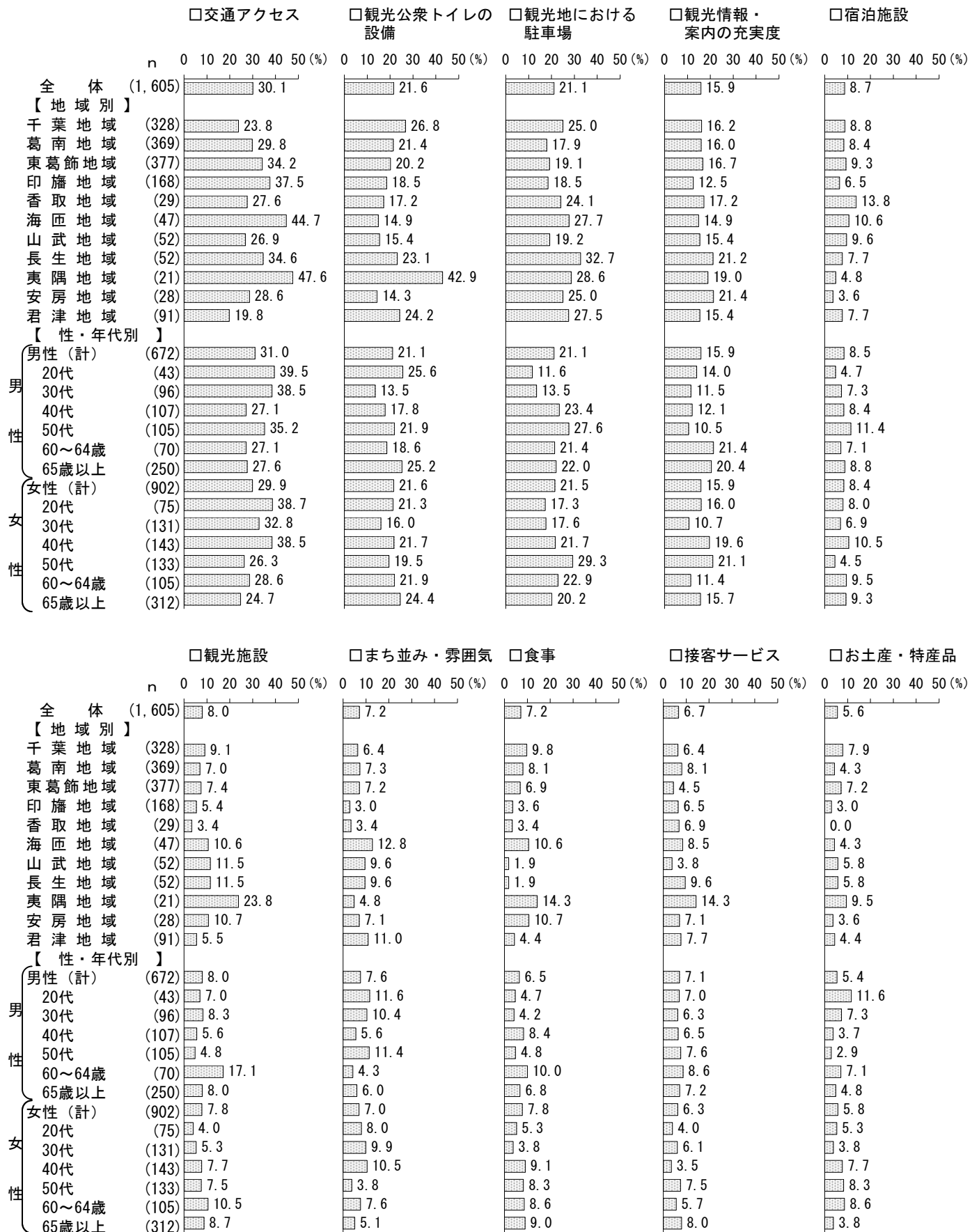
【地域別】

地域別にみると、「交通アクセス」は“夷隅地域”(47.6%)が約5割と他の地域に比べて高くなっている。「観光公衆トイレの設備」は“夷隅地域”(42.9%)が4割を超えて高くなっている。「観光地における駐車場」は“長生地域”(32.7%)が3割を超えて高くなっている。(図表4-8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「交通アクセス」は男性の20代(39.5%)、男性の30代(38.5%)、女性の20代(38.7%)、女性の40代(38.5%)が約4割と他の年代に比べて高くなっている。「観光公衆トイレの設備」は男性の20代(25.6%)、男性の65歳以上(25.2%)、女性の65歳以上(24.4%)が2割台半ばと高くなっている。「観光地における駐車場」は女性の50代(29.3%)、男性の50代(27.6%)が約3割と高くなっている。(図表4-8)

＜図表４－８＞県内を観光するときの不満／地域別、性・年代別（上位10項目）

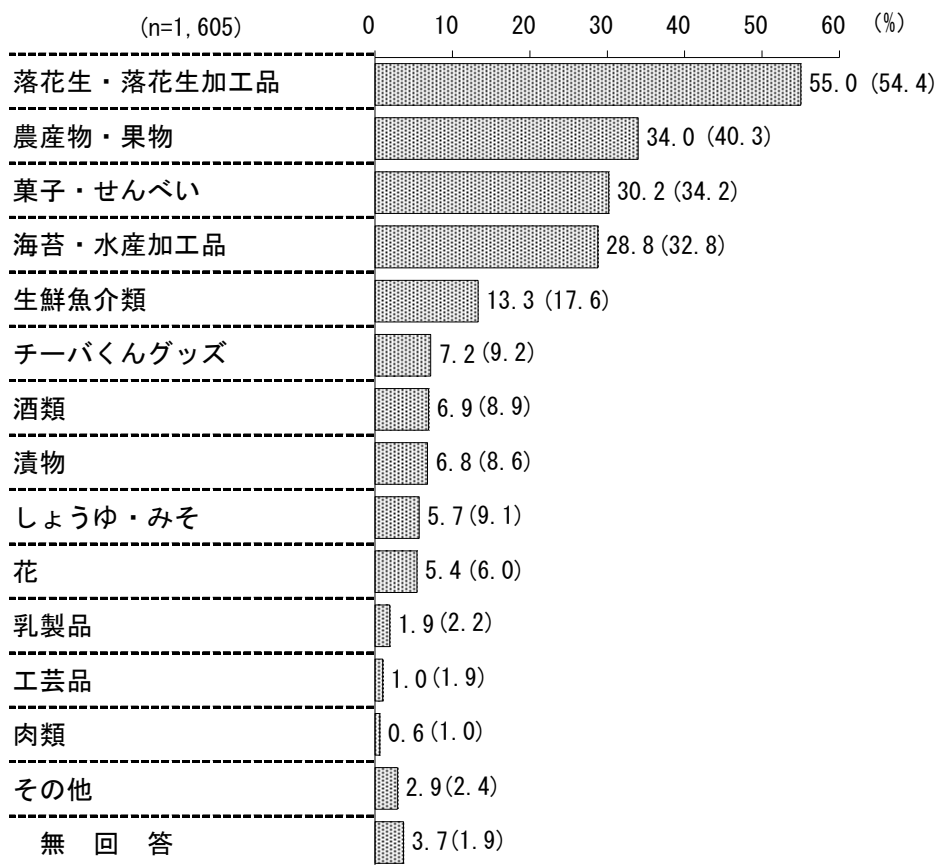


(5) 県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの

◇「落花生・落花生加工品」が5割台半ば

問24 あなたは県産品をお土産や贈答品として使う場合、何を贈りますか。(〇は3つ)

＜図表4－9＞県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの（3つ）



注) () の数字は平成25年度の同様の項目による調査結果 n = 1,556

県産品をお土産や贈答品として使うものを3つまで選んでもらったところ、「落花生・落花生加工品」(55.0%)が5割台半ばで最も高くなっている。以下、「農産物・果物」(34.0%)、「菓子・せんべい」(30.2%)、「海苔・水産加工品」(28.8%)が続く。(図表4－9)

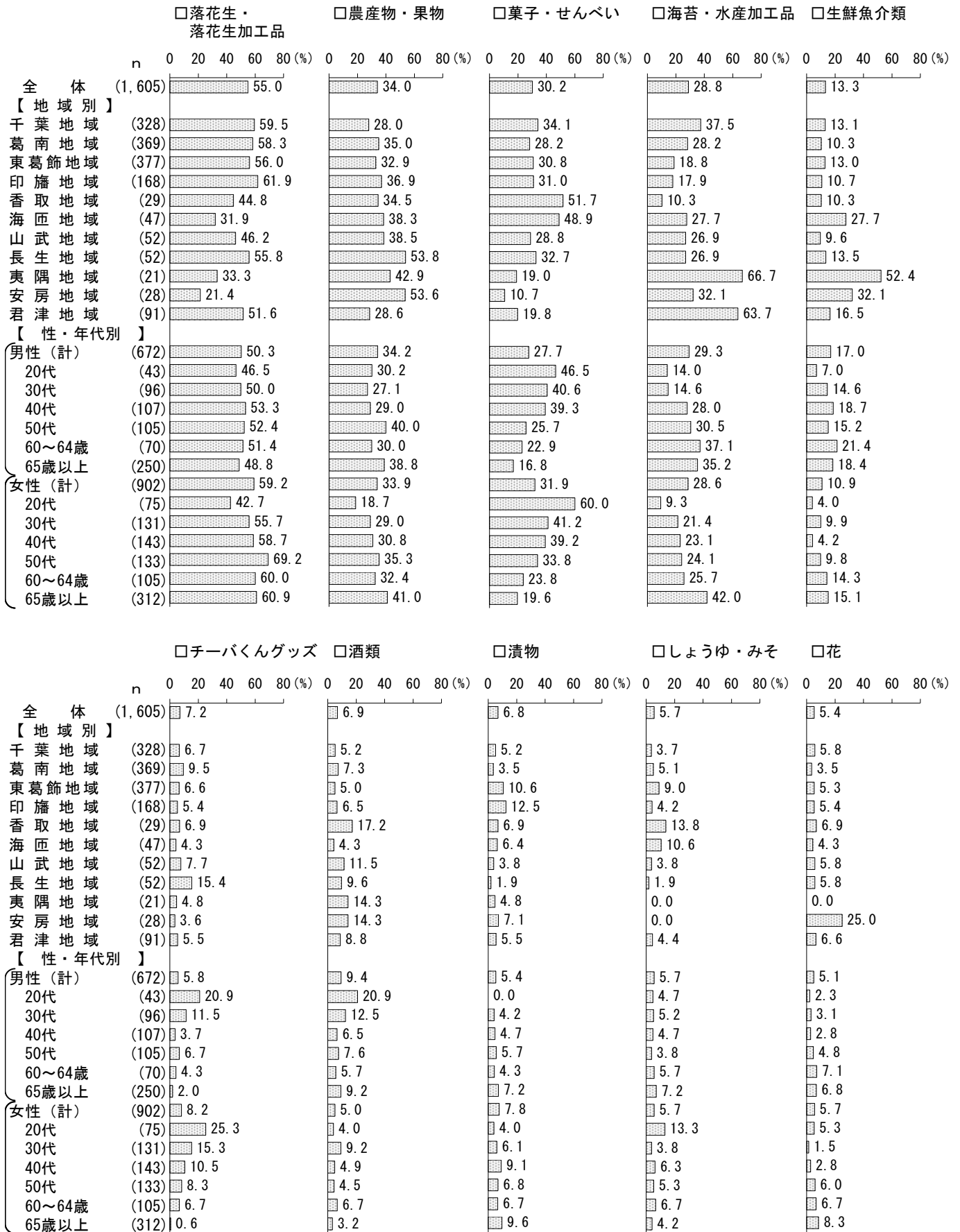
【地域別】

地域別にみると、「落花生・落花生加工品」は“印旛地域”(61.9%)が6割を超えて他の地域と比べて高くなっている。「農産物・果物」は“長生地域”(53.8%)、“安房地域”(53.6%)が5割台半ば、「海苔・水産加工品」は“夷隅地域”(66.7%)、“君津地域”(63.7%)が6割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表4－10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「落花生・落花生加工品」は女性の50代(69.2%)が約7割と他の年代に比べて高くなっている。「農産物・果物」は女性65歳以上(41.0%)が4割を超えて高くなっている。(図表4－10)

＜図表４－１０＞県産品をお土産や贈答品として使う場合、贈るもの、性・年代別（上位 10 項目）



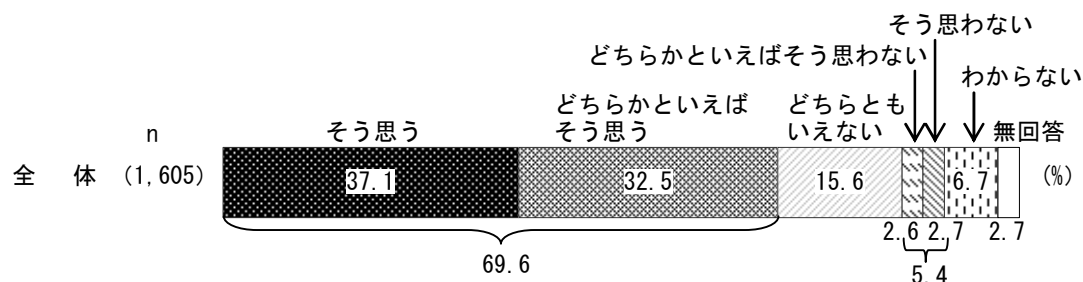
5 千葉県の農林水産物について

(1) 千葉県産農林水産物の購入意向

◇『そう思う』は約7割

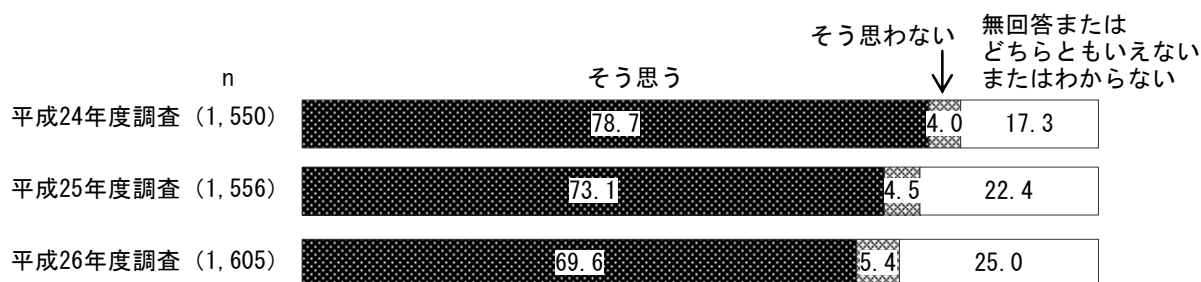
問25 あなたは、千葉県産農林水産物を購入したいと思いますか。(○は1つ)

＜図表5－1＞千葉県産農林水産物の購入意向



千葉県産農林水産物を購入したいと思うか聞いたところ、「そう思う」(37.1%)が約4割で最も高く、「どちらかといえばそう思う」(32.5%)は3割を超える。これらを合わせた『そう思う』(69.6%)は約7割となっている。一方、「どちらかといえばそう思わない」(2.6%)と「そう思わない」(2.7%)を合わせた『そう思わない』(5.4%)は1割以下となっている。(図表5－1)

【参考】平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



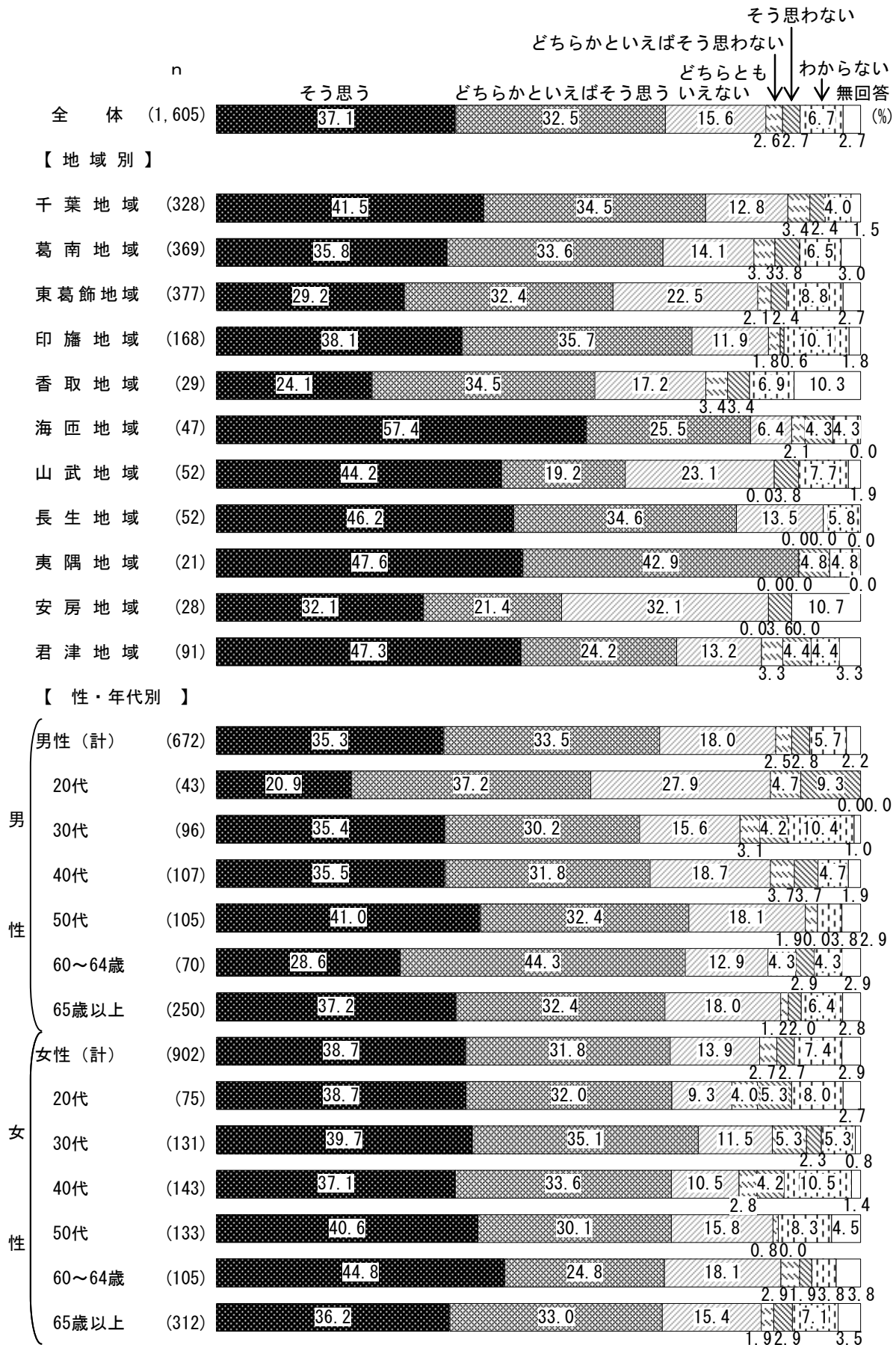
【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“夷隅地域”(90.5%)が9割、“海匝地域”(83.0%)、“長生地域”(80.8%)が8割と他の地域に比べて高くなっている。(図表5－2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は男性の20代(58.1%)を除く全ての性・年代で6割から7割と高くなっている。(図表5－2)

＜図表５－２＞千葉県産農林水産物の購入意向／地域別、性・年代別

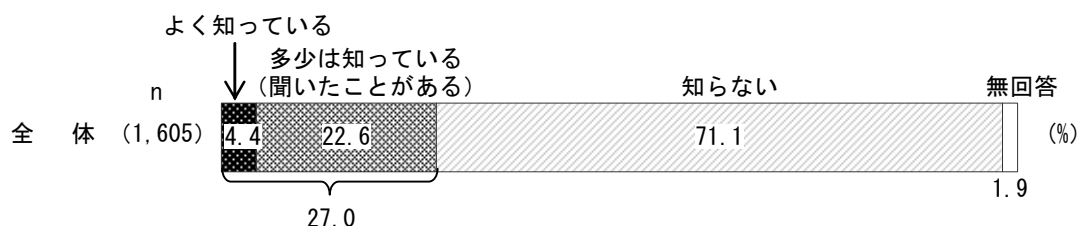


(2)「ちばエコ農産物」の認知度

◇『知っている』は約3割

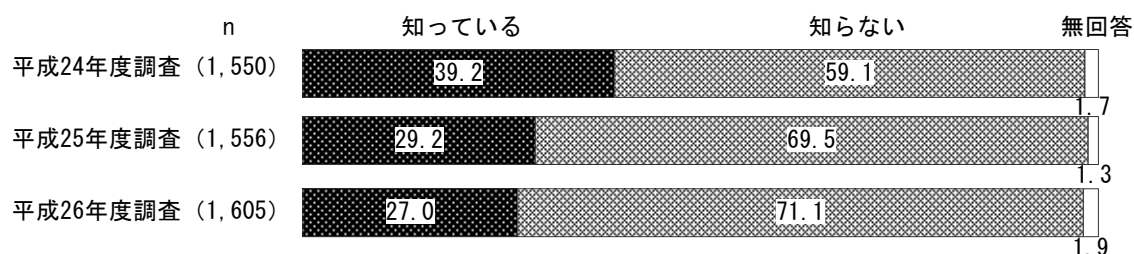
問26 千葉県では、生産者が努力し、農薬と化学肥料の使用を通常の半分以上に減らして栽培した農産物を「ちばエコ農産物」として認証しています。あなたは、「ちばエコ農産物」を知っていますか。(〇は1つ)

<図表5-3>「ちばエコ農産物」の認知度



「ちばエコ農産物」を知っているか聞いたところ、「よく知っている」(4.4%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(22.6%)を合わせた『知っている』(27.0%)は約3割となっている。一方、「知らない」(71.1%)は7割を超える。(図表5-3)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



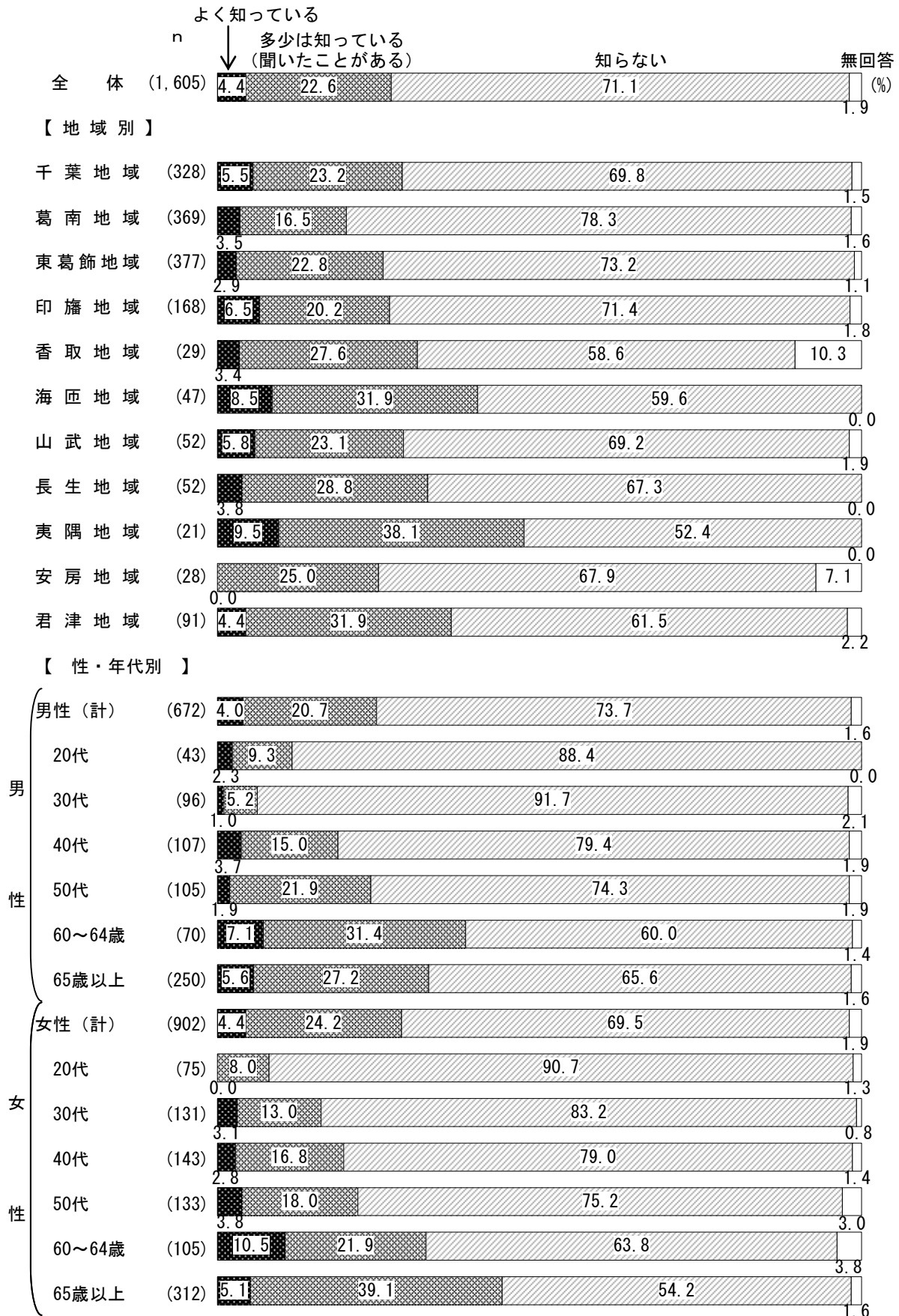
【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“夷隅地域”(47.6%)が約5割と他の地域に比べて高くなっている。(図表5-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』は女性の65歳以上(44.2%)が4割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表5-4)

＜図表５－４＞「ちばエコ農産物」の認知度／地域別、性・年代別

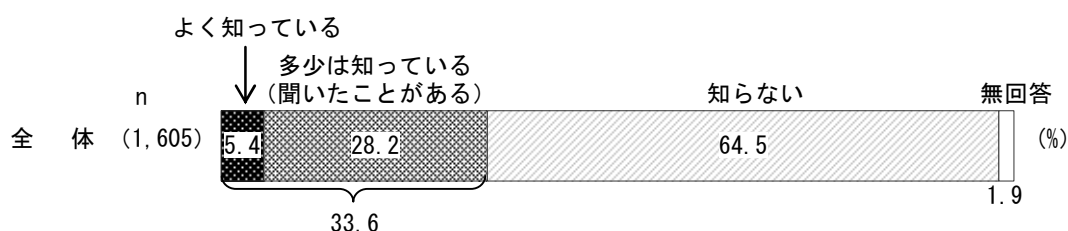


(3) 「千葉ブランド水産物」の認知度

◇『知っている』は3割台半ば

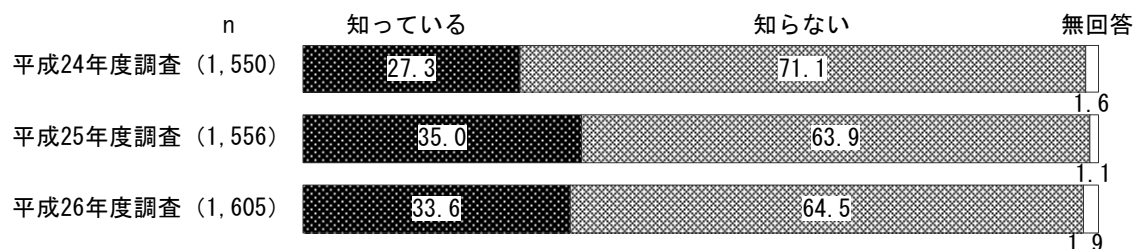
問27 千葉県では、千葉のさかなの認知度を高め、広く県内外にアピールするため、「銚子つりきんめ」、「外房イセエビ」、「九十九里地はまぐり」などの優良な県産水産物を「千葉ブランド水産物」として認定しています。あなたは、「千葉ブランド水産物」を知っていますか。(○は1つ)

＜図表5－5＞「千葉ブランド水産物」の認知度



「千葉ブランド水産物」を知っているか聞いたところ、「よく知っている」(5.4%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(28.2%)を合わせた『知っている』(33.6%)は3割台半ばとなっている。一方、「知らない」(64.5%)は6割台半ばとなっている。(図表5－5)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



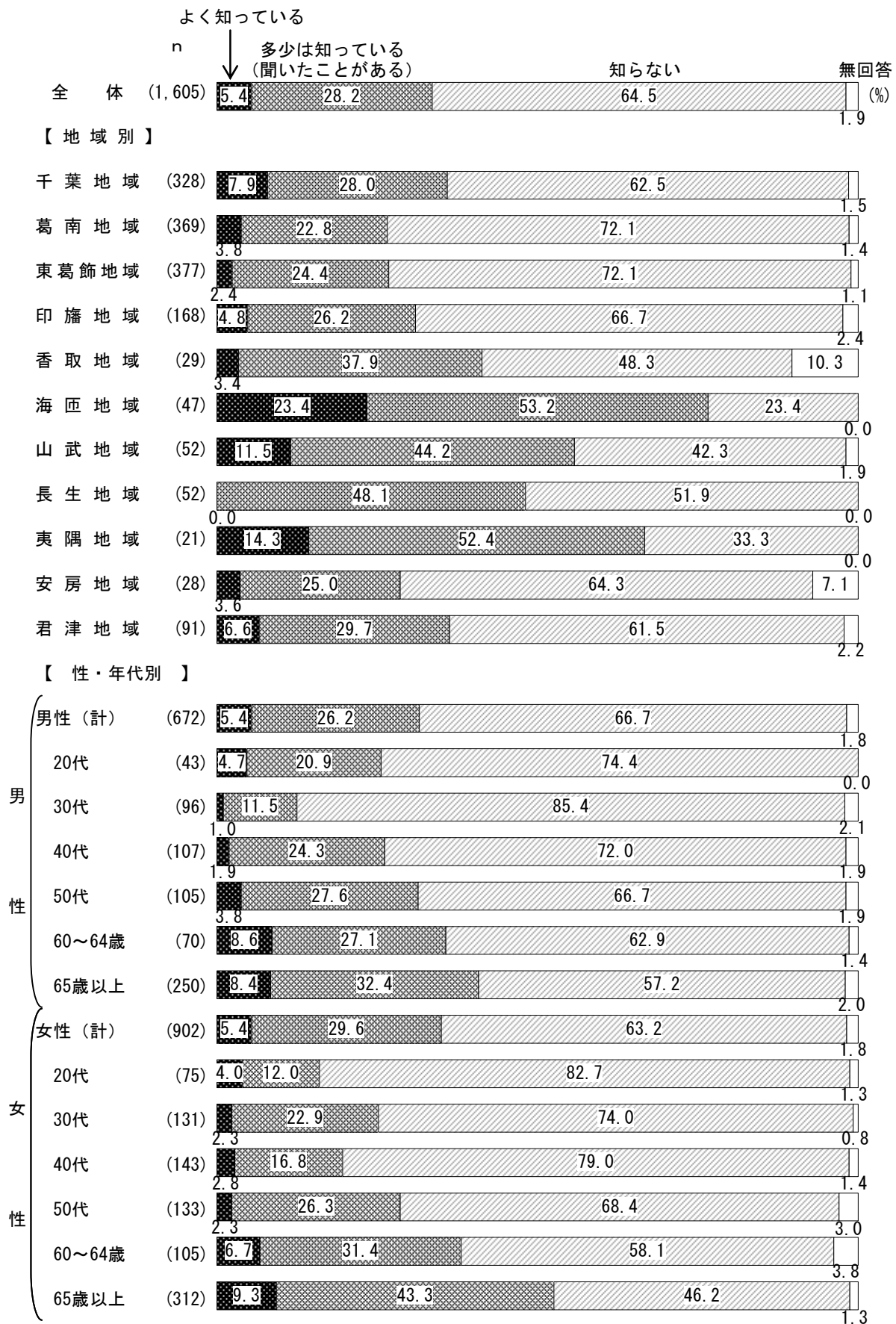
【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“海匝地域”(76.6%)が7割台半ば、“夷隅地域”(66.7%)が6割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表5－6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』は男女ともにおおむね年代が上がるほど認知度が高くなる傾向にあり、特に女性の65歳以上(52.6%)が5割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表5－6)

＜図表５－６＞「千葉ブランド水産物」の認知度／地域別、性・年代別



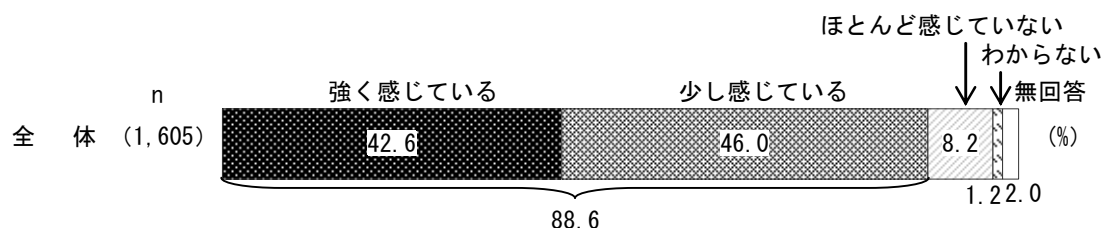
6 防災に関する取り組みについて

(1) 大地震や風水害への不安

◇『感じている』が約9割

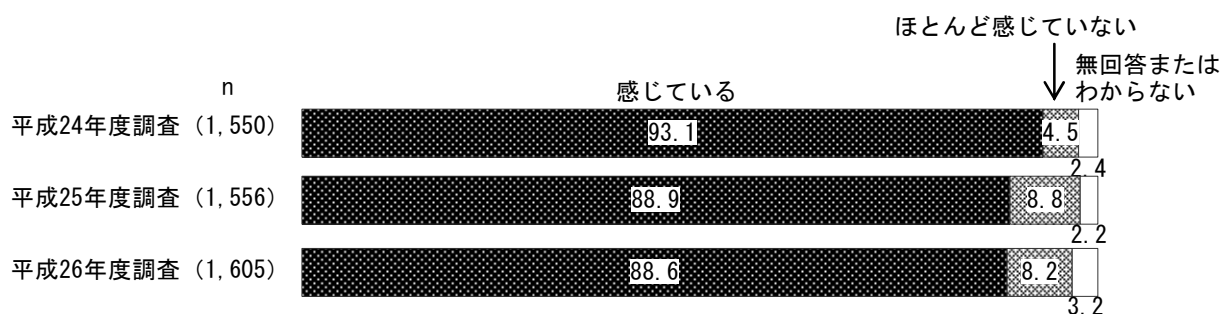
問28 平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、千葉県内でも震度6弱を記録し、大きな被害が出ました。また、近年、記録的な大雨や台風などにより九州、近畿、東海地方を中心に浸水害や土砂災害なども発生しております。あなたは、自分の住んでいる地域で、大地震や風水害が起こるのではないかと不安を感じていますか。(○は1つ)

<図表6-1>大地震や風水害への不安



大地震や風水害への不安を聞いたところ、「強く感じている」(42.6%)と「少し感じている」(46.0%)を合わせた『感じている』(88.6%)は約9割となっている。一方、「ほとんど感じていない」(8.2%)は約1割である。(図表6-1)

【参考】平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



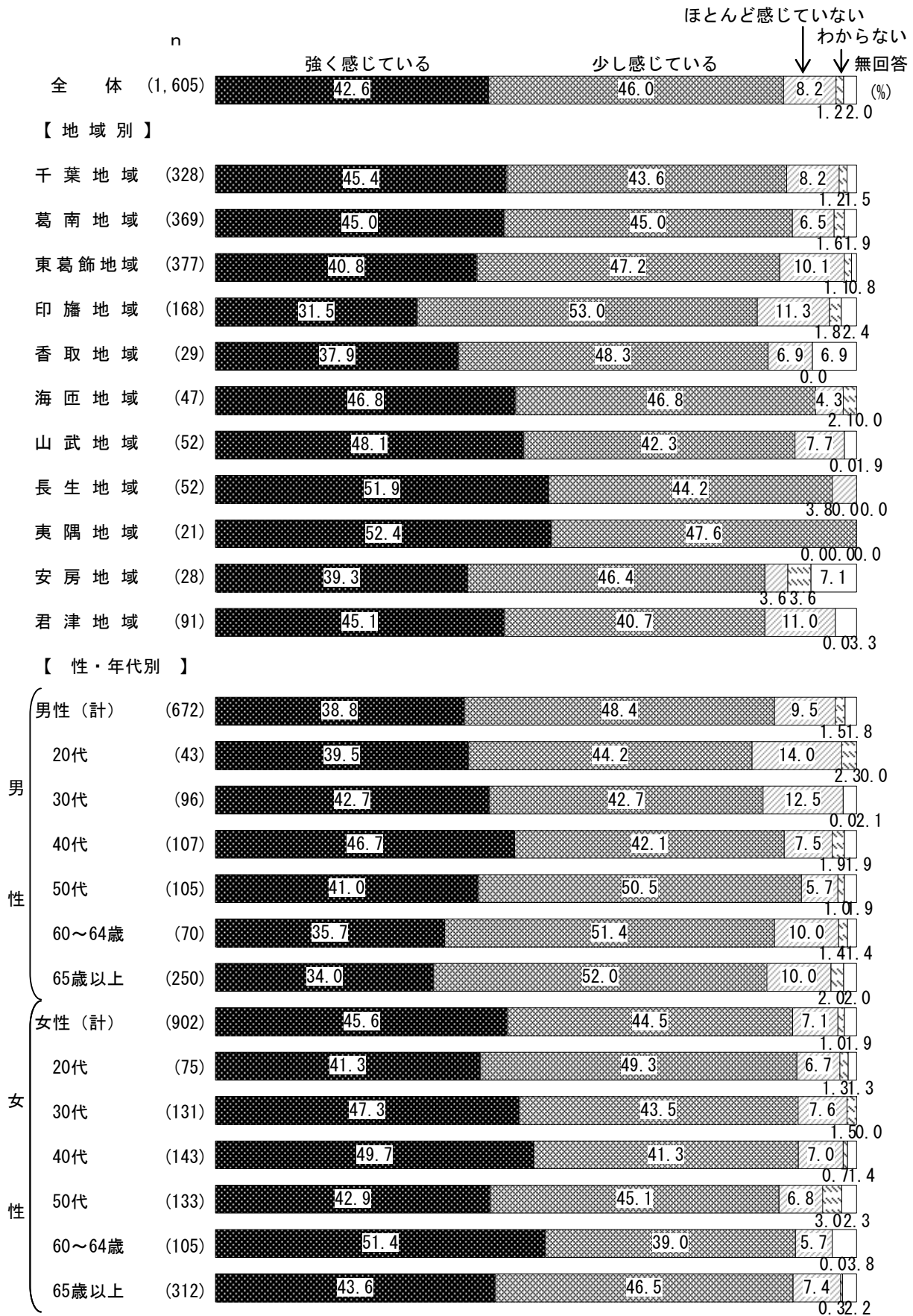
【地域別】

『感じている』は全ての地域で8割以上となっている。(図表6-2)

【性・年代別】

『感じている』は全ての性・年代で8割以上となっている。女性では、50代(88.0%)以外のすべての年代で9割以上となっている。(図表6-2)

＜図表６－２＞大地震や風水害への不安／地域別、性・年代別

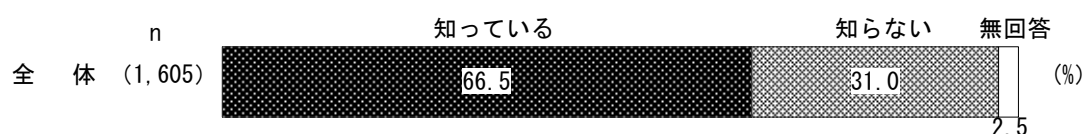


(2) 「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度

◇「知っている」が6割台半ば

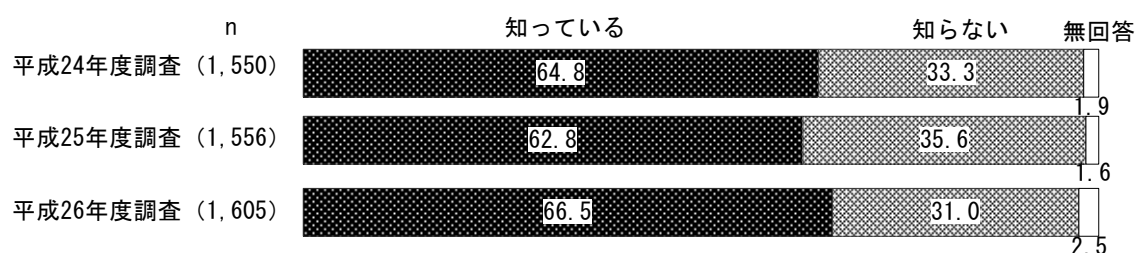
問29 市町村では、災害から住民を守るために「避難勧告」や「避難指示」を発令することがあります。あなたは、これらの意味や違いを知っていますか。(○は1つ)

＜図表6－3＞「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度



「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度を聞いたところ、「知っている」(66.5%)が6割台半ばとなっている。一方、「知らない」(31.0%)は3割を超えている。(図表6－3)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位：%)



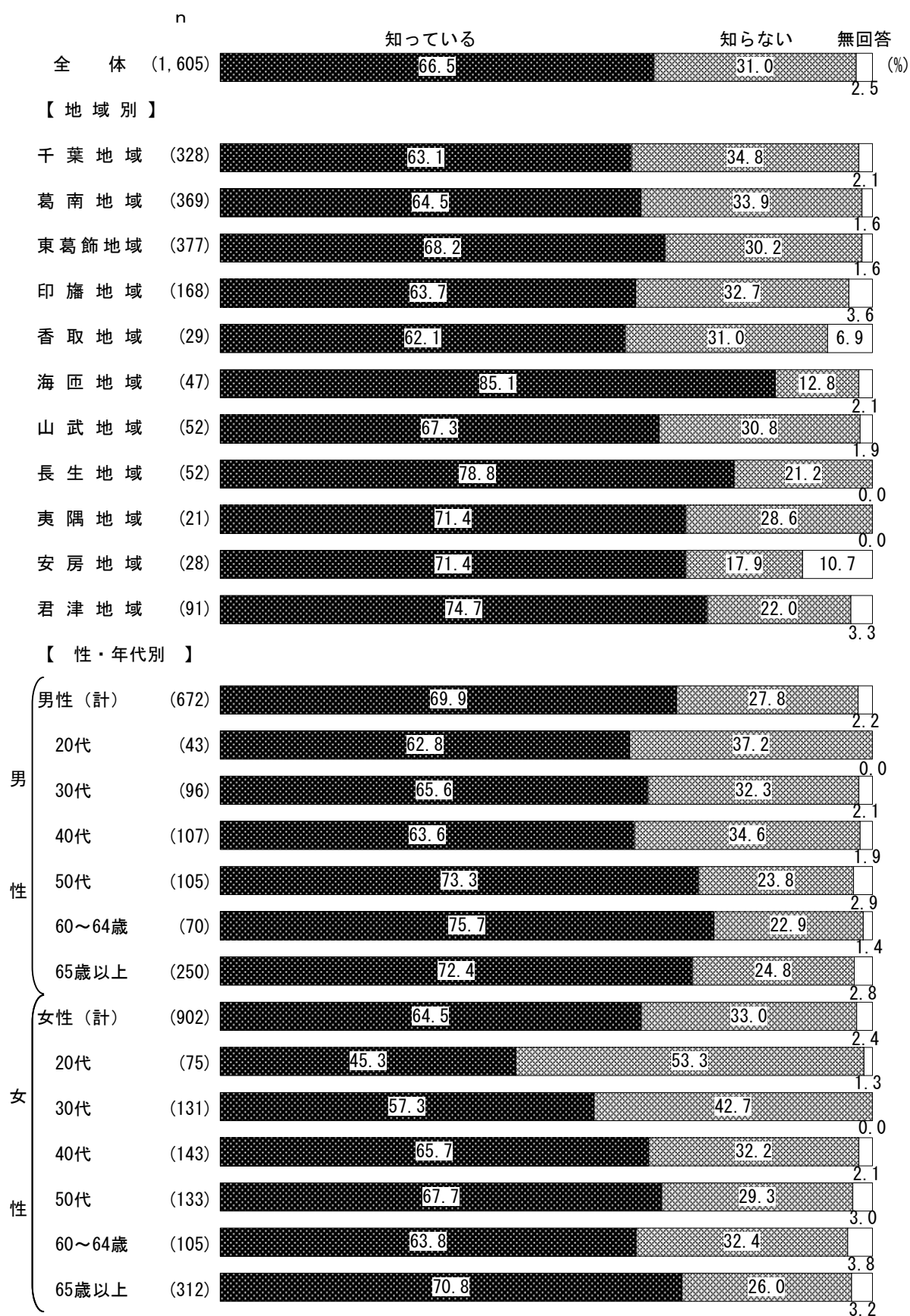
【地域別】

地域別にみると、「知っている」は“海匝地域”(85.1%)が8割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表6－4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「知っている」は男性の60～64歳(75.7%)、男性の50代(73.3%)が7割台半ば、男性の65歳以上(72.4%)が7割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表6－4)

＜図表６－４＞「避難勧告」「避難指示」の意味や違いの認知度／地域別、性・年代別

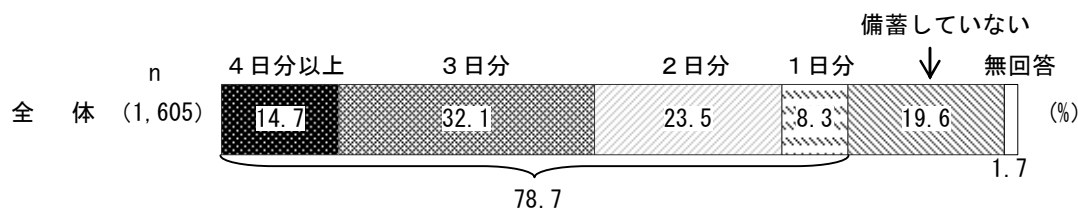


(3) 飲料水や食料の備蓄状況

◇『備蓄している』は約8割

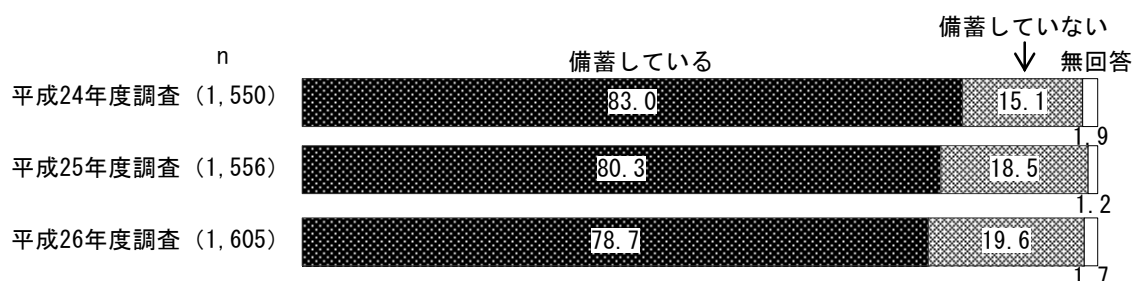
問30 大規模な災害が発生した場合、避難所に飲料水や食料などの支援物資が届くまで時間がかかることが予測されます。あなたは、災害に備えて、冷蔵庫等にあるものを含めて、飲料水や食料をおよそ何日分、備蓄していますか。(○は1つ)

<図表6-5> 飲料水や食料の備蓄状況



飲料水や食料の備蓄状況を聞いたところ、「3日分」(32.1%)が3割を超え、「2日分」(23.5%)が2割台半ば、「4日分以上」(14.7%)が1割台半ば、「1日分」(8.3%)が約1割となっており、この4つを合わせた『備蓄している』(78.7%)は約8割となっている。「備蓄していない」(19.6%)は約2割となっている。(図表6-5)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



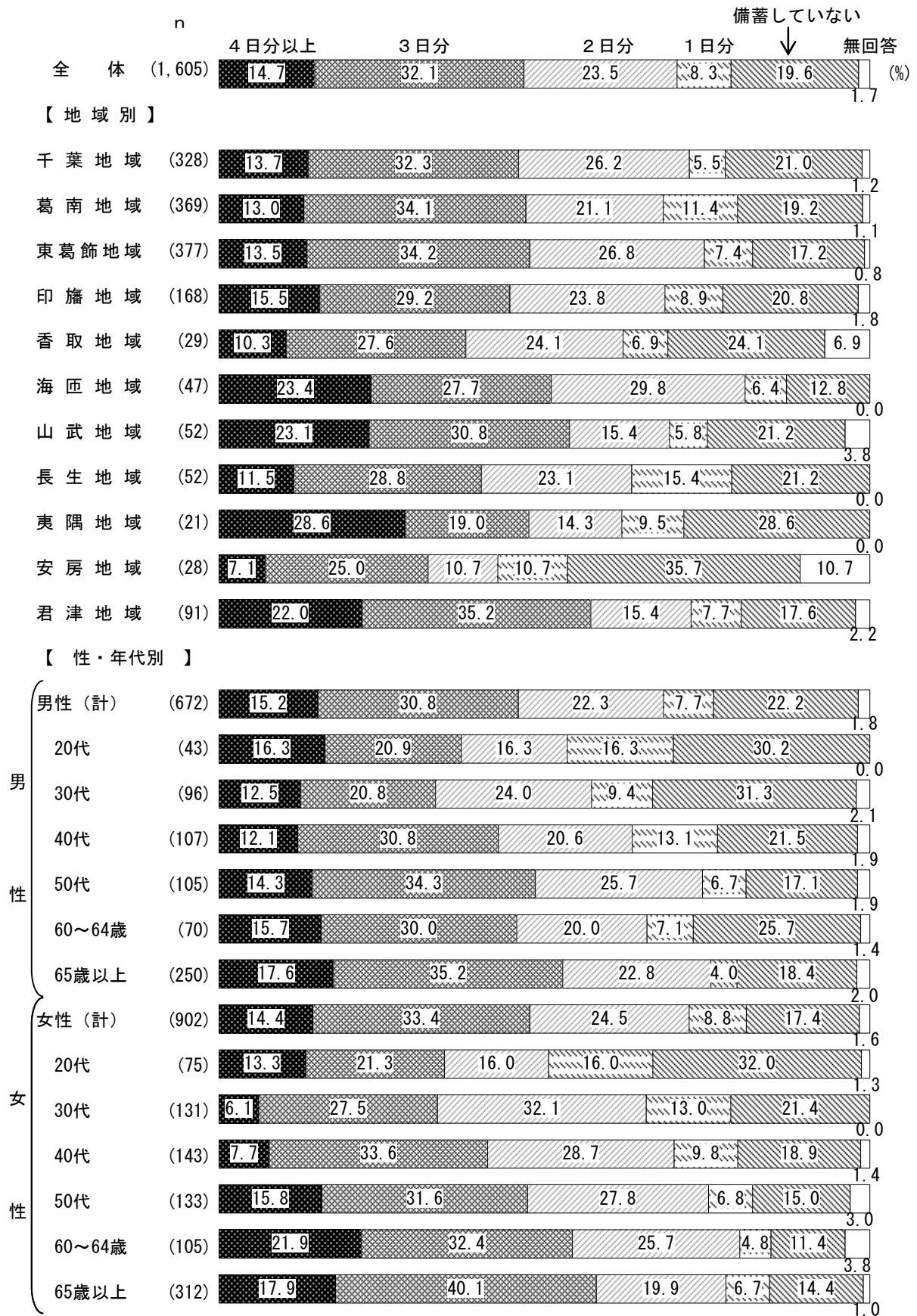
【地域別】

地域別にみると、『備蓄している』は“安房地域”(53.6%)を除く全ての地域で6割から8割と高くなっている。(図表6-6)

【性・年代別】

年齢層の高い方が『備蓄している』割合が高い傾向が見られる。(図表6-6)

＜図表6－6＞飲料水や食料の備蓄状況／地域別、性・年代別

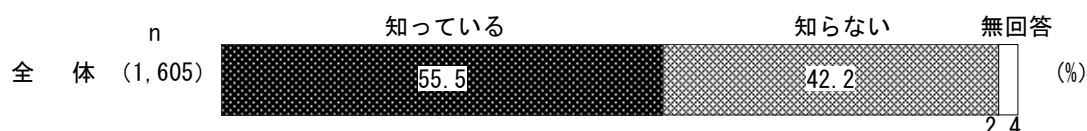


(4) 災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度

◇「知っている」は5割台半ば

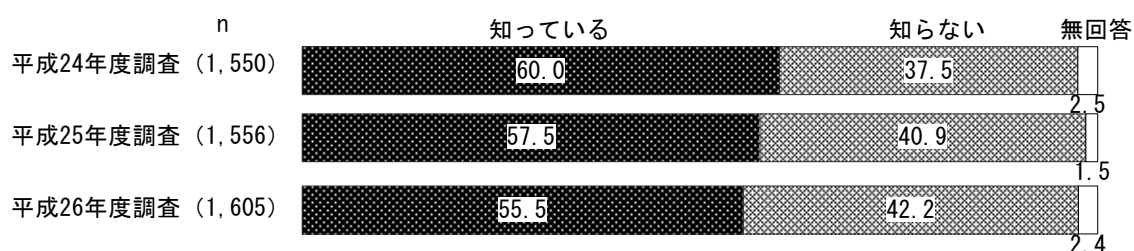
問31 固定電話や携帯電話（音声及びメール）は、災害が発生した際には利用が急増し、平常時のように使用できなくなります。東日本大震災でも、使用できなくなりました。
あなたは、災害時に利用できる災害伝言板や災害用伝言ダイヤルを知っていますか。
(○は1つ)

<図表6-7>災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度



災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度を聞いたところ、「知っている」(55.5%)は5割台半ばとなっている。一方、「知らない」(42.2%)は4割を超えている。(図表6-7)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



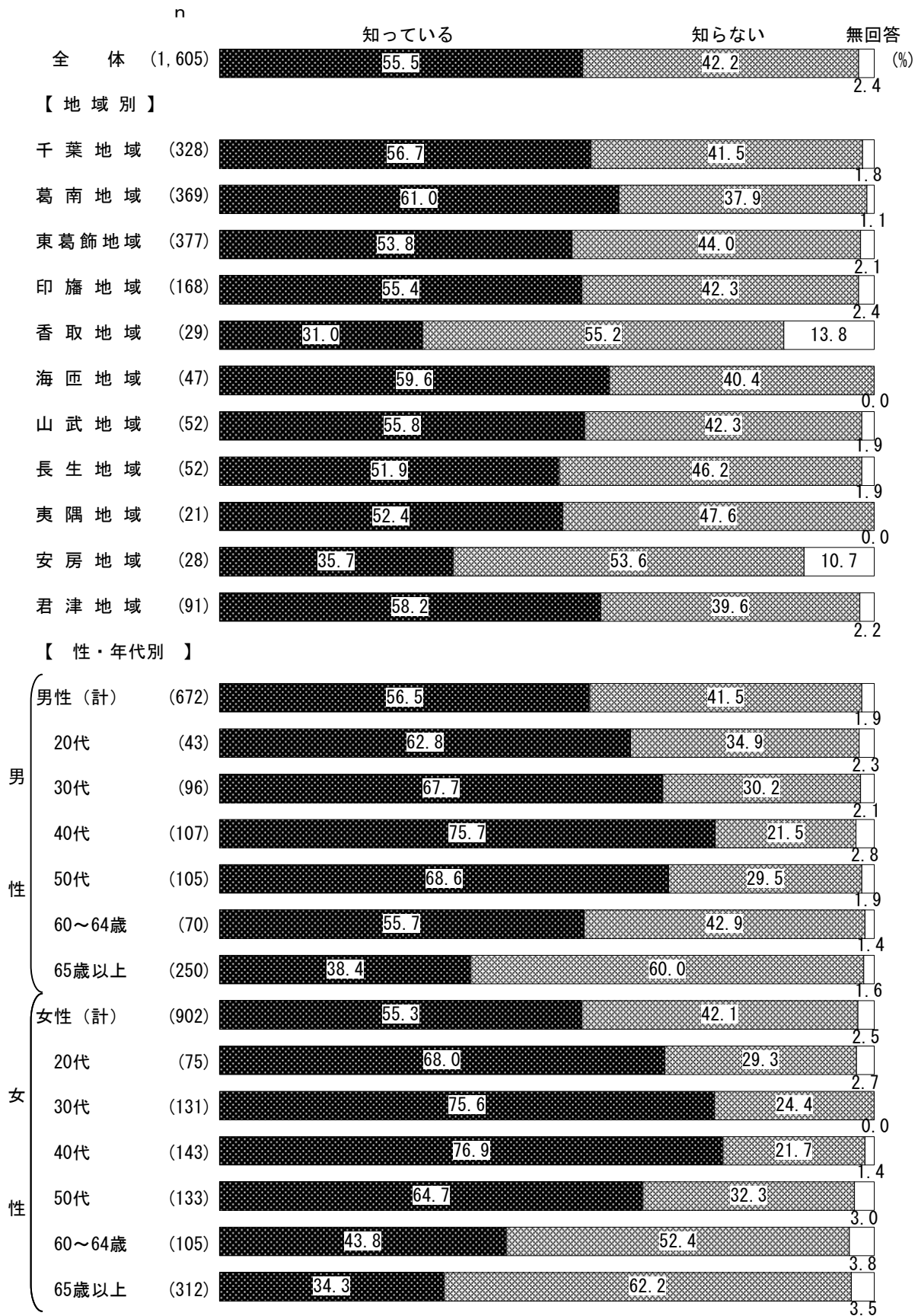
【地域別】

地域別にみると、「知っている」は“安房地域”(35.7%)、“香取地域”(31.0%)を除く全ての地域で5割から6割となっている。(図表6-8)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「知っている」は女性の40代(76.9%)、女性の30代(75.6%)、男性の40代(75.7%)が7割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表6-8)

＜図表６－８＞災害伝言板・災害用伝言ダイヤルの認知度／地域別、性・年代別

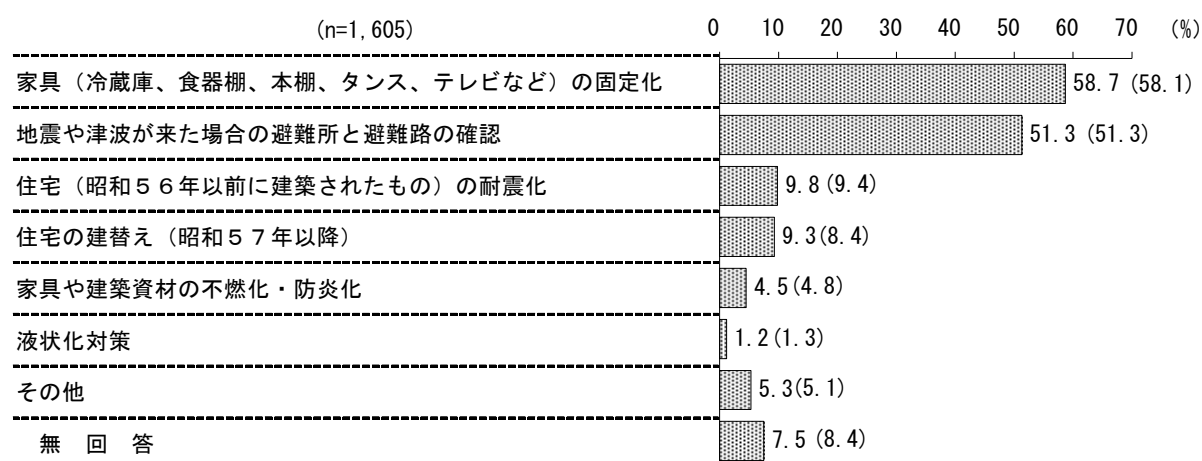


(5) 地震の被害を防ぐための対策

◇「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」が約6割

問32 あなたは、地震による被害を防ぐため、どのような対策を行っていますか。（行う予定ですか）。（〇はいくつでも）

＜図表6－9＞地震の被害を防ぐための対策（複数回答）



注）（ ）の数字は平成25年度の同様の項目による調査結果 n = 1,556

地震の被害を防ぐための対策を聞いたところ、「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」（58.7%）が約6割で最も高く、以下、「地震や津波が来た場合の避難所と避難路の確認」（51.3%）が5割を超え、「住宅（昭和56年以前に建築されたもの）の耐震化」（9.8%）と「住宅の建替え（昭和57年以降）」（9.3%）が約1割と続いている。（図表6－9）

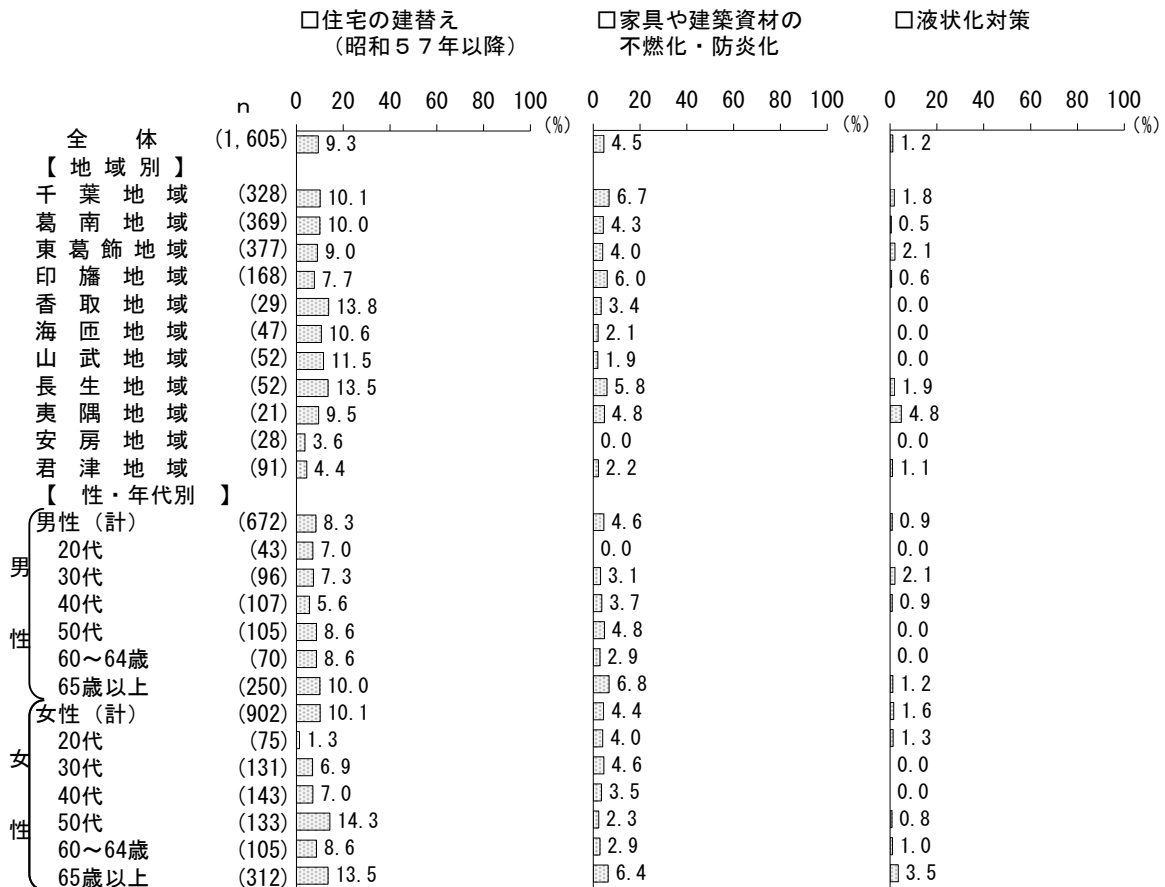
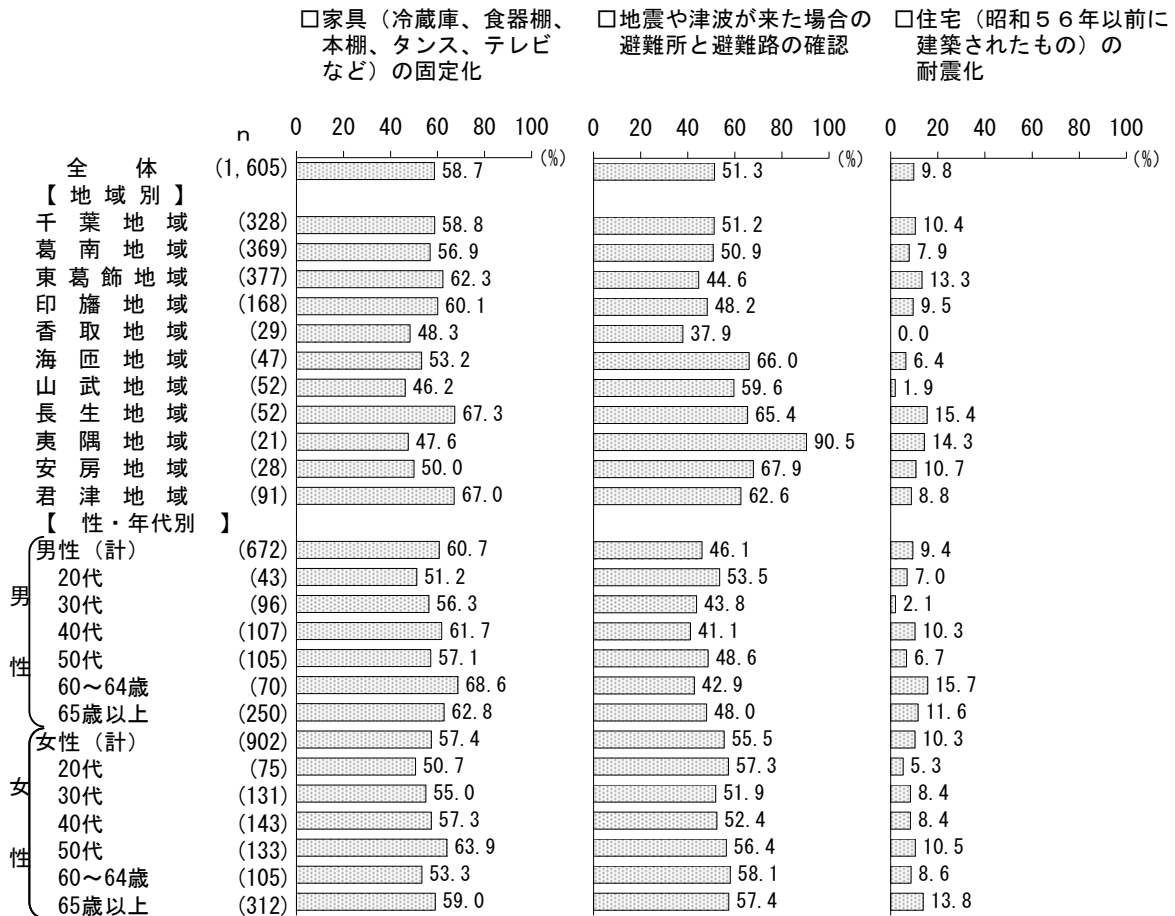
【地域別】

地域別にみると、「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」は“長生地域”（67.3%）、“君津地域”（67.0%）が約7割と他の地域に比べて高くなっている。「地震や津波が来た場合の避難所と避難路の確認」は“夷隅地域”（90.5%）が9割と高くなっている。（図表6－10）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化」は男性の60～64歳（68.6%）が約7割と他の年代に比べて高くなっている。「地震や津波が来た場合の避難所と避難路の確認」は女性の60～64歳（58.1%）、65歳以上（57.4%）、20代（57.3%）が約6割、50代（56.4%）が5割台半ばと高くなっている。（図表6－10）

<図表6-10>地震の被害を防ぐための対策／地域別、性・年代別



7 地方分権について

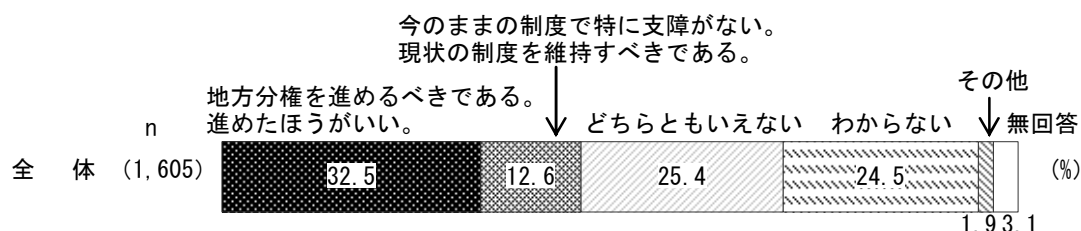
(1) 地方分権を今後さらに進めていくべきか否か

◇「地方分権を進めるべきである、進めたほうがいい」は3割を超える

問 33 「地方分権」とは、自分の住む地域のことは、その地域の住民が自ら決められるようにするため、国から、身近な県や市町村に権限や財源を移していこうとするものです。こうした「地方分権」について、今後さらに進めていくべきと思いますか。

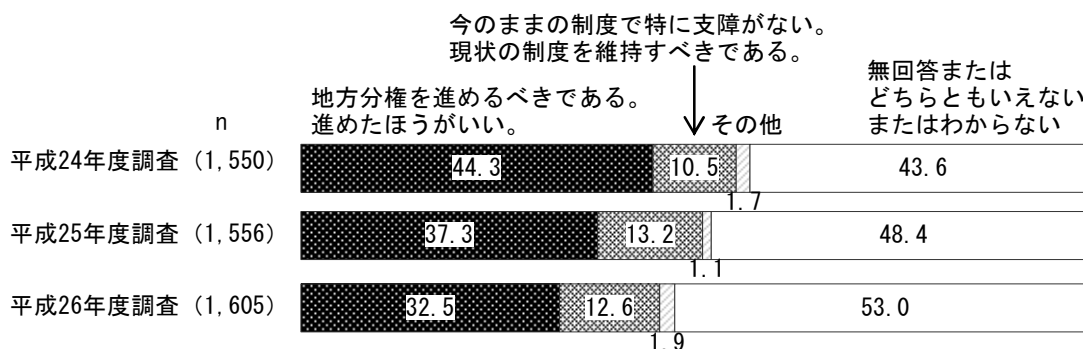
(○は1つ)

＜図表 7－1＞地方分権を今後さらに進めていくべきか否か



地方分権を今後さらに進めていくべきかどうかを聞いたところ、「地方分権を進めるべきである、進めたほうがいい」(32.5%)は3割を超え、「今のままの制度で支障がない。現状の制度を維持すべきである」(12.6%)は1割を超えている。「どちらともいえない」(25.4%)、「わからない」(24.5%)は2割台半ばとなっている。(図表 7－1)

〔参考〕平成 24 年度・平成 25 年度の同様の項目による調査結果との比較 (単位：%)



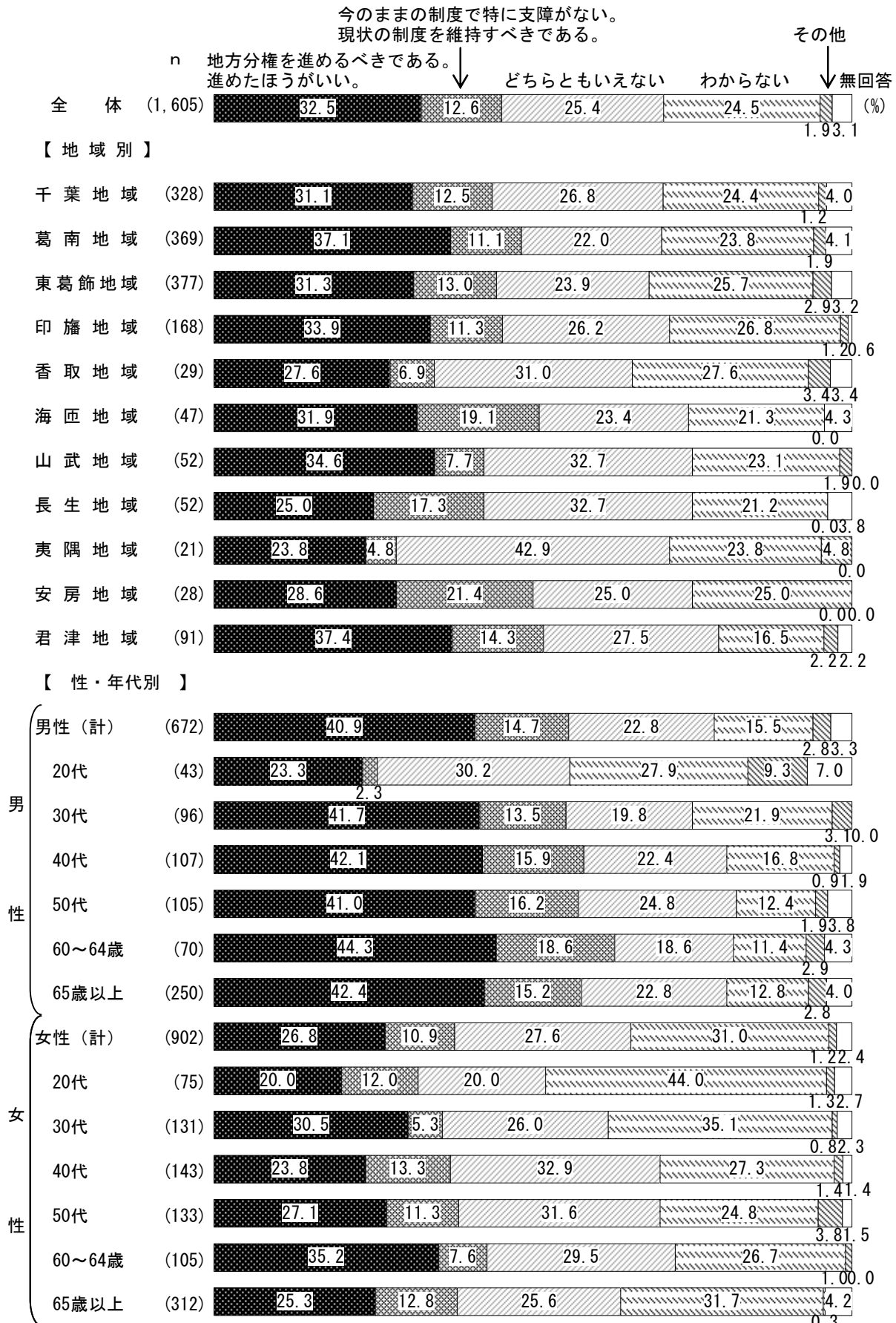
【地域別】

地域別にみると、「地方分権を進めるべきである、進めたほうがいい」は「君津地域」(37.4%)、「葛南地域」(37.1%)が約4割と他の地域に比べて高くなっている。(図表 7－2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「地方分権を進めるべきである、進めたほうがいい」は男性の60～64歳(44.3%)が4割台半ば、男性の65歳以上(42.4%)、40代(42.1%)、30代(41.7%)が4割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表 7－2)

＜図表７－２＞地方分権を今後さらに進めていくべきか否か／地域別、性・年代別

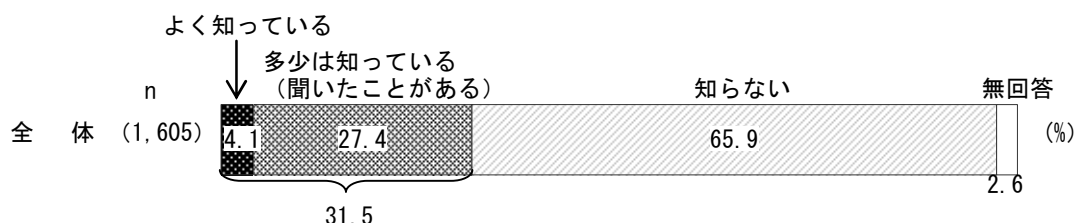


(2) 「地方分権」による基準変更の認知度

◇『知っている』は3割を超える

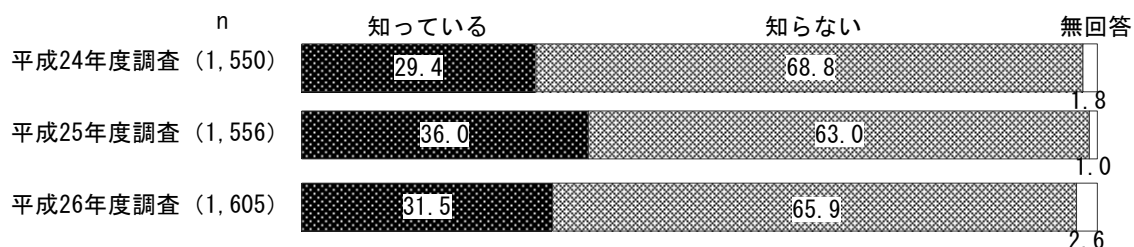
問34 地方分権を推進する一連の法律により、国が定めていた保育所や老人ホームの施設の基準などを都道府県の条例で定められるようになったことを知っていますか。(○は1つ)

＜図表7－3＞「地方分権」による基準変更の認知度



国が定めていた保育所や老人ホームの施設の基準などを都道府県の条例で定められるようになったことを知ってるかを聞いたところ、「よく知っている」(4.1%)と「多少は知っている(聞いたことがある)」(27.4%)を合わせた『知っている』(31.5%)は3割を超える。一方、「知らない」(65.9%)は6割台半ばとなっている。(図表7－3)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



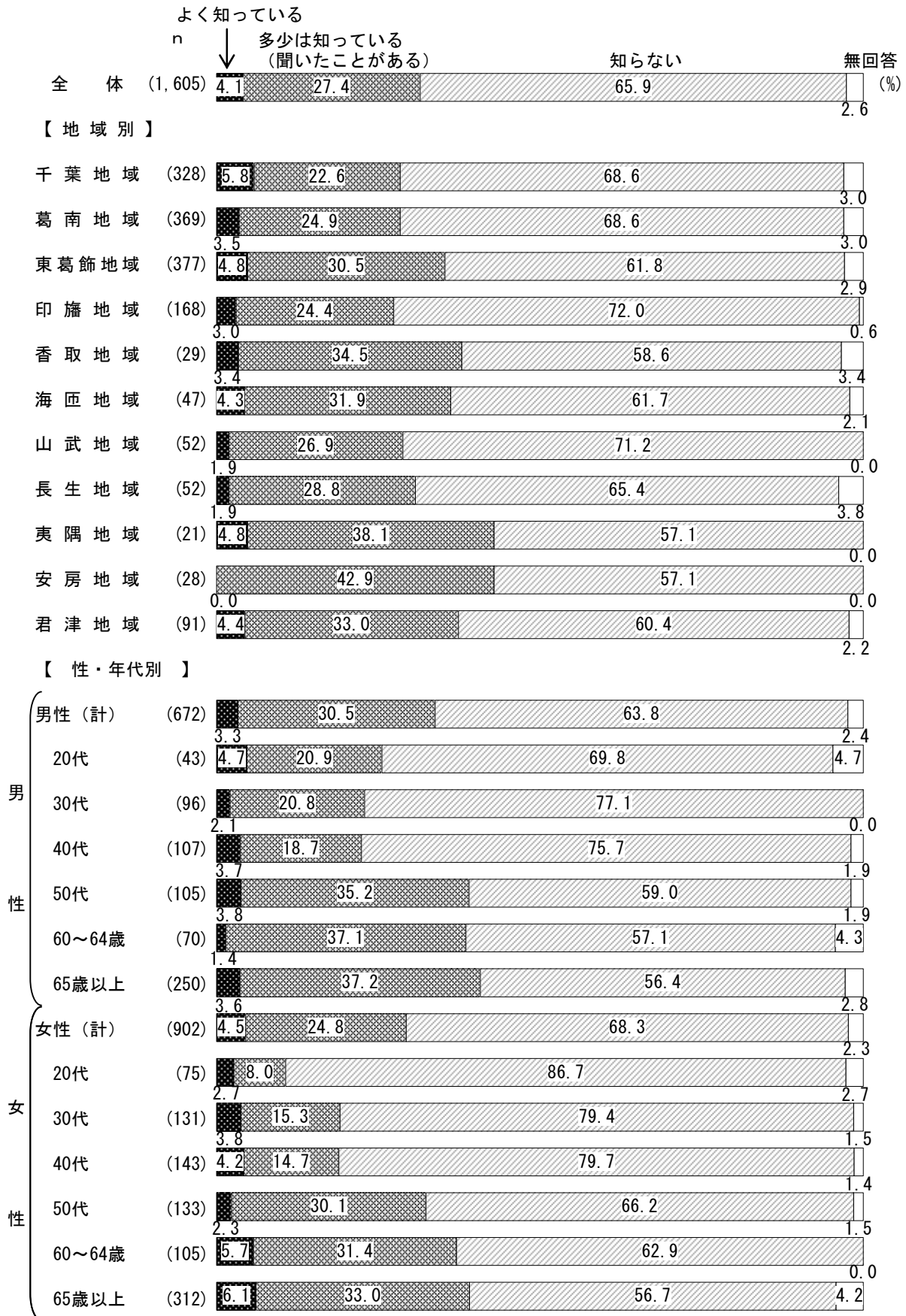
【地域別】

地域別にみると、『知っている』は“夷隅地域”と“安房地域”(同率42.9%)が4割を超えて他の地域に比べて高くなっている。(図表7－4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『知っている』は男性の65歳以上(40.8%)が4割、女性の65歳以上(39.1%)、男性の50代(39.0%)、男性の60～64歳(38.5%)、女性の60～64歳(37.1%)が約4割と他の年代に比べて高くなっている。(図表7－4)

＜図表７－４＞「地方分権」による基準変更の認知度／地域別、性・年代別



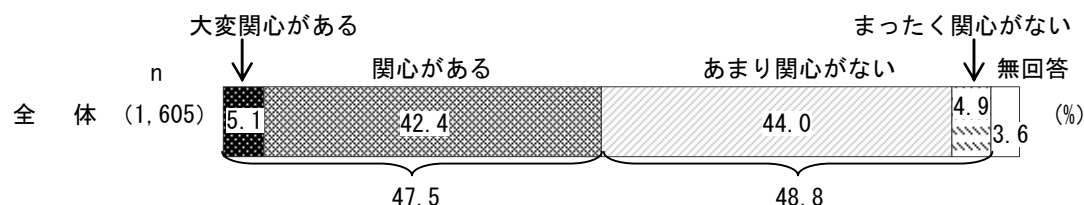
8 広報・広聴活動について

(1) 県の施策や政策などについての関心度

◇『関心がある』は約5割

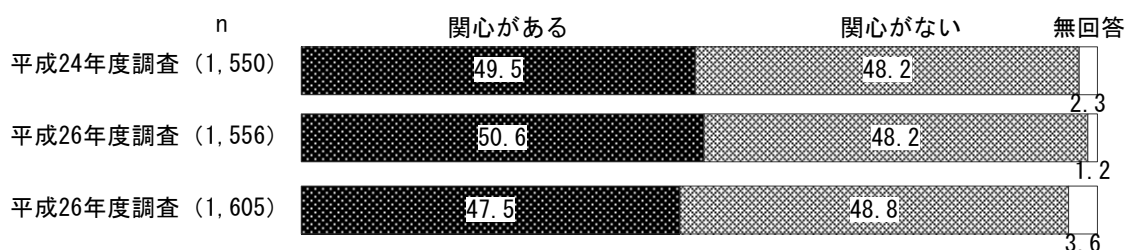
問35 あなたは、県の施策や政策などについて関心がありますか。(○は1つ)

＜図表8－1＞県の施策や政策などについての関心度



県の施策や政策などについての関心度を聞いたところ、「大変関心がある」(5.1%)と「関心がある」(42.4%)を合わせた『関心がある』(47.5%)は約5割となっている。一方、「あまり関心がない」(44.0%)と「まったく関心がない」(4.9%)を合わせた『関心がない』(48.8%)も約5割となっている。(図表8－1)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



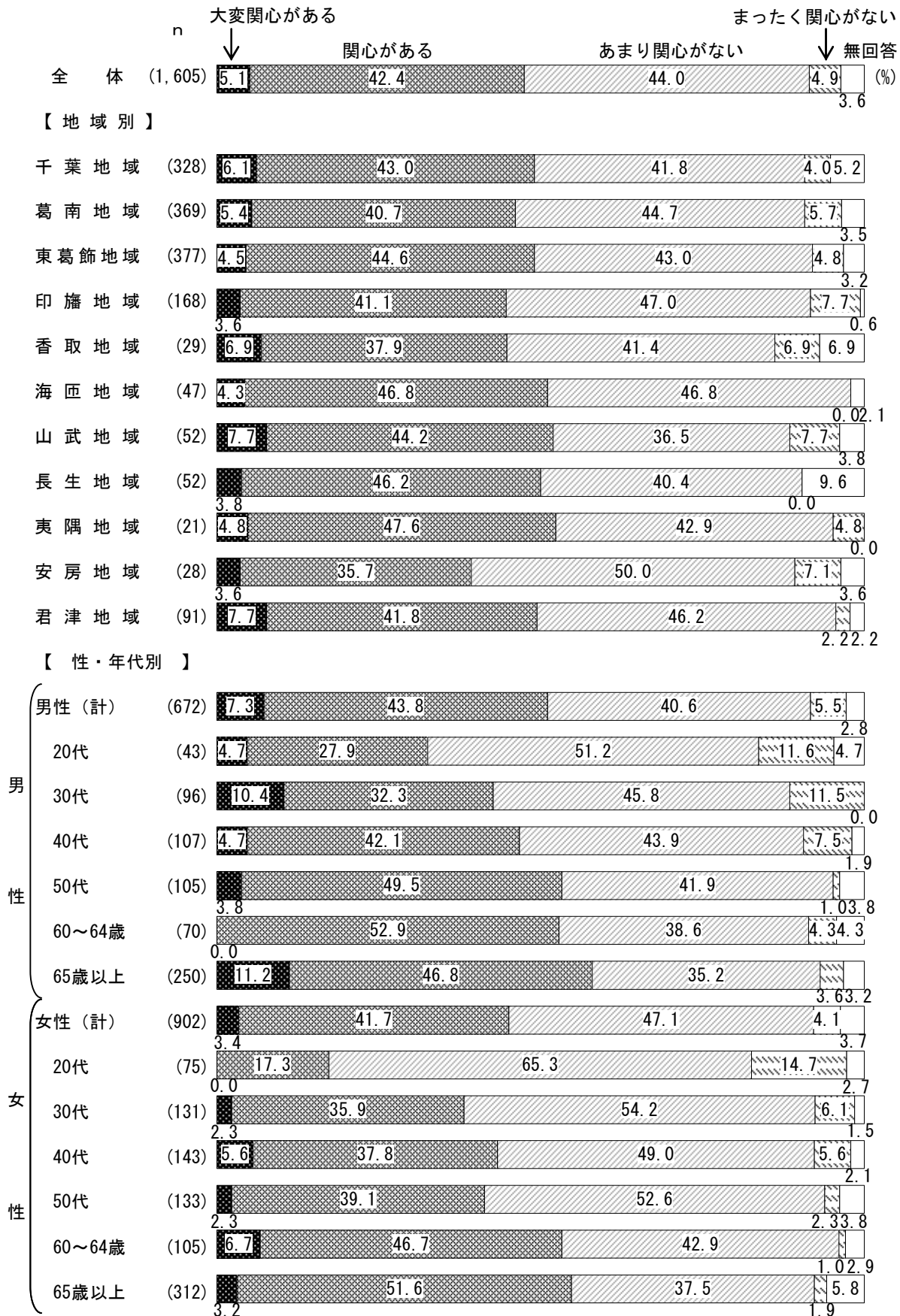
【地域別】

地域別にみると、『関心がある』は“夷隅地域”(52.4%)、“山武地域”(51.9%)、“海匠地域”(51.1%)、“長生地域”(50.0%)が5割を超えて他の地域に比べて高くなっている。(図表8－2)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『関心がある』は男性の65歳以上(58.0%)が約6割、女性の65歳以上(54.8%)、女性の60～64歳(53.3%)、男性の50代(53.3%)、男性の60～64歳(52.9%)が5割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表8－2)

＜図表８－２＞県の施策や政策などについての関心度／地域別、性・年代別

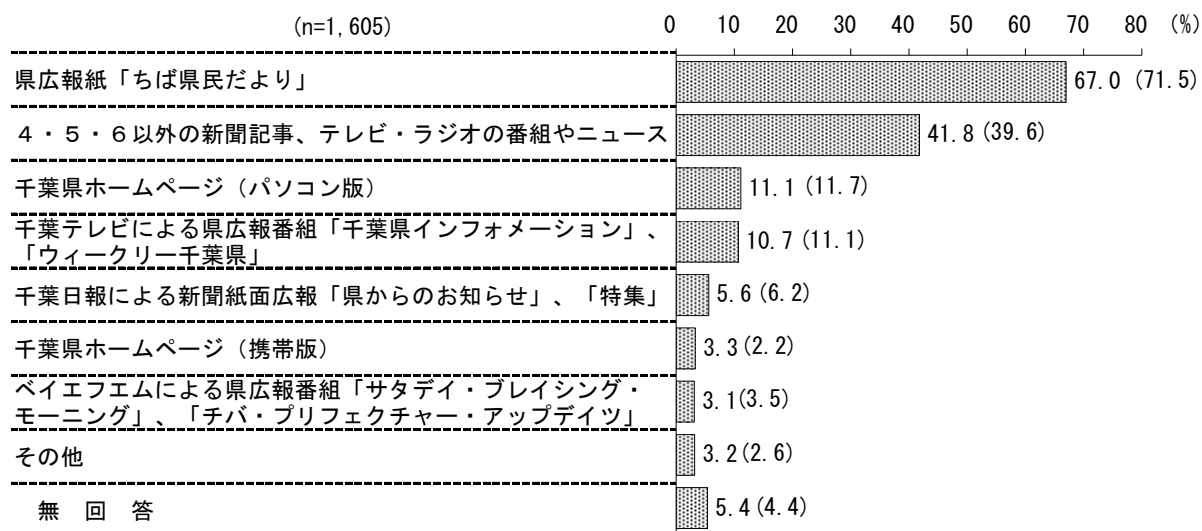


(2) 県政に関する情報を得る手段

◇「県広報紙『ちば県民だより』」が約7割

問36 あなたは、県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。(○はいくつでも)

<図表8-3> 県政に関する情報を得る手段（複数回答）



注) () の数字は平成25年度の同様の項目による調査結果 n = 1,556

県政に関する情報を得る手段を聞いたところ、「県広報紙『ちば県民だより』」(67.0%)が約7割で最も高く、以下、「4・5・6以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」(41.8%)、「千葉県ホームページ（パソコン版）」(11.1%)、「千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」」(10.7%)と続いている。(図表8-3)

(※「4・5・6以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」における、4・5・6とは、『千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、「特集」』、『千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」』、『ベイエフエムによる県広報番組「サタディ・ブレイシング・モーニング」、「チバ・プリフェクチャー・アップデイツ」』を指す)

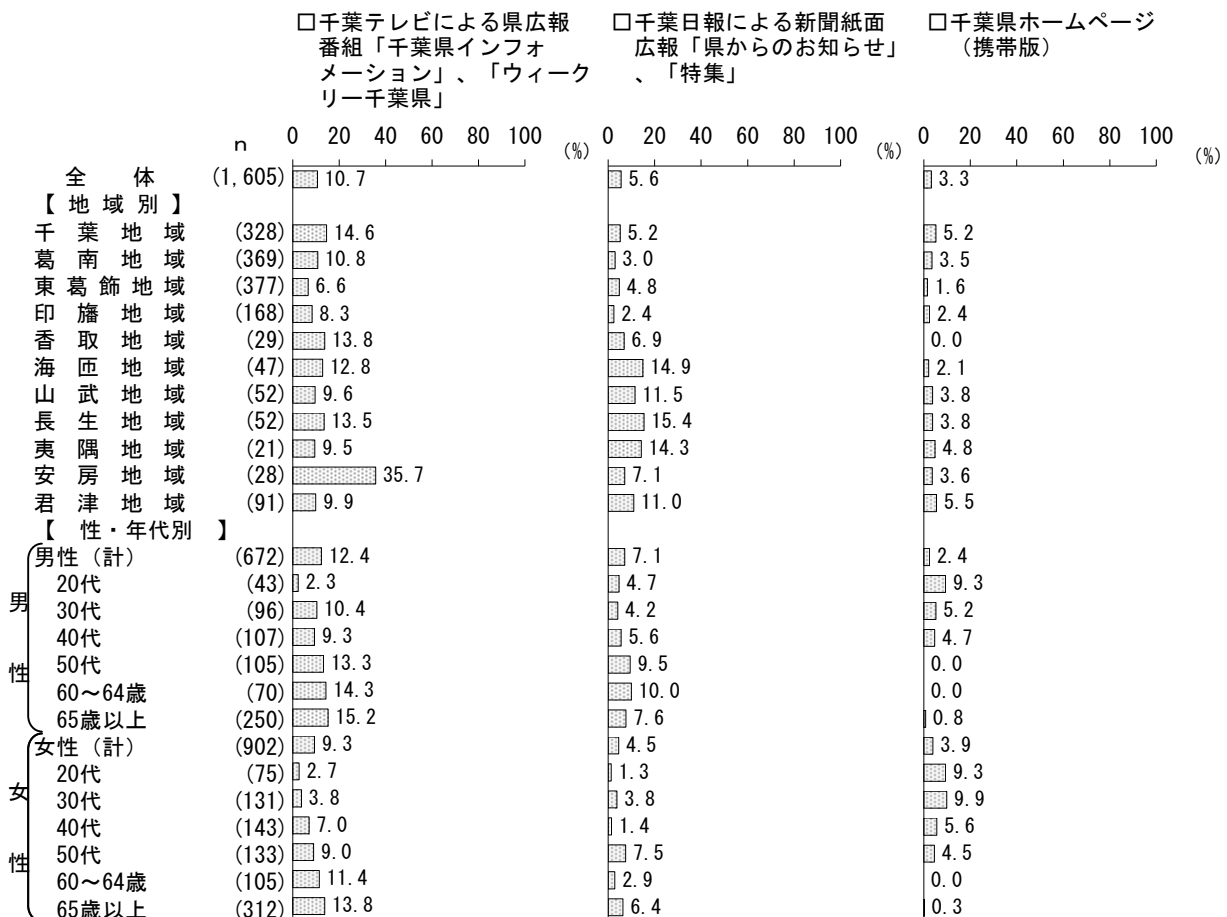
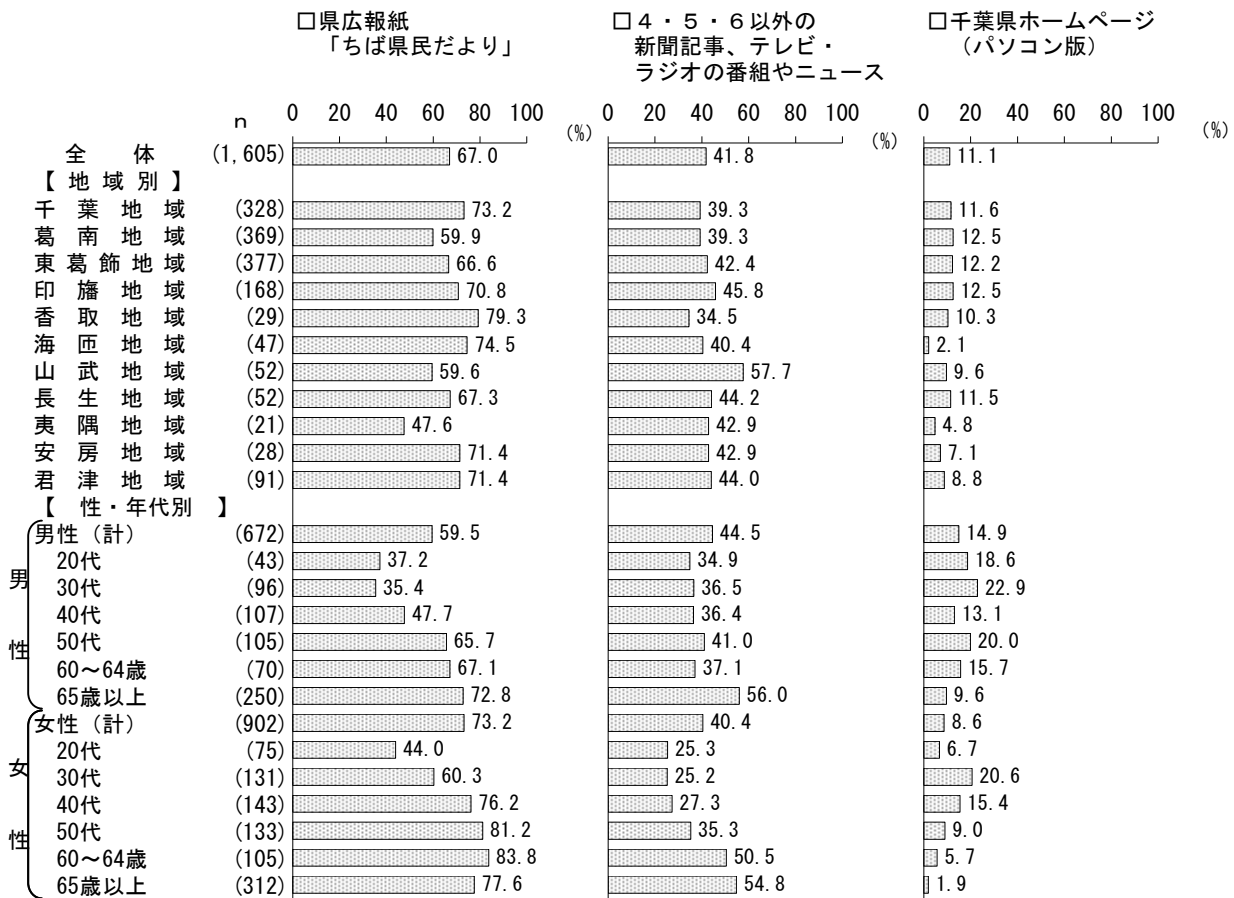
【地域別】

地域別にみると、「県広報紙『ちば県民だより』」は“夷隅地域”(47.6%)以外の全ての地域で約6割から7割となっている。「4・5・6以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」は“山武地域”(57.7%)が約6割と他の地域に比べて高くなっている。(図表8-4)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「県広報紙『ちば県民だより』」は男女ともにおおむね年代が上がるほど高くなる傾向にある。「4・5・6以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース」は男性の65歳以上(56.0%)、女性の65歳以上(54.8%)が5割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表8-4)

＜図表８－４＞県政に関する情報を得る手段／地域別、性・年代別（上位６項目）

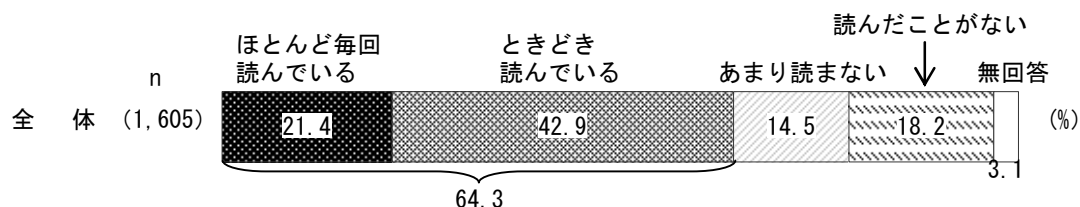


(3) 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況

◇『読んでいる』は6割台半ば

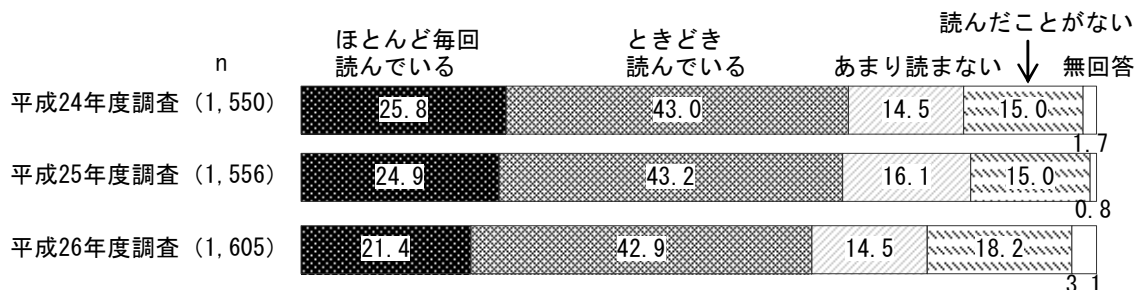
問37 あなたは、県広報紙「ちば県民だより」を読んでいますか。(○は1つ)

<図表8-5> 県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況



県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況を聞いたところ、「ほとんど毎回読んでいる」(21.4%)は2割を超え、「ときどき読んでいる」(42.9%)は4割を超えている。これらを合わせた『読んでいる』(64.3%)は6割台半ばとなっており、一方、「あまり読まない」(14.5%)は1割台半ば、「読んだことがない」(18.2%)は約2割となっている。(図表8-5)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



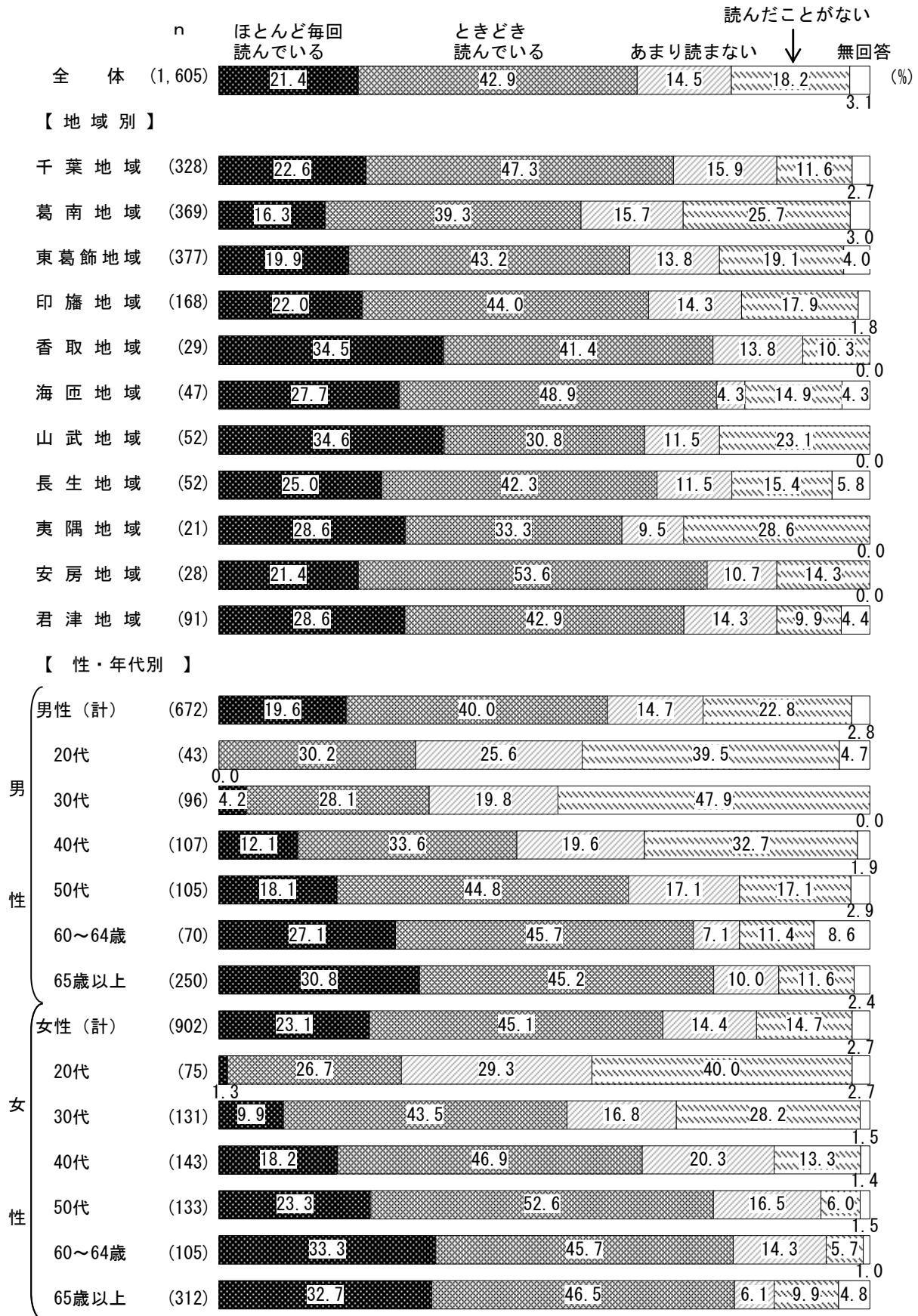
【地域別】

地域別にみると、『読んでいる』は“海匝地域”(76.6%)、“香取地域”(75.9%)、“安房地域”(75.0%)が7割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。(図表8-6)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『読んでいる』は女性の65歳以上(79.2%)、女性の60~64歳(79.0%)が約8割、男性の65歳以上(76.0%)、女性の50代(75.9%)が7割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。一方、「読んだことがない」は男性の30代(47.9%)が約5割と他の年代に比べて高くなっている。(図表8-6)

＜図表８－６＞県広報紙「ちば県民だより」の閲読状況／地域別、性・年代別



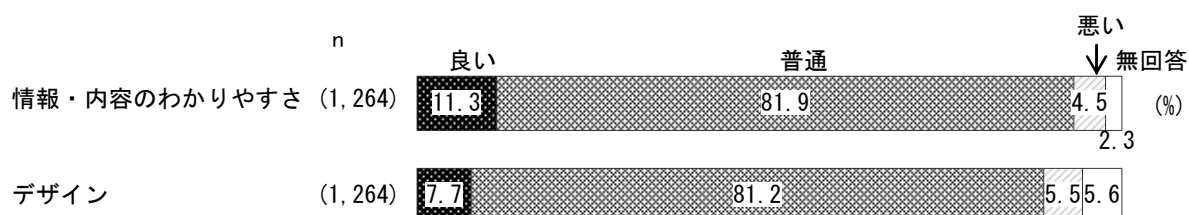
(3-1)「ちば県民だより」の内容について

◇情報・内容のわかりやすさの「良い」は1割超え、デザインの「良い」は約1割

(問37で「ほとんど毎回読んでいる」「ときどき読んでいる」「あまり読まない」のいずれかをお答えの方に)

問37-1 県広報紙「ちば県民だより」の内容についておたずねします。(○はそれぞれ1つずつ)

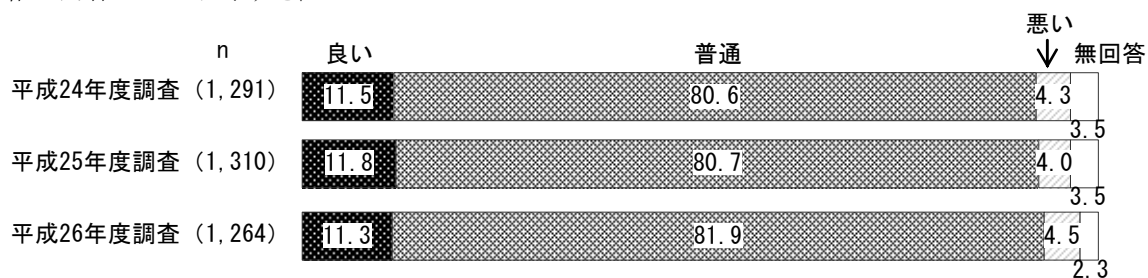
＜図表8-7＞「ちば県民だより」の内容について



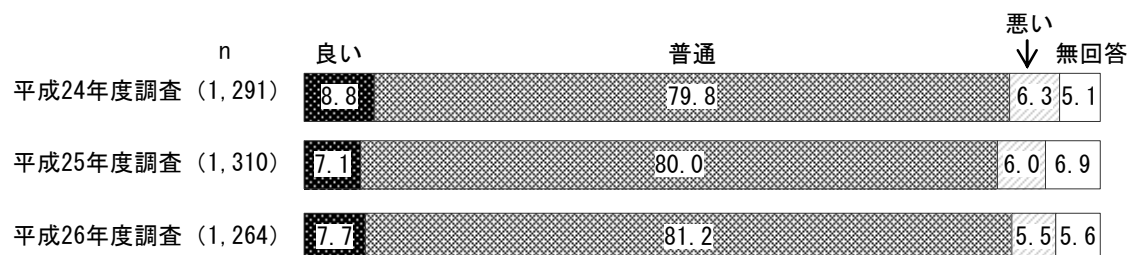
県広報紙「ちば県民だより」を「ほとんど毎回読んでいる」、「ときどき読んでいる」、「あまり読まない」と回答した1,264人を対象に、「ちば県民だより」の内容について聞いたところ、〈情報・内容のわかりやすさ〉において、「良い」(11.3%)は1割を超え、「普通」(81.9%)は8割を超えている。〈デザイン〉において、「良い」(7.7%)は約1割で、「普通」(81.2%)は8割を超えている。(図表8-7)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)

〈情報・内容のわかりやすさ〉



〈デザイン〉



【地域別】

地域別にみると、〈情報・内容のわかりやすさ〉において、「良い」は“山武地域”（27.5%）が約3割、“君津地域”（19.2%）が約2割と他の地域に比べて高くなっているが、それ以外の地域では「普通」が8割から9割となっている。〈デザイン〉において、「普通」はすべての地域において7割から9割と高くなっている。（図表8－8）

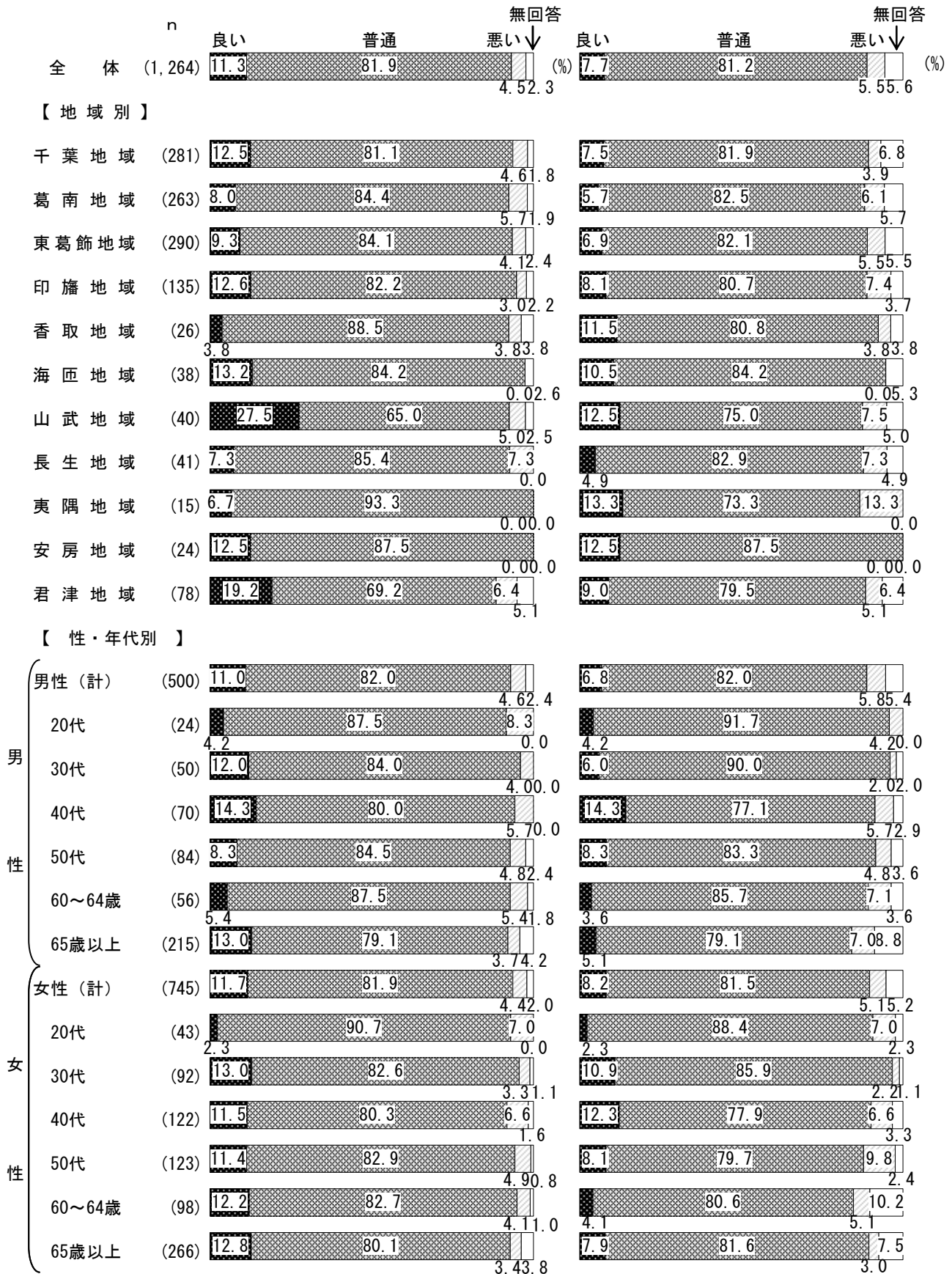
【性・年代別】

性・年代別にみると、〈情報・内容のわかりやすさ〉、〈デザイン〉において、「良い」は高くても1割台半ばに留まり、「普通」はすべての性・年代において7割から9割と高くなっている。（図表8－8）

＜図表８－８＞「ちば県民だより」の内容について／地域別、性・年代別

＜情報・内容のわかりやすさ＞

＜デザイン＞

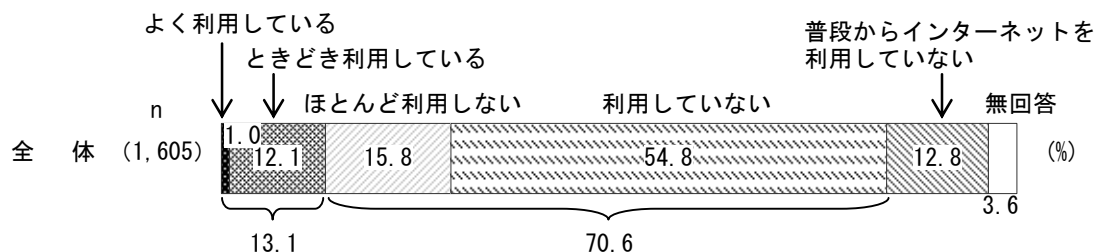


(4) 千葉県ホームページの利用頻度

◇『利用している』は1割台半ば

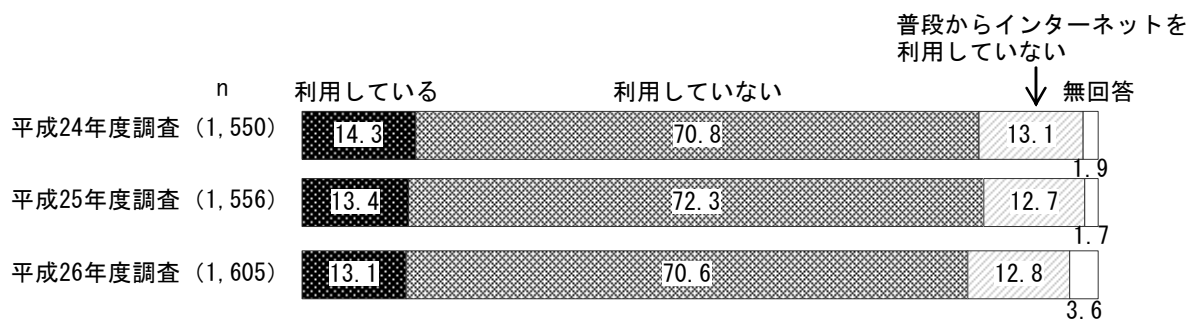
問38 あなたは、千葉県ホームページを利用していますか。(○は1つ)

＜図表8－9＞千葉県ホームページの利用頻度



千葉県ホームページの利用頻度を聞いたところ、「よく利用している」(1.0%)と「ときどき利用している」(12.1%)を合わせた『利用している』(13.1%)は1割台半ばとなっている。一方、「ほとんど利用しない」(15.8%)と「利用していない」(54.8%)を合わせた『利用していない』(70.6%)は7割となっている。(図表8－9)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：%）



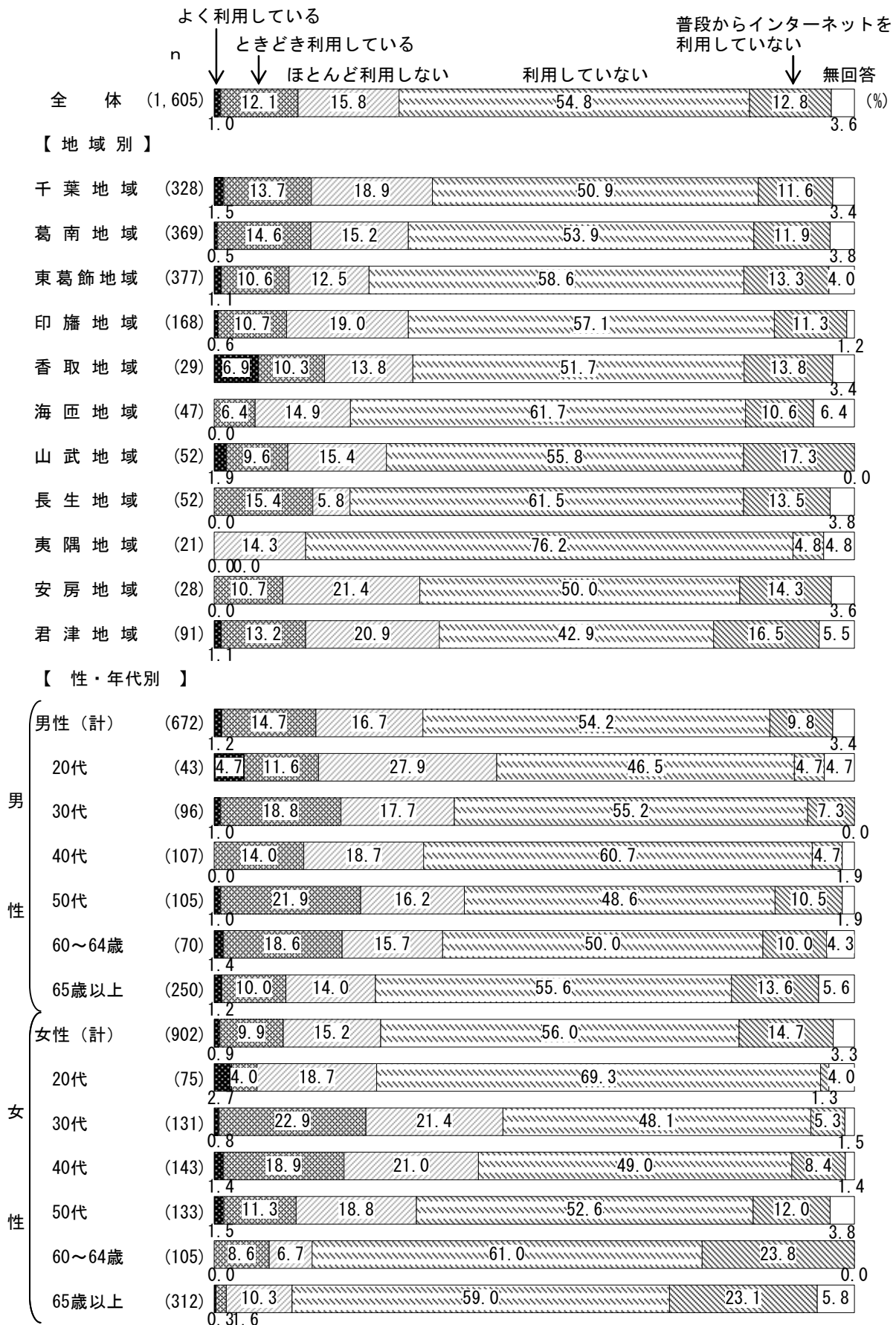
【地域別】

地域別にみると、『利用している』は“香取地域”(17.2%)が約2割と他の地域に比べて高くなっている。一方、『利用していない』は“夷隅地域”(90.5%)が9割となっている。(図表8－10)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『利用している』は女性の30代(23.7%)が2割台半ば、男性の50代(22.9%)が2割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表8－10)

＜図表８－１０＞千葉県ホームページの利用頻度／地域別、性・年代別



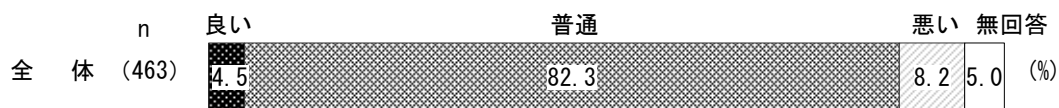
（４－１）千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ

◇情報・内容のわかりやすさが「普通」は８割を超える

（問38で「よく利用している」「ときどき利用している」「ほとんど利用しない」のいずれかをお答えの方に）

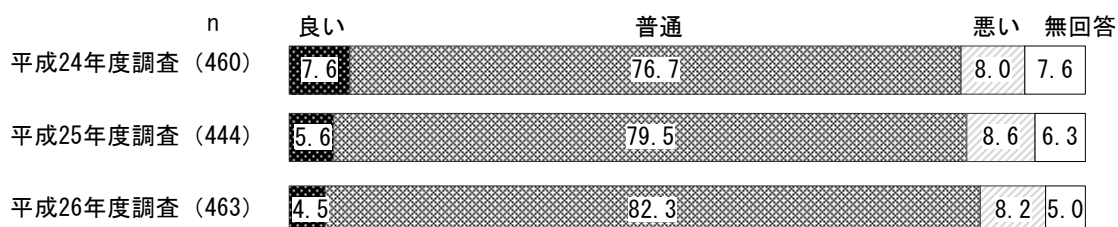
問38－１ 千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさはいかがですか。（○は１つ）

＜図表８－11＞千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ



千葉県ホームページを「よく利用している」、「ときどき利用している」、「ほとんど利用しない」と回答した463人を対象に、千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさについて聞いたところ、「良い」（4.5％）は１割に達せず、「普通」（82.3％）は８割を超え、「悪い」（8.2％）は約１割となっている。（図表８－11）

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較（単位：％）



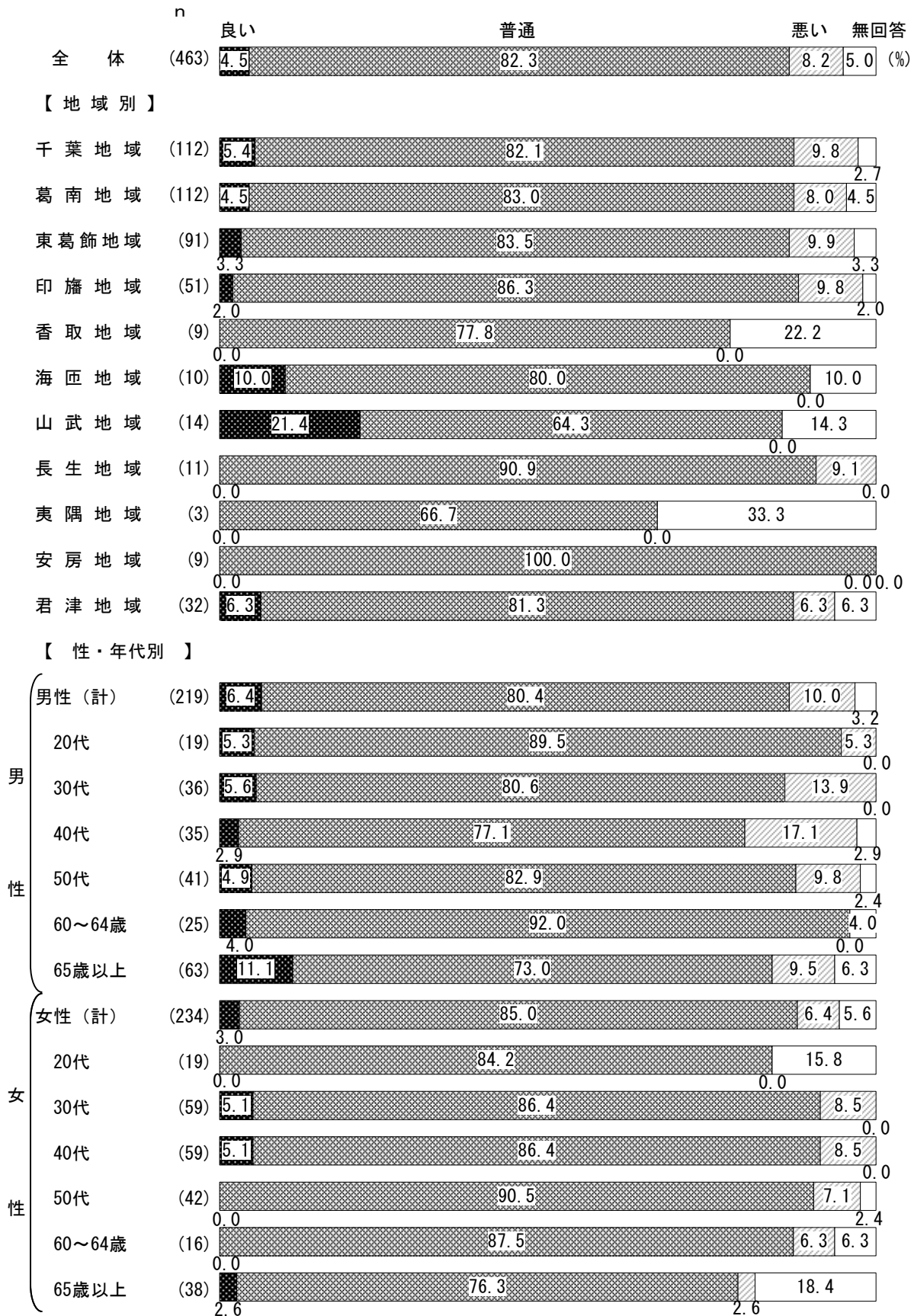
【地域別】

いずれの地域も「普通」が６割以上と高くなっている。（図表８－12）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「良い」は男性の65歳以上（11.1％）が１割を超えている。「普通」はいずれの年代でも７割から９割と高くなっている。（図表８－12）

＜図表８－１２＞千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさ／地域別、性・年代別

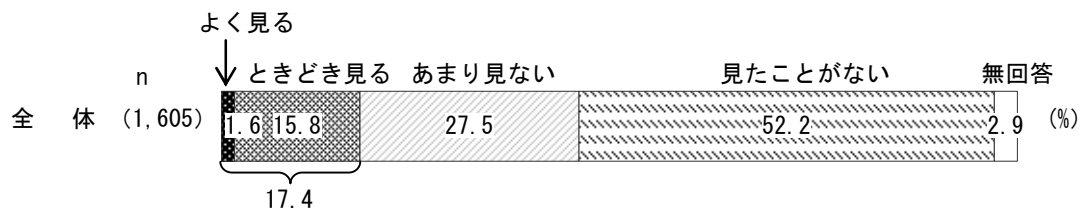


(5) 県の広報番組の視聴状況

◇『見る』は約2割

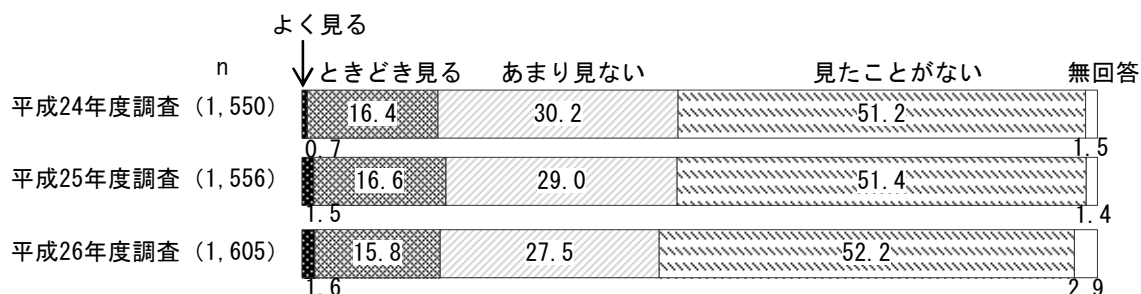
問39 県では、千葉テレビ放送において、県の広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」を毎週放送しています。あなたは、これらの番組をどの程度ご覧になっていますか。(○は1つ)

＜図表 8－13＞県の広報番組の視聴状況



県の広報番組の視聴状況を聞いたところ、「よく見る」(1.6%)と「ときどき見る」(15.8%)を合わせた『見る』(17.4%)は約2割となっている。一方、「あまり見ない」(27.5%)は約3割で、「見たことがない」(52.2%)は5割を超えている。(図表 8－13)

〔参考〕平成24年度・平成25年度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)



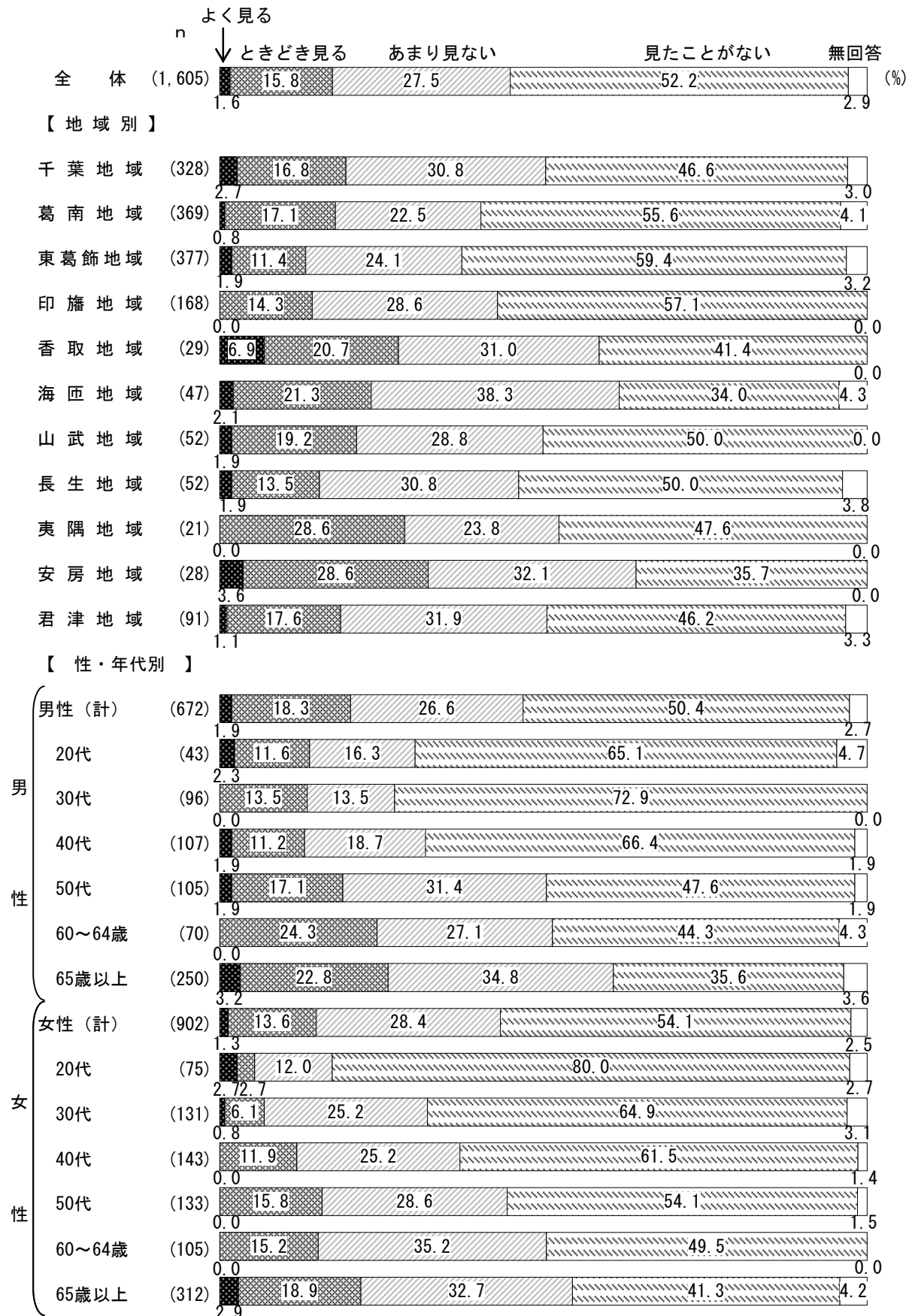
【地域別】

地域別にみると、『見る』は、“安房地域”(32.1%)が3割を超え、“夷隅地域”(28.6%)、“香取地域”(27.6%)が約3割と他の地域に比べて高くなっている。(図表 8－14)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『見る』は男性の65歳以上(26.0%)、男性の60～64歳(24.3%)が2割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。(図表 8－14)

＜図表８－14＞県の広報番組の視聴状況／地域別、性・年代別

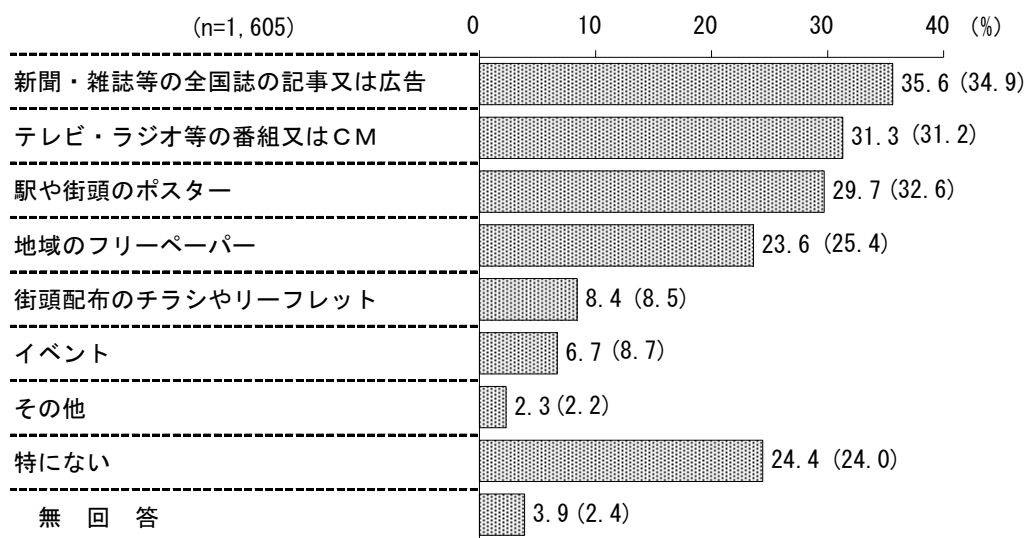


(6) 県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況

◇「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」が3割台半ば

問40 あなたは、県の広報紙や広報番組（問36の選択肢「1」～「6」に掲げるもの）以外で、県の歴史・文化、観光、イベントなど、千葉県に関する情報を見たり、聞いたりしたことがありますか。（○はいくつでも）

＜図表8-15＞県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況（複数回答）



注）（ ）の数字は平成25年度の同様の項目による調査結果 n=1,556

県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況を聞いたところ、「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」（35.6%）が3割台半ばで最も高くなっている。以下、「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」（31.3%）、「駅や街頭のポスター」（29.7%）、「地域のフリーペーパー」（23.6%）が続いている。（図表8-15）

（※問36の選択肢「1」～「6」に掲げるものとは、『1 県広報紙「ちば県民だより」』、『2 千葉県ホームページ（パソコン版）』、『3 千葉県ホームページ（携帯版）』、『4 千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、『特集』』、『5 千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」、『ウィークリー千葉県』』、『6 ベイエフエムによる県広報番組「サタデー・ブレッシング・モーニング」、『チバ・プリフェクチャー・アップデイツ』を指す）

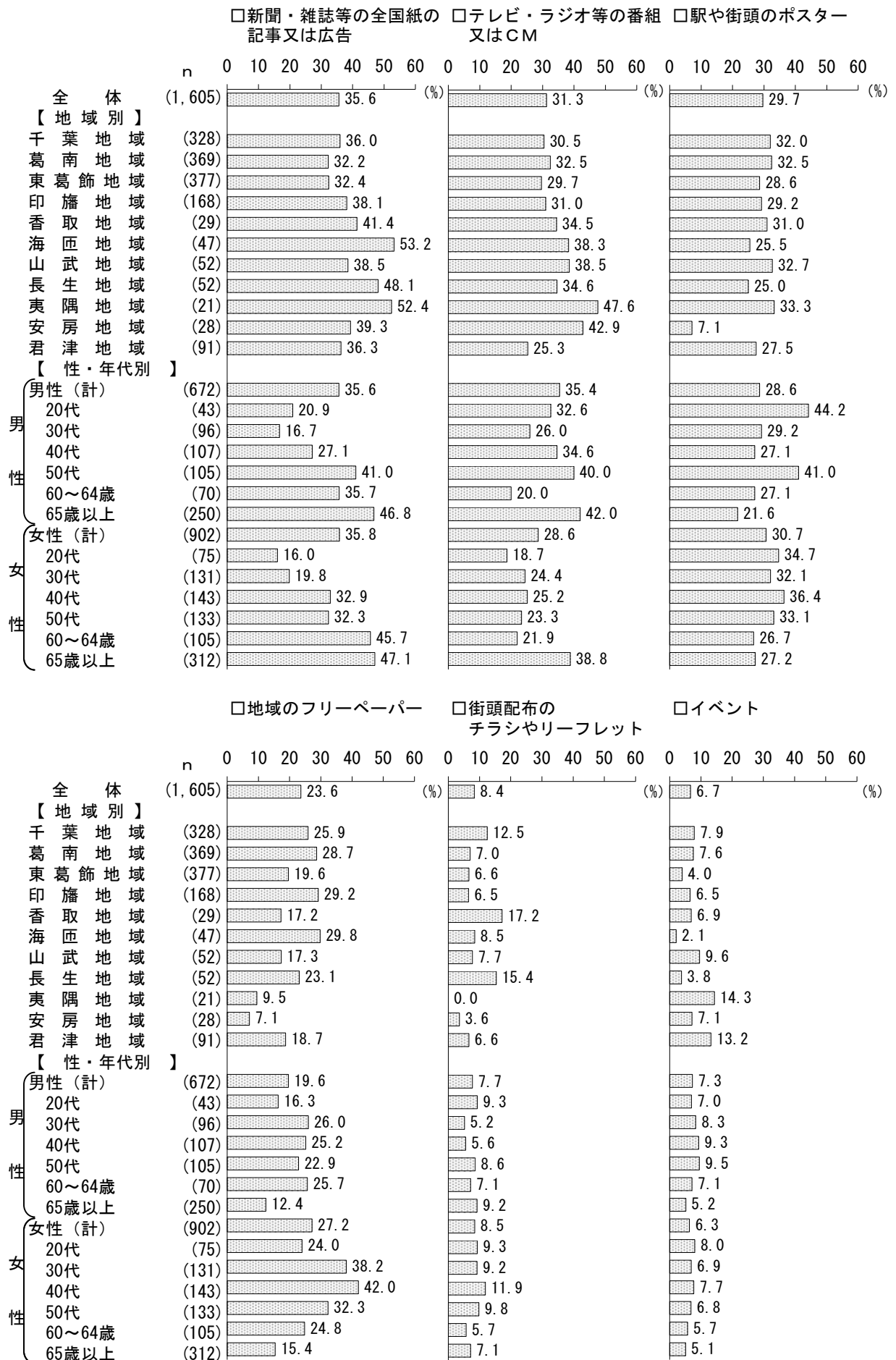
【地域別】

地域別にみると、「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」は“海匝地域”（53.2%）が5割台半ば、“夷隅地域”（52.4%）が5割を超えて他の地域に比べて高くなっている。「テレビ・ラジオ等の番組又はCM」は“夷隅地域”（47.6%）が約5割、“安房地域”（42.9%）が4割を超えて高くなっている。（図表8-16）

【性・年代別】

性・年代別にみると、「新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告」は女性の65歳以上（47.1%）、男性の65歳以上（46.8%）、女性の60～64歳（45.7%）が4割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。「駅や街頭のポスター」は男性の20代（44.2%）が4割台半ば、男性の50代（41.0%）が4割を超えて高くなっている。（図表8-16）

＜図表８－１６＞県の広報以外の媒体での県情報の視聴状況／地域別、性・年代別（上位６項目）

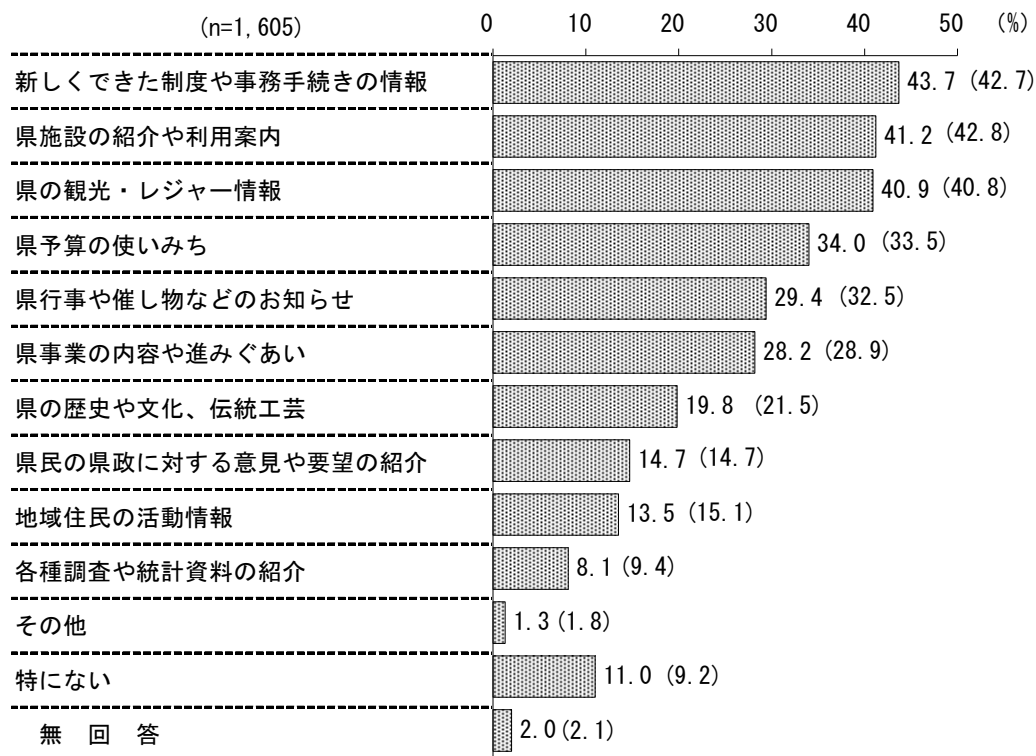


(7) 県の知りたい情報

◇「新しくできた制度や事務手続きの情報」が4割台半ば

問41 あなたは、県のどのような情報が知りたいですか。(○はいくつでも)

<図表8-17>県の知りたい情報(複数回答)



注) () の数字は平成25年度の同様の項目による調査結果 n = 1,556

県の知りたい情報を聞いたところ、「新しくできた制度や事務手続きの情報」(43.7%)が4割台半ばで最も高くなっている。以下、「県施設の紹介や利用案内」(41.2%)、「県の観光・レジャー情報」(40.9%)と続いている。(図表8-17)

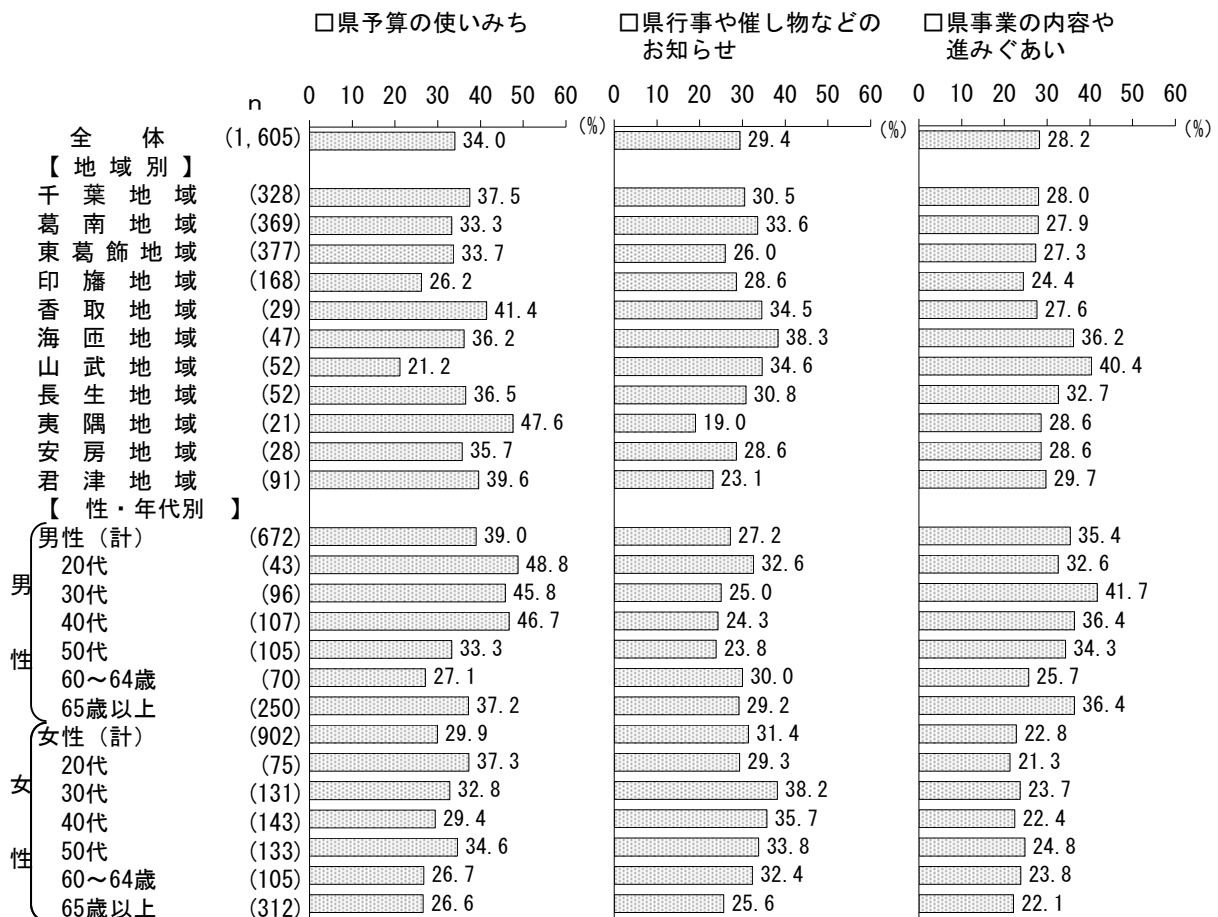
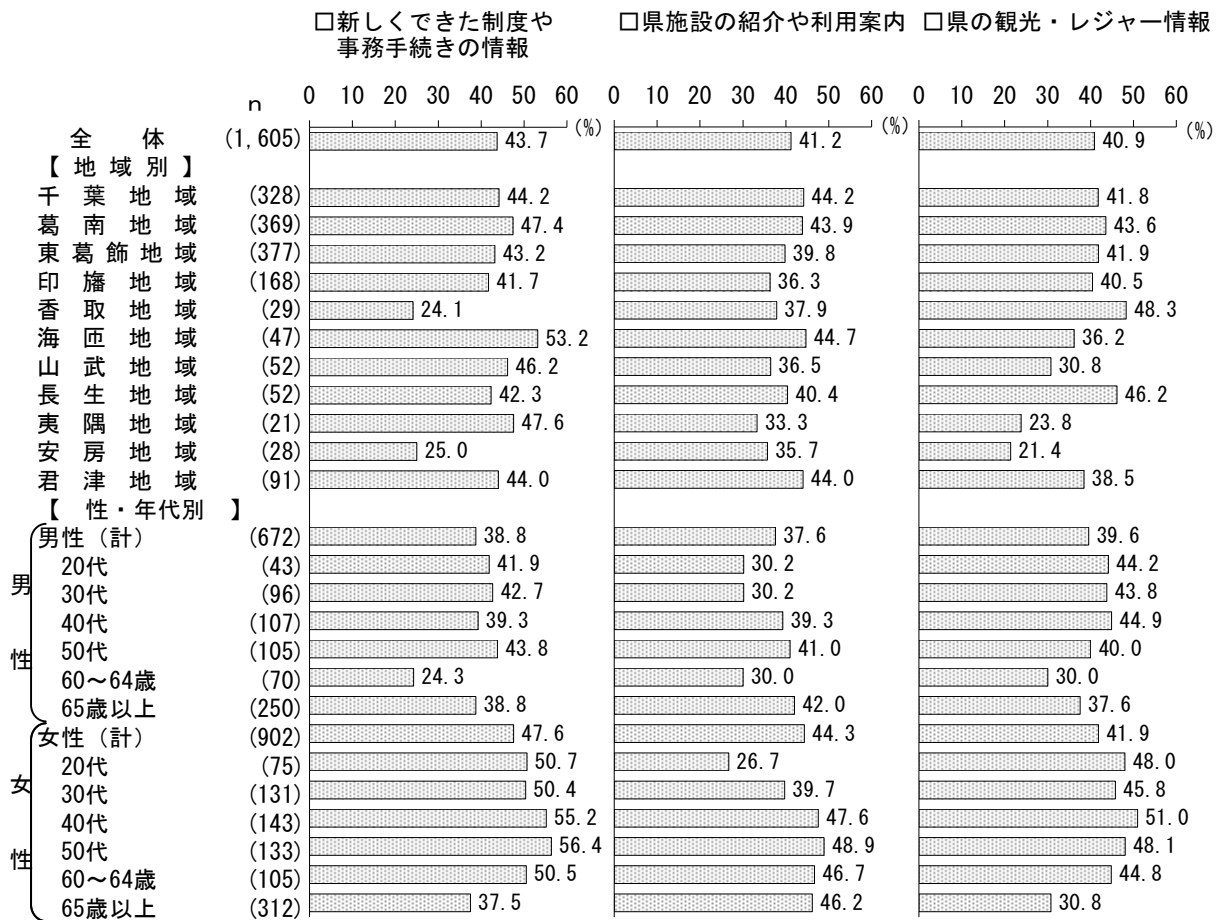
【地域別】

地域別にみると、「新しくできた制度や事務手続きの情報」は、“海匝地域”(53.2%)が5割台半ばと他の地域に比べて高くなっている。「県施設の紹介や利用案内」は“海匝地域”(44.7%)、“千葉地域”(44.2%)、“君津地域”(44.0%)、“葛南地域”(43.9%)が4割台半ばと高くなっている。(図表8-18)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「新しくできた制度や事務手続きの情報」は女性の50代(56.4%)、女性の40代(55.2%)が5割台半ばと他の年代に比べて高くなっている。「県施設の紹介や利用案内」は女性の50代(48.9%)、女性の40代(47.6%)が約5割、女性の60～64歳(46.7%)、女性の65歳以上(46.2%)が4割台半ばと高くなっている。(図表8-18)

＜図表８－18＞県の知りたい情報／地域別、性・年代別（上位６項目）

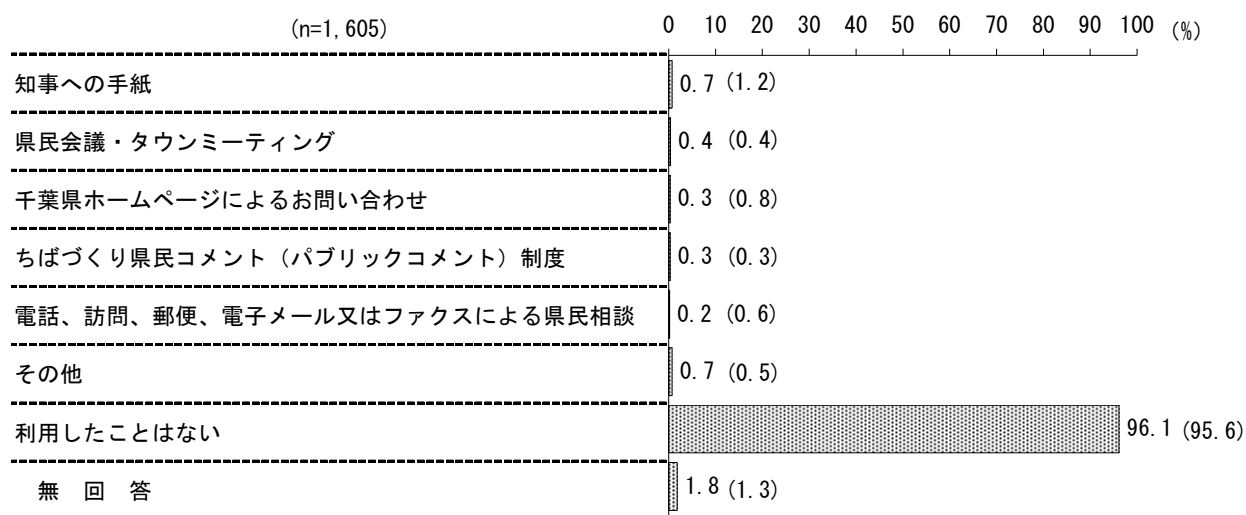


(8) 知事への手紙などで意見を述べた経験

◇「利用したことはない」が9割台半ば

問42 県では、県民参加型の県政運営に努めています。あなたは、知事への手紙などで今までに意見を述べたことがありますか。(〇はいくつでも)

<図表8-19> 知事への手紙などで意見を述べた経験 (複数回答)



注) () の数字は平成25年度の同様の項目による調査結果 n = 1,556

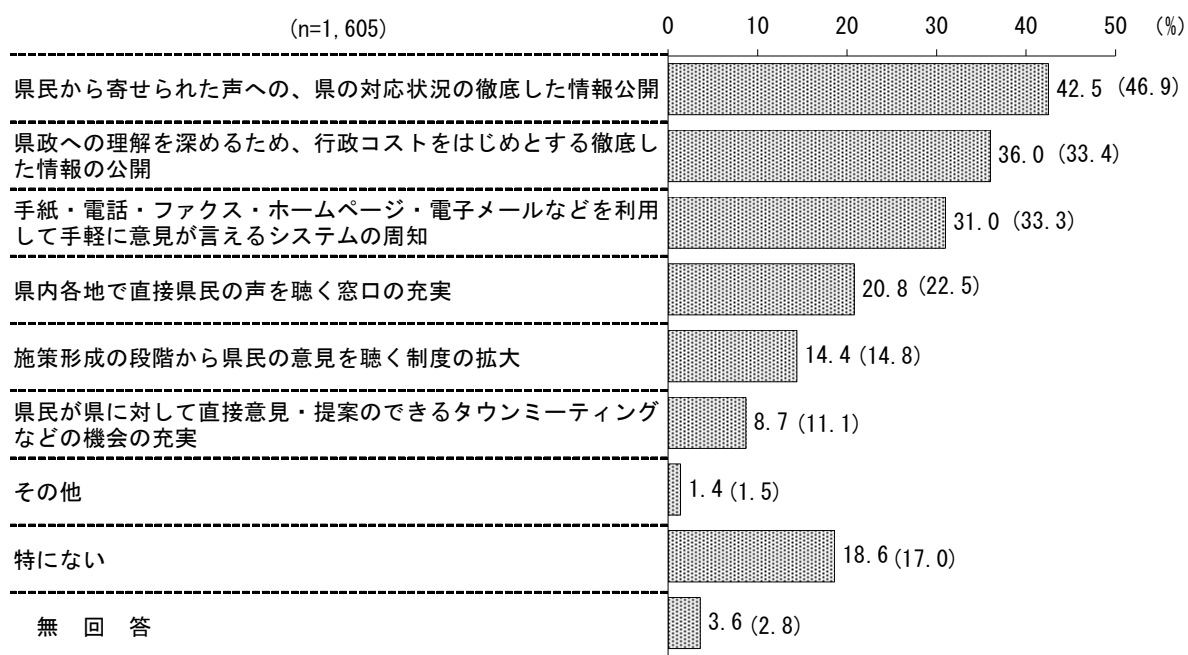
知事への手紙などで意見を述べた経験をいくつでも選んでもらったところ、「利用したことはない」(96.1%)が9割台半ばとなっている。利用したことのあるものでは、「知事への手紙」(0.7%)、「県民会議・タウンミーティング」(0.4%)となっている。(図表8-19)

(9) 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと

◇「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」が4割を超える

問43 みなさんが県政に対するご意見を述べやすくするためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

<図表8-20> 県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと (複数回答)



注) () の数字は平成25年度の同様の項目による調査結果 n = 1,556

県政に対する意見を述べやすくするために必要なことを3つまで選んでもらったところ、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」(42.5%)が4割を超えて最も高くなっている。以下、「県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開」(36.0%)、「手紙・電話・ファクス・ホームページ・電子メールなどを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知」(31.0%)などが続いている。(図表8-20)

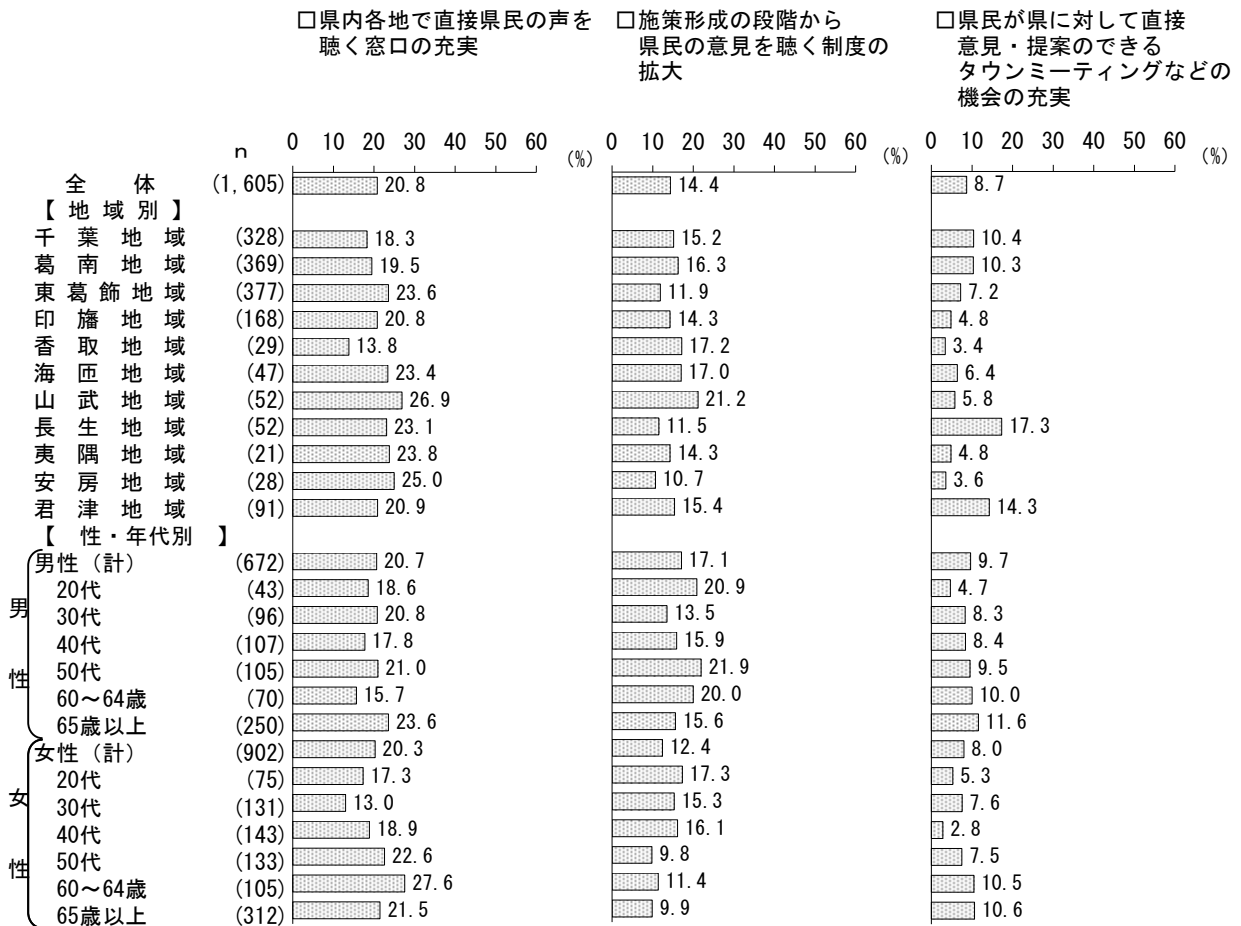
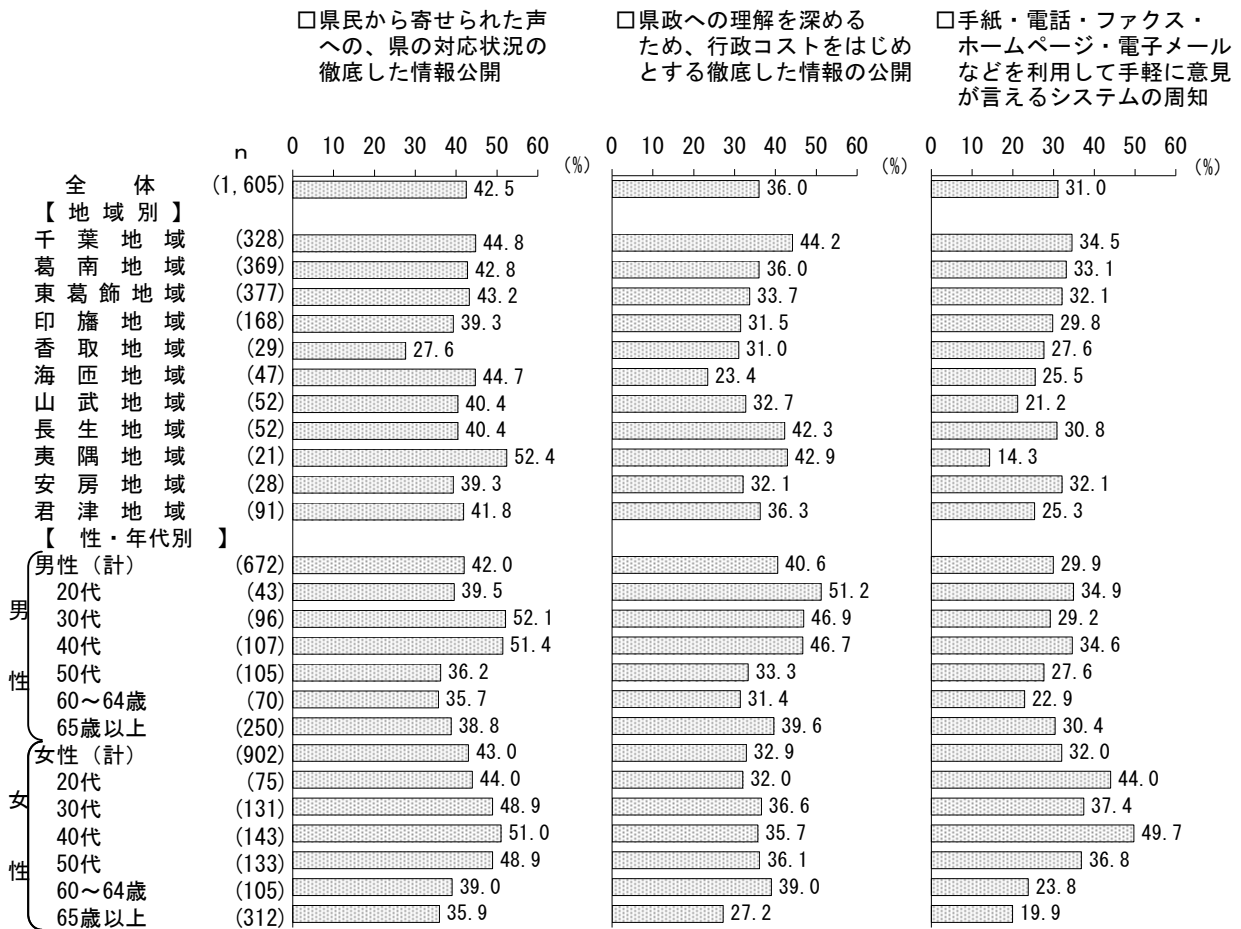
【地域別】

地域別にみると、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」は“夷隅地域”(52.4%)が他の地域と比べて高くなっている。「県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開」は“千葉地域”(44.2%)が4割台半ば、“夷隅地域”(42.9%)、“長生地域”(42.3%)が4割を超えて高くなっている。(図表8-21)

【性・年代別】

性・年代別にみると、「県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開」は男性の30代(52.1%)、男性の40代(51.4%)、女性の40代(51.0%)が5割を超えて他の年代に比べ高くなっている。(図表8-21)

＜図表８－21＞県政に対する意見を述べやすくするために必要なこと／地域別、性・年代別（上位６項目）

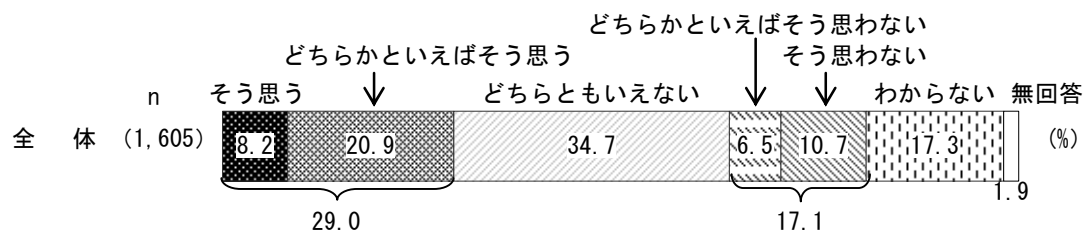


(10) 県政への意見の反映

◇『そう思う』は約3割

問44 今後、ご自分の意見を積極的に述べ、県政に反映させたいと思いますか。(○は1つ)

<図表8-22>県政への意見の反映



自分の意見を県政に反映させたいと思うか聞いたところ、「そう思う」(8.2%)と「どちらかといえばそう思う」(20.9%)を合わせた『そう思う』(29.0%)は約3割となっている。一方、「そう思わない」(10.7%)と「どちらかといえばそう思わない」(6.5%)を合わせた『そう思わない』(17.1%)は約2割となっている。(図表8-22)

〔参考〕平成24度・平成25度の同様の項目による調査結果との比較(単位: %)

n	そう思う	そう思わない	無回答または どちらともいえない またはわからない
平成24年度調査 (1,550)	33.5	14.9	51.7
平成25年度調査 (1,556)	32.7	16.5	50.8
平成26年度調査 (1,605)	29.0	17.1	53.9

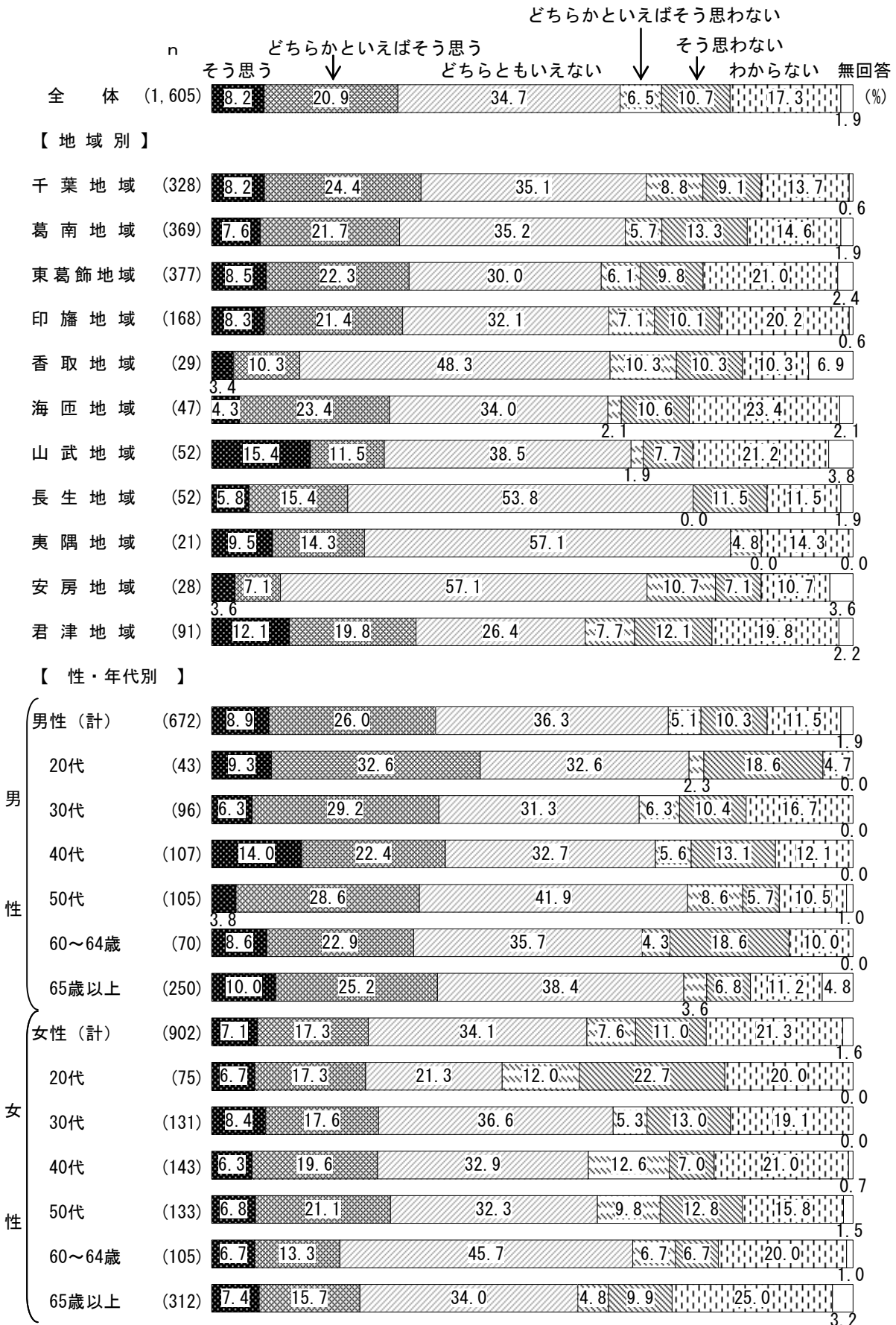
【地域別】

地域別にみると、『そう思う』は“千葉地域”(32.6%)、“君津地域”(31.9%)が3割を超え、“東葛飾地域”(30.8%)が3割、“印旛地域”(29.8%)“葛南地域”(29.3%)が約3割と他の地域に比べて高くなっている。(図表8-23)

【性・年代別】

性・年代別にみると、『そう思う』は、男性の20代(41.9%)が4割を超えて他の年代に比べて高くなっている。(図表8-23)

＜図表 8－23＞県政への意見の反映／地域別、性・年代別



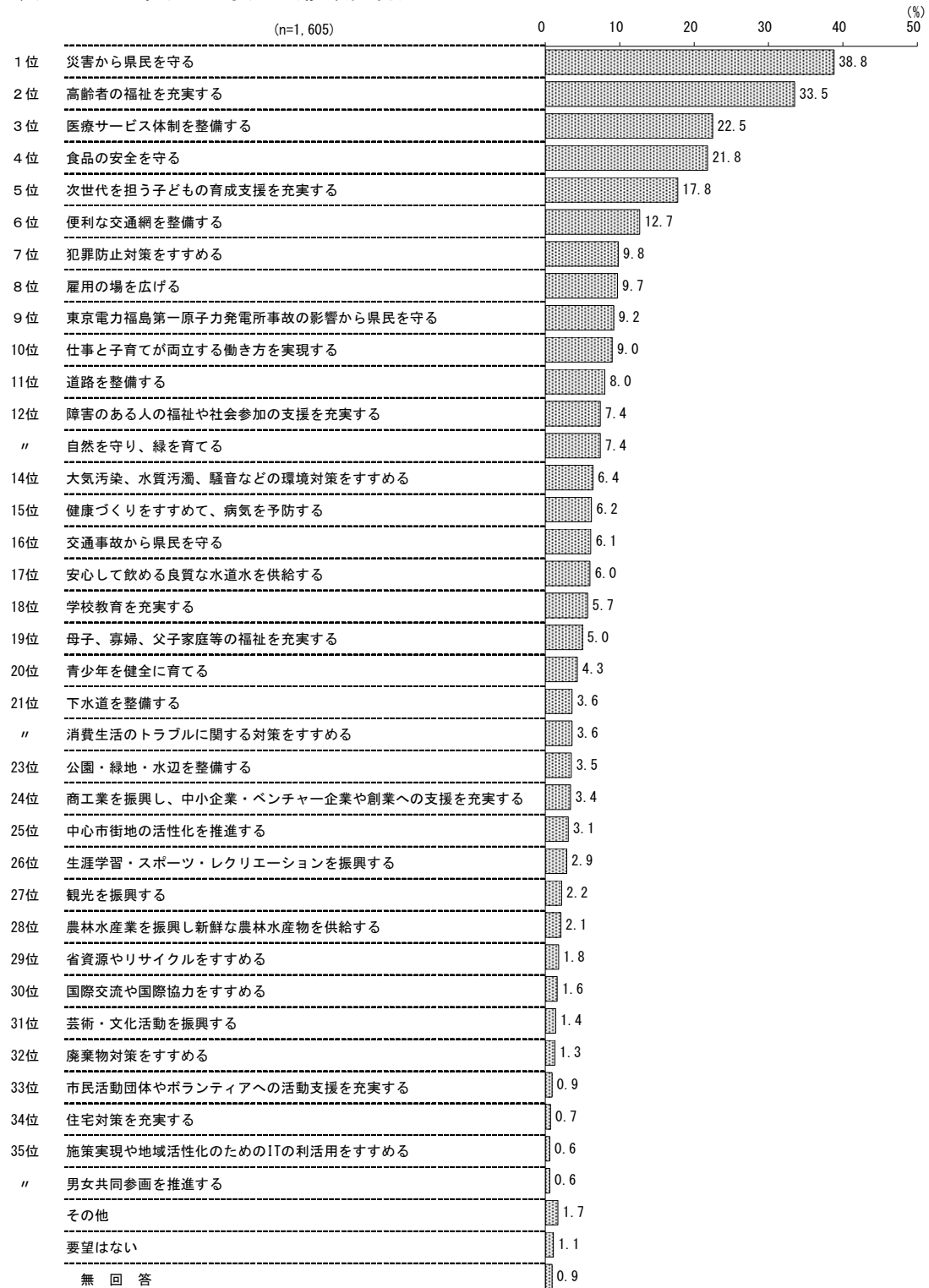
9 県政への要望

(1) 県政への要望

◇「災害から県民を守る」が約4割で最も高く、次いで「高齢者の福祉を充実する」

問45 県政全般について、今後あなたが特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

＜図表9－1＞県政への要望（複数回答）



県政への要望を3つまで選んでもらったところ、「災害から県民を守る」(38.8%)が1位で、次いで「高齢者の福祉を充実する」(33.5%)が2位、「医療サービス体制を整備する」(22.5%)が3位となっており、県民からの要望が特に高い。以下、「食品の安全を守る」(21.8%)が4位、「次世代を担う子供の育成支援を充実する」(17.8%)が5位と続いている。(図表9-1)

【地域別】

地域別にみると、「災害から県民を守る」は“長生地域”、“夷隅地域”、“君津地域”、以外の8つの地域で第1位となっている。「高齢者の福祉を充実する」は“香取地域”、“夷隅地域”、“君津地域”で第1位、“千葉地域”、“葛南地域”、“東葛飾地域”、“印旛地域”、“安房地域”の5つの地域で第2位となっている。「医療サービス体制を整備する」は“長生地域”で第1位、“海匝地域”、“山武地域”で第2位となっている。(図表9-3~4)

【性別、性・年代別】

性別にみると、男女ともに上位3位までは「災害から県民を守る」、「高齢者の福祉を充実する」、「医療サービス体制を整備する」の順になっている。

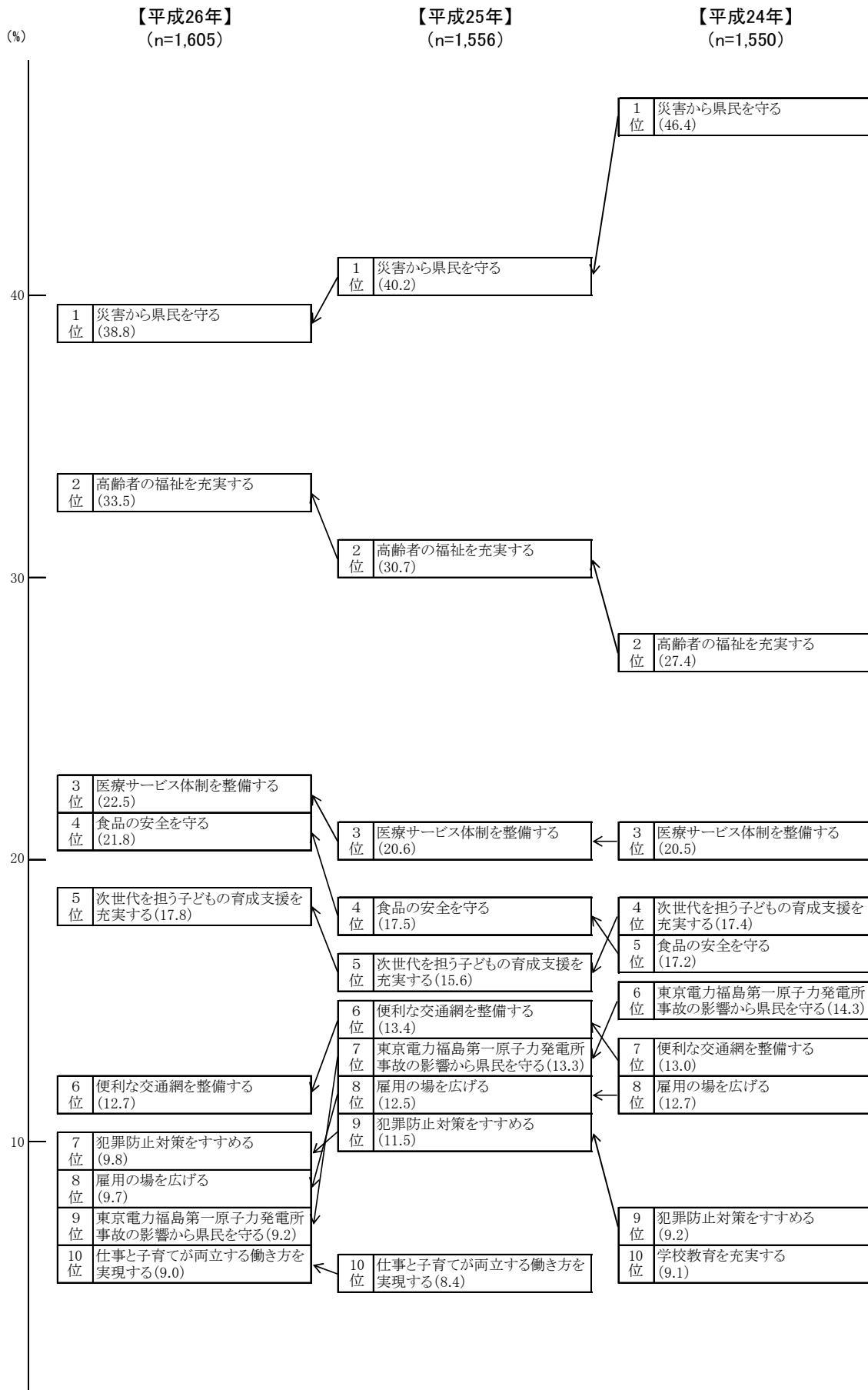
性・年代別にみると、「災害から県民を守る」は、男性の65歳以上、女性の60~64歳・65歳以上を除くすべての年代で第1位、男性の65歳以上(41.2%)、女性の60~64歳(41.0%)、65歳以上(42.9%)では第2位となっている。「高齢者の福祉を充実する」は、男性の60~64歳(42.9%)、65歳以上(47.6%)、女性の60~64歳(44.8%)、65歳以上(54.8%)で第1位となっている。「医療サービス体制を整備する」は男性の50代(30.5%)、女性の20代(24.0%)・50代(38.3%)で第2位となっている。「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」は、男性の30代(30.2%)・40代(22.4%)、女性の20代(24.0%)・30代(29.0%)・40代(25.2%)で第2位となっている。「便利な交通網を整備する」は、男性の20代(25.6%)で第2位となっている。(図表9-3~4)

【参考】平成24年以降の同様の項目による調査結果との比較(上位10項目の推移)(図表9-2)

【経年変化の特徴】

1. 「災害から県民を守る」は、24年度(46.4%)、25年度(40.2%)に引き続き第1位(38.8%)だが、この2年で7.6ポイントの減少となっている。
2. 「高齢者の福祉を充実する」は、25年度(30.7%)に引き続き第2位(33.5%)、「医療サービス体制を整備する」も25年度(20.6%)に引き続き第3位(22.5%)となっている。
3. 第4位(21.8%)の「食品の安全を守る」、第5位(17.8%)の「次世代を担う子どもの育成支援を充実する」、第6位(12.7%)の「便利な交通網を整備する」まで、上位6項目の順位は25年度と変わらない。

＜図表 9－2＞県政への要望／上位 10 項目の推移



＜図表９－３＞県政への要望（上位１位～５位）／地域別、性別、性・年代別

(%)

属性	順位	n	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
全 体		1,605	災害から県民を守る (38.8)	高齢者の福祉を充実する (33.5)	医療サービス体制を整備する (22.5)	食品の安全を守る (21.8)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (17.8)
【 地 域 別 】							
千 葉 地 域		328	災害から県民を守る (35.4)	高齢者の福祉を充実する (33.8)	食品の安全を守る (22.9)	医療サービス体制を整備する (20.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (17.7)
葛 南 地 域		369	災害から県民を守る (43.4)	高齢者の福祉を充実する (29.3)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (22.5)	食品の安全を守る (22.2)	医療サービス体制を整備する (20.3)
東葛飾地 域		377	災害から県民を守る (40.6)	高齢者の福祉を充実する (37.1)	医療サービス体制を整備する (22.8)	食品の安全を守る (22.0)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (13.5)
印 旛 地 域		168	災害から県民を守る (32.7)	高齢者の福祉を充実する (28.6)	便利な交通網を整備する (24.4)	医療サービス体制を整備する (23.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (22.0)
香 取 地 域		29	高齢者の福祉を充実する／災害から県民を守る (48.3)		食品の安全を守る (31.0)	医療サービス体制を整備する (24.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (17.2)
海 匝 地 域		47	災害から県民を守る (38.3)	医療サービス体制を整備する (36.2)	高齢者の福祉を充実する (34.0)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する／食品の安全を守る (21.3)	
山 武 地 域		52	災害から県民を守る (40.4)	医療サービス体制を整備する (26.9)	高齢者の福祉を充実する (23.1)	下水道を整備する (19.2)	雇用の場を広げる／次世代を担う子どもの育成支援を充実する (17.3)
長 生 地 域		52	医療サービス体制を整備する (42.3)	災害から県民を守る (38.5)	食品の安全を守る (25.0)	雇用の場を広げる／高齢者の福祉を充実する／次世代を担う子どもの育成支援を充実する／道路を整備する (19.2)	
夷 隅 地 域		21	高齢者の福祉を充実する (57.1)	災害から県民を守る (38.1)	医療サービス体制を整備する (33.3)	雇用の場を広げる／食品の安全を守る (23.8)	
安 房 地 域		28	災害から県民を守る (35.7)	高齢者の福祉を充実する (32.1)	便利な交通網を整備する (28.6)	雇用の場を広げる (21.4)	医療サービス体制を整備する (17.9)
君 津 地 域		91	高齢者の福祉を充実する (45.1)	災害から県民を守る (31.9)	食品の安全を守る (19.8)	医療サービス体制を整備する (17.6)	便利な交通網を整備する (14.3)
【 性・年代別 】							
男 性 (計)		672	災害から県民を守る (38.5)	高齢者の福祉を充実する (30.5)	医療サービス体制を整備する (20.5)	食品の安全を守る (18.6)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (17.7)
20代		43	災害から県民を守る (30.2)	便利な交通網を整備する (25.6)	雇用の場を広げる (20.9)	医療サービス体制を整備する (18.6)	自然を守り、緑を育てる／食品の安全を守る (14.0)
30代		96	災害から県民を守る (33.3)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (30.2)	犯罪防止対策をすすめる (17.7)	雇用の場を広げる／便利な交通網を整備する (15.6)	
40代		107	災害から県民を守る (43.9)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (22.4)	便利な交通網を整備する (20.6)	食品の安全を守る (17.8)	医療サービス体制を整備する (15.9)
50代		105	災害から県民を守る (31.4)	医療サービス体制を整備する (30.5)	高齢者の福祉を充実する (25.7)	雇用の場を広げる (20.0)	便利な交通網を整備する (17.1)
60～64歳		70	高齢者の福祉を充実する／災害から県民を守る (42.9)		雇用の場を広げる／次世代を担う子どもの育成支援を充実する (18.6)		医療サービス体制を整備する (17.1)
65歳以上		250	高齢者の福祉を充実する (47.6)	災害から県民を守る (41.2)	食品の安全を守る (25.6)	医療サービス体制を整備する (22.0)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (13.6)
女 性 (計)		902	災害から県民を守る (38.9)	高齢者の福祉を充実する (35.4)	医療サービス体制を整備する／食品の安全を守る (24.1)		次世代を担う子どもの育成支援を充実する (18.1)
20代		75	災害から県民を守る (33.3)	医療サービス体制を整備する／次世代を担う子どもの育成支援を充実する (24.0)	便利な交通網を整備する (22.7)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する／犯罪防止対策をすすめる (21.3)	
30代		131	災害から県民を守る (35.1)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (29.0)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する (28.2)	医療サービス体制を整備する (18.3)	高齢者の福祉を充実する (17.6)
40代		143	災害から県民を守る (34.3)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (25.2)	高齢者の福祉を充実する (19.6)	医療サービス体制を整備する (17.5)	食品の安全を守る (14.7)
50代		133	災害から県民を守る (39.8)	医療サービス体制を整備する (38.3)	高齢者の福祉を充実する (30.8)	食品の安全を守る (17.3)	便利な交通網を整備する (14.3)
60～64歳		105	高齢者の福祉を充実する (44.8)	災害から県民を守る (41.0)	医療サービス体制を整備する (30.5)	食品の安全を守る (28.6)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (13.3)
65歳以上		312	高齢者の福祉を充実する (54.8)	災害から県民を守る (42.9)	食品の安全を守る (35.3)	医療サービス体制を整備する (21.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する (13.1)

＜図表 9－4＞県政への要望（上位 6 位～10 位）／地域別、性別、性・年代別

(%)

属性	順位	n	6 位	7 位	8 位	9 位	10 位
全 体		1, 605	便利な交通網を整備する(12.7)	犯罪防止対策をすすめる(9.8)	雇用の場を広げる(9.7)	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る(9.2)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(9.0)
【 地 域 別 】							
千 葉 地 域		328	犯罪防止対策をすすめる(11.9)	便利な交通網を整備する(10.1)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(9.5)	雇用の場を広げる(9.1)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる／東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る(8.8)
葛 南 地 域		369	便利な交通網を整備する(10.8)	犯罪防止対策をすすめる(10.3)	道路を整備する(9.2)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(8.7)	自然を守り、緑を育てる(8.4)
東葛飾地 域		377	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る(11.7)	犯罪防止対策をすすめる(11.4)	便利な交通網を整備する(11.1)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(9.5)	道路を整備する(8.2)
印 旛 地 域		168	食品の安全を守る(20.2)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(13.7)	雇用の場を広げる(11.9)	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る／犯罪防止対策をすすめる(9.5)	
香 取 地 域		29	雇用の場を広げる／道路を整備する(13.8)		自然を守り、緑を育てる／大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる(10.3)		芸術・文化活動を振興する／交通事故から県民を守る／生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する／中心市街地の活性化を推進する／犯罪防止対策をすすめる／便利な交通網を整備する(6.9)
海 匝 地 域		47	雇用の場を広げる(17.0)	観光を振興する／道路を整備する(12.8)		東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る(10.6)	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業や創業への支援を充実する／東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る(8.5)
山 武 地 域		52	－	便利な交通網を整備する(15.4)	食品の安全を守る(11.5)		商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業や創業への支援を充実する／東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る／道路を整備する(9.6)
長 生 地 域		52	－		便利な交通網を整備する(13.5)	交通事故から県民を守る／仕事と子育てが両立する働き方を実現する(7.7)	
夷 隅 地 域		21	下水道を整備する(19.0)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する／障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する／便利な交通網を整備する(14.3)			国際交流や国際協力をすすめる／大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる(9.5)
安 房 地 域		28	次世代を担う子どもの育成支援を充実する(14.3)	健康づくりをすすめて、病気を予防する／商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業や創業への支援を充実する／障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する／食品の安全を守る(10.7)			
君 津 地 域		91	自然を守り、緑を育てる(13.2)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する(12.1)	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る／犯罪防止対策をすすめる(11.0)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(9.9)	
【 性・年代別 】							
男 性 (計)		672	便利な交通網を整備する(15.6)	雇用の場を広げる(12.6)	道路を整備する(9.8)	犯罪防止対策をすすめる(9.7)	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る(8.8)
20代		43	－	仕事と子育てが両立する働き方を実現する／次世代を担う子どもの育成支援を充実する／中心市街地の活性化を推進する／犯罪防止対策をすすめる(11.6)			
30代		96	医療サービス体制を整備する／商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業や創業への支援を充実する(14.6)		高齢者の福祉を充実する／食品の安全を守る(13.5)		交通事故から県民を守る(10.4)
40代		107	高齢者の福祉を充実する(13.1)	雇用の場を広げる／大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる／犯罪防止対策をすすめる(11.2)			交通事故から県民を守る／障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する(10.3)
50代		105	食品の安全を守る(14.3)	次世代を担う子どもの育成支援を充実する(13.3)	道路を整備する(12.4)	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる／犯罪防止対策をすすめる(7.6)	
60～64歳		70	便利な交通網を整備する(14.3)	食品の安全を守る(11.4)	自然を守り、緑を育てる／大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる／東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る(10.0)		
65歳以上		250	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る(12.0)	便利な交通網を整備する(11.6)	道路を整備する(10.4)	健康づくりをすすめて、病気を予防する／障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する(8.4)	
女 性 (計)		902	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(11.1)	便利な交通網を整備する(10.4)	犯罪防止対策をすすめる(10.1)	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る(9.6)	自然を守り、緑を育てる(7.8)
20代		75	－	食品の安全を守る(18.7)	自然を守り、緑を育てる(10.7)	雇用の場を広げる／高齢者の福祉を充実する／母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する(9.3)	
30代		131	食品の安全を守る(13.7)	犯罪防止対策をすすめる(12.2)	公園・緑地・水辺を整備する／東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る(11.5)		自然を守り、緑を育てる(9.9)
40代		143	学校教育を充実する(12.6)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(11.9)	犯罪防止対策をすすめる／母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する(11.2)		便利な交通網を整備する(10.5)
50代		133	次世代を担う子どもの育成支援を充実する(12.0)	犯罪防止対策をすすめる(11.3)	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する(10.5)	雇用の場を広げる(9.8)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する(8.3)
60～64歳		105	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る(12.4)	雇用の場を広げる／自然を守り、緑を育てる(9.5)		便利な交通網を整備する(8.6)	仕事と子育てが両立する働き方を実現する／青少年を健全に育てる／道路を整備する(6.7)
65歳以上		312	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る(11.9)	健康づくりをすすめて、病気を予防する(9.9)	安心して飲める良質な水道水を供給する(9.0)	便利な交通網を整備する(7.4)	犯罪防止対策をすすめる(7.1)

(1-1) 各政策への具体的な要望

問46 問45で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。問45で選んだ3項目についてのみ、具体的要望項目から1つずつ選んで番号に○をつけてください。(○はそれぞれ1つ)

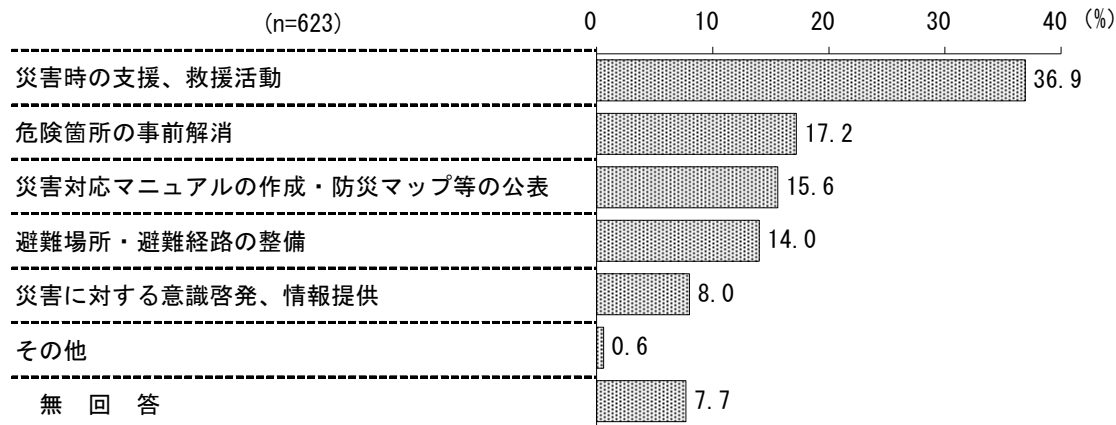
問45で県政への要望を3つまでたずね、その選んだ要望に関して、それぞれ具体的にどのようなことを望んでいるかを聞いた。

ここからは、それぞれの結果を図示していくが、問45の回答状況次第では、nの値が少なくなるものもあり、その場合は参考ということを明示する。

1 災害から県民を守る (38.8%、1位)

「災害時の支援、救援活動」(36.9%)が3割台半ばで最も高く、以下、「危険箇所の事前解消」(17.2%)、「災害対応マニュアルの作成・防災マップ等の公表」(15.6%)、「避難場所・避難経路の整備」(14.0%)が続く。(図表9-5)

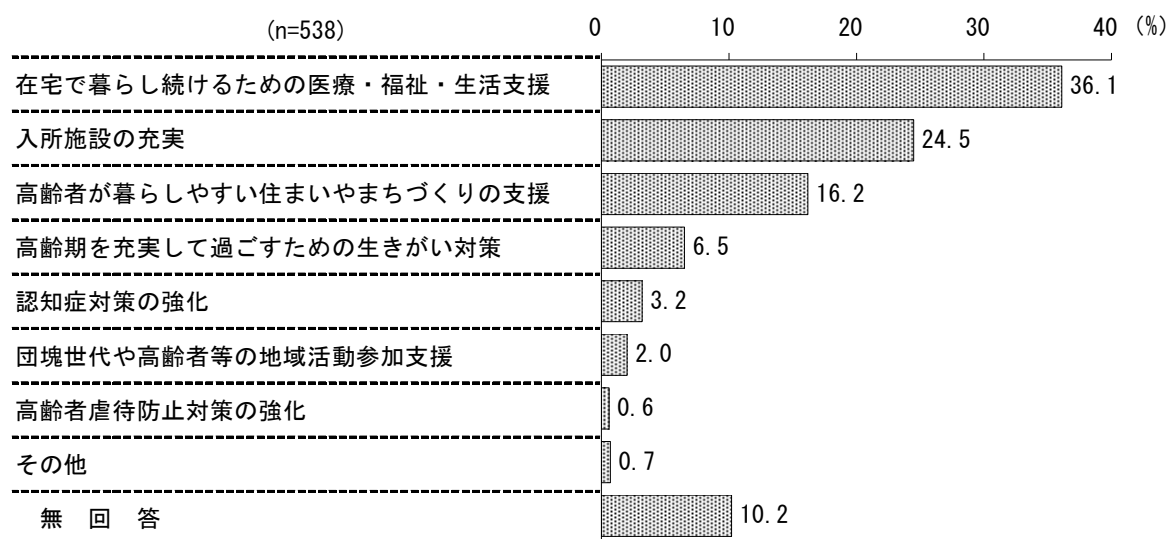
<図表9-5>災害から県民を守る



2 高齢者の福祉を充実する（33.5%、2位）

「在宅で暮らし続けるための医療・福祉・生活支援」（36.1%）が3割台半ばで最も高く、以下、「入所施設の充実」（24.5%）、「高齢者が暮らしやすい住まいやまちづくりの支援」（16.2%）が続く。（図表9－6）

＜図表9－6＞高齢者の福祉を充実する



3 医療サービス体制を整備する（22.5%、3位）

「医療施設の整備」（23.8%）が2割台半ばで最も高く、以下、「休日・夜間等時間外診療の充実」（20.2%）、「病院と診療所（かかりつけ医）との連携強化」（16.6%）が続く。（図表9－7）

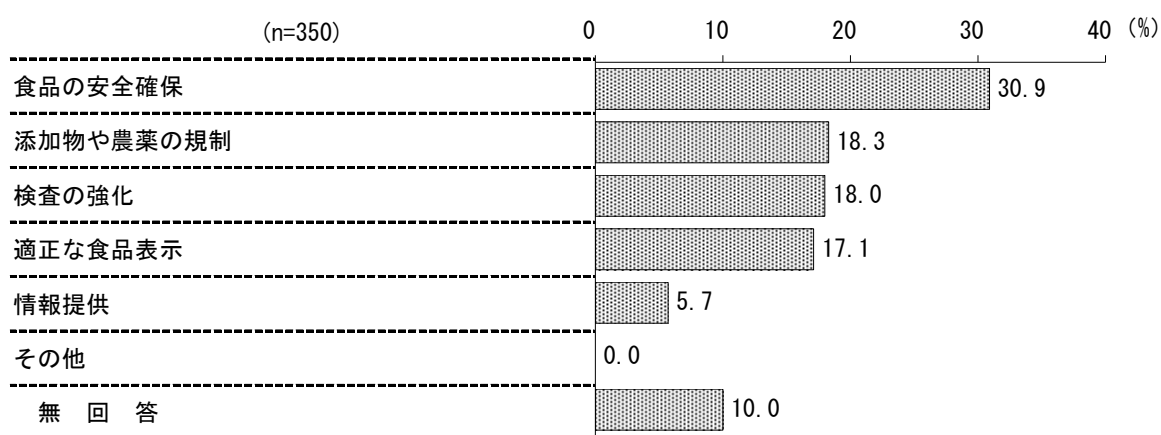
＜図表9－7＞医療サービス体制を整備する



4 食品の安全を守る（21.8%、4位）

「食品の安全確保」（30.9%）が3割と最も高く、以下、「添加物や農薬の規制」（18.3%）、「検査の強化」（18.0%）、「適正な食品表示」（17.1%）が続く。（図表9－8）

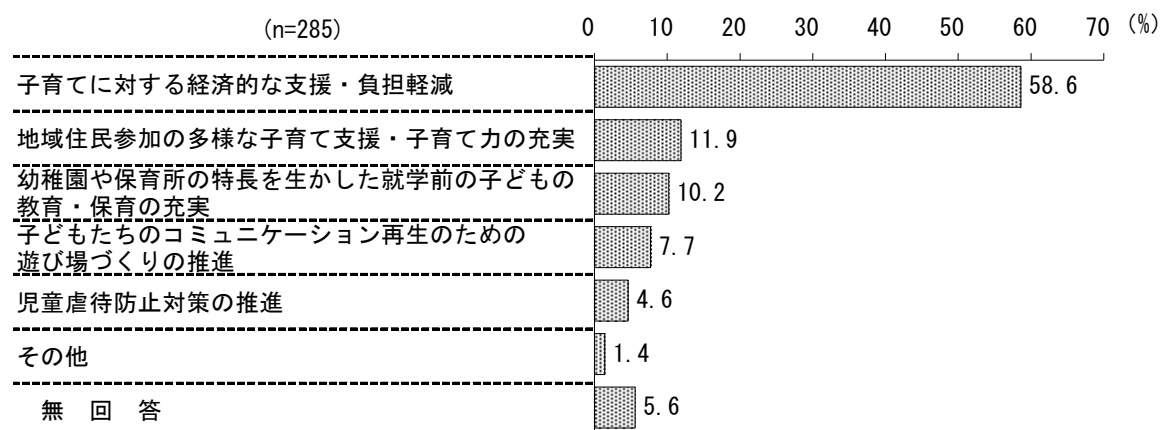
＜図表9－8＞食品の安全を守る



5 次世代を担う子どもの育成支援を充実する（17.8%、5位）

「子育てに対する経済的な支援・負担軽減」（58.6%）が5割と最も高く、以下、「地域住民参加の多様な子育て支援・子育て力の充実」（11.9%）、「幼稚園や保育所の特長を生かした就学前の子どもの教育・保育の充実」（10.2%）が続く。（図表9－9）

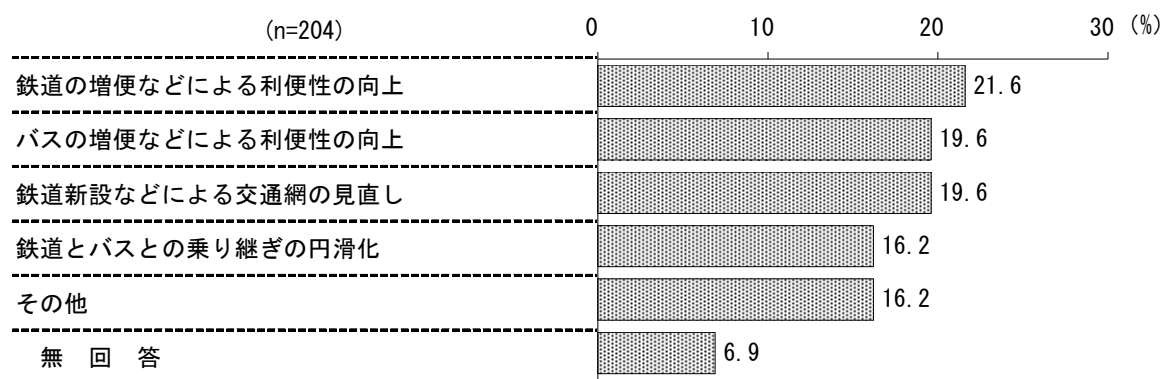
＜図表9－9＞次世代を担う子どもの育成支援を充実する



6 便利な交通網を整備する（12.7%、6位）

「鉄道の増便などによる利便性の向上」（21.6%）が2割を超えて最も高く、以下、「バスの増便などによる利便性の向上」、「鉄道新設などによる交通網の見直し」（同率19.6%）が続く。（図表9－10）

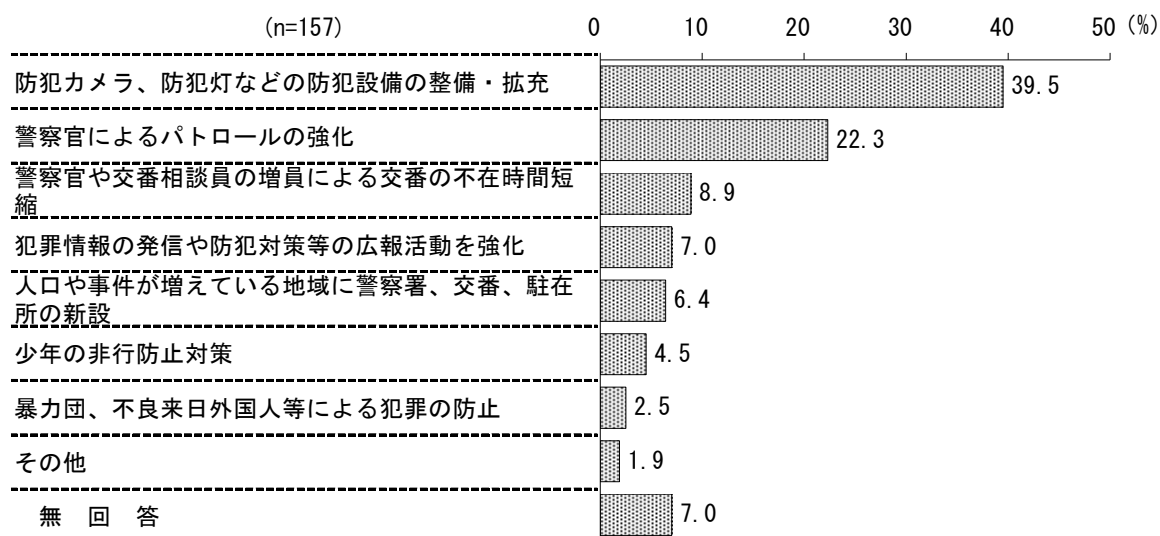
＜図表9－10＞便利な交通網を整備する



7 犯罪防止対策をすすめる（9.8%、7位）

「防犯カメラ、防犯灯などの防犯設備の整備・拡充」（39.5%）が約4割で最も高く、以下、「警察官によるパトロールの強化」（22.3%）が続く。（図表9－11）

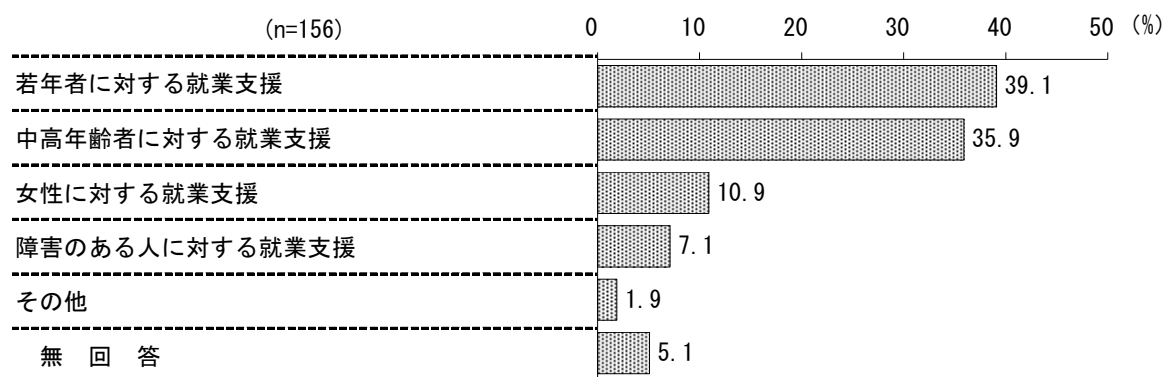
＜図表9－11＞犯罪防止対策をすすめる



8 雇用の場を広げる（9.7%、8位）

「若年者に対する就業支援」（39.1%）が約4割で最も高く、以下、「中高年齢者に対する就業支援」（35.9%）が続く。（図表9－12）

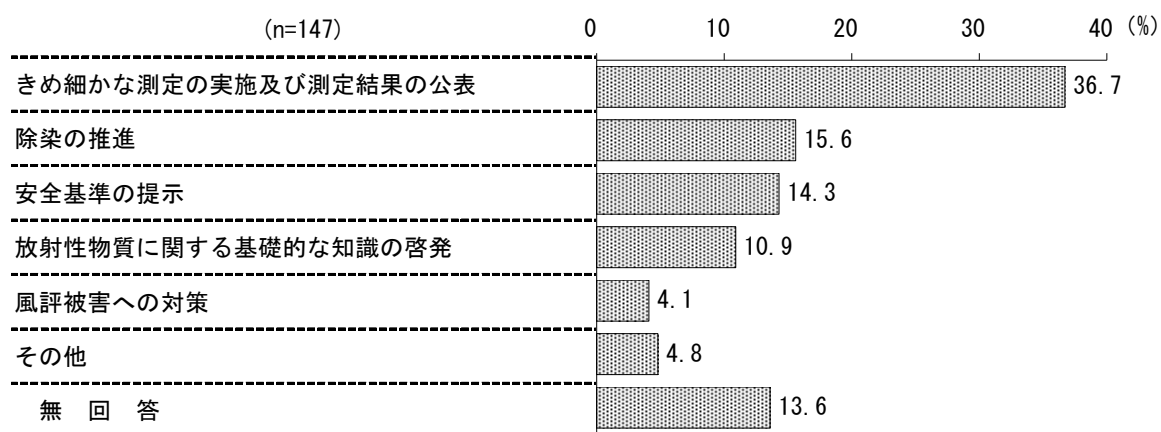
＜図表9－12＞雇用の場を広げる



9 東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る（9.2%、9位）

「きめ細かな測定の実施及び測定結果の公表」（36.7%）が3割台半ばで最も高く、以下、「除染の推進」（15.6%）、「安全基準の提示」（14.3%）が続く。（図表9－13）

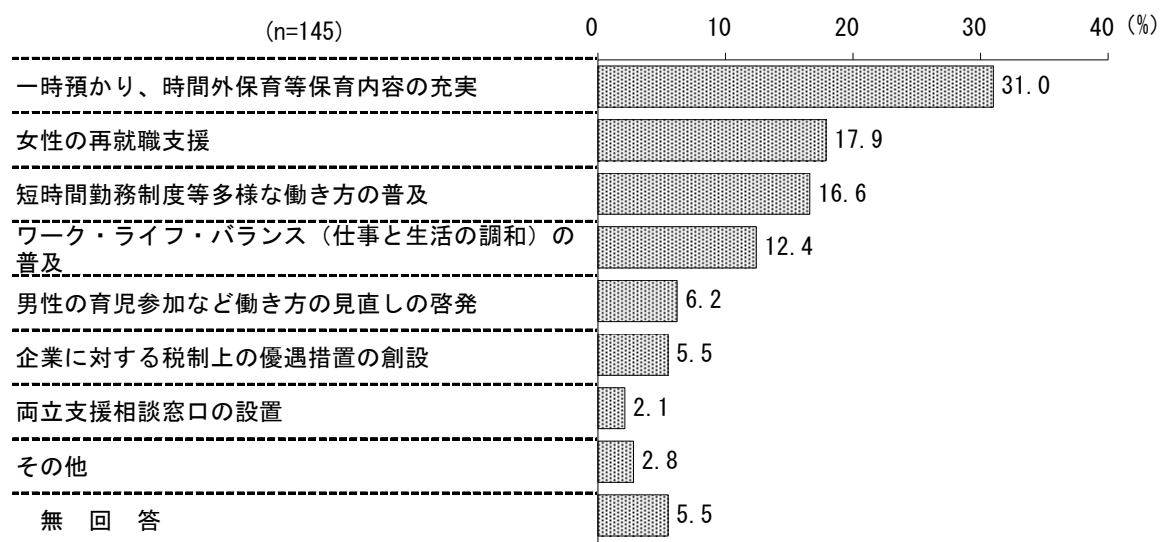
＜図表9－13＞東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る



10 仕事と子育てが両立する働き方を実現する（9.0%、10位）

「一時預かり、時間外保育等保育内容の充実」（31.0%）が3割を超えて最も高く、以下、「女性の再就職支援」（17.9%）、「短時間勤務制度等多様な働き方の普及」（16.6%）が続く。（図表9-14）

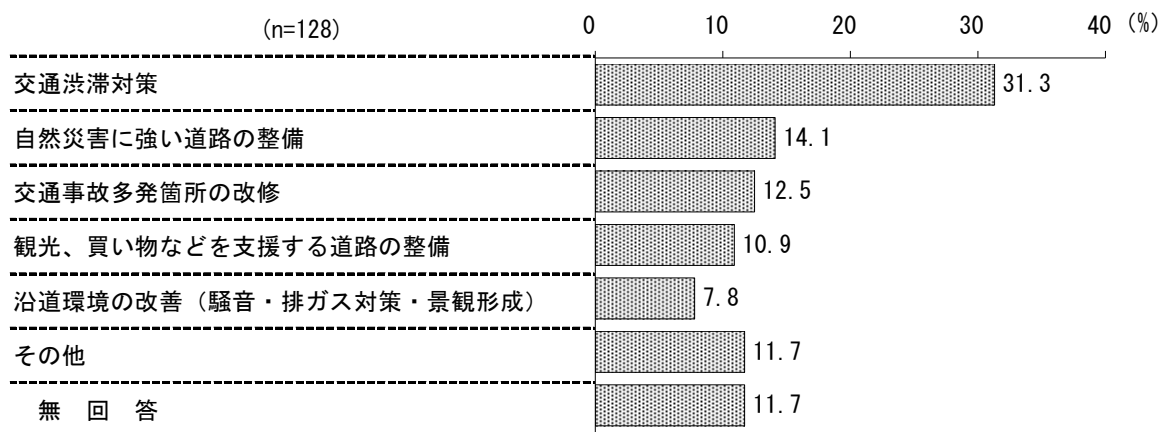
＜図表9-14＞仕事と子育てが両立する働き方を実現する



11 道路を整備する（8.0%、11位）

「交通渋滞対策」（31.3%）が3割を超えて最も高く、以下、「自然災害に強い道路の整備」（14.1%）、「交通事故多発箇所の改修」（12.5%）が続く。（図表9-15）

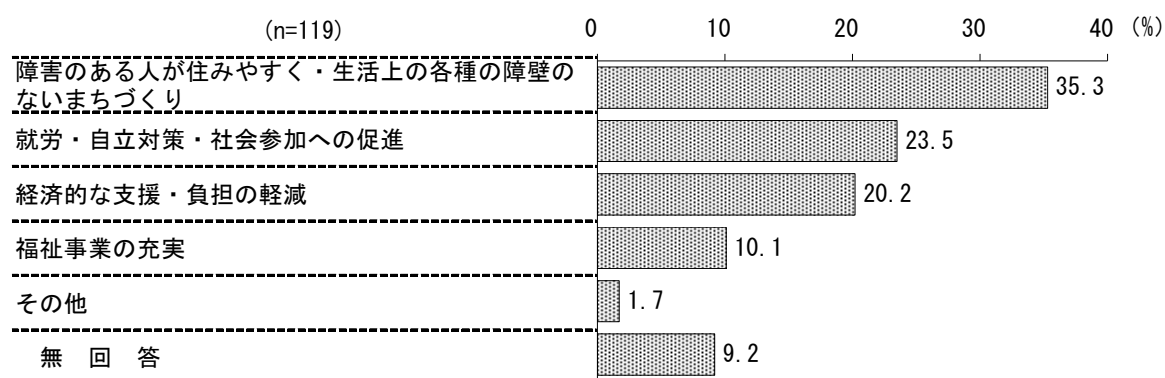
＜図表9-15＞道路を整備する



12 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する（7.4%、12 位）

「障害のある人が住みやすく・生活上の各種の障壁のないまちづくり」（35.3%）が3割台半ばで最も高く、以下、「就労・自立対策・社会参加への促進」（23.5%）、「経済的な支援・負担の軽減」（20.2%）が続く。（図表9-16）

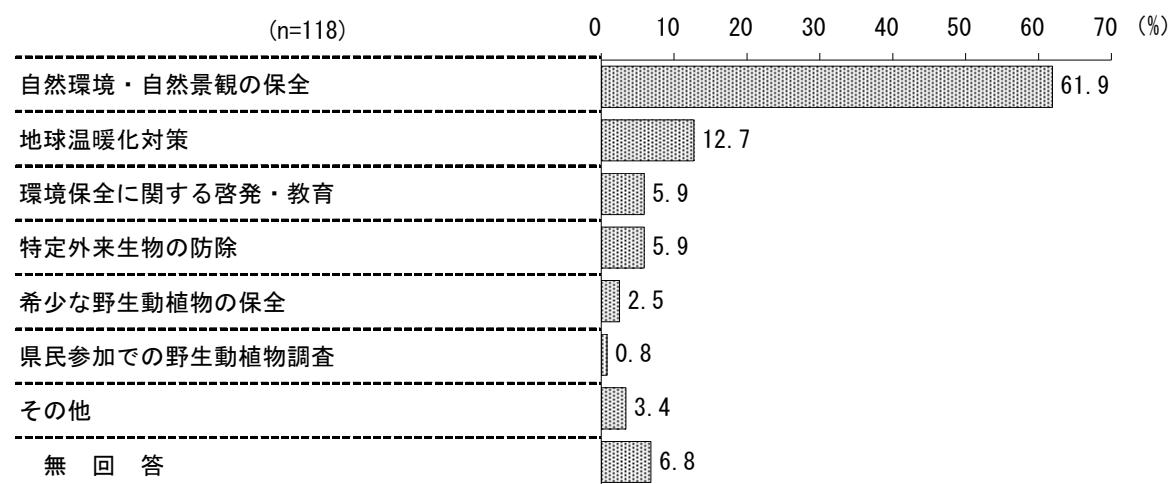
＜図表9-16＞障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する



13 自然を守り、緑を育てる（7.4%、12 位）

「自然環境・自然景観の保全」（61.9%）が6割を超えて最も高く、以下、「地球温暖化対策」（12.7%）が続く。（図表9-17）

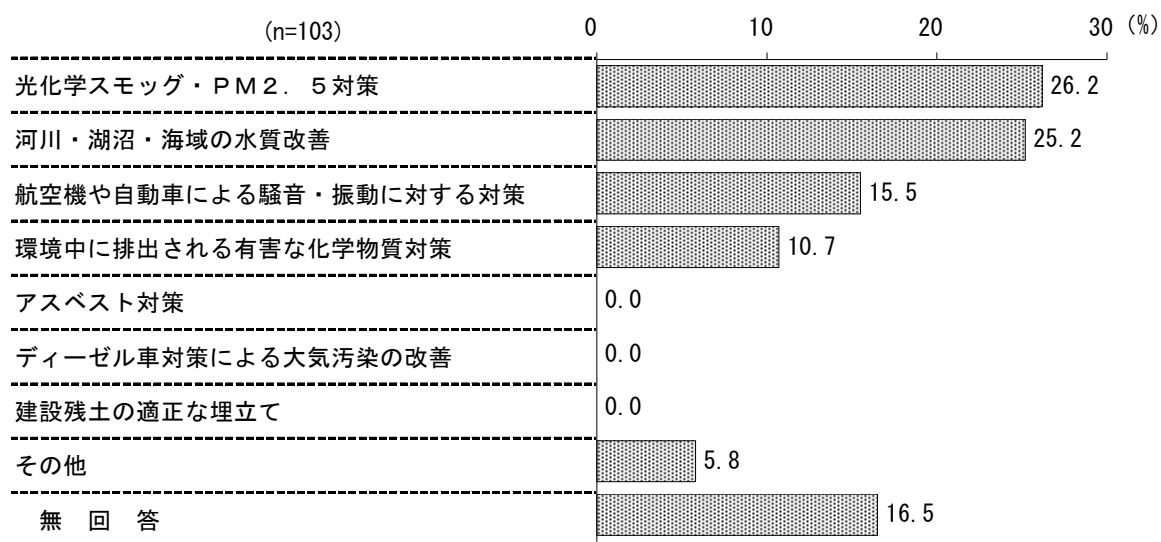
＜図表9-17＞自然を守り、緑を育てる



14 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる（6.4%、14 位）

「光化学スモッグ・PM_{2.5}対策」（26.2%）が2割台半ばで最も高く、以下、「河川・湖沼・海域の水質改善」（25.2%）、「航空機や自動車による騒音・振動に対する対策」（15.5%）が続く。（図表9－18）

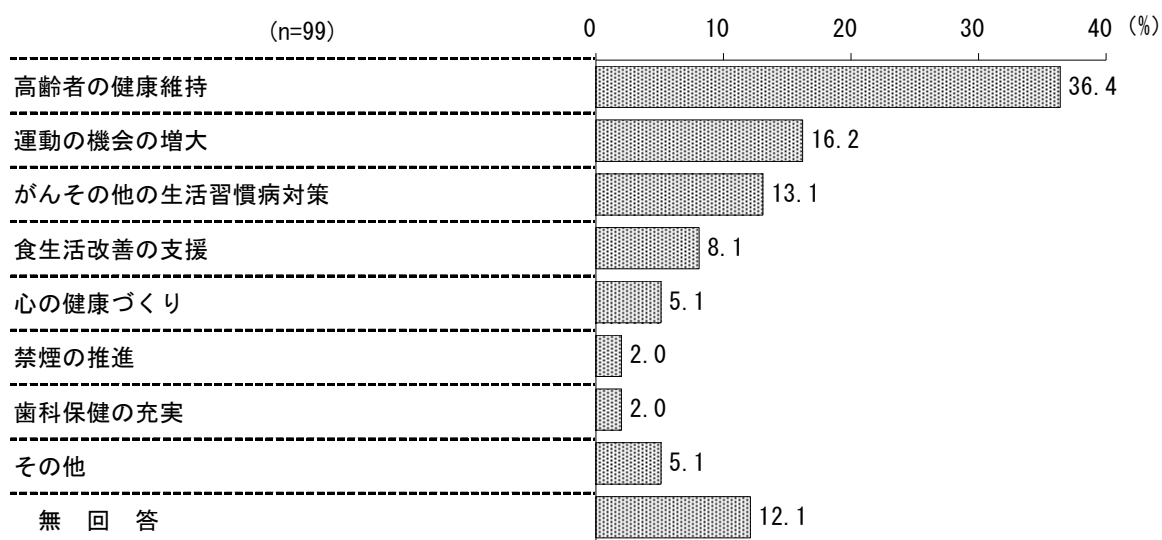
＜図表9－18＞大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる



15 健康づくりをすすめて、病気を予防する（6.2%、15 位）

「高齢者の健康維持」（36.4%）が3割台半ばで最も高く、以下、「運動の機会の増大」（16.2%）、「がんその他の生活習慣病対策」（13.1%）が続く。（図表9－19）

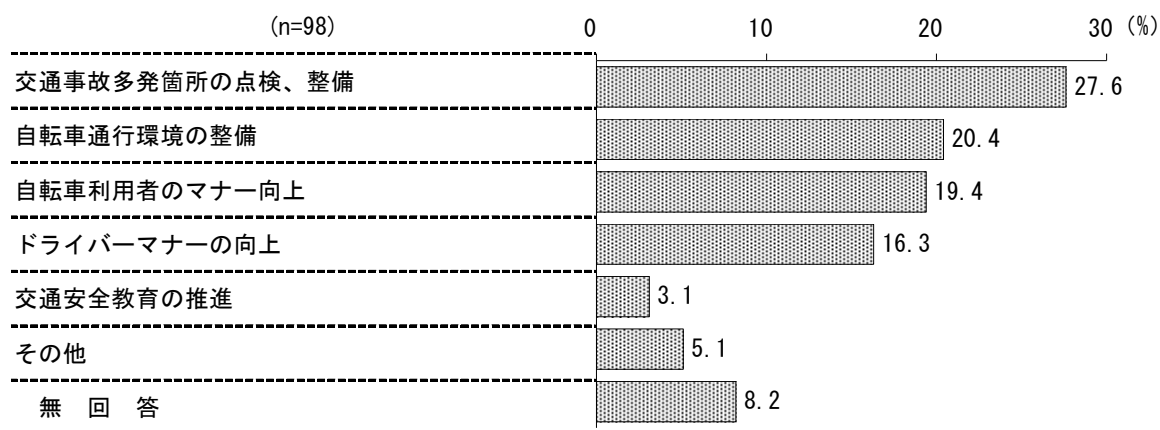
＜図表9－19＞健康づくりをすすめて、病気を予防する



16 交通事故から県民を守る（6.1%、16位）

「交通事故多発箇所の点検、整備」（27.6%）が約3割で最も高く、以下、「自転車通行環境の整備」（20.4%）、「自転車利用者のマナー向上」（19.4%）が続く。（図表9-20）

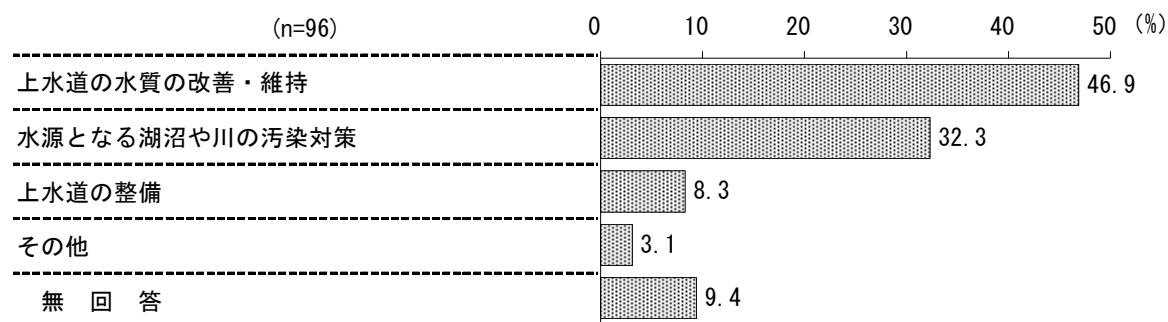
＜図表9-20＞交通事故から県民を守る



17 安心して飲める良質な水道水を供給する（6.0%、17位）

「上水道の水質の改善・維持」（46.9%）が4割台半ばで最も高く、以下、「水源となる湖沼や川の汚染対策」（32.3%）が続く。（図表9-21）

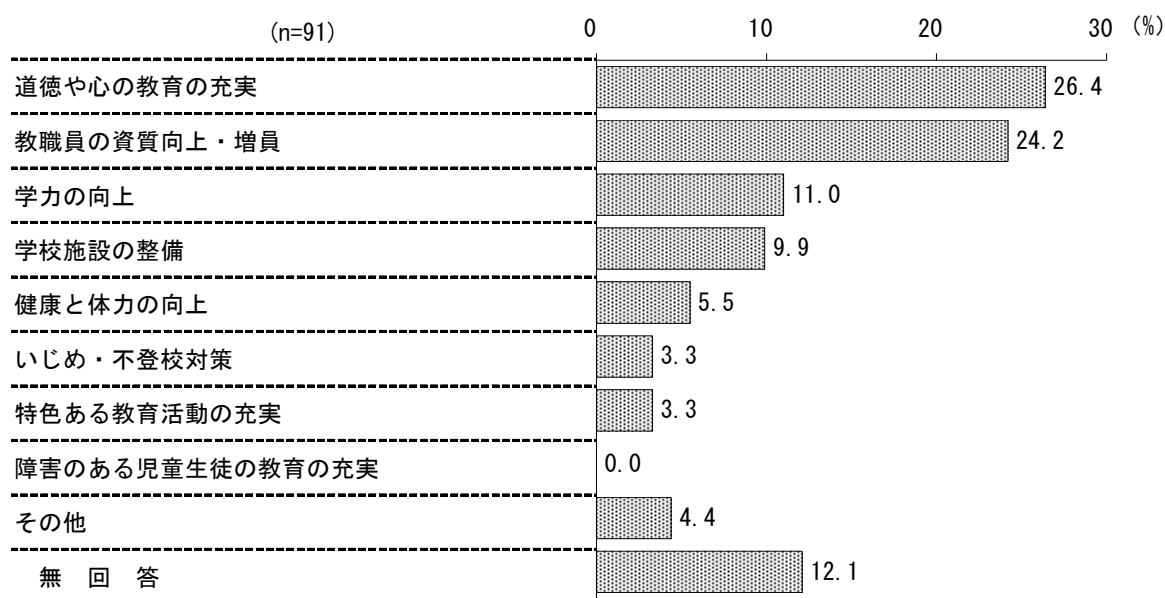
＜図表9-21＞安心して飲める良質な水道水を供給する



18 学校教育を充実する（5.7%、18 位）

「道徳や心の教育の充実」（26.4%）が2割台半ばで最も高く、以下、「教職員の資質向上・増員」（24.2%）が続く。（図表9－22）

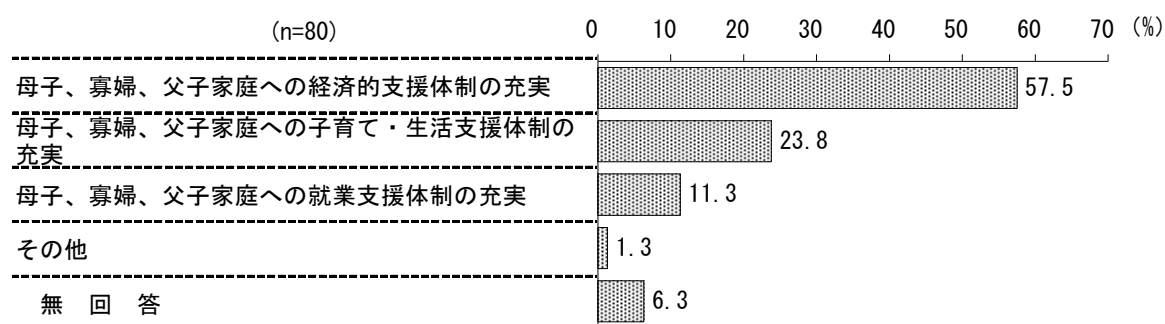
＜図表9－22＞学校教育を充実する



19 母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する（5.0%、19 位）

「母子、寡婦、父子家庭への経済的支援体制の充実」（57.5%）が約6割で最も高く、以下、「母子、寡婦、父子家庭への子育て・生活支援体制の充実」（23.8%）が続く。（図表9－23）

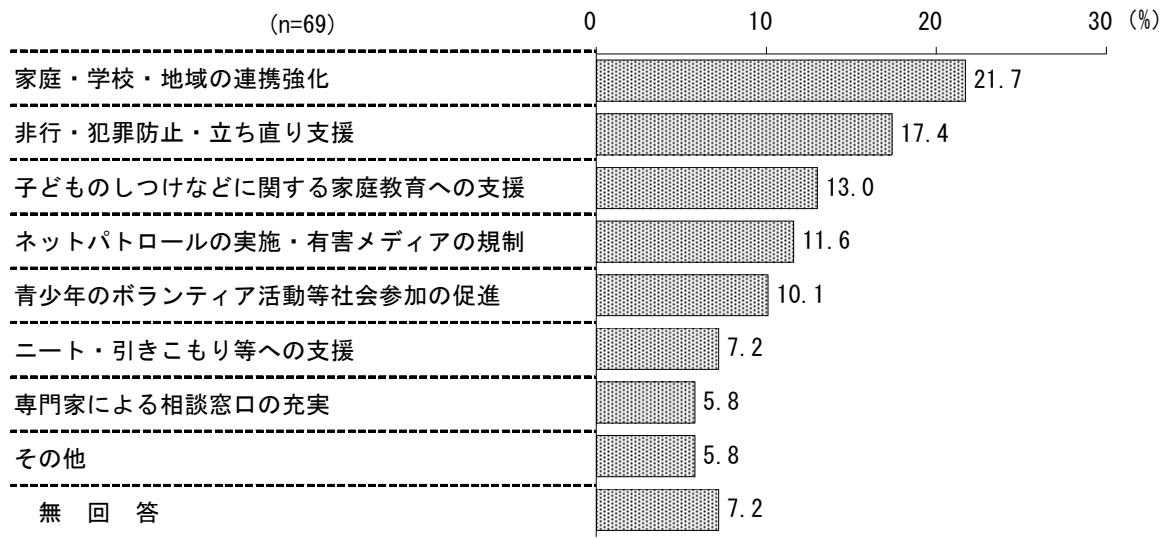
＜図表9－23＞母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する



20 青少年を健全に育てる（4.3%、20 位）

「家庭・学校・地域の連携強化」（21.7%）が2割を超えて最も高く、以下、「非行・犯罪防止・立ち直り支援」（17.4%）、「子どものしつけなどに関する家庭教育への支援」（13.0%）が続く。（図表9-24）

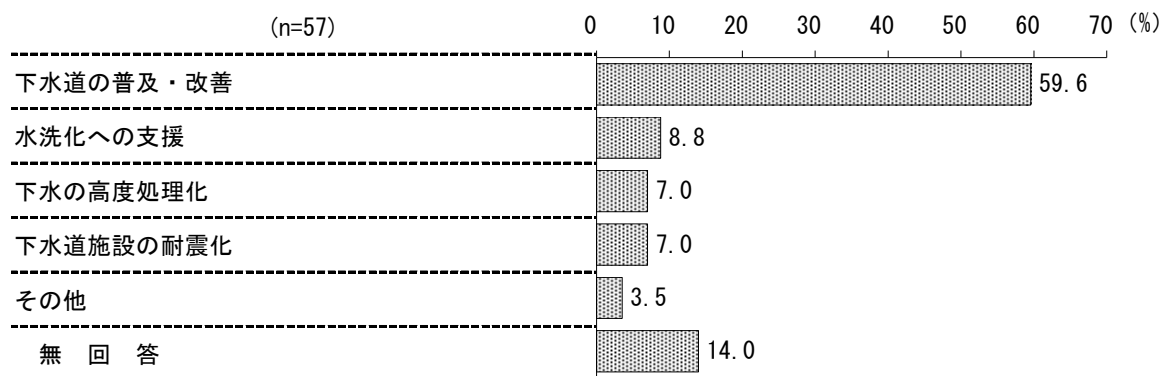
＜図表9-24＞青少年を健全に育てる



21 下水道を整備する（3.6%、21 位）

「下水道の普及・改善」（59.6%）が約6割で最も高く、以下、「水洗化への支援」（8.8%）が続く。（図表9-25）

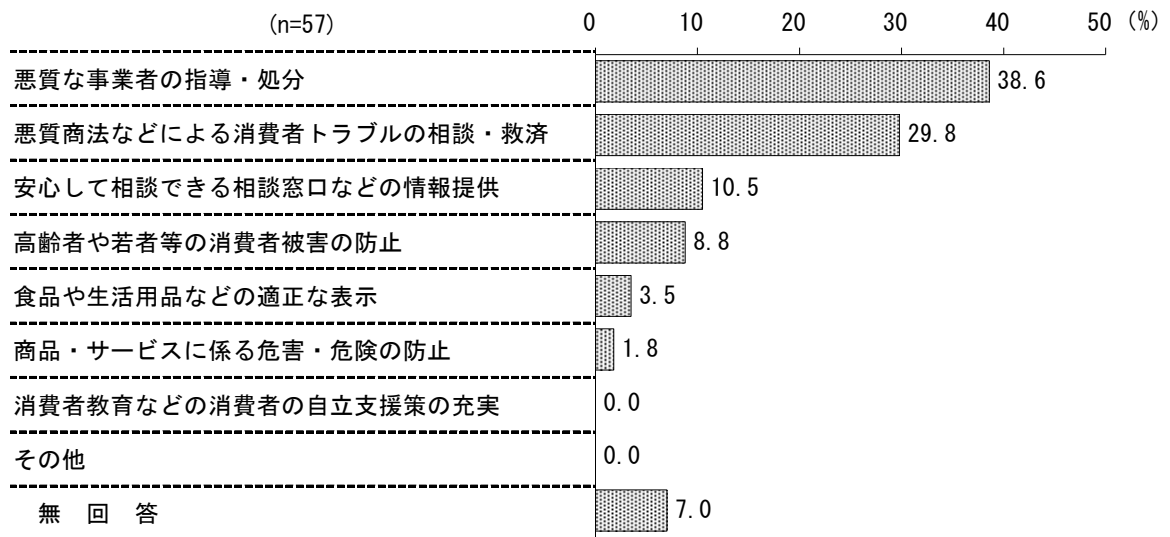
＜図表9-25＞下水道を整備する



22 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる（3.6%、21 位）

「悪質な事業者の指導・処分」（38.6%）が約4割で最も高く、以下、「悪質商法などによる消費者トラブルの相談・救済」（29.8%）が続く。（図表9-26）

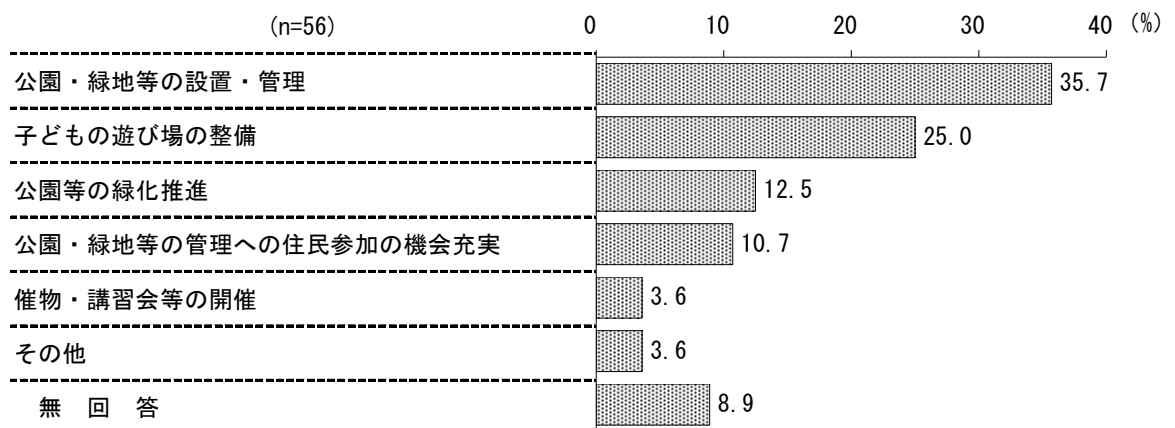
＜図表9-26＞消費生活のトラブルに関する対策をすすめる



23 公園・緑地・水辺を整備する（3.5%、23 位）

「公園・緑地等の設置・管理」（35.7%）が3割台半ばで最も高く、以下、「子どもの遊び場の整備」（25.0%）が続く。（図表9-27）

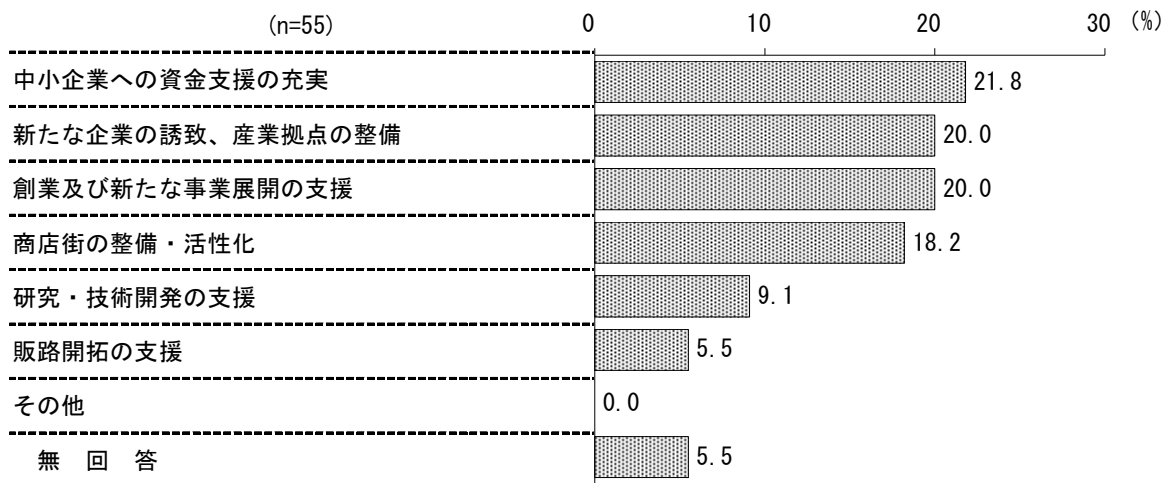
＜図表9-27＞公園・緑地・水辺を整備する



24 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業や創業への支援を充実する（3.4%、24 位）

「中小企業への資金支援の充実」（21.8%）が2割を超えて最も高く、以下、「新たな企業の誘致、産業拠点の整備」（20.0%）、「創業及び新たな事業展開の支援」（20.0%）、「商店街の整備・活性化」（18.2%）が続く。（図表9-28）

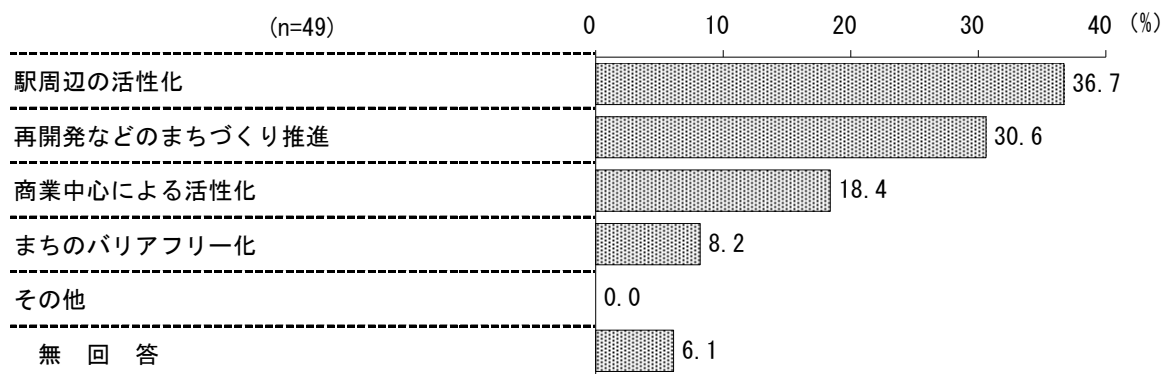
＜図表9-28＞商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業や創業への支援を充実する



25 中心市街地の活性化を推進する（3.1%、25 位）

「駅周辺の活性化」（36.7%）が3割台半ばで最も高く、以下、「再開発などのまちづくり推進」（30.6%）が続く。（図表9-29）

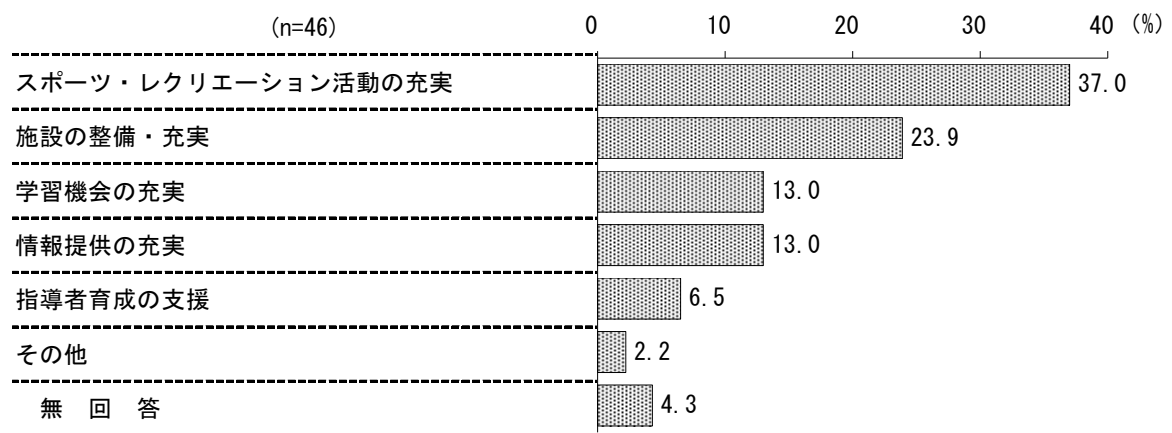
＜図表9-29＞中心市街地の活性化を推進する



26 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する（2.9%、26 位）

「スポーツ・レクリエーション活動の充実」（37.0%）が約4割で最も高く、以下、「施設の整備・充実」（23.9%）が続く。（図表9－30）

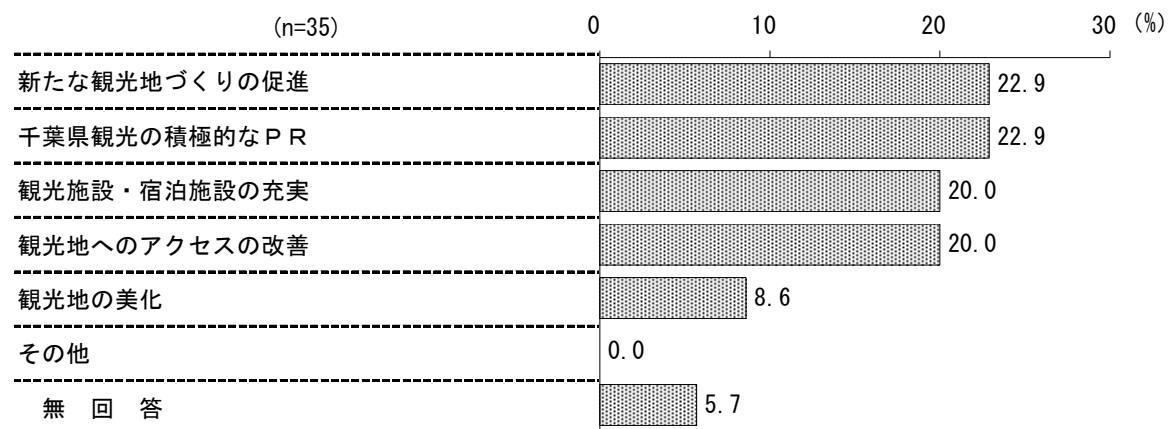
＜図表9－30＞生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する



27 観光を振興する（2.2%、27 位）

「新たな観光地づくりの促進」（22.9%）と「千葉県観光の積極的なPR」（22.9%）が2割を超えて最も高い。（図表9－31）

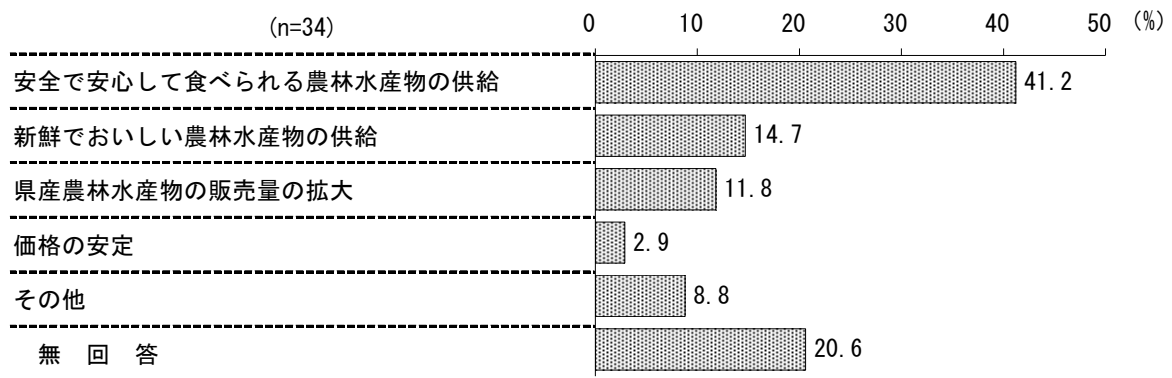
＜図表9－31＞観光を振興する



28 農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する（2.1%、28 位）

「安全で安心して食べられる農林水産物の供給」（41.2%）が4割を超えて最も高く、以下、「新鮮でおいしい農林水産物の供給」（14.7%）、「県産農林水産物の販売量の拡大」（11.8%）が続く。（図表9－32）

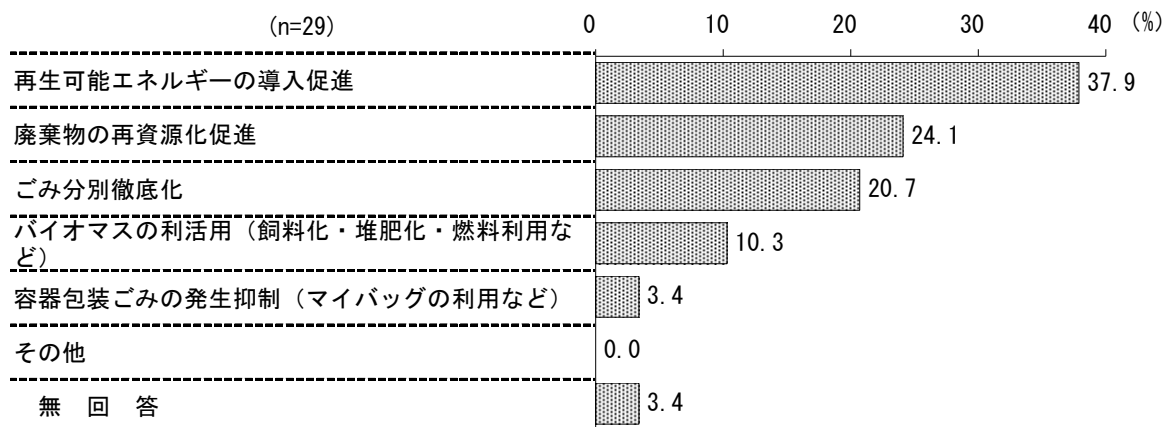
＜図表9－32＞農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する



29 省資源やリサイクルをすすめる（1.8%、29 位）

「再生可能エネルギーの導入促進」（37.9%）が約4割で最も高く、以下、「廃棄物の再資源化促進」（24.1%）、「ごみ分別徹底化」（20.7%）が続く。（図表9－33）

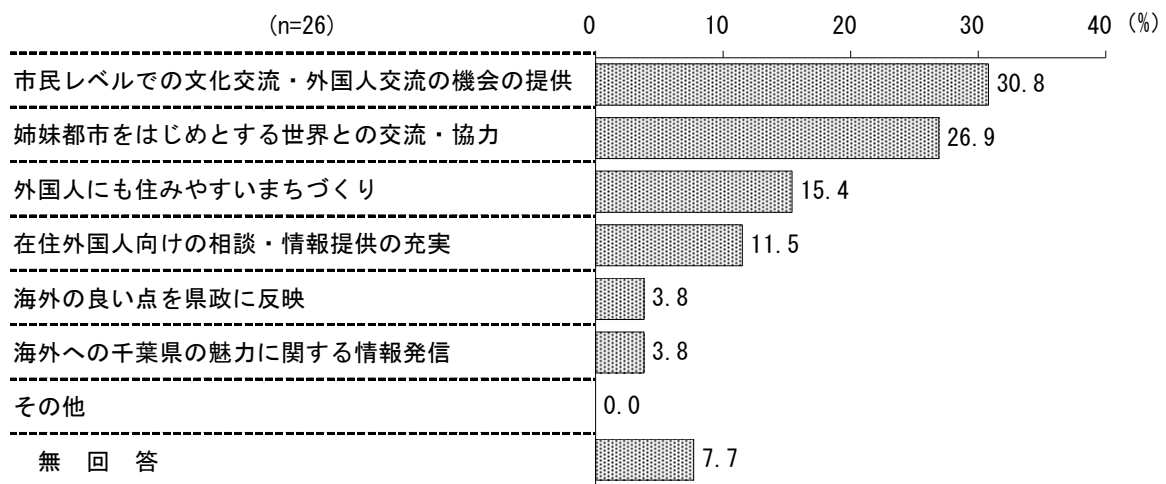
＜図表9－33＞省資源やリサイクルをすすめる



30 国際交流や国際協力をすすめる（1.6%、30 位）

「市民レベルでの文化交流・外国人交流の機会の提供」（30.8%）が3割と最も高く、以下、「姉妹都市をはじめとする世界との交流・協力」（26.9%）が続く。（図表9-34）

＜図表9-34＞国際交流や国際協力をすすめる



31 芸術・文化活動を振興する（1.4%、31 位）

「文化・芸術にふれる機会の拡充」（56.5%）が5割台半ばで最も高い。（図表9-35）

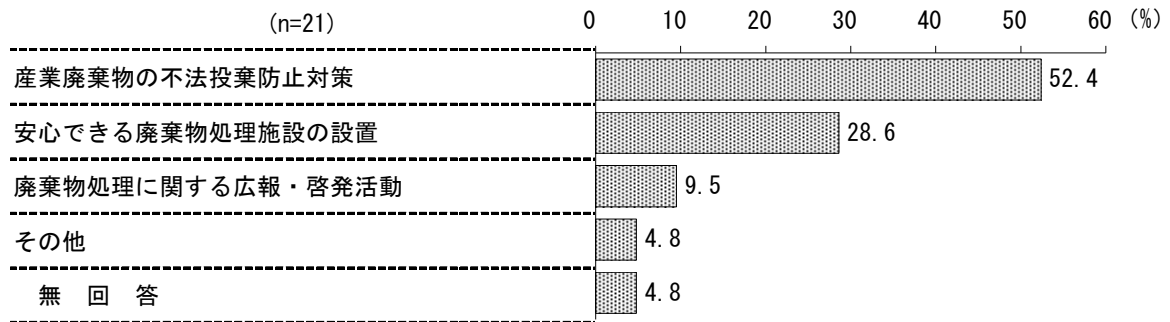
＜図表9-35＞芸術・文化活動を振興する



32 廃棄物対策をすすめる（1.3%、32 位）

「産業廃棄物の不法投棄防止対策」（52.4%）が5割を超えて最も高い。（図表9－36）

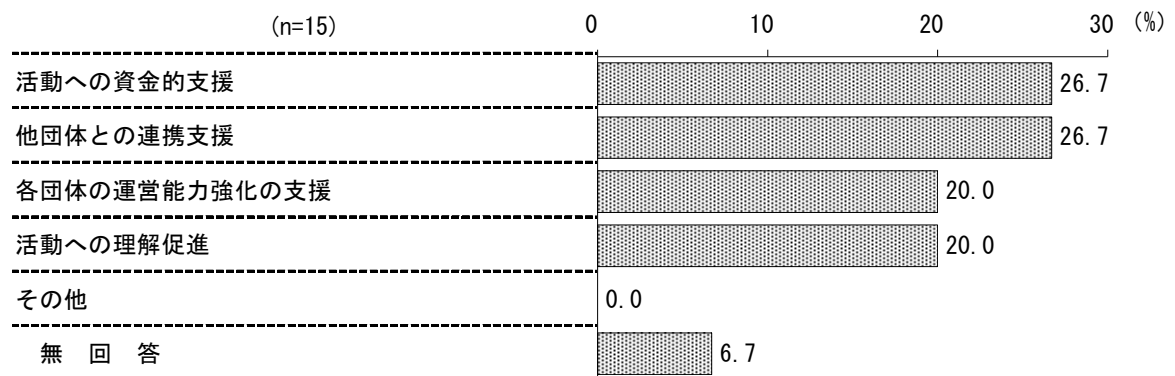
＜図表9－36＞廃棄物対策をすすめる



33 市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する（0.9%、33 位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表9－37）

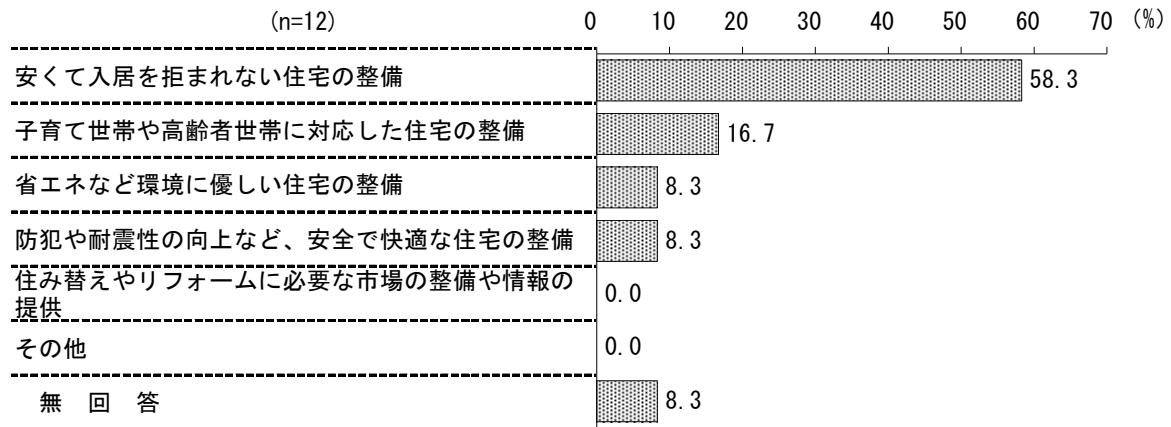
＜図表9－37＞市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する



34 住宅対策を充実する（0.7%、34 位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表 9－38）

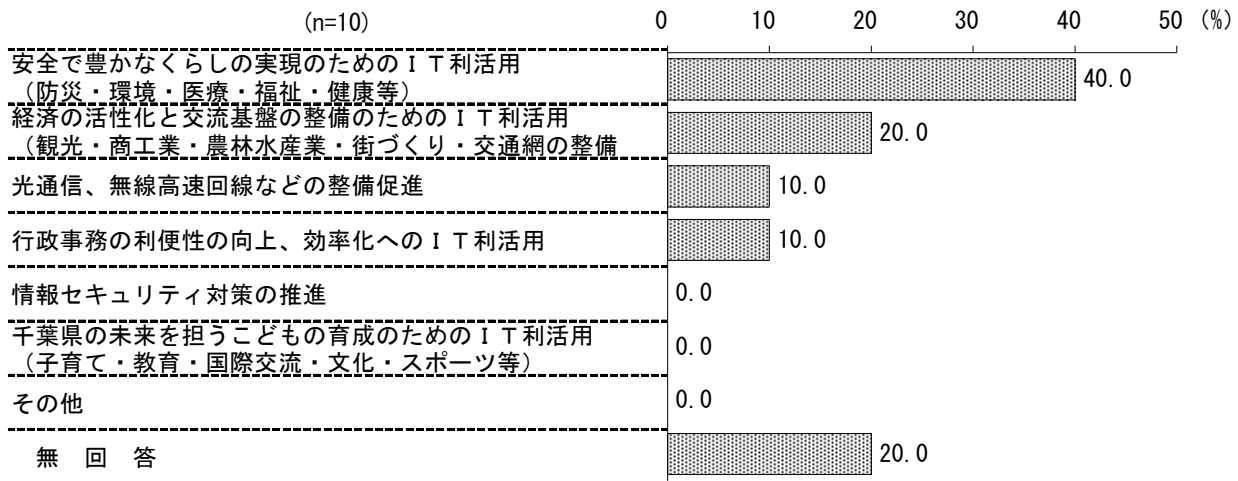
＜図表 9－38＞住宅対策を充実する



35 施策実現や地域活性化のための I T の利活用をすすめる（0.6%、35 位）

nが少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表 9－39）

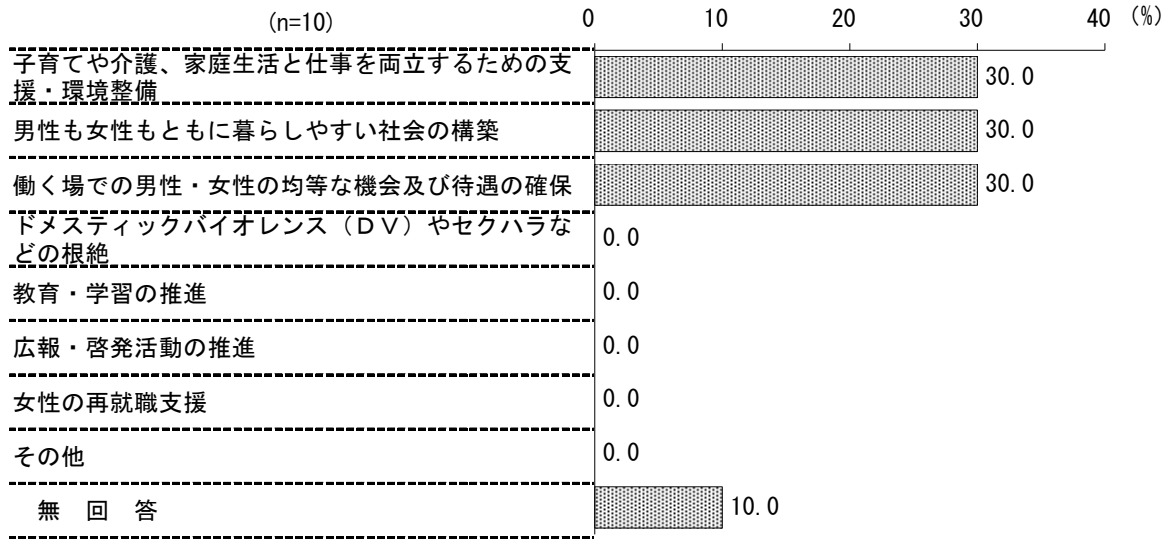
＜図表 9－39＞施策実現や地域活性化のための I T の利活用をすすめる



36 男女共同参画を推進する（0.6%、35 位）

n が少ないため、参考までに図示するにとどめる。（図表 9－40）

<図表 9－40> 男女共同参画を推進する



10 自由回答

問 県へのご意見があればご自由にお書きください。

県への意見を自由に記述していただいたところ、330人から延べ394件の回答が寄せられた。記述いただいた内容は多岐に渡り、県政の各施策におおむね沿った形（合計37項目）で整理した。

なお、一人の回答が複数の内容に渡る場合には、原文の内容の趣旨がそこなわないよう回答を分け、それぞれの項目へ分類した。

また、紙面の都合上、全ての意見を掲載することはできないが、意見の多い項目に関しては、一部を抜粋してご意見を記載するものとする。

【自由回答の項目順位】

順位	項目	件数
第1位	県政全般に関する要望	87
第2位	便利な交通網を整備する	40
第3位	道路を整備する	26
第4位	高齢者の福祉を充実する	24
第5位	犯罪防止対策をすすめる	18
第6位	次世代を担う子どもの育成支援を充実する	17
第7位	観光を振興する	15
第8位	県政情報の発信や活動のPRについて	11
第9位	障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する	10
第10位	医療サービス体制を整備する	9
〃	雇用の場を広げる	9
第12位	交通事故から県民を守る	6
〃	自然を守り、緑を育てる	6
第14位	学校教育を充実する	5
〃	大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる	5
第16位	災害から県民を守る	4
〃	仕事と子育てが両立する働き方を実現する	4
〃	生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する	4
〃	調査について	4
〃	東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る	4
〃	農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する	4
第22位	アクアラインについて	3
〃	公園・緑地・水辺を整備する	3
第24位	市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する	2
〃	下水道を整備する	2
〃	街の景観	2
〃	施策実現や地域活性化のためのITの利活用を進める	2
〃	商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業や創業への支援を充実する	2
〃	男女共同参画を推進する	2
〃	中心市街地の活性化を推進する	2

（次ページに続く）

第31位	芸術・文化活動を振興する	1
"	国際交流や国際協力をすすめる	1
"	省資源やリサイクルをすすめる	1
"	食品の安全を守る	1
"	青少年を健全に育てる	1
"	母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する	1
	その他	56
	うち、住んでいる市町村への要望	22
	うち、国政への要望	1
合 計		394

【自由回答の記述】（意見の多い項目の一部抜粋）

■県政全般に関する要望

○日本の中でも千葉県は自然災害も少なく、緑が豊富で、観光面をみても秀逸であり、とても住みやすいと思います。私は県民ひとりひとりに目がいき届くような、人間（子供、若人、老人等）にやさしい施策を考えて、県政を運営して頂けるように望みたいと思います。（男性、65歳以上、東葛飾地域）

○自営業のため、何かと忙しく、国政よりも県政の方の関心はあまりありませんでした。これからは少しは勉強しようと思います。（男性、65歳以上、印旛地域）

○政治に関しては何も考えなくても良い空気が漂ってますね。一人一人が自分の考えを持ち、行政に参加するような社会にするには、県民一人一人の意見を丁寧に聞く仕組みがあると良いと思います。（女性、30代、東葛飾地域）

○子供と一緒に暮らせる地域社会づくり。地域によっては、子供が田舎（ふるさと）を離れ、市街地を求め転居していく現状である。田舎を離れない社会づくりを検討願いたい。（男性、60～64歳、君津地域）

○より良い地域、県づくりのため、どうかこれからも不正のないクリーンな活動を続けていってください。千葉県の益々の発展に期待しています。（女性、50代、海匝地域）

○子供から高齢者まで医、食、住、e t c. 安心して日々生活出来る社会であってほしいと思います。千葉県の内でも地域格差がある様に思いますので…。暮らしやすい千葉県でいてほしいです。（女性、60～64歳、千葉地域）

○今回、初めて世論調査を受けて、千葉県がこの様な調査をしている事を知りました。自分の住んでいる県がより安全で住みやすい県になる様、今後も県の活動を知られたいと思うと共に、意見を述べる機会があれば積極的に参加していきたいと思いました。（女性、30代、印旛地域）

○少子高齢化が進むにつれて財源が減っていくが、健全な県政運営の為に具体的な対策を打ち出しているのか。県議会議員の政務調査費が正常に機能しているのか、国民（県民）の税金を使用している以上、しっかりと情報開示すべき。（男性、20代、夷隅地域）

○隣近所が空家、1人暮らしが年々多くなっていき、心細い今頃です。これから先、老いて行く私自身どうなるのだろうと不安がつのります。医療、交通の便、防災の面と、心配です。どうぞ小さな町にも手の届く様な千葉にしてほしいです。ありがとうございました。（女性、65歳以上、山武地域）

○千葉県は北西部、房総など南部と人の暮らし方が違うと思われるので、それぞれの地域に合った施策を進めるよう努めて下さい。（男性、50代、葛南地域）

■便利な交通網を整備する

○近隣の都や県と比較し、インフラの整備に不満があります。どこへ行くにも慢性的な渋滞は、特に深刻だと思います。人や物の流れがスムーズになれば、結果として県自体に良い流れがくると思います。宜しく願い致します。（男性、30代、東葛飾地域）

○交通渋滞を、もう少し何とかしてほしい。（男性、40代、葛南地域）

○武蔵野線と京葉線の直通運転が1時間に2本（3本）というのは、あまりにも少なすぎます。学校、就職、買い物など、千葉方面へ行きにくい（総武線沿い）ため、すべて都内へ行くようにしています。改善して頂けるとありがたいです。（女性、20代、葛南地域）

○道路網が不便だなと感じること多々。アクセスの良い道路網の整備を進めてほしい（自分たちが遊びに行くのも、観光しに来てくれる方達も助かる）。（女性、30代、海匝地域）

○東京、神奈川に比べて交通手段が少ない。現在は自家用車を利用しているが、高齢になった場合はバスなどの交通手段の充実がほしいと思う。（女性、60～64歳、印旛地域）

○時々他県へ行くとき、江戸川にかかる流山橋を利用しますが、大変混んでいて、通過するのに時間がかかる。近くにもう一つ橋を作ってはと思う。流山橋は老朽化しているので危いのではないと思う。（男性、60～64歳、東葛飾地域）

○千葉市まで遠い。圏央道のジャンクション（出入り口）を増やしてほしい。もう少し延長も。九十九里有料の延長。（男性、50代、夷隅地域）

○外環道が早く完成しないと県道松戸・市川線は常に渋滞していて、何分でバスが市川駅に到着できるかわからない。（男性、65歳以上、葛南地域）

○北総鉄道運賃が公共機関とは思えないほど高額である。個人負担では利用限度があるが、高齢者雇用の場合は都心に出向かなければ見つけにくい現状がある。せめて多摩地区から都心までの運賃の1.5倍以内でなければ、高齢者の陸の孤島になりかねない。（男性、60～64歳、印旛地域）

○柏駅付近、6号と16号の渋滞が慢性的にひどい。車両増加のためなので仕方ないが、何とかならないものか？無駄な信号（と思われる）が多い。交通量が無い場所の信号を撤去してほしい。（男性、30代、東葛飾地域）

■道路を整備する

○夜間の街路灯点灯をお願いします。国道沿いでの消灯は安全面での不安を感じます。（女性、20代、東葛飾地域）

○道路、街路工事の事業着手から、工事完成までの期間が長すぎる。また幹線道路は少なくとも片側2車線以上とし、走行しやすい整備が必要と思われる（周辺都県と比べて、道路整備が遅れているように思われる）。（男性、65歳以上、千葉地域）

○とにかく、県道、市道の掃除（草刈り）をお願いしたい。（男性、40代、君津地域）

○新規道路の整備が非常に遅い（県道）。何十年も経過している。（男性、50代、香取地域）

○市への意見になるかもしれませんが、私たちの住む安孫子市下ヶ戸地区は新しい家が次々と建っているのに、道が狭すぎます。狭い道は小学校の通学路になっています。人が増えた事により、危険な車の運転をする人も多く、とても心配です。道を広くできるようもっと努力をしてもらいたいと強く思っています。どうかよろしくお願いします。（女性、30代、東葛飾地域）

■高齢者の福祉を充実する

- 年金の減少、不動産税の見直し、医療費負担の見直し等々、我々高齢者をとりまく環境はつらくなるばかりであり、なんとか一考を。（男性、60～64歳、君津地域）
- 高齢者が健康を維持していく為に、世代を超えた色々な方々とコミュニケーションを取れる場を作れないでしょうか？時間がある多くの高齢者がいるのであれば、時間のない子育て世代に何か協力できる事はないか？両方が助け合えるといいですね。（女性、50代、東葛飾地域）
- 少人数でも老健施設を増やして頂きたいです。近くに老健施設が無く一番近い施設でも空きがありません。介護している母が心配です。（女性、30代、葛南地域）
- 年金生活者に対して、国や県はハッキリした政策や優遇措置をとって欲しい。（女性、60～64歳、山武地域）
- 年金生活で、老後が豊かに過ごせる様に願っています（心身、物質ともに…）。（男性、60～64歳、夷隅地域）

■犯罪防止対策をすすめる

- 防犯対策をもっと充実してほしいです。真っ暗な道、生い茂った雑木林、不審者が出やすい環境がとても不安です。日中、小さな子の連れ去りも増えている中、もっと子供を守る対策があれば…と思います。ひとけのない道ほど、防犯カメラ等あるといいのではないかと思います。（女性、30代、千葉地域）
- 海沿いに住んでいますが、夏しか住みに来ない家がたくさんあって、冬は空き家状態の家で、冬はよく空き巣の被害がすごくあって、近場に交番とかあればと思ってます。あと夜になると真っ暗になってしまうので、もう少し街灯とかコンビニとかあるといいなあと思います。（女性、30代、山武地域）
- 道路沿いの住宅に住んでいますが、深夜にバイクの騒音が多いです。取り締まりの強化をして頂くことは可能でしょうか。（男性、30代、印旛地域）
- 治安対策を今まで以上に厳しくして頂きたい。勿論犯罪をやっていない人は絶対に逮捕せず、犯罪をやった人はしっかり逮捕して頂きたい。犯罪対策を厳正にして頂きたい（今までもその努力をして頂いてると思うが、最新の技術導入等でもっと強化して頂きたい）。（男性、30代、東葛飾地域）

■次世代を担う子どもの育成支援を充実する

- 子供は宝。生んで良かったと思える支援制度の充実が県の人口を増やし、県の発展のキーになると思っています。他の都道府県に先がけて施策を多く行って欲しい。（男性、50代、千葉地域）
- 子育てしやすい県だとは、あまり思えません。子供を産んだら心配ばかりです（保育園に入れるのか、経済的に心配とか）。（女性、30代、葛南地域）
- 自分の事もよくしてほしいと思うのですが、未来の日本をしょって立つ子供達の事を考えて、子供のたくさんいる県になると良いと思います。20年、30年とかかかるとは思うのですが、よろしくお願い致します。（女性、65歳以上、東葛飾地域）
- 育児支援を、より充実してもらいたい。医療費の無償化など。（男性、30代、千葉地域）

■観光を振興する

- 千葉県は様々な娯楽施設や温泉などがあり、海、山、ショッピングなどが楽しめて、とても良い、住みやすいところだと思います。まだたくさん県の中でも行ってみたいところもあるので、県民優待のクーポンなどがあつたらいいと思います。そうしたら、みなさんも出かけやすいと思います。（女性、30代、印旛地域）
- 千葉の何か、または千葉をアピールするポスターを県外に貼ってはどうか？！ マリンピアには京都のポスターが階段の踊り場に貼ってある。千葉に行ってみたくなるポスターを県外で見つけてみたい。（女性、50代、千葉地域）
- 私はこの4月から京都より千葉へと移ってきた者ですが、地方、特に西日本での千葉の知名度が低いように感じる。都心からの近さ、成田空港という利点を大いに活かし、国内外から多くの観光客を集客するための活動をしていただきたい。このことが、地域活性、雇用の拡大にもつながると考えられると思う。（男性、20代、葛南地域）
- 観光地が少ない訳ではないのに、茨城県よりイベント等の催しが少ないように思います。（男性、65歳以上、東葛飾地域）

■県政情報の発信や活動のPRについて

- 千葉テレビやベイエフエムの地に名市町村に千葉の情報などをもっと伝える為にケーブルテレビやコミュニティFMラジオ局などの整備を進めて欲しいです。（男性、30代、長生地域）
- この調査をしてみて、自分の住んでいる市の広報や市議の方の活動報告などは興味があっても目にする事が多いけど、県に関しては今まであまり興味がなかったなと思いました。これからは私自身、積極的に情報を得ようと思いますが、県政側からも、もっと身近に感じられるようなアピールがあれば良いと思います。（女性、30代、印旛地域）
- 質問にもあった自然環境の良さ、農林水産物の質の良さ、おいしさを今以上にアピールして、千葉県・銚子市をもっと伸ばしてほしいです。（男性、50代、海匝地域）
- 千葉県議会議員の政務活動費（？）についての調査と監査を行い、情報を公開して、決して無駄使いできないシステムにしてほしい。（女性、40代、印旛地域）

■障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する

- 19歳（特別支援学校を卒業し、福祉作業所で働く）の障害者の息子がいます。今まで手厚い支援ありがとうございました。お陰様で元気に作業所へ通っていますが、これから親が高齢化し、息子の介助が出来なくなった時、また親亡き後の生活を考えるととても心配です。（女性、40代、葛南地域）
- 足が不自由で交通の便が悪いので行き先が限られているので大変困っている。（男性、65歳以上、印旛地域）
- 私は聴力の障害を持っています。障害者年金を頂いている身ですが、色々な面で暮らしにくいと感じる事が多々あります。まず仕事面です。今は働いていませんが、人とのコミュニケーションに耳が必要な事は重々承知ですが、雇用面で耳に関する募集がなく、働きたくても働けません。見た目が普通なので話しても理解されにくく、誤解を沢山うけます。（女性、30代、千葉地域）

■医療サービス体制を整備する

- 市民病院のあり方について。現在、各市での運営によって成り立っている様ですが、千葉県がもう少し実情を知って、見直しや地域患者が病院にかかり、安い様にしてもらいたい。（性別・年齢無回答、海匝地域）
- 子どもの医療費補助を中学生までに拡大してほしい。（女性、20代、千葉地域）
- 高齢化が進んでおり、医療の充実化を希望します。御宿には入院施設もなく、大変困っております。（女性、20代、夷隅地域）

問 また、この「世論調査」について、ご意見やご提案があればお書きください。

この「世論調査」に関する意見を自由に記述していただいたところ、137人から回答が寄せられた。これらのご意見の中から、一部を抜粋して記載した。

○世論調査をして、その後も教えて下さい。調査されて意見をのべても、何も反映されなければ意味がないと思う。意味がある、わかる世論調査にしてください。（女性、30代、葛南地域）

○県民の意識を汲み取ろうと云う大変良い調査だと思います。以上。（男性、65歳以上、東葛飾地域）

○質問の内容が偏っている。都市部の意見が少ない。観光への意見は東京都、神奈川県等で行うものである。県民に必要なし。（男性、65歳以上、印旛地域）

○ただ形だけで終わらせるのではなく、世論調査をいかして県民の声をしっかりと県政にいかしてほしい。（男性、20代、夷隅地域）

○千葉県が少しでも前進して行けるようにと思います。千葉県に生まれ育ち、61年が過ぎました。千葉は住みやすく食べ物もおいしいです。旭市でも外来動物（ハクビシン）が増えてきているという話を聞きます。作物を食べてしまうという事ですので、なんとかならないものかと思います。（女性、60～64歳、海匝地域）

○改めて考えることができました。こういう機会はたくさんあればと思います。（女性、40代、千葉地域）

○ネットによる調査を検討して欲しい。紙削減にもなる。（女性、50代、東葛飾地域）

○千葉県は広すぎるので、各地区にわけての質問があると、答えやすかった。（女性、40代、長生地域）

○日頃、県政について考える事無く、ぼんやりと過ごしていた事を恥ずかしく思います。アンケートに答える機会を与えていただいて、ありがとうございました。森田知事がテレビ番組に出演されると嬉しく、県民として応援しています。知事の知名度を生かしてどんどんテレビに出演し、千葉県をアピールして観光・物産を盛り上げていただきたく思います。（女性、40代、葛南地域）

○また、今後もこの様な世論調査に参加したいと思います。そのためにも、広報等の充実をお願いします。（男性、20代、君津地域）

(付) 調査票および単純集計結果

第48回 千葉県政に関する世論調査

ご記入にあたってのお願い

1 ご回答は、この調査票に黒か青のボールペンまたは鉛筆でお願いします。

2 回答は、原則としてあてはまるものに○をつけてください。質問は、(○は1つ)、(○は3つまで)、(○はいくつでも) などと表示していますので、そちらに合わせてください。

また、質問によって回答していただく方が限られる場合がありますので、ことわり書きや矢印にしたがってください。特にことわりのない場合は、次の質問に進んでください。

3 お答えが選択肢の中にない場合は、「その他」を選び、() 内にその内容を具体的に記入してください。

4 ご回答いただきました調査票は、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、8月25日(月)までに郵便ポストに投函してください。

※調査票は、折り目に合わせて三つ折でお願いします。

5 このアンケートのご記入に当たってご不明な点等がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

【問い合わせ先】

千葉県 総合企画部 報道広報課広聴室

〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号

電 話 043-223-2469

FAX 043-227-3613

【環境と生活について】

問 1 あなたは、現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思いますか。n = 1, 605 (○は1つ)

70.7 住み続けたい

5.9 千葉県内のよそへ移りたい

4.7 千葉県外に移りたい

5.7 千葉県内、県外どちらでもかまわないが移りたい

9.6 わからない → 次のページ問2へお進みください

3.4 無回答

→ (問1で「1」とお答えの方に)

問 1-1 あなたが現在お住まいの地域に、ずっと住み続けたいと思う理由は何ですか。

n = 1, 134 (○は3つまで)

23.8 地域の人とのつながりを大切に考えているから

15.3 家族の思い出がつまっているから

13.1 引っ越しの負担が大きいから

60.0 自分の土地や家があるから

37.2 通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性がよいから

8.8 公共施設(道路、上下水道、公園など)や教育、文化の場が整っているから

25.2 自然環境や気候に恵まれ暮らしやすいから

6.7 治安や風紀がよいから

43.1 住み慣れていて愛着があるから

21.0 親、兄弟や親戚が近くにいるから

4.7 仕事や商売に都合がよいから

2.3 その他(具体的に

- 無回答

(問1で「2」～「4」のいずれかをお答えの方に)

問 1-2 あなたが現在お住まいの地域から移りたいと思う理由は何ですか。

n = 263 (○は3つまで)

24.0 その時々家族の状況(子どもの成長、親の面倒を見るなど)にあった住まいを考えているから

2.3 一ヶ所にとどまることが難しいから

39.5 生活環境をより良くしたいから

14.1 より良質で広い住宅に住みたいから

7.2 近所の人とのつきあいがうまくいっていないから

37.3 通勤や通学、買い物、医療など、日常生活の利便性が悪いから

19.0 公共施設(道路、上下水道、公園など)や教育、文化の場が整っていないから

8.4 自然環境に恵まれていないから

8.0 治安や風紀が悪いから

14.1 愛着を感じないから

14.1 親、兄弟や親戚の近くに住みたいから

16.7 その他(具体的に

3.0 無回答

問2 あなたは、現在お住まいの地域の生活環境についてどう思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	と思う 良いほうだ	いえない どちらとも	と思う 悪いほうだ	わからない	無回答
n = 1,605					
(ア) ごみ処理などの環境衛生について	68.3	21.5	5.1	1.4	3.7
(イ) 騒音・振動などについて	51.7	27.2	14.8	0.9	5.5
(ウ) 大気汚染・悪臭などについて	50.7	31.1	9.3	3.4	5.5
(エ) 海・川などの汚れについて	23.7	38.1	16.9	15.4	5.9

問3 あなたは、問2の(ア)～(エ)のような生活環境全般についてどう感じですか。(○は1つ)
n = 1,605

6.5 大変満足している 16.1 どちらともいえない 3.0 大変不満である
58.6 まあ満足している 10.9 やや不満である 0.7 わからない 4.2 無回答

問4 あなたは、現在お住まいの地域の周辺・自然環境についてどう思いますか。
n = 1,605 (○はそれぞれ1つずつ)

	と思う 良いほうだ	いえない どちらとも	と思う 悪いほうだ	わからない	無回答
(ア) 防犯対策について	30.3	45.8	13.6	6.2	4.1
(イ) 交通安全対策について	26.4	47.5	16.8	4.5	4.9
(ウ) 緑の豊かさについて	59.6	26.1	8.2	1.9	4.2
(エ) 文化施設について	23.6	43.9	20.1	7.8	4.7

問5 あなたは、問4の(ア)～(エ)のような周辺・自然環境全般についてどう感じですか。
n = 1,605 (○は1つ)

5.4 大変満足している 26.4 どちらともいえない 3.4 大変不満である
44.1 まあ満足している 14.9 やや不満である 1.6 わからない 4.2 無回答

問6 あなたは、現在お住まいの地域の基盤整備についてどう思いますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	と思う 良いほうだ	いえない どちらとも	と思う 悪いほうだ	わからない	無回答
n = 1,605					
(ア) 道路の整備	39.6	30.0	24.9	1.8	3.7
(イ) 排水(下水道)の整備	47.5	25.1	18.0	5.4	4.0
(ウ) 上水道の整備	55.6	25.9	8.0	6.3	4.1

問7 あなたは、現在の生活について、どの程度満足していますか。（○はそれぞれ1つずつ）

	大変満足している	まあ満足している	どちらともいえない	やや不満である	大変不満である	わからない	無回答
n = 1,605							
(ア) 通勤・通学の便について	10.3	44.0	13.2	15.7	6.8	4.9	5.0
(イ) 買い物の便について	15.8	49.3	11.7	16.1	5.3	0.2	1.6
(ウ) 近所や職場での人間関係について	6.4	48.2	29.3	6.8	2.7	3.7	2.9
(エ) 家庭内の夫婦・親子関係について	26.0	50.2	11.7	4.1	1.6	3.1	3.3
(オ) 収入や預貯金など経済的な面について	3.1	26.0	28.3	23.6	14.7	2.3	1.9
(カ) 心の安定や充実感について	6.8	42.8	28.4	13.8	4.0	1.6	2.6
(キ) 仕事面や働く機会について	4.8	29.0	30.2	13.2	6.2	11.2	5.4
(ク) レジャー・余暇活動について	5.5	33.8	34.8	11.7	3.7	6.5	3.9
(ケ) 芸術や文化に親しむ機会について	3.0	19.4	42.9	14.3	5.1	11.5	3.8
(コ) 防災対策について	2.5	23.7	44.9	14.5	3.2	8.2	3.1
(サ) 商品の安全や悪質商法に関する相談体制について	1.1	11.7	44.7	8.5	2.3	28.7	3.1
(シ) 子どもの教育や健全育成に対する家庭・学校・地域の連携について	2.0	21.6	36.4	7.9	1.9	25.4	4.8

問8 あなたは、現在の住生活全般（住まい・環境・地域社会）についてどう感じですか。

n = 1,605（○は1つ）

4.2 大変満足している	25.9 どちらともいえない	3.1 大変不満である
52.8 まあ満足している	12.1 やや不満である	0.9 わからない
		1.0 無回答

問9 あなたは、市民活動団体の活動を知っていますか。

n = 1,605（○は1つ）

4.5 よく知っている	45.7 知らない
49.0 多少は知っている（聞いたことがある）	0.7 無回答

※ ここでいう「市民活動団体」とは、市民の自発性に基づき、福祉や子育て支援、まちづくり、環境等様々な分野の地域課題の解決のために、自立的・継続的に社会貢献活動を行う営利を目的としない団体（行政が認証したNPO法人やボランティア団体等任意団体）のことです。

問10 あなたは、市民活動団体の活動に参加したことがありますか。 n=1,605 (○は1つ)

- 3.9 定期的に参加している
- 4.2 時々参加している
- 15.4 参加したことがある
- 6.6 参加したことはないが、今後参加してみたいと思う
- 68.9 参加したことはない
- 1.1 無回答

※ ここでいう「参加」とは、団体の会員やスタッフとしての参加、団体への資金・物品・場所の提供・寄付、ボランティアによる労力・技術等の提供、団体が提供するサービスの利用・イベントへの参加などを含みます。

問11 市民活動団体の活動のうち、あなた自身、これまでボランティアとして活動したことがありますか。 n=1,605 (○は1つ)

- 18.3 活動したことがある
- 80.5 活動したことはない
- 1.2 無回答

【健康について】

問12 あなたは、自分が積極的に健康づくりに取り組むことができる環境にあると思いますか。 n=1,605 (○は1つ)

- 16.0 そう思う
- 33.0 どちらかといえばそう思う
- 21.0 どちらともいえない
- 12.8 どちらかといえばそう思わない
- 10.9 そう思わない
- 5.0 わからない
- 1.4 無回答

問13 あなたは、健康づくりなどのために1年間に何日くらい運動やスポーツを行いましたか。 n=1,605 (○は1つ)

- 16.7 週に3日以上(年151日以上)
- 21.8 週に1日～2日(年51日～150日)
- 14.0 月に1～3日(年12日～50日)
- 6.3 3か月に1～2日(年4日～11日)
- 7.3 年に1～3日
- 26.4 運動・スポーツは行わなかった
- 6.2 わからない
- 1.2 無回答

※ ここでいう「運動やスポーツ」とは、比較的軽い運動やスポーツ(ウォーキングや軽い体操、ダンスなどのレクリエーション活動等)を含みます。

問14 あなたは、自分が住み慣れた地域で安心して受診できる医療体制にあると思いますか。 n=1,605 (○は1つ)

- 20.9 そう思う
- 37.2 どちらかといえばそう思う
- 15.1 どちらともいえない
- 10.8 どちらかといえばそう思わない
- 11.0 そう思わない
- 4.0 わからない
- 0.8 無回答

問 15 あなたの過去の病歴や体質などを知っていて、気軽に相談に応じてくれるとともに、必要なときには他の専門機関等を紹介してくれる、身近な医師（歯科医・薬局）を、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」と呼んでいます。

あなたは、「かかりつけ医（歯科医・薬局）」をお持ちですか。（○はそれぞれ1つずつ）

n = 1,605

かかりつけ医	かかりつけ歯科医	かかりつけ薬局
53.9 持っている	62.3 持っている	37.1 持っている
32.3 持っていないが、必要性は強く感じている	23.4 持っていないが、必要性は強く感じている	32.2 持っていないが、必要性は強く感じている
10.0 持っていないし、必要性もあまり感じていない	8.7 持っていないし、必要性もあまり感じていない	24.2 持っていないし、必要性もあまり感じていない
3.9 無回答	5.7 無回答	6.4 無回答

【福祉について】

問16 あなたは、自分が安心して子育てできる環境にあると思いますか。 n = 1,605 (○は1つ)

8.2 そう思う	8.0 どちらかといえばそう思わない
28.5 どちらかといえばそう思う	6.9 そう思わない
20.5 どちらともいえない	20.4 わからない
	7.5 無回答

問17 あなたは、お年寄りが安心して暮らせる高齢者対策についてどう感じですか。（○は1つ）

n = 1,605

1.1 大変満足している	34.5 どちらともいえない	9.0 大変不満である
14.3 まあ満足している	16.8 やや不満である	20.1 わからない
		4.2 無回答

問18 近年、少子高齢化の進行や一人暮らし世帯・核家族世帯の増加等を背景に家庭内や地域の支え合いの力が弱まっていると言われています。あなたは、地域住民が互いに支え合い、安心して暮らせる地域社会づくりが進められていると思いますか。 n = 1,605 (○は1つ)

2.5 そう思う	18.2 どちらかといえばそう思わない
13.6 どちらかといえばそう思う	19.8 そう思わない
26.9 どちらともいえない	15.6 わからない
	3.6 無回答

問 19 あなたは障害のある人がその人らしく暮らせる社会づくりが進められていると思いますか。

n = 1,605 (○は1つ)

2.6 そう思う	18.2 どちらかといえばそう思わない
11.5 どちらかといえばそう思う	19.8 そう思わない
22.9 どちらともいえない	21.6 わからない
	3.5 無回答

【観光について】

問20 千葉県の魅力は、次のどれだと思いますか。

n = 1,605 (○はいくつでも)

51.7 自然が豊かである	47.9 新鮮な農産物が豊富である
52.0 温暖で気候がよい	43.9 新鮮な水産物が豊富である
34.6 季節の花々が楽しめる	5.8 郷土料理・ご当地グルメが豊富である
5.1 温泉が楽しめる	3.3 お酒がおいしい
17.6 ゴルフ場が多い	14.8 地域ならではの特産品・お土産がある
35.6 サーフィン・海水浴・潮干狩りが楽しめる	18.9 果物狩りが楽しめる
10.7 プロスポーツ観戦が楽しめる	11.7 祭りが盛んである
38.4 魅力的なテーマパーク・レジャー施設がある	4.5 自然体験・農林漁業体験ができる
14.7 魅力的な動植物園・水族館がある	4.2 ドラマや映画等のロケ地が多い
12.3 有名な寺社・仏閣がある	10.7 家族（子供と）で楽しめる
13.0 歴史的なまち並み・史跡・旧跡がある	50.2 都心からアクセスがよい・近い
29.7 買い物・ショッピングが楽しめる	5.3 国際的な観光地である
5.2 工場見学が楽しめる	1.2 その他 (具体的に)
	2.8 特にない
	3.7 無回答

問21 あなたは、これから千葉県内を旅行するとしたら、どのエリアに行きたいですか。

n = 1,605 (○はいくつでも)

13.8 ベイ・東葛飾エリア（千葉市、八千代市、習志野市、四街道市、船橋市、市川市、浦安市、野田市、流山市、柏市、我孫子市、松戸市、鎌ケ谷市）	
9.7 かずさ・臨海エリア（市原市、袖ヶ浦市、木更津市、君津市、富津市）	
17.7 北総エリア（銚子市、東庄町、香取市、多古町、神崎町、成田市、富里市、栄町、印西市、白井市、佐倉市、酒々井町、八街市、芝山町）	
25.6 九十九里エリア（旭市、匝瑳市、横芝光町、山武市、東金市、大網白里市、九十九里町、茂原市、一宮町、睦沢町、長生村、白子町、長柄町、長南町）	
71.7 南房総エリア（館山市、南房総市、鋸南町、鴨川市、勝浦市、いすみ市、大多喜町、御宿町）	
13.8 特にない	4.0 無回答

問22 千葉県内を観光する際に、事前にどのような情報がほしいですか。

(○はいくつでも)

n = 1,605

52.5 観光施設	40.4 道の駅
53.1 宿泊施設	25.2 直売所（地場農水産物）
6.5 バリアフリー対応施設	4.0 観光ボランティアガイド
49.0 食事	7.9 体験プログラム
23.7 お土産・特産品	16.1 観光公衆トイレ
20.9 祭り・イベント	11.5 観光地の動画・写真
11.1 モデルルート	17.9 観光地の気象情報
45.4 交通アクセス	2.9 その他（具体的に)
	5.7 無回答

問23 千葉県内を観光する際に、不満な点を教えてください。 n = 1, 605 (○はいくつでも)

7.2 食事	3.1 自然・景観	
8.0 観光施設	15.9 観光情報・案内の充実度	
8.7 宿泊施設	21.6 観光公衆トイレの設備	
6.7 接客サービス	21.1 観光地における駐車場	
5.6 お土産・特産品	3.2 その他	
30.1 交通アクセス	(具体的に)
7.2 まち並み・雰囲気	28.7 特に不満な点はない	6.1 無回答

問24 昨年4月、県の代表的なお土産品、特産品、伝統工芸品などを取り扱う「チーバくん物産館」がリニューアルオープンしました。

あなたは県産品をお土産や贈答品として使う場合、何を贈りますか。 (○は3つまで)

n = 1, 605

5.4 花	6.9 酒類	
34.0 農産物・果物	5.7 しょうゆ・みそ	
55.0 落花生・落花生加工品	1.9 乳製品	
0.6 肉類	30.2 菓子・せんべい	
13.3 生鮮魚介類	1.0 工芸品	
28.8 海苔・水産加工品	7.2 チーバくんグッズ	
6.8 漬物	2.9 その他 (具体的に)
	3.7 無回答	

【千葉県の農林水産物について】

問25 あなたは、千葉県産農林水産物を購入したいと思いますか。 n = 1, 605 (○は1つ)

37.1 そう思う	2.6 どちらかといえばそう思わない	
32.5 どちらかといえばそう思う	2.7 そう思わない	
15.6 どちらともいえない	6.7 わからない	2.7 無回答

問26 千葉県では、生産者が努力し、農薬と化学肥料の使用を通常の半分以上に減らして栽培した農産物を「ちばエコ農産物」として認証しています。

あなたは、「ちばエコ農産物」を知っていますか。 n = 1, 605 (○は1つ)

4.4 よく知っている	71.1 知らない	
22.6 多少は知っている (聞いたことがある)	1.9 無回答	

問27 千葉県では、千葉のさかなの認知度を高め、広く県内外にアピールするため、「銚子つりきんめ」、「外房イセエビ」、「九十九里地はまぐり」などの優良な県産水産物を「千葉ブランド水産物」として認定しています。

あなたは、「千葉ブランド水産物」を知っていますか。 n = 1, 605 (○は1つ)

5.4 よく知っている	64.5 知らない	
28.2 多少は知っている (聞いたことがある)	1.9 無回答	

【防災に関する取り組みについて】

- 問28 平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、千葉県内でも震度6弱を記録し、大きな被害が出ました。また、近年、記録的な大雨や台風などにより国内では浸水害や土砂災害なども発生しております。あなたは、自分の住んでいる地域で、大地震や風水害が起こるのではないかという不安を感じていますか。 n=1,605 (○は1つ)

42.6 強く感じている	8.2 ほとんど感じていない	
46.0 少し感じている	1.2 わからない	2.0 無回答

- 問29 市町村では、災害から住民を守るために「避難勧告」や「避難指示」を発令することがあります。あなたは、これらの意味や違いを知っていますか。 n=1,605 (○は1つ)

66.5 知っている	31.0 知らない	2.5 無回答
------------	-----------	---------

- 問30 大規模な災害が発生した場合、避難所に飲料水や食料などの支援物資が届くまで時間がかかることが予測されます。あなたは、災害に備えて、冷蔵庫にあるものを含めて、飲料水や食料をおよそ何日分、備蓄していますか。 n=1,605 (○は1つ)

14.7 4日分以上	23.5 2日分	19.6 備蓄していない
32.1 3日分	8.3 1日分	1.7 無回答

- 問31 固定電話や携帯電話（音声及びメール）は、災害が発生した際には利用が急増し、平常時のように使用できなくなります。実際に東日本大震災でも、使用できなくなりました。あなたは、災害時に利用できる災害伝言板や災害用伝言ダイヤルを知っていますか。 n=1,605 (○は1つ)

55.5 知っている	42.2 知らない	2.4 無回答
------------	-----------	---------

- 問32 あなたは、地震による被害を防ぐため、どのような対策を行っていますか（行う予定ですか）。 n=1,605 (○はいくつでも)

58.7 家具（冷蔵庫、食器棚、本棚、タンス、テレビなど）の固定化	
9.8 住宅（昭和56年以前に建築されたもの）の耐震化	
9.3 住宅の建替え（昭和57年以降）	
4.5 家具や建築資材の不燃化・防災化	
1.2 液状化対策	
51.3 地震や津波が来た場合の避難所と避難路の確認	
5.3 その他（具体的に	）
7.5 無回答	

【地方分権について】

問33 「地方分権」とは、自分の住む地域のことは、その地域の住民が自ら決められるようにするため、国から、身近な県や市町村に権限や財源を移していこうとするものです。

こうした「地方分権」について、今後さらに進めていくべきと思いますか。（○は1つ）

n = 1, 605

- | | | |
|------|---------------------------------|---|
| 32.5 | 地方分権を進めるべきである。進めたほうがいい。 | |
| 12.6 | 今のままの制度で特に支障がない。現状の制度を維持すべきである。 | |
| 25.4 | どちらともいえない | |
| 24.5 | わからない | |
| 1.9 | その他（具体的に | ） |
| 3.1 | 無回答 | |

問34 地方分権を推進する一連の法律により、国が定めていた保育所や老人ホームの施設の基準などを都道府県の条例で定められるようになったことを知っていますか。（○は1つ）

n = 1, 605

- | | | | |
|------|--------------------|------|------|
| 4.1 | よく知っている | 65.9 | 知らない |
| 27.4 | 多少は知っている（聞いたことがある） | 2.6 | 無回答 |

【広報・広聴活動について】

問35 あなたは、県の施策や政策などについて関心がありますか。 n = 1, 605 (○は1つ)

- | | | | |
|------|---------|------|-----------|
| 5.1 | 大変関心がある | 44.0 | あまり関心がない |
| 42.4 | 関心がある | 4.9 | まったく関心がない |
| | | 3.6 | 無回答 |

問36 あなたは、県政に関する情報をどのような手段で得ていますか。（○はいくつでも）

n = 1, 605

- | | | |
|------|--|---|
| 67.0 | 県広報紙「ちば県民だより」 | |
| 11.1 | 千葉県ホームページ（パソコン版） | |
| 3.3 | 千葉県ホームページ（携帯版） | |
| 5.6 | 千葉日報による新聞紙面広報「県からのお知らせ」、「特集」 | |
| 10.7 | 千葉テレビによる県広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」 | |
| 3.1 | ベイエフエムによる県広報番組「サタデイ・ブレイシング・モーニング」、
「チバ・プリフェクチャー・アップデイツ」 | |
| 41.8 | 4・5・6以外の新聞記事、テレビ・ラジオの番組やニュース | |
| 3.2 | その他（具体的に | ） |
| 5.4 | 無回答 | |

問37 あなたは、県広報紙「ちば県民だより」を読んでいますか。 n=1,605 (○は1つ)

21.4 ほとんど毎回読んでいる	18.2 読んだことがない
42.9 ときどき読んでいる	3.1 無回答
14.5 あまり読まない	

(問37で「1」～「3」のいずれかをお答えの方に)

→ 問37-1 県広報紙「ちば県民だより」の内容についておたずねします。(○はそれぞれ1つずつ)

n=1,264

情報・内容のわかりやすさ			デザイン		
11.3 良い	81.9 普通	4.5 悪い	7.7 良い	81.2 普通	5.5 悪い
		2.3 無回答			5.6 無回答

問38 あなたは、千葉県ホームページを利用していますか。 n=1,605 (○は1つ)

1.0 よく利用している	54.8 利用していない
12.1 ときどき利用している	12.8 普段からインターネットを利用していない
15.8 ほとんど利用しない	3.6 無回答

(問38で「1」～「3」のいずれかをお答えの方に)

→ 問38-1 千葉県ホームページの情報・内容のわかりやすさはいかがですか。(○は1つ)

n=463

4.5 良い	82.3 普通	8.2 悪い	5.0 無回答
--------	---------	--------	---------

問39 県では、千葉テレビ放送において、県の広報番組「千葉県インフォメーション」、「ウィークリー千葉県」を毎週放送しています。あなたは、これらの番組をどの程度ご覧になっていますか。 n=1,605 (○は1つ)

1.6 よく見る	27.5 あまり見ない
15.8 ときどき見る	52.2 見たことがない
	2.9 無回答

問40 あなたは、県の広報紙や広報番組(問36の選択肢「1」～「6」に掲げるもの)以外で、県の歴史・文化、観光、イベントなど、千葉県に関する情報を見たり、聞いたりしたことがありますか。 n=1,605 (○はいくつでも)

35.6 新聞・雑誌等の全国誌の記事又は広告	8.4 街頭配布のチラシやリーフレット
31.3 テレビ・ラジオ等の番組又はCM	6.7 イベント
23.6 地域のフリーペーパー	2.3 その他(具体的に)
29.7 駅や街頭のポスター	24.4 特になし
	3.9 無回答

問41 あなたは、県のどのような情報が知りたいですか。

n=1,605 (○はいくつでも)

28.2 県事業の内容や進みぐあい	8.1 各種調査や統計資料の紹介
34.0 県予算の使いみち	13.5 地域住民の活動情報
43.7 新しくできた制度や事務手続きの情報	40.9 県の観光・レジャー情報
14.7 県民の県政に対する意見や要望の紹介	19.8 県の歴史や文化、伝統工芸
29.4 県行事や催し物などのお知らせ	1.3 その他（具体的に)
41.2 県施設の紹介や利用案内	11.0 特にない
	2.0 無回答

問42 県では、県民参加型の県政運営に努めています。あなたは、知事への手紙など、以下に掲げるものの中で今までに意見を述べたことがありますか。 n=1,605 (○はいくつでも)

0.7 知事への手紙	
0.2 電話、訪問、郵便、電子メール又はファクスによる県民相談	
0.3 千葉県ホームページによるお問い合わせ	
0.4 県民会議・タウンミーティング	
0.3 ちばづくり県民コメント（パブリックコメント）制度	
0.7 その他（具体的に)	
96.1 利用したことはない	1.8 無回答

問43 みなさんが県政に対するご意見を述べやすくするためには、特にどのようなことが必要だと思いますか。 n=1,605 (○は3つまで)

36.0 県政への理解を深めるため、行政コストをはじめとする徹底した情報の公開	
14.4 施策形成の段階から県民の意見を聴く制度の拡大	
8.7 県民が県に対して直接意見・提案のできるタウンミーティングなどの機会の充実	
31.0 手紙・電話・ファクス・ホームページ・電子メールなどを利用して手軽に意見が言えるシステムの周知	
20.8 県内各地で直接県民の声を聴く窓口の充実	
42.5 県民から寄せられた声への、県の対応状況の徹底した情報公開	
1.4 その他（具体的に)	
18.6 特にない	3.6 無回答

問44 今後、ご自分の意見を積極的に述べ、県政に反映させたいと思いますか。 (○は1つ)

n=1,605

8.2 そう思う	6.5 どちらかといえばそう思わない
20.9 どちらかといえばそう思う	10.7 そう思わない
34.7 どちらともいえない	17.3 わからない
	1.9 無回答

【県政への要望】

問45 県政全般について、今後あなたが特に力をいれてほしいと思われることを、次の県政への要望項目の中から3つまで選んで番号に○をつけてください。

なお、各要望項目の内容については、次の「問46」の具体的要望項目欄に例示を記載していますので参考にしてください。

n = 1, 605

- 38.8 災害から県民を守る
- 3.6 消費生活のトラブルに関する対策をすすめる
- 21.8 食品の安全を守る
- 6.1 交通事故から県民を守る
- 3.1 中心市街地の活性化を推進する
- 1.6 国際交流や国際協力をすすめる
- 12.7 便利な交通網を整備する
- 7.4 障害のある人の福祉や社会参加の支援を充実する
- 5.0 母子、寡婦、父子家庭等の福祉を充実する
- 33.5 高齢者の福祉を充実する
- 17.8 次世代を担う子どもの育成支援を充実する
- 4.3 青少年を健全に育てる
- 0.6 男女共同参画を推進する
- 0.9 市民活動団体やボランティアへの活動支援を充実する
- 6.2 健康づくりをすすめて、病気を予防する
- 22.5 医療サービス体制を整備する
- 6.4 大気汚染、水質汚濁、騒音などの環境対策をすすめる
- 7.4 自然を守り、緑を育てる
- 1.8 省資源やリサイクルをすすめる
- 1.3 廃棄物対策をすすめる
- 3.4 商工業を振興し、中小企業・ベンチャー企業や創業への支援を充実する
- 2.2 観光を振興する
- 9.7 雇用の場を広げる
- 9.0 仕事と子育てが両立する働き方を実現する
- 2.1 農林水産業を振興し新鮮な農林水産物を供給する
- 8.0 道路を整備する
- 3.6 下水道を整備する
- 0.7 住宅対策を充実する
- 3.5 公園・緑地・水辺を整備する
- 6.0 安心して飲める良質な水道水を供給する
- 5.7 学校教育を充実する
- 2.9 生涯学習・スポーツ・レクリエーションを振興する
- 1.4 芸術・文化活動を振興する
- 9.8 犯罪防止対策をすすめる
- 0.6 施策実現や地域活性化のためのITの利活用をすすめる
- 9.2 東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る
- 1.7 その他（具体的に
- 1.1 要望はない
- 0.9 無回答

(問45で「1」～「36」のうち1つでもお答えの方は、次の問46にお進みください。

問45で「37」または「38」だけにお答えの方は、18ページのF 1にお進みください。)

→ 問 46 問 45 で選んでいただきました県政の要望について、具体的にどのようなことを望まれますか。
問 45 で選んだ 3 項目についてのみ、具体的要望項目から 1 つずつ選んで番号に○をつけてください。

問 45 の番号及び項目		具体的要望項目（問 45 で選んだ項目についてのみお答えください）
1 n=623 災害から県民を守る を選んだ方	⇒	15.6 災害対応マニュアルの作成・防災マップ等の公表 36.9 災害時の支援、救援活動 14.0 避難場所・避難経路の整備 17.2 危険箇所の事前解消 8.0 災害に対する意識啓発、情報提供 0.6 その他（具体的に） 7.7 無回答
2 n=57 消費生活のトラブルに 関する対策をすすめる を選んだ方	⇒	29.8 悪質商法などによる消費者トラブルの相談・救済 38.6 悪質な事業者の指導・処分 3.5 食品や生活用品などの適正な表示 1.8 商品・サービスに係る危害・危険の防止 - 消費者教育などの消費者の自立支援策の充実 8.8 高齢者や若者等の消費者被害の防止 10.5 安心して相談できる相談窓口などの情報提供 - その他（具体的に） 7.0 無回答
3 n=350 食品の安全を守る を選んだ方	⇒	30.9 食品の安全確保 17.1 適正な食品表示 18.0 検査の強化 5.7 情報提供 18.3 添加物や農薬の規制 - その他（具体的に） 10.0 無回答
4 n=98 交通事故から県民を 守る を選んだ方	⇒	27.6 交通事故多発箇所の点検、整備 3.1 交通安全教育の推進 20.4 自転車通行環境の整備 5.1 その他 19.4 自転車利用者のマナー向上（具体的に） 16.3 ドライバーマナーの向上 8.2 無回答
5 n=49 中心市街地の活性化を 推進する を選んだ方	⇒	8.2 まちのバリアフリー化 - その他 30.6 再開発などのまちづくり推進（具体的に） 36.7 駅周辺の活性化 18.4 商業中心による活性化 6.1 無回答
6 n=26 国際交流や国際協力を すすめる を選んだ方	⇒	3.8 海外の良い点を県政に反映 15.4 外国人にも住みやすいまちづくり 26.9 姉妹都市をはじめとする世界との交流・協力 30.8 市民レベルでの文化交流・外国人交流の機会の提供 11.5 在住外国人向けの相談・情報提供の充実 3.8 海外への千葉県の魅力に関する情報発信 - その他（具体的に） 7.7 無回答
7 n=204 便利な交通網を整備 する を選んだ方	⇒	21.6 鉄道の増便などによる利便性の向上 19.6 バスの増便などによる利便性の向上 19.6 鉄道新設などによる交通網の見直し 16.2 鉄道とバスとの乗り継ぎの円滑化 16.2 その他（具体的に） 6.9 無回答
8 n=119 障害のある人の福祉や 社会参加の支援を充実 する を選んだ方	⇒	23.5 就労・自立対策・社会参加への促進 10.1 福祉事業の充実 35.3 障害のある人が住みやすく・生活上の各種の障壁のないまちづくり 20.2 経済的な支援・負担の軽減 1.7 その他（具体的に） 9.2 無回答
9 n=80 母子、寡婦、父子家庭等 の福祉を充実する を選んだ方	⇒	23.8 母子、寡婦、父子家庭への子育て・生活支援体制の充実 11.3 母子、寡婦、父子家庭への就業支援体制の充実 57.5 母子、寡婦、父子家庭への経済的支援体制の充実 1.3 その他（具体的に） 6.3 無回答

問 45 の番号及び項目		具体的要望項目（問 45 で選んだ項目についてのみお答えください）
10 高齢者の福祉を充実 する を選んだ方	⇒	36.1 在宅で暮らし続けるための医療・福祉・生活支援 24.5 入所施設の充実 16.2 高齢者が暮らしやすい住まいやまちづくりの支援 6.5 高齢期を充実して過ごすための生きがい対策 2.0 団塊世代や高齢者等の地域活動参加支援 0.6 高齢者虐待防止対策の強化 3.2 認知症対策の強化 0.7 その他（具体的に) 10.2 無回答
11 次世代を担う子どもの 育成支援を充実する を選んだ方	⇒	58.6 子育てに対する経済的な支援・負担軽減 11.9 地域住民参加の多様な子育て支援・子育て力の充実 10.2 幼稚園や保育所の特長を生かした就学前の子どもの教育・保育の充実 7.7 子どもたちのコミュニケーション再生のための遊び場づくりの推進 4.6 児童虐待防止対策の推進 1.4 その他（具体的に) 5.6 無回答
12 青少年を健全に育てる を選んだ方	⇒	10.1 青少年のボランティア活動等社会参加の促進 21.7 家庭・学校・地域の連携強化 13.0 子どものしつけなどに関する家庭教育への支援 5.8 専門家による相談窓口の充実 11.6 ネットパトロールの実施・有害メディアの規制 17.4 非行・犯罪防止・立ち直り支援 7.2 ニート・引きこもり等への支援 5.8 その他（具体的に) 7.2 無回答
13 男女共同参画を推進 する を選んだ方	⇒	30.0 男性も女性もともに暮らしやすい社会の構築 - 教育・学習の推進 30.0 子育てや介護、家庭生活と仕事を両立するための支援・環境整備 - 女性の再就職支援 30.0 働く場での男性・女性の均等な機会及び待遇の確保 - ドメスティックバイオレンス（DV）やセクハラなどの根絶 - 広報・啓発活動の推進 - その他（具体的に) 10.0 無回答
14 市民活動団体やボラン ティアへの活動支援を充実 する を選んだ方	⇒	26.7 活動への資金的支援 - その他 20.0 活動への理解促進 (具体的に) 26.7 他団体との連携支援 20.0 各団体の運営能力強化の支援 6.7 無回答
15 健康づくりをすすめて、 病気を予防する を選んだ方	⇒	16.2 運動の機会の増大 5.1 心の健康づくり 36.4 高齢者の健康維持 2.0 歯科保健の充実 2.0 禁煙の推進 13.1 がんその他の生活習慣病対策 8.1 食生活改善の支援 5.1 その他（具体的に) 12.1 無回答
16 医療サービス体制を 整備する を選んだ方	⇒	14.7 医師・看護師等医療技術者の確保 16.6 病院と診療所（かかりつけ医）との連携強化 23.8 医療施設の整備 20.2 休日・夜間等時間外診療の充実 14.4 救急医療体制の整備 2.2 その他（具体的に) 8.0 無回答

問 45 の番号及び項目		具体的要望項目（問 45 で選んだ項目についてのみお答えください）
17 n=103 大気汚染、水質汚濁、 騒音などの環境対策を すすめる を選んだ方	⇒	<ul style="list-style-type: none"> - ディーゼル車対策による大気汚染の改善 26.2 光化学スモッグ・PM2.5対策 - アスベスト対策 15.5 航空機や自動車による騒音・振動に対する対策 25.2 河川・湖沼・海域の水質改善 - 建設残土の適正な埋立て 10.7 環境中に排出される有害な化学物質対策 5.8 その他（具体的に） 16.5 無回答
18 n=118 自然を守り、緑を 育てる を選んだ方	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 61.9 自然環境・自然景観の保全 5.9 環境保全に関する啓発・教育 2.5 希少な野生動植物の保全 0.8 県民参加での野生動植物調査 5.9 特定外来生物の防除 3.4 その他（具体的に） 12.7 地球温暖化対策 6.8 無回答
19 n=29 省資源やりサイクルを すすめる を選んだ方	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 20.7 ごみ分別徹底化 24.1 廃棄物の再資源化促進 3.4 容器包装ごみの発生抑制（マイバッグの利用など） 37.9 再生可能エネルギーの導入促進 10.3 バイオマスの利活用（飼料化・堆肥化・燃料利用など） - その他（具体的に） 3.4 無回答
20 n=21 廃棄物対策をすすめる を選んだ方	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 52.4 産業廃棄物の不法投棄防止対策 28.6 安心できる廃棄物処理施設の設置 9.5 廃棄物処理に関する広報・啓発活動 4.8 その他（具体的に） 4.8 無回答
21 n=55 商工業を振興し、中小企 業・ベンチャー企業や創 業への支援を充実する を選んだ方	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 20.0 新たな企業の誘致、産業拠点の整備 21.8 中小企業への資金支援の充実 20.0 創業及び新たな事業展開の支援 9.1 研究・技術開発の支援 5.5 販路開拓の支援 18.2 商店街の整備・活性化 - その他（具体的に） 5.5 無回答
22 n=35 観光を振興する を選んだ方	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 8.6 観光地の美化 20.0 観光地へのアクセスの改善 20.0 観光施設・宿泊施設の充実 - その他 22.9 千葉県観光の積極的なPR （具体的に） 22.9 新たな観光地づくりの促進 5.7 無回答
23 n=156 雇用の場を広げる を選んだ方	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 39.1 若年者に対する就業支援 7.1 障害のある人に対する就業支援 35.9 中高年齢者に対する就業支援 1.9 その他（具体的に） 10.9 女性に対する就業支援 5.1 無回答
24 n=145 仕事と子育てが両立 する働き方を実現する を選んだ方	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 17.9 女性の再就職支援 2.1 両立支援相談窓口の設置 12.4 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の普及 6.2 男性の育児参加など働き方の見直しの啓発 16.6 短時間勤務制度等多様な働き方の普及 5.5 企業に対する税制上の優遇措置の創設 31.0 一時預かり、時間外保育等保育内容の充実 2.8 その他（具体的に） 5.5 無回答
25 n=34 農林水産業を振興し 新鮮な農林水産物を供 給する を選んだ方	⇒	<ul style="list-style-type: none"> 14.7 新鮮でおいしい農林水産物の供給 2.9 価格の安定 11.8 県産農林水産物の販売量の拡大 41.2 安全で安心して食べられる農林水産物の供給 8.8 その他（具体的に） 20.6 無回答

問 45 の番号及び項目		具体的要望項目（問 45 で選んだ項目についてのみお答えください）
26 道路を整備する を選んだ方	n = 128 ⇒	31.3 交通渋滞対策 12.5 交通事故多発箇所の改修 7.8 沿道環境の改善（騒音・排ガス対策・景観形成） 10.9 観光、買い物などを支援する道路の整備 14.1 自然災害に強い道路の整備 11.7 その他（具体的に） 11.7 無回答
27 下水道を整備する を選んだ方	n = 57 ⇒	59.6 下水道の普及・改善 3.5 その他 7.0 下水道施設の耐震化（具体的に） 7.0 下水の高度処理化 14.0 無回答 8.8 水洗化への支援
28 住宅対策を充実する を選んだ方	n = 12 ⇒	58.3 安くて入居を拒まれない住宅の整備 16.7 子育て世帯や高齢者世帯に対応した住宅の整備 8.3 防犯や耐震性の向上など、安全で快適な住宅の整備 - 住み替えやリフォームに必要な市場の整備や情報の提供 8.3 省エネなど環境に優しい住宅の整備 - その他（具体的に） 8.3 無回答
29 公園・緑地・水辺を 整備する を選んだ方	n = 56 ⇒	35.7 公園・緑地等の設置・管理 12.5 公園等の緑化推進 25.0 子どもの遊び場の整備 10.7 公園・緑地等の管理への住民参加の機会充実 3.6 催物・講習会等の開催 3.6 その他（具体的に） 8.9 無回答
30 安心して飲める良質な 水道水を供給する を選んだ方	n = 96 ⇒	46.9 上水道の水質の改善・維持 8.3 上水道の整備 32.3 水源となる湖沼や川の汚染対策 3.1 その他（具体的に） 9.4 無回答
31 学校教育を充実する を選んだ方	n = 91 ⇒	24.2 教職員の資質向上・増員 - 障害のある児童生徒の教育の 11.0 学力の向上 充実 5.5 健康と体力の向上 9.9 学校施設の整備 3.3 特色ある教育活動の充実 4.4 その他 26.4 道徳や心の教育の充実（具体的に） 3.3 いじめ・不登校対策 12.1 無回答
32 生涯学習・スポーツ・ レクリエーションを 振興する を選んだ方	n = 46 ⇒	6.5 指導者育成の支援 13.0 学習機会の充実 37.0 スポーツ・レクリエーション活動の充実 13.0 情報提供の充実 23.9 施設の整備・充実 2.2 その他（具体的に） 4.3 無回答
33 芸術・文化活動を振興 する を選んだ方	n = 23 ⇒	56.5 文化・芸術にふれる機会の拡充 17.4 文化・芸術活動への支援 8.7 伝統文化や文化財などの継承と活用 4.3 文化施設等の幅広い活用 - その他（具体的に） 13.0 無回答
34 犯罪防止対策を すすめる を選んだ方	n = 157 ⇒	22.3 警察官によるパトロールの強化 39.5 防犯カメラ、防犯灯などの防犯設備の整備・拡充 7.0 犯罪情報の発信や防犯対策等の広報活動を強化 8.9 警察官や交番相談員の増員による交番の不在時間短縮 6.4 人口や事件が増えている地域に警察署、交番、駐在所の新設 4.5 少年の非行防止対策 2.5 暴力団、不良来日外国人等による犯罪の防止 1.9 その他（具体的に） 7.0 無回答

問 45 の番号及び項目		具体的要望項目（問 45 で選んだ項目についてのみお答えください）
35 施策実現や地域活性化のための IT の利活用を進める を選んだ方	⇒	40.0 安全で豊かなくらしの実現のための I T 利活用 （防災・環境・医療・福祉・健康等） － 千葉県の未来を担うこどもの育成のための I T 利活用 （子育て・教育・国際交流・文化・スポーツ等） 20.0 経済の活性化と交流基盤の整備のための I T 利活用 （観光・商工業・農林水産業・街づくり・交通網の整備等） 10.0 行政事務の利便性の向上、効率化への I T 利活用 － 情報セキュリティ対策の推進 10.0 光通信、無線高速回線などの整備促進 － その他（具体的に ） 20.0 無回答
36 東京電力福島第一原子力発電所事故の影響から県民を守る を選んだ方	⇒	36.7 きめ細かな測定の実施及び測定結果の公表 10.9 放射性物質に関する基礎的な知識の啓発 14.3 安全基準の提示 4.1 風評被害への対策 15.6 除染の推進 4.8 その他（具体的に ） 13.6 無回答

以上で質問は終わりですが、調査結果を統計的に分析するために必要なことごとをお聞かせください。

F 1 あなたの性別は。 n = 1,605（○は1つ）

41.9 男性	56.2 女性	1.9 無回答
---------	---------	---------

F 2 あなたは満何歳ですか。 n = 1,605（○は1つ）

7.4 20～29 歳	15.6 40～49 歳	10.9 60～64 歳	
14.1 30～39 歳	14.8 50～59 歳	35.1 65 歳以上	2.1 無回答

F 3 あなたのご職業は何ですか。 n = 1,605（○は1つ）

自営業主	家族従業者	勤め人	無職
0.9 農林漁業	0.4 農林漁業	6.0 管理職	35.6 主婦・主夫
2.1 商工サービス業	0.7 商工サービス業	17.9 専門技術・事務職	0.9 学生
2.9 自由業	1.3 自由業	11.0 販売・サービス職	10.2 その他
		6.2 労務職	()
			4.0 無回答

F 4 あなたは、主としてあなたのご家庭の家計を支えている方ですか。 n=1,605 (○は1つ)

49.3 はい	47.0 いいえ	3.7 無回答
---------	----------	---------

(F 4で「2」とお答えの方に)

→ F 4-1 あなたのご家庭の家計を主として支えている方のご職業は何ですか。 (○は1つ)

n=754

自営業主	家族従業者	勤め人	無職
1.2 農林漁業	0.1 農林漁業	12.2 管理職	29.6 無職
3.6 商工サービス業	0.4 商工サービス業	18.4 専門技術・事務職	
6.5 自由業	0.8 自由業	12.2 販売・サービス職	
		8.9 労務職	6.1 無回答

F 5 あなたは、結婚していらっしゃいますか。 n=1,605 (○は1つ)

19.3 未婚	67.2 既婚(配偶者有)	10.3 既婚(配偶者離死別)	3.2 無回答
---------	---------------	-----------------	---------

F 6 あなたは、お子さんが何人いらっしゃいますか。同居、別居は問いません。 (○は1つ)

n=1,605

14.0 1人	12.8 3人	0.2 5人以上
42.0 2人	1.3 4人	25.1 子どもはいない
		4.5 無回答

(F 6で「1」～「5」のいずれかをお答えの方に)

→ F 6-1 一緒にお住まいのあなたのお子さんで次の中にあげるような方はいらっしゃいますか。

n=1,130 (○はいくつでも)

7.8 0～2歳の子ども	5.9 大学・大学院在学中の子ども
8.2 3歳以上の未就学の子ども	28.9 学校を終えた未婚の子ども
16.7 小学校・中学校在学中の子ども	15.2 結婚した子ども
8.1 高校在学中の子ども	19.7 同居している子どもはいない
1.2 短大・高専・各種学校・専修学校に 在学中の子ども	10.0 無回答

F 7 あなたと一緒に暮らしの御家族の構成は次の中のどれに該当しますか。 (○は1つ)

n=1,605

11.5 単身	44.1 二世帯世帯(親と子)	3.7 その他(具体的に)
26.8 夫婦のみ	9.0 三世帯世帯(親と子と孫)	4.9 無回答

F 8 お宅には65歳以上の方がいらっしゃいますか。あなたご自身も含めてお答えください。

n=1,605 (○は1つ)

53.7 いる	43.9 いない	2.4 無回答
---------	----------	---------

F 9 あなたのお住まいは、次のどれにあたりますか。

n=1,605 (○は1つ)

66.2 持家（一戸建）	4.9 公社・UR都市機構・県市町村営住宅
10.0 分譲マンション	1.2 社宅などの給与住宅
2.1 民間の借家（一戸建）	0.3 住み込み・寮・寄宿舍
11.8 賃貸のアパート・マンション	0.6 その他（具体的に ） 2.8 無回答

F 10 あなたは、千葉県に通算して何年くらいお住まいですか。

n=1,605 (○は1つ)

0.7 1年未満	4.4 5年～10年未満	16.5 20年～30年未満
1.6 1年～3年未満	3.9 10年～15年未満	63.1 30年以上
1.6 3年～5年未満	4.9 15年～20年未満	0.2 わからない 3.2 無回答

F 11 あなたは、次のどの市町村にお住まいですか。

n=1,605 (○は1つ)

15.9 千葉市	2.7 八千代市	0.5 大網白里市
1.6 銚子市	2.2 我孫子市	- 印旛郡酒々井町
6.9 市川市	0.3 鴨川市	0.6 印旛郡栄町
8.7 船橋市	1.6 鎌ケ谷市	0.4 香取郡神崎町
1.0 館山市	1.7 君津市	- 香取郡多古町
1.8 木更津市	0.7 富津市	- 香取郡東庄町
8.0 松戸市	1.8 浦安市	0.3 山武郡九十九里町
2.1 野田市	1.4 四街道市	- 山武郡芝山町
1.9 茂原市	1.4 袖ヶ浦市	0.5 山武郡横芝光町
2.0 成田市	1.1 八街市	0.6 長生郡一宮町
2.0 佐倉市	1.2 印西市	- 長生郡睦沢町
1.0 東金市	1.1 白井市	- 長生郡長生町
1.0 旭市	1.1 富里市	- 長生郡白子町
2.9 習志野市	0.4 南房総市	- 長生郡長柄町
6.7 柏市	0.4 匝瑳市	0.7 長生郡長南町
0.6 勝浦市	1.4 香取市	- 夷隅郡大多喜町
4.5 市原市	0.9 山武市	0.3 夷隅郡御宿町
2.9 流山市	0.4 いすみ市	- 安房郡鋸南町
		2.7 無回答

以上で質問はすべて終わりです。

このほかにも、県へのご意見があればご自由にお書きください。

また、この「世論調査」について、ご意見やご提案があればお書きください。

お忙しいところをご協力いただき、ありがとうございました。
ご記入いただいた調査用紙は、同封の返信用封筒に入れて、
8月25日（月）までに、ポストにご投函ください。なお、切手は不要です。

平成 26 年度

(第 48 回)

県 政 に 関 す る 世 論 調 査

平成 26 年 12 月発行

(平成 26 年 8 月実施)

千葉県総合企画部報道広報課

千葉市中央区市場町 1 番 1 号

(広聴室) 電話 0 4 3 - 2 2 3 - 2 4 6 9
